

旧高花平浄化センター解体工事				図 面 目 録 (1 / 2)			
図面番号	名 称	縮 尺	備 考	図面番号	名 称	縮 尺	備 考
A-1	特記仕様書(解体1)	-		3S-2	引抜汚泥ポンプ室 軸組図、リスト表	1:50 1:30	
A-2	特記仕様書(解体2)	-		3S-3	引抜汚泥ポンプ室 リスト表、配筋図(1)	1:30 1:10	
A-3	位置図、一般平面図	1:200		3S-4	引抜汚泥ポンプ室 配筋図(2)	1:30	
1A-1	汚泥処理棟 仕上表	-		4A-1	返送汚泥ポンプ室 仕上表、平面図	1:50	
1A-2	汚泥処理棟 平面図	1:100		4A-2	返送汚泥ポンプ室 断面図	1:50	
1A-3	汚泥処理棟 立面図	1:100		4S-1	返送汚泥ポンプ室 伏図	1:50	
1A-4	汚泥処理棟 断面図	1:100		4S-2	返送汚泥ポンプ室 軸組図	1:50	
1A-5	汚泥処理棟 天井伏図、防音対策計画図	1:100		4S-3	返送汚泥ポンプ室 リスト表	1:30	
1A-6	汚泥処理棟 2F平面詳細図、詳細図	1:30					
1A-7	汚泥処理棟 建具表	1:50 1:200		5A-1	消毒タンク 仕上表、平面図	1:50	
1S-1	汚泥処理棟 杭配置、梁伏図(1)	1:100		5A-2	消毒タンク 立面図、断面図、建具表	1:50	
1S-2	汚泥処理棟 梁伏図(2)	1:100		5S-1	消毒タンク 伏図、軸組図、リスト表	1:50 1:30	
1S-3	汚泥処理棟 軸組図(1)	1:100					
1S-4	汚泥処理棟 軸組図(2)	1:100					
1S-5	汚泥処理棟 柱断面リスト	1:30		AM-1	特記仕様書 建築機械設備1	-	
1S-6	汚泥処理棟 梁リスト	1:30		AM-2	特記仕様書 建築機械設備2	-	
1S-7	汚泥処理棟 スラブ・壁リスト・雑配筋図	1:30		AM-3	位置図、一般平面図	1:200	
2A-1	ブロワー室 仕上表、平面図	1:50		1AM-1	汚泥処理棟 空調・換気設備 機器表(撤去)	-	
2A-2	ブロワー室 断面図、天井伏図	1:50		1AM-2	汚泥処理棟 空調・換気設備 平面図(撤去)	1:100	
2A-3	ブロワー室 立面図、建具表	1:100		1AM-3	汚泥処理棟 衛生設備 平面図(撤去)	1:100	
2S-1	ブロワー室 各階梁伏図	1:50					
2S-2	ブロワー室 軸組図	1:50		2AM-1	ブロワー室 換気・衛生設備 平面図(撤去)	1:50	
2S-3	ブロワー室 リスト表、矩計図	1:30					
				3AM-1	引抜汚泥ポンプ室 換気設備 平面図(撤去)	1:50	
3A-1	引抜汚泥ポンプ室 平面図、断面図	1:50					
3A-2	引抜汚泥ポンプ室 仕上表、立面図、建具表、天井伏図	1:50 1:100		4AM-1	返送汚泥ポンプ室 換気設備 平面図(撤去)	1:50	
3A-3	引抜汚泥ポンプ室 矩計詳細図	1:30 1:5					
3S-1	引抜汚泥ポンプ室 梁伏図、杭配置図	1:50 1:10		5AM-1	消毒タンク 換気設備 平面図(撤去)	1:50	

旧高花平浄化センター解体工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

外 部 仕 上 表

床		外 壁		屋 根				パラベット				バルコニー				ひ さ し						備 考	
														上 端		は な		軒 天					
		合板型枠打放し 増打ちt25 吹付タイル (下地調整材に含有)		コンクリートコテ仕上 (C種) < アスファルト防水 (A-1) > ポリエチレンフィルムt0.15 防水押え断熱コンクリートt70 直均し金コテ押え		階段・通路 防水モルタル金コテ		防水押えレンガ1/2B モルタル金コテミガキ		防水モルタル金コテミガキ		アルミ手摺 合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有)		防水モルタルコテ仕上		合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有)		合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有)		配管用白ガス管0P ルーフトレン (アス防水用)			

内 部 仕 上 表

階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁					天 井						備 考
		下 地	仕 上	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下地	仕 上	高 さ	詳細番号	梁型仕上	詳細番号	
B1	調整槽	C	ガサアゲコンクリート コテ仕上						C	合板型枠打放し			C	合板型枠打放し		壁Iと同じ		C	合板型枠打放し	直天		天井と同じ		
1	ポンプ室	C	モルタル金ごて 床用塗料						C	モルタル金ごて VP	1500		C	パーライト t10吹付		壁に同じ		C	パーライト t10吹付	直天		天井に同じ		ホイストレール OP
	発電機室	C	モルタル金ごて 床用塗料						C	モルタル金ごて VP	1500		C	パーライト t10吹付		壁に同じ		C	パーライト t10吹付	直天		天井に同じ		ホイストレール OP
	薬品倉庫室	C	モルタル金ごて 床用塗料						C	モルタル金ごて VP	1500		C	パーライト t10吹付		壁に同じ		C	パーライト t10吹付	直天		天井に同じ		
	脱水機室	C	モルタル金ごて 床用塗料						C	モルタル金ごて VP	1500		C	パーライト t10吹付		壁に同じ		C	パーライト t10吹付	直天		天井に同じ		ホイストレール OP
2	操作室	C	フリーアクセスフロア 一部(モルタル金ごて ビニールタイル(帯電 防止)		C	ビニール幅木	75					C	モルタル金ごて EP				LGS	GBステバリ t9 ロックウール吸音板 t12	2700				鋼製ブラインドボックス OP	
	玄関	C	タイル張り		C	人造石研出し	140					C	モルタル金ごて EP				LGS	GBステバリ t9 ロックウール吸音板 t12	2640					
	宿直室	W	タタミ		C	タタミ寄せ 24×24						C LGS	モルタル金ごて 砂壁状吹付 GB継目処理工法 t12 砂壁状吹付				LGS	木目化粧石綿板(シ キメ天井) (KC t5)目スカシ EP	2300					
	湯沸室	C	モルタル金ごて ビニール床シート		C	ビニール幅木	75				C LGS	モルタル金ごて EP リプラス下地75角タイル GB継目処理工法 t12 EP				LGS	(KC t5)目スカシ EP	2300				ステンレス流し台、 ステンレスフード		
	化粧室	C	<アスファルト防水 E-2> 磁器モザイクタイル 25角(下地モルタルに 含有)							C LGS	75角タイル (下地モルタルに含有) リプラス下地75角タイル				LGS	(KC t5)目スカシ EP	2300							
	脱衣室	W	桧縁甲板張り							C LGS	75角タイル (下地モルタルに含有) モルタル金ごて EP GB継目処理工法 t12 EP				LGS	(KC t5)目スカシ EP	2300							
	浴室	C	<アスファルト防水 E-1> 陶質モザイクタイル 25角(下地モルタルに 含有)							C	75角タイル (下地モルタルに含有)						木製天井下地 バスリブ	2300～2450						
	廊下	C	モルタル金ごて ビニール床シート		C	ビニール幅木	75			C LGS	モルタル金ごて EP GB継目処理工法 t12 EP				LGS	GBステバリ t9 ロックウール吸音板 t12	2500							

凡例

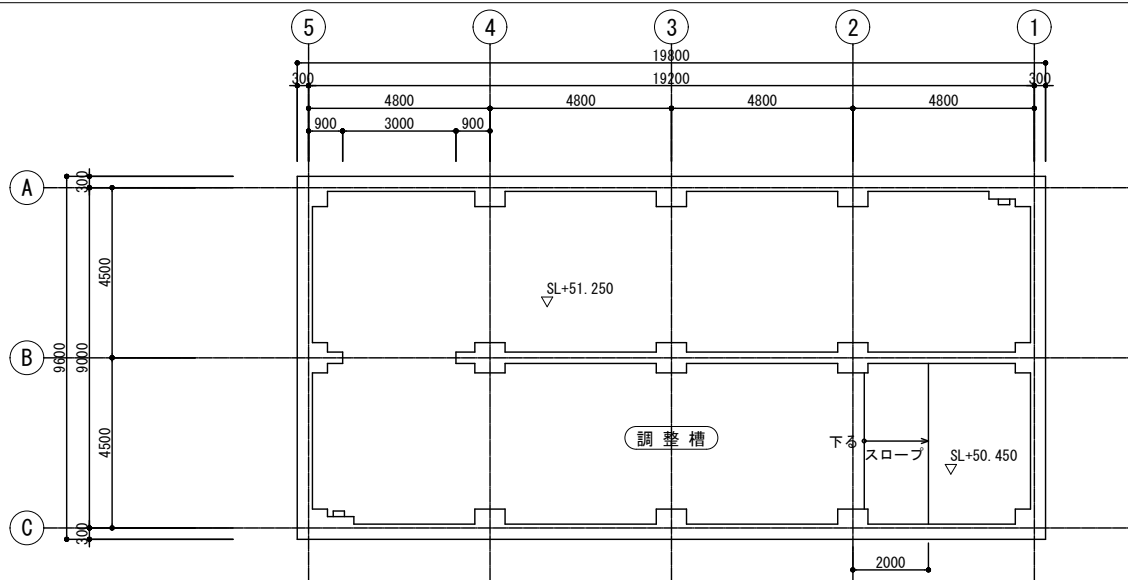
Cコンクリート
W木造
LGS軽量鉄骨
GBせっこうボード
OP調合ペイント塗
EP合成樹脂エマルションペイント塗
VP塩化ビニールペイント塗

注記

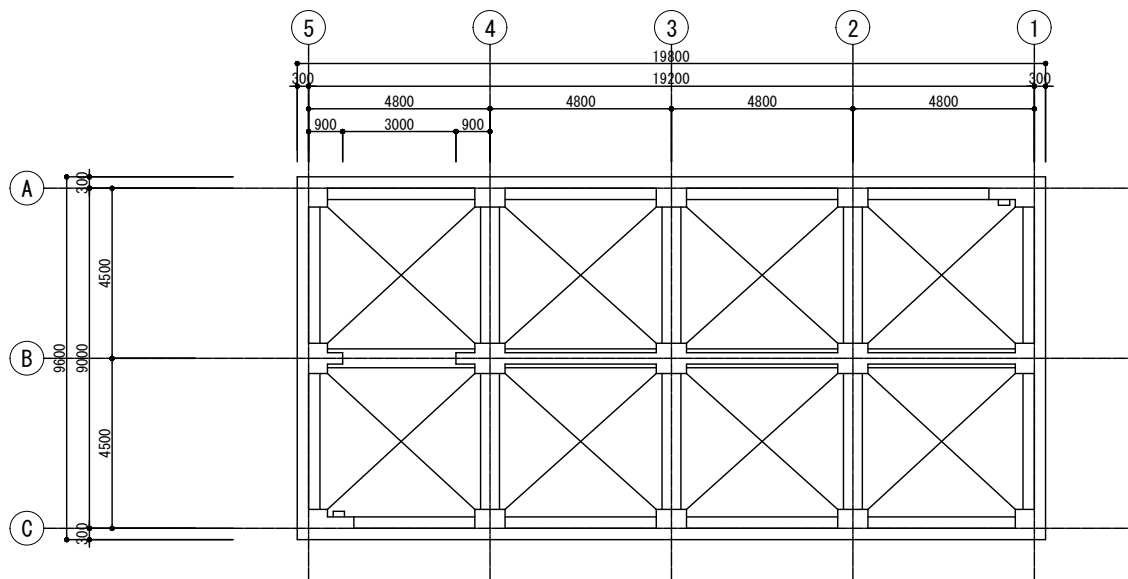
・仕上表内 () は、アスベスト含有が確認されたため、
施工時は石綿予防規則に則った工法で除去を行うこと。
・< > は、工事施工前にアスベスト調査を実施し、
含有の有無を確認すること。

残置を示す

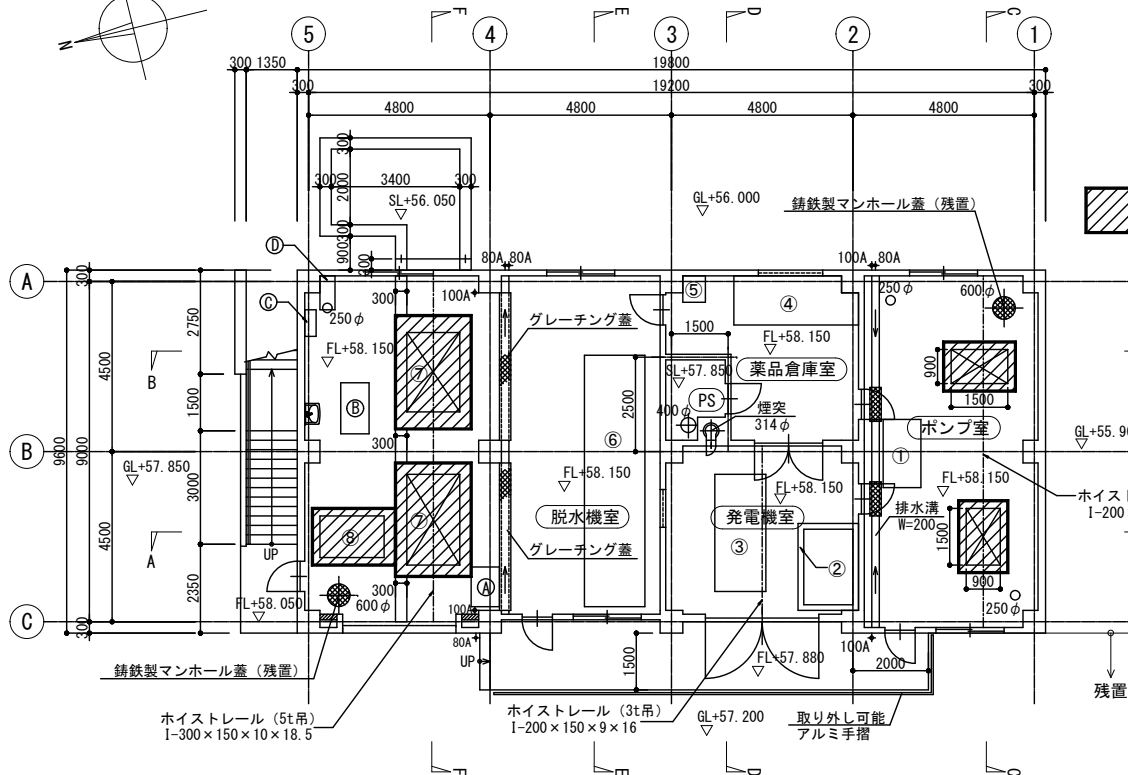
事 業 名	令和8年度 公共下水道事業		
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名 称	汚泥処理棟仕上表		
縮 尺	-	設計年月	令和 年 月
工 種		設 計 者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1A-1



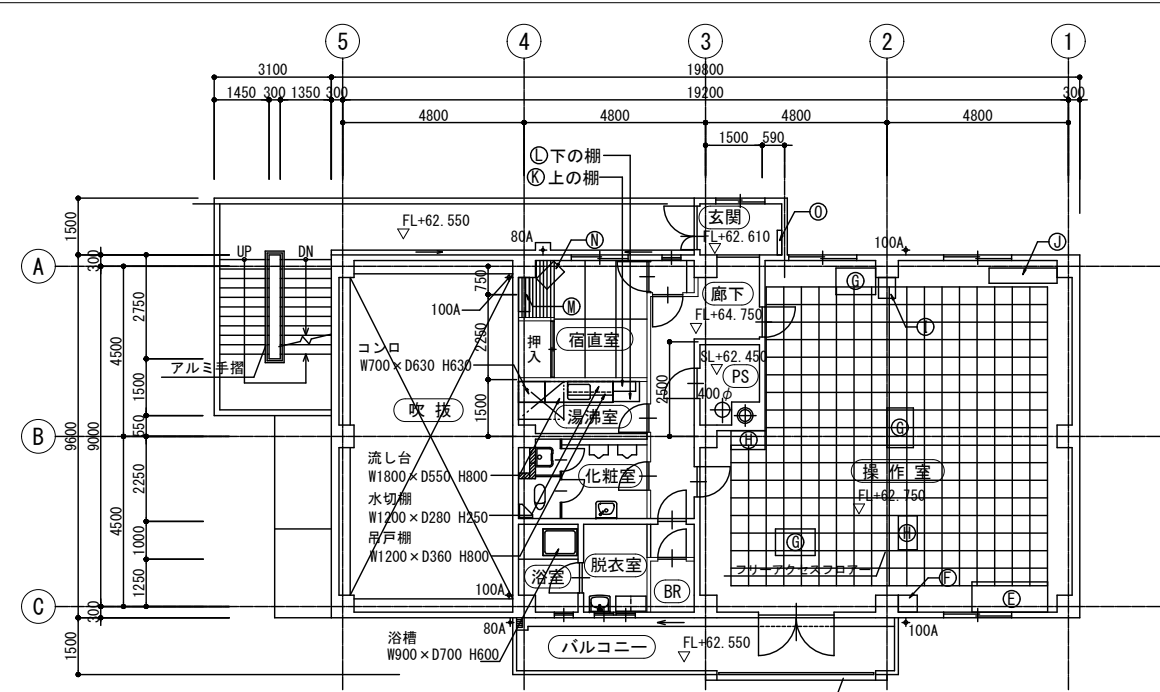
B2F 平面図 S=1/100 (残置)



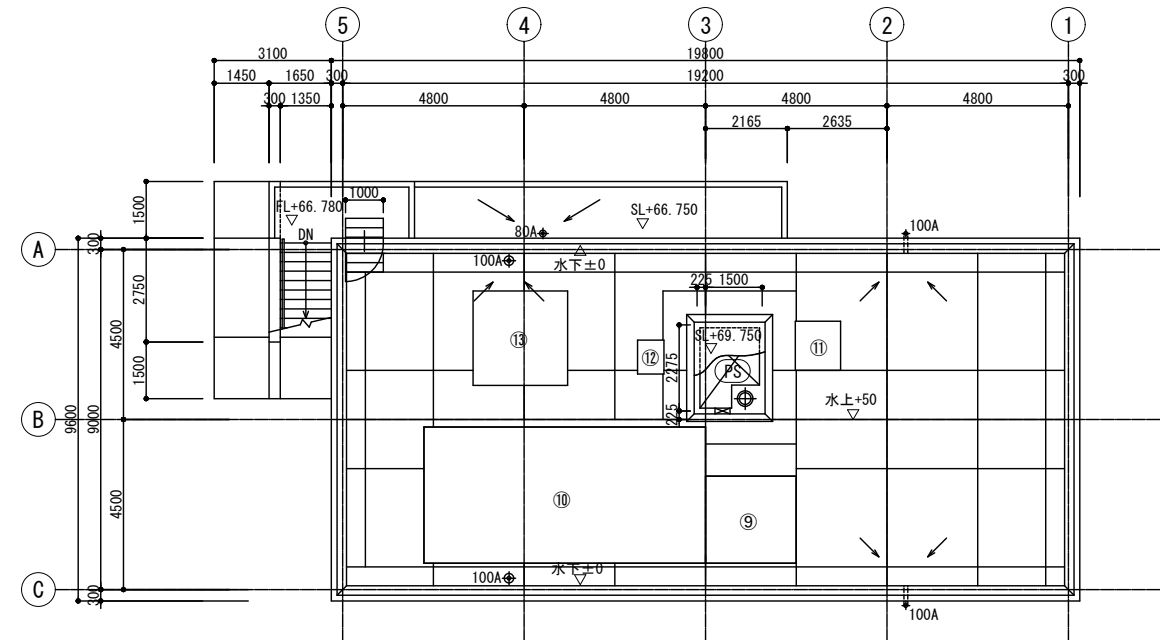
B1F 平面図 S=1/100 (残置)



1F 平面図 S=1/100



2F 平面図 S=1/100



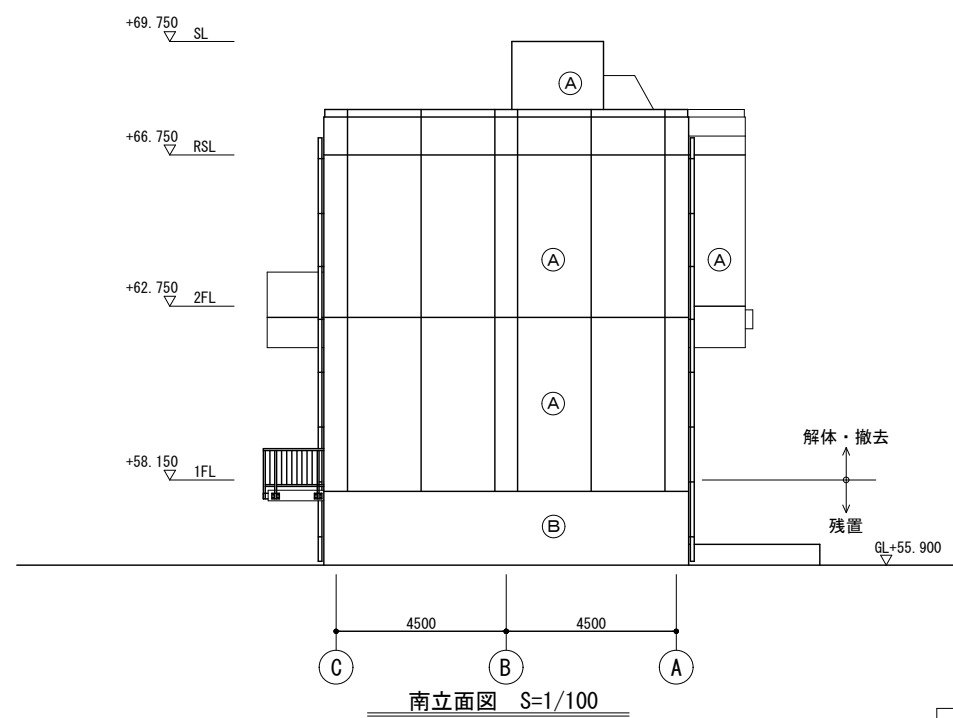
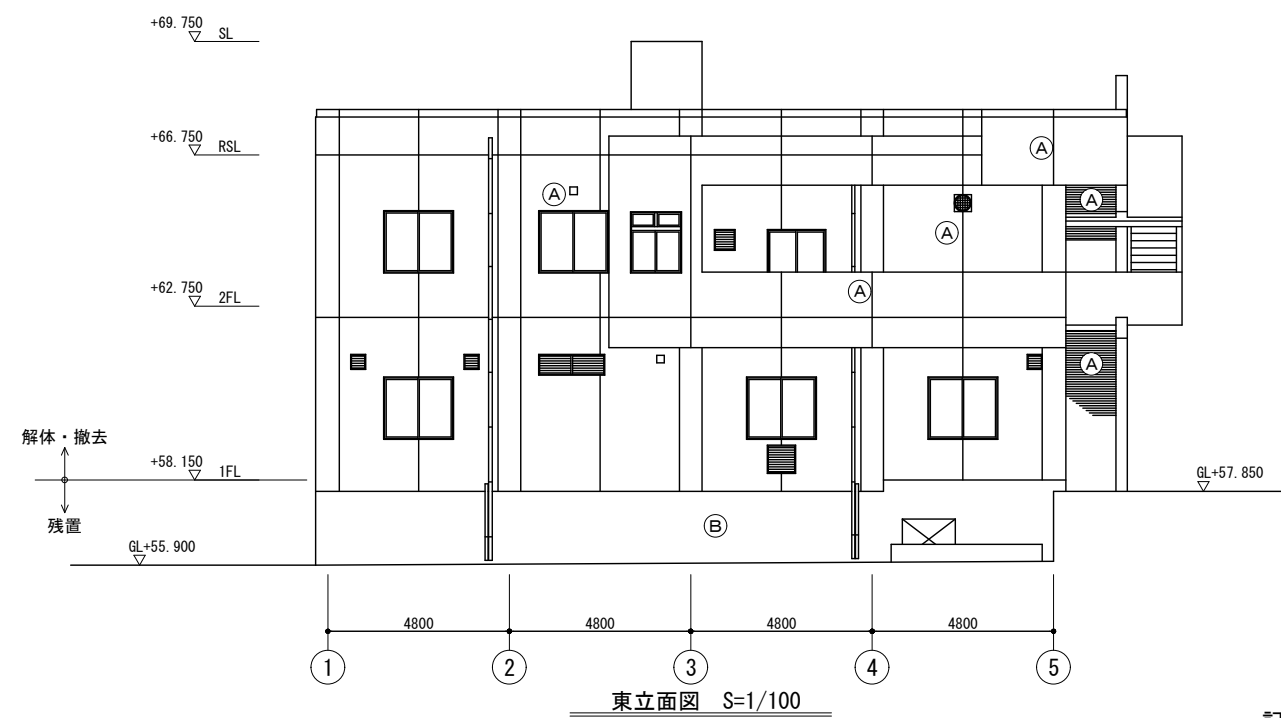
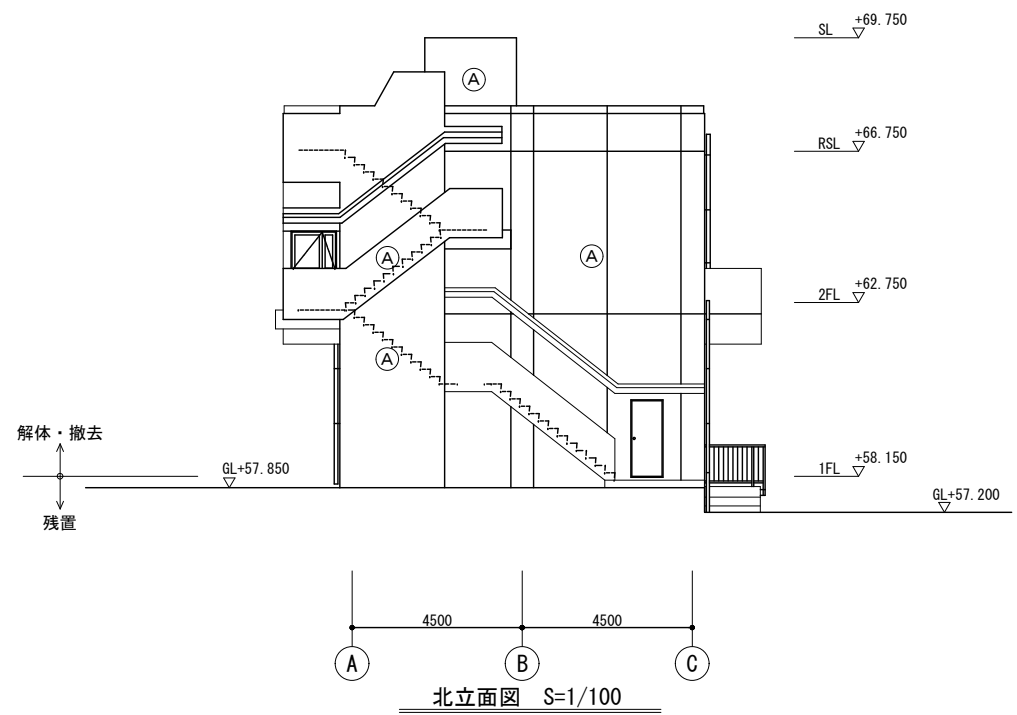
屋根伏図 S=1/100

基礎寸法

①	W1800×D1000×H100
②	W2300×D1600×H250 t150
③	W3100×D1350×H200
④	W3300×D1300×H200
⑤	W700×D600×H100
⑥	W6650×D1600×H200
⑦	W3000×D2000×H300
⑧	W1500×D2200×H200 t200, t300
⑨	W2400×D2300×H250
⑩	W7450×D3600×H250
⑪	W1200×D1300×H250
⑫	W900×D700×H200
⑬	W2500×D2500×H250

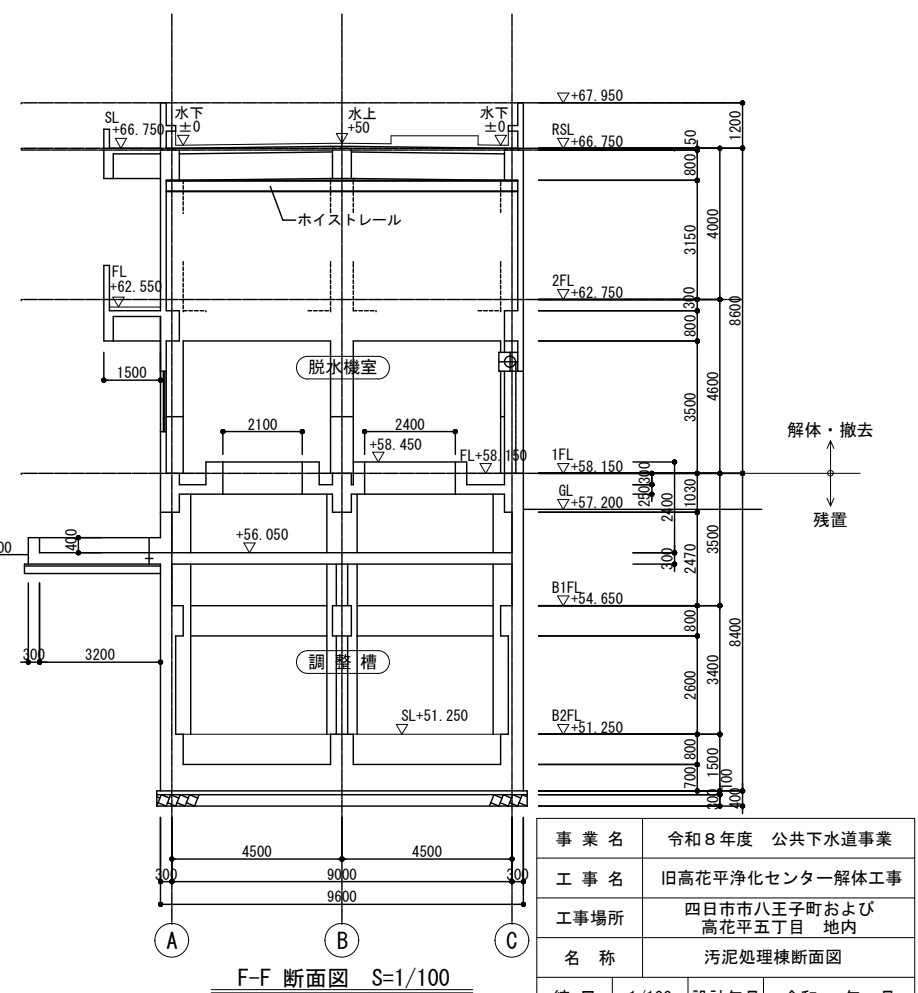
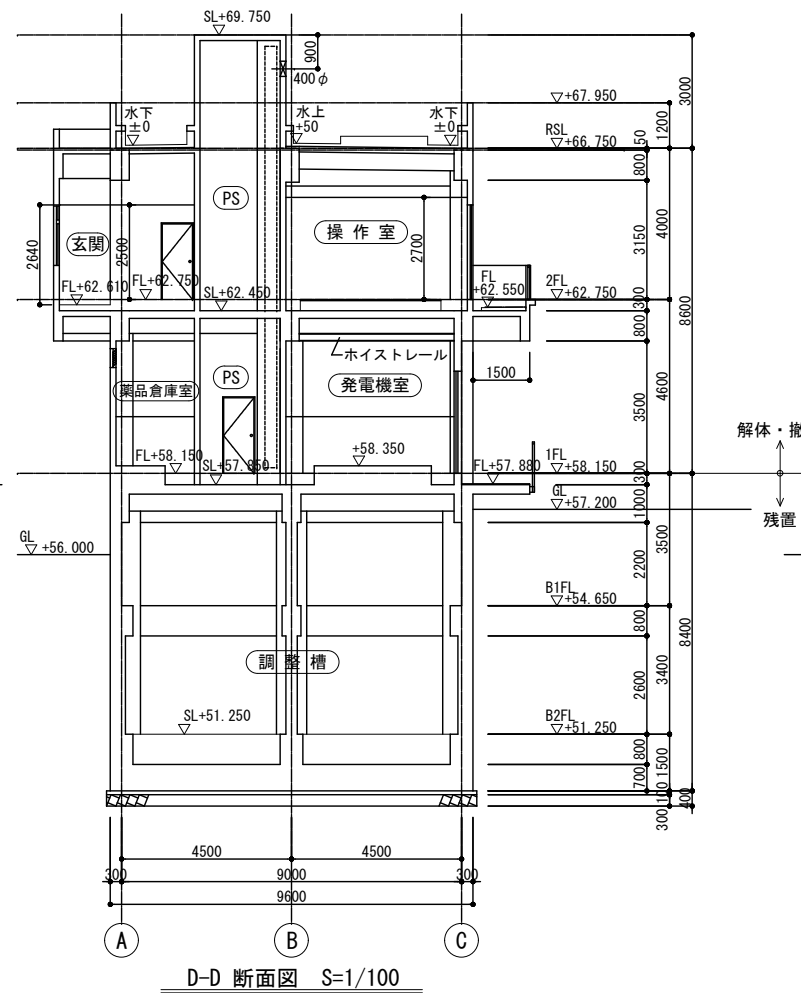
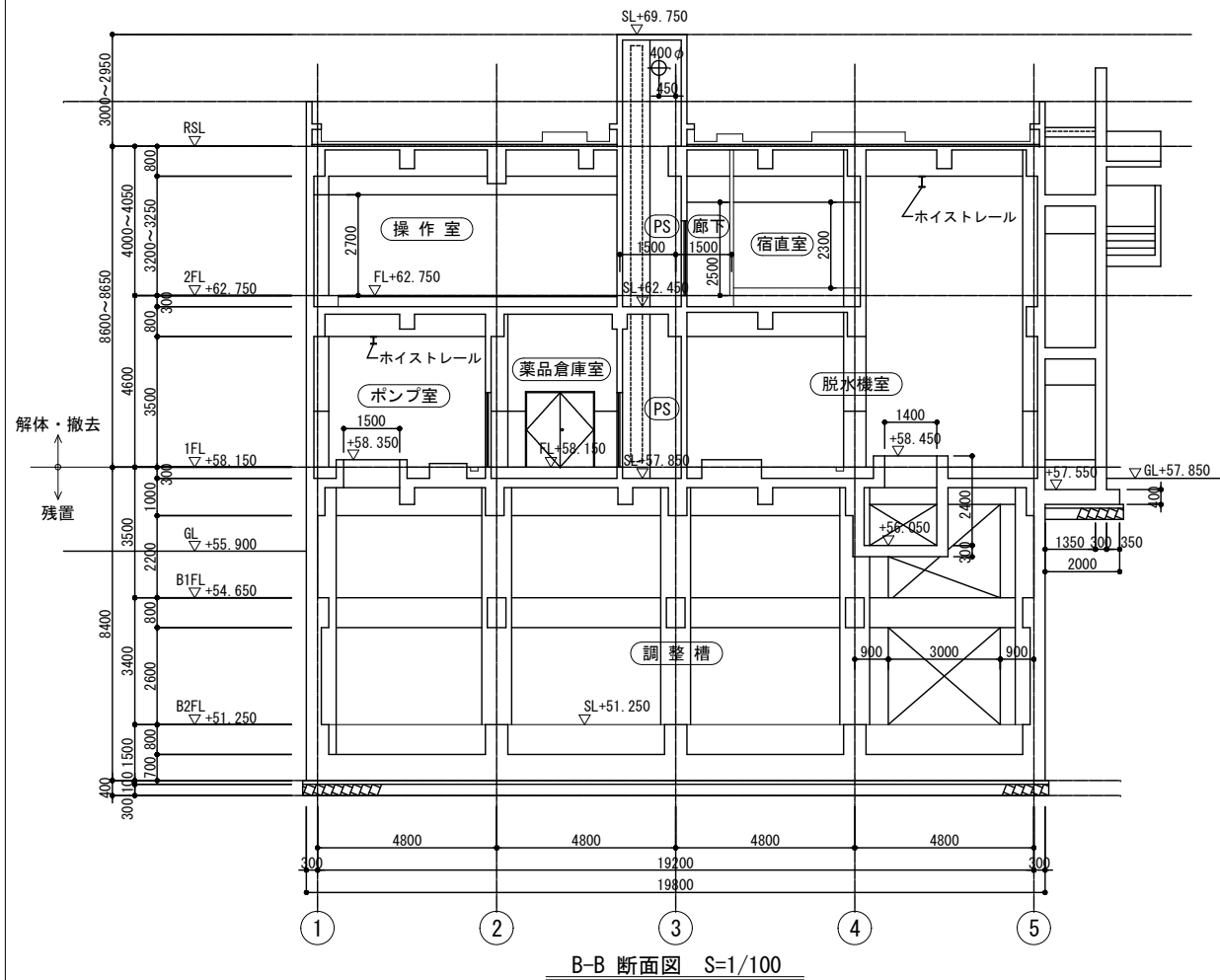
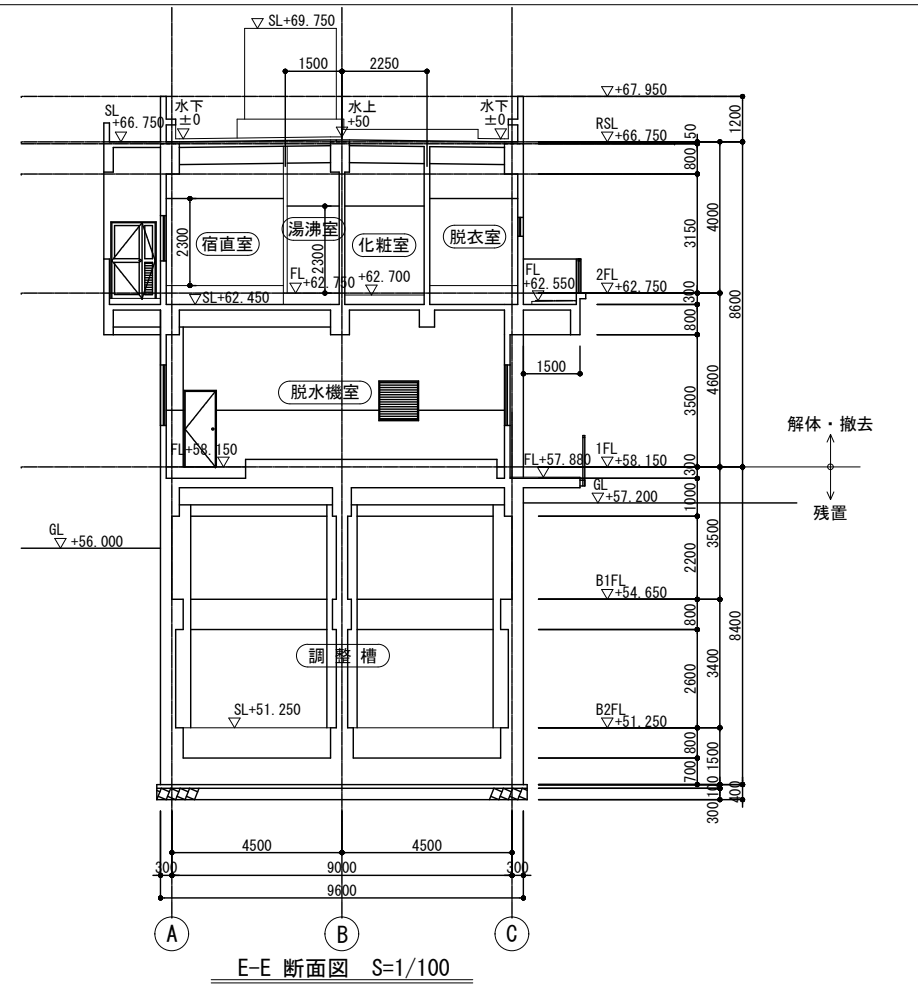
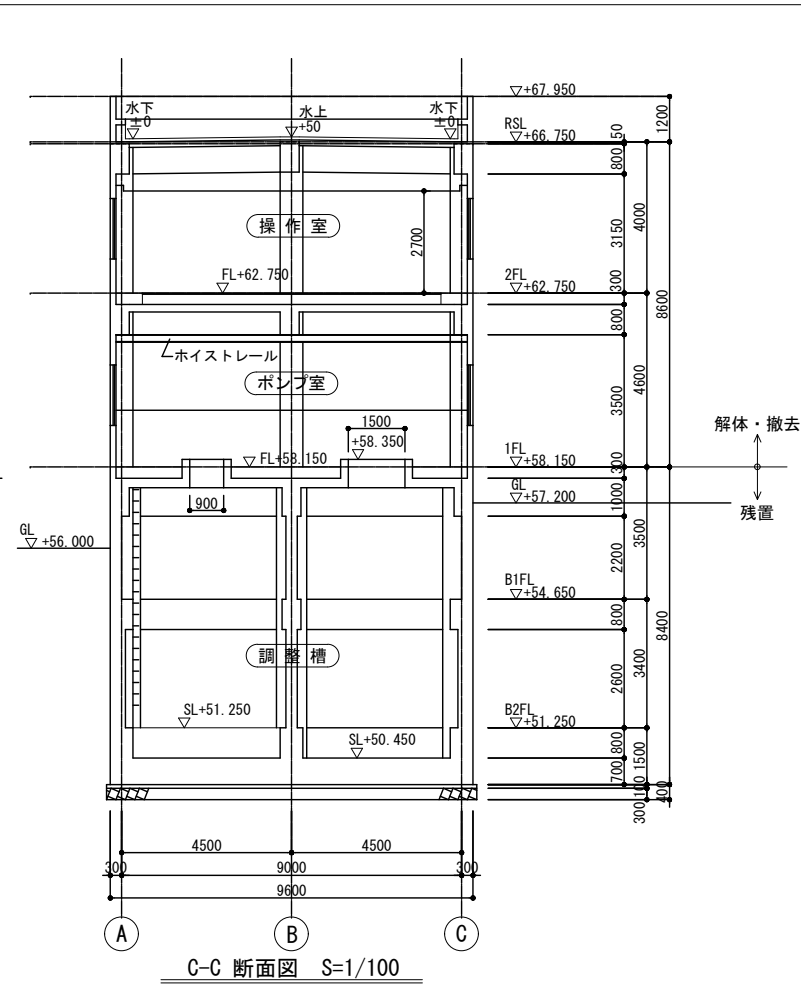
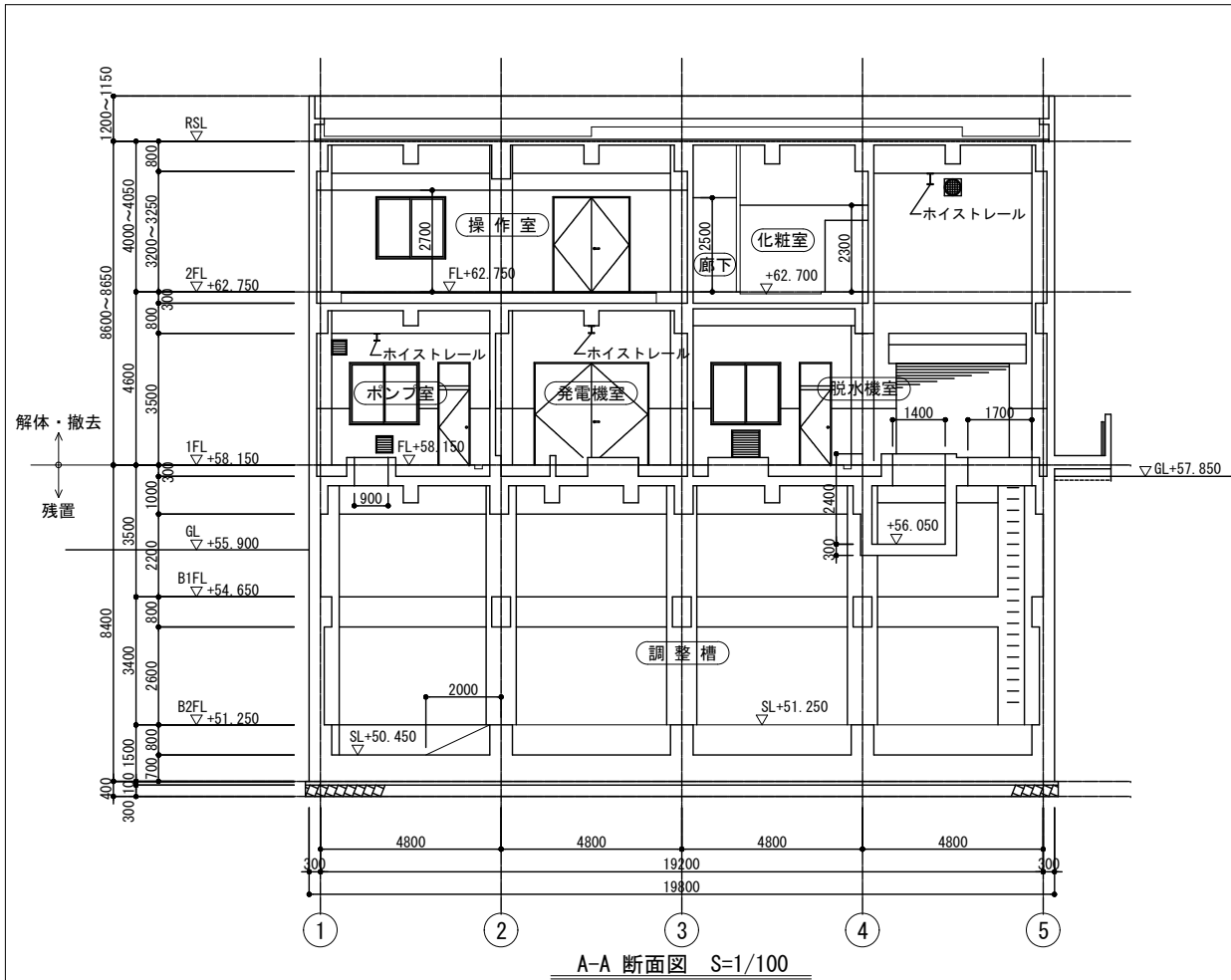
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟平面図		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1A-2

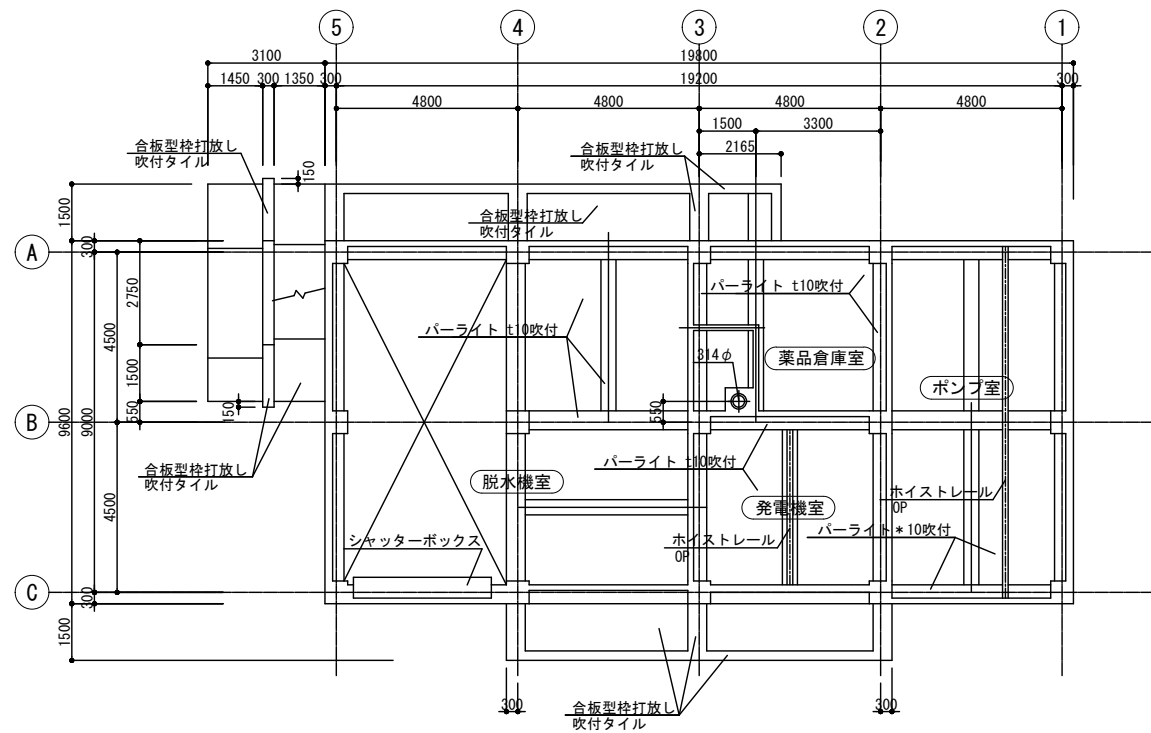


記 号	
(A)	合板型枠打放し 吹付タイル
(B)	合板型枠打放し

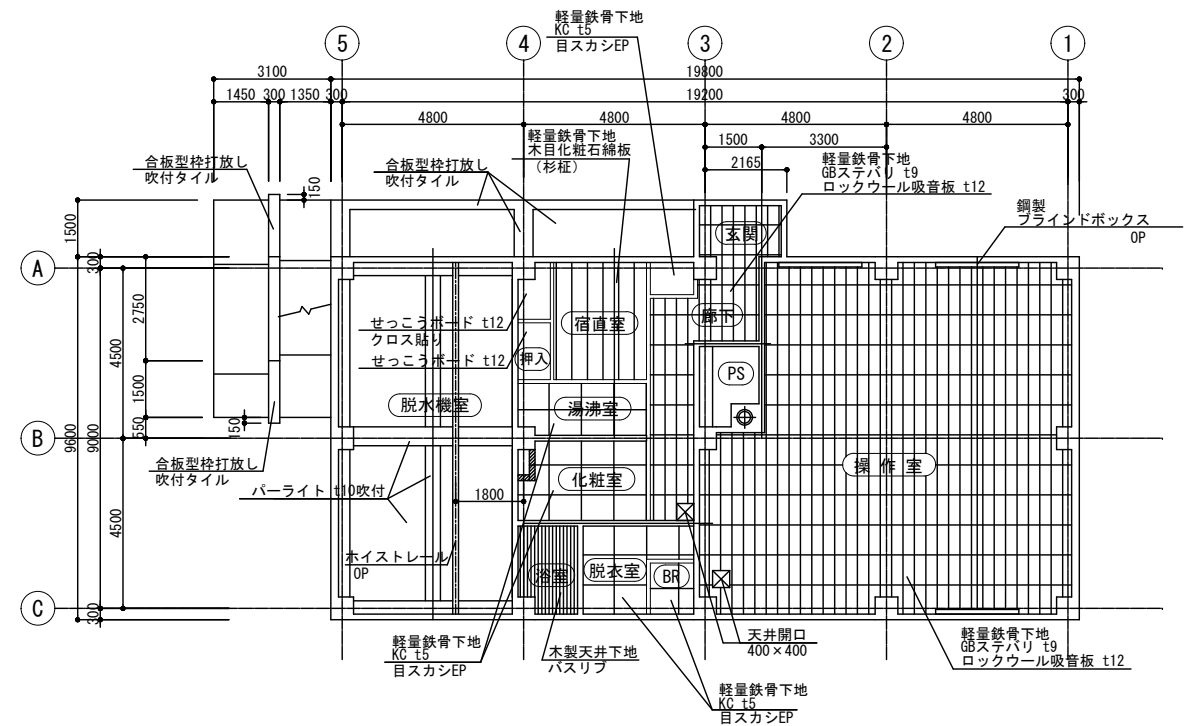
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟立面図		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	1A-3



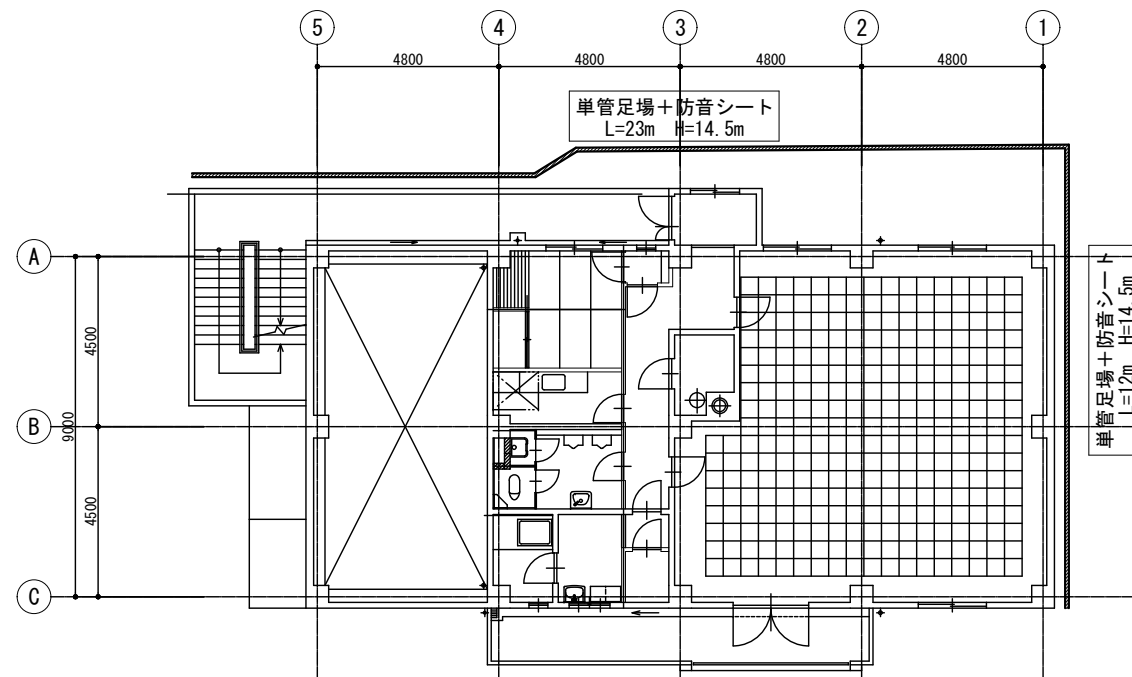
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟断面図		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	1A-4



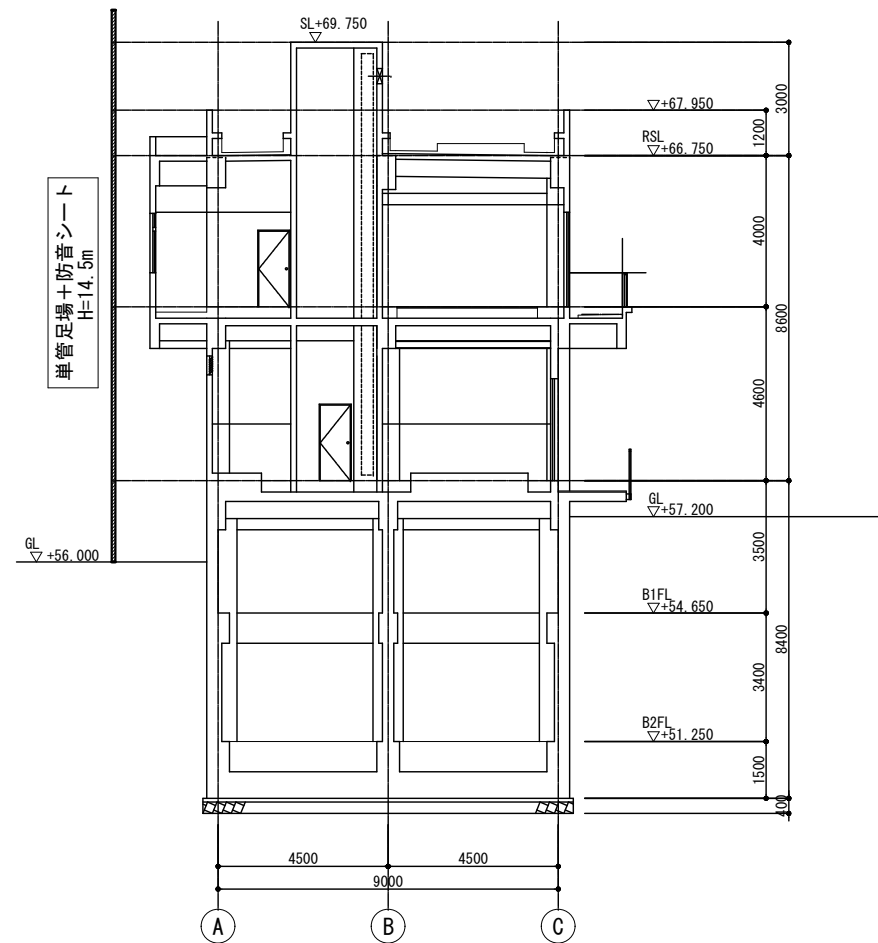
1F 天井伏図 S=1/100



2F 天井伏図 S=1/100



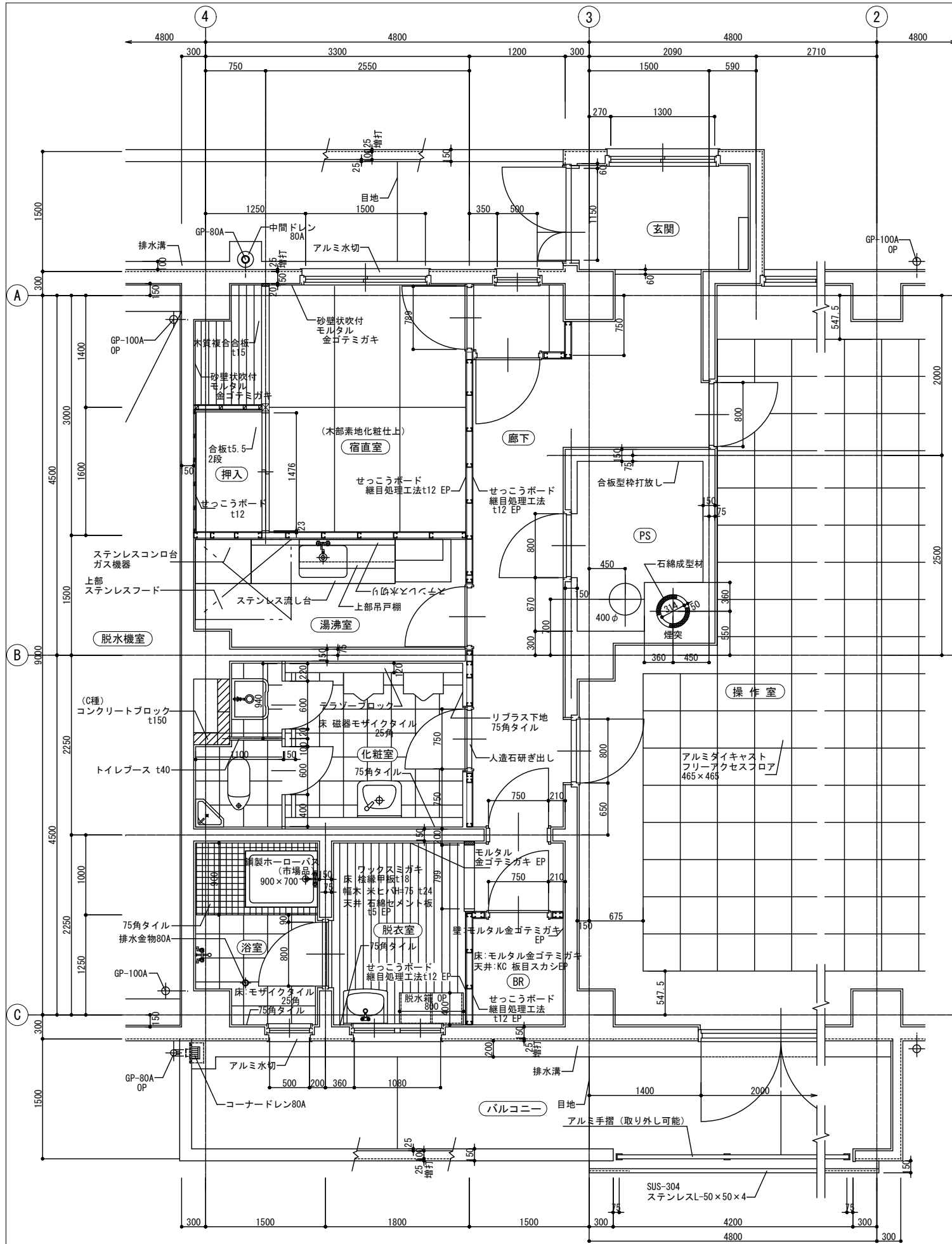
防音対策計画平面図 (参考図) S=1/100



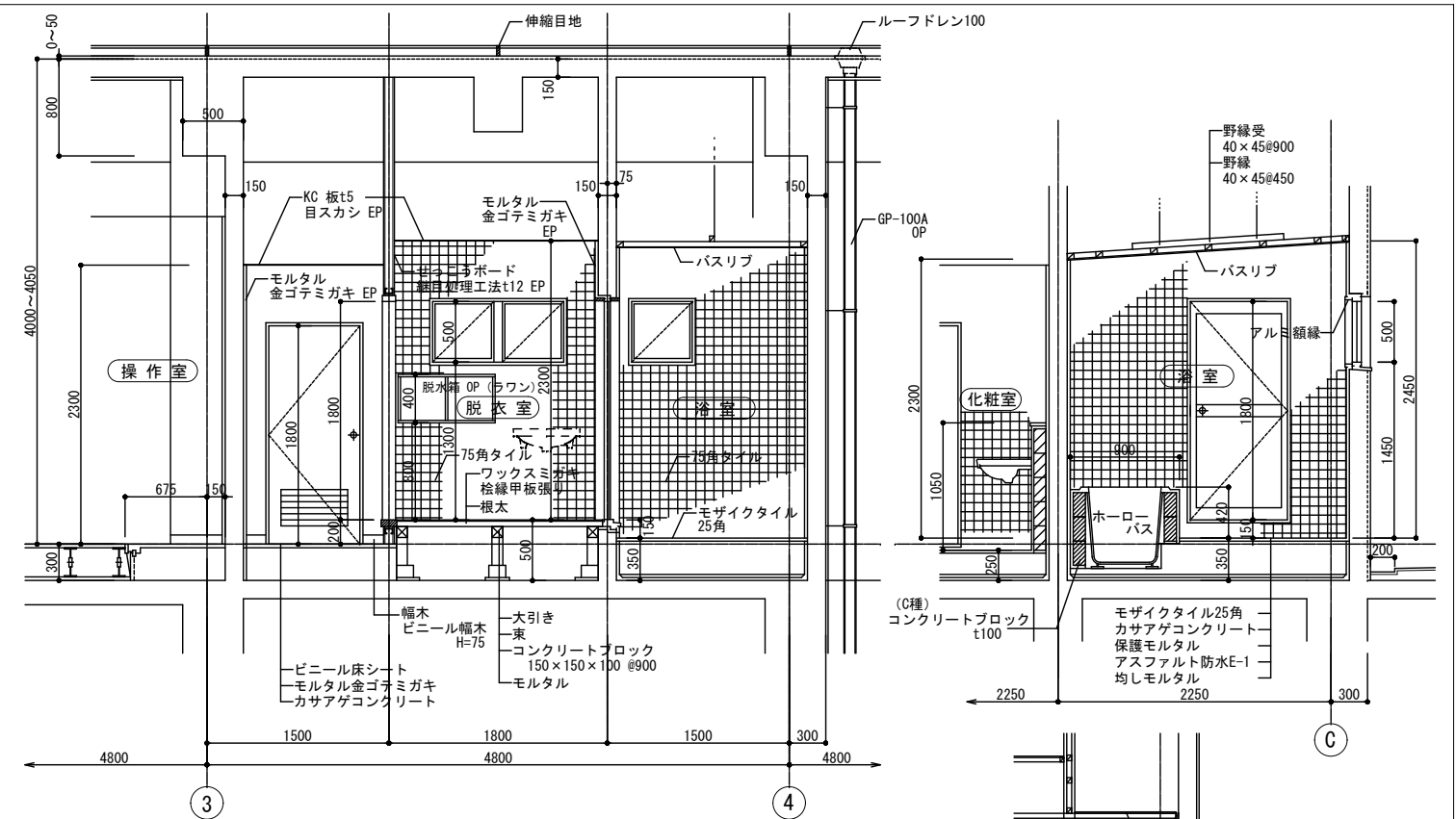
防音対策計画断面図 (参考図) S=1/100

※ 特記なき限り解体・撤去とする

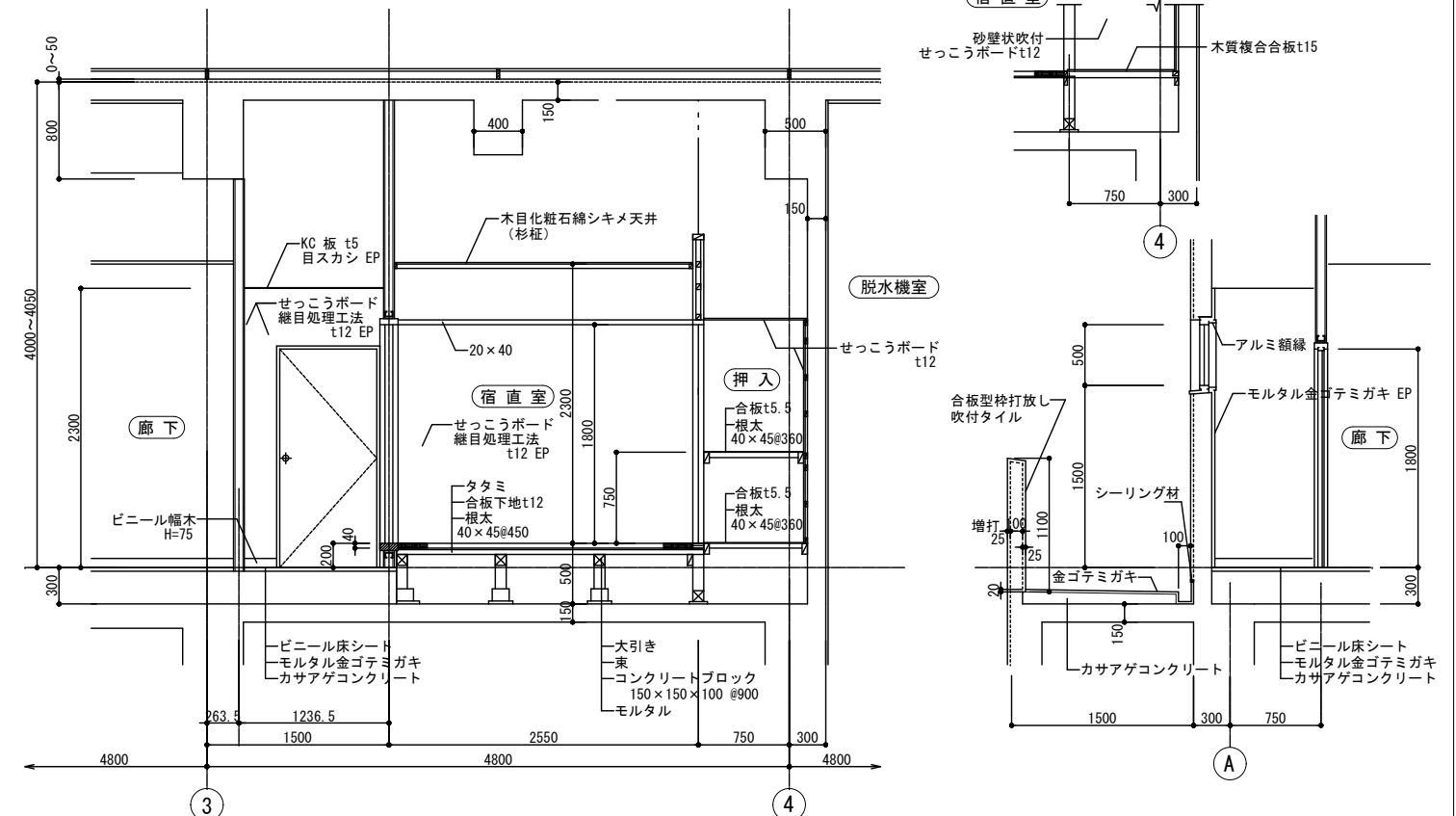
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟 天井伏図、防音対策計画図		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	1A-5



2F 平面図 S=1/30



詳細図 S=1/30

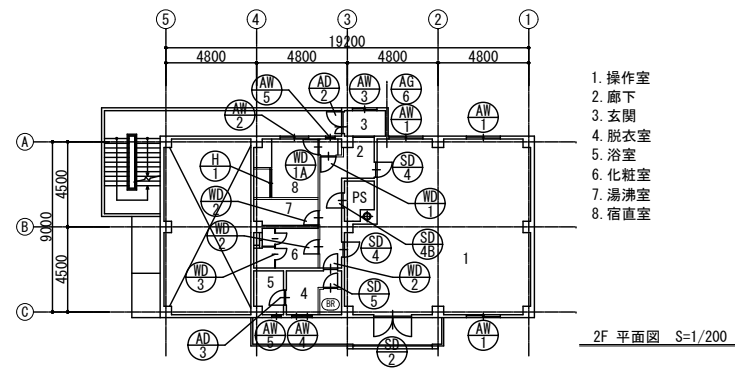
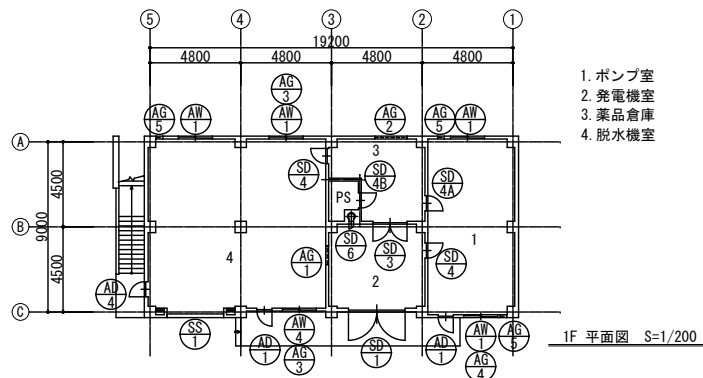


※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業
工事名	旧高花平浄化センター解体工事
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内
名称	汚泥処理棟 2F平面詳細図、詳細図
縮尺	1/30 設計年月 令和 年 月
工種	設計者
事業主体	四日市市 図面番号 1A-6

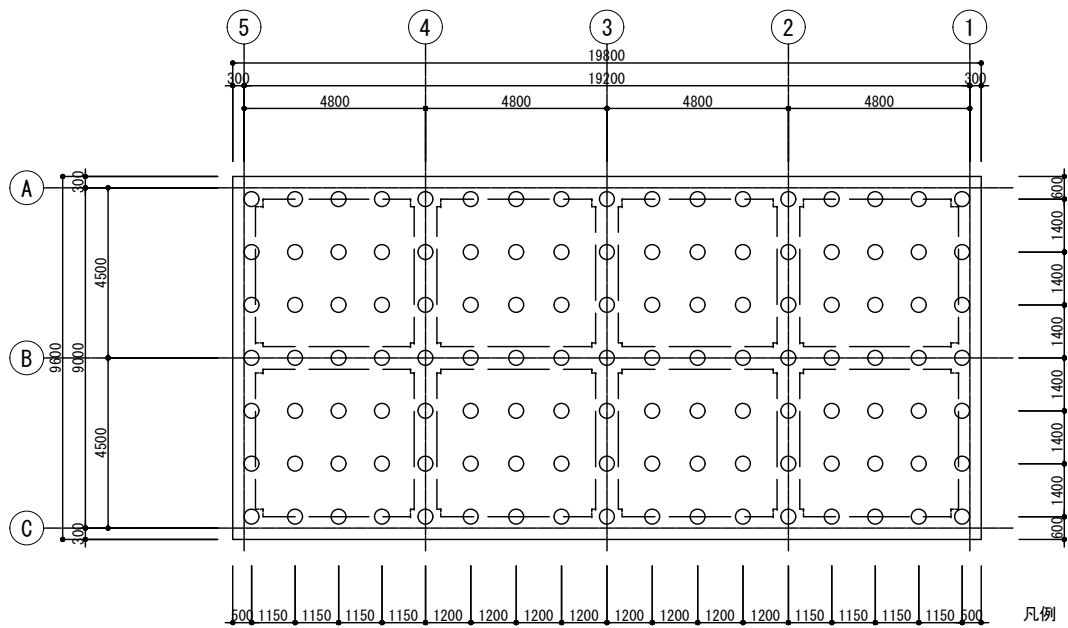
建具表 1/50

符号・名称・個数		SD 1 両開きスチールフラッシュドア (エアータイト)	1	SD 2 両開きスチールフラッシュドア	1	SD 3 両開きスチールフラッシュドア	1	SD 4 片開きフラッシュドア	4	SD 4B 片開きフラッシュドア	4	SD 5 片開きフラッシュドア	1	AW 1 引違いアルミサッシ	8	AW 2 引違いアルミサッシ	1	AW 3 内倒し排煙ランマ付 引違いアルミサッシ	1		1
場所		発電機室		操作室		発電機室		発電機室、薬品倉庫、操作室		P S		B R (ボイラー室)		ポンプ室、脱水機室、操作室		宿直室		玄関			
形状・寸法								※ SD 4A 片開きフラッシュドア：1 (ガラリ付300×500) 								網戸付 					
区別仕上 (枠共)		OP		OP		OP		OP		OP		OP									
建具	見込 (ランマ)	60		50		40		40		40		40									
	硝子 (ランマ)																				
建具枠	金物	大型蝶番3枚吊、グレモン締り<二点> シンリンダー錠内蔵		大型蝶番3枚吊、グレモン締り<二点> シンリンダー錠内蔵		DC フランス落し		DC				DC		透明フロートガラス 6m/m		型板ガラス 4m/m		透明フロートガラス 6m/m			
	見込 取合 番摺	150 かつずり (ステンレス)		150 かつずり (ステンレス)		100 かつずり (ステンレス)		100 かつずり (ステンレス)		100 かつずり (ステンレス)		133 かつずり (ステンレス)		70		70		70			
その他		グラスウール中詰、2重水切型かつずり、防音		2重水切型かつずり		スチール額縁		スチール額縁				ガラリ付300×500		4辺アルミ額縁 水切板		4辺コーナーアングル 水切板		4辺アルミ額縁 水切板 排煙はチェーン引きによる 2連動とする			
符号・名称・個数		AW 4 すべり出し アルミサッシ	1	AW 5 すべり出し アルミサッシ	2	SD 6 片開き アングルドア	1	AD 1 ランマ付 (FIX) 片開きアルミフラッシュドア	2	AD 2 親子開きアルミガラス戸 (ガラリ付)	1	AD 3 片開きアルミガラス戸	1	WD 1 片開きフラッシュドア	1	WD 2 片開きフラッシュドア	3	H 2 引違いふすま戸	1	AD 4 片開きアルミフラッシュドア	1
場所		脱衣室		浴室、宿直室		排煙 (反出し口)		ポンプ室、脱水機室		玄関		浴室		宿直室路込		脱衣室、湯沸室、化粧室		宿直室押入		脱水機室	
形状・寸法																					
区別仕上 (枠共)						OP						腰パネルフラッシュ		桧合板1類 OP		桧合板1類 OP		鳥の子紙貼り (片面) ヒノキカシュー縁			
建具	見込 (ランマ)					32.3 (L-30×30×3 PL-2.3)								40		40					
	硝子 (ランマ)	型板ガラス 4m/m		型板ガラス 4m/m				透明フロートガラス 6m/m		透明フロートガラス 6m/m		型板ガラス 4m/m									
建具枠	金物					打掛金物、蝶番		透明フロートガラス 6m/m		透明フロートガラス 6m/m		DC 空錠		オートヒンジ		オートヒンジ 空錠		手掛		DC	
	見込 取合 番摺	70		70		L-30×30×3		70 水切型 (2重)、かつずり (ステンレス)		70 水切型、かつずり (ステンレス)		70 水切型、かつずり (ステンレス)								70 水切型 (2重)、かつずり (ステンレス)	
その他		4辺アルミ額縁 水切板		宿直室：4辺コーナーアングル 水切板 浴室：アルミ額縁		アスファルトパッキン付		3辺アルミ額縁		3辺アルミ額縁 ガラリ付		3辺アルミ額縁				木製ガラリ300×500				3辺アルミ額縁	
符号・名称・個数		SS 1 鋼製巻込みシャッター (手動)	1	WD 3 片開き フラッシュドア	2	WD 1A 片開き フラッシュドア	1	AG 1 固定ガラリ	1	AG 2 固定ガラリ	1	AG 3 固定ガラリ	2	AG 4 固定ガラリ	1	AG 5 固定ガラリ	3	AG 6 固定ガラリ	1		
場所		脱水機室		化粧室		宿直室		発電機室		薬品倉庫室		脱水機室		ポンプ室		ポンプ室・脱水機室		操作室			
形状・寸法																					
区別仕上 (枠共)		OP 共通仕様		桧合板1類 OP		鳥の子紙貼り (片面) 桧合板1類 OP (片面)															
建具	見込 (ランマ)	スラット PL-1. 6m/m		40		40															
	硝子 (ランマ)	レー尔、マグサ、ステンレスSU304																			
建具枠	金物																				
	見込 取合 番摺							70 水切型		70 水切型		70 水切型		70 水切型		70 水切型		70 水切型			
その他								4辺アルミ額縁		ダクト取合用木目フランジ付		4辺アルミ額縁		4辺アルミ額縁 ステンレスウェザーカバー		4辺アルミ額縁 ステンレスウェザーカバー ダクト取合用木目フランジ付		ダクト取合用木目フランジ付 ステンレスウェザーカバー			



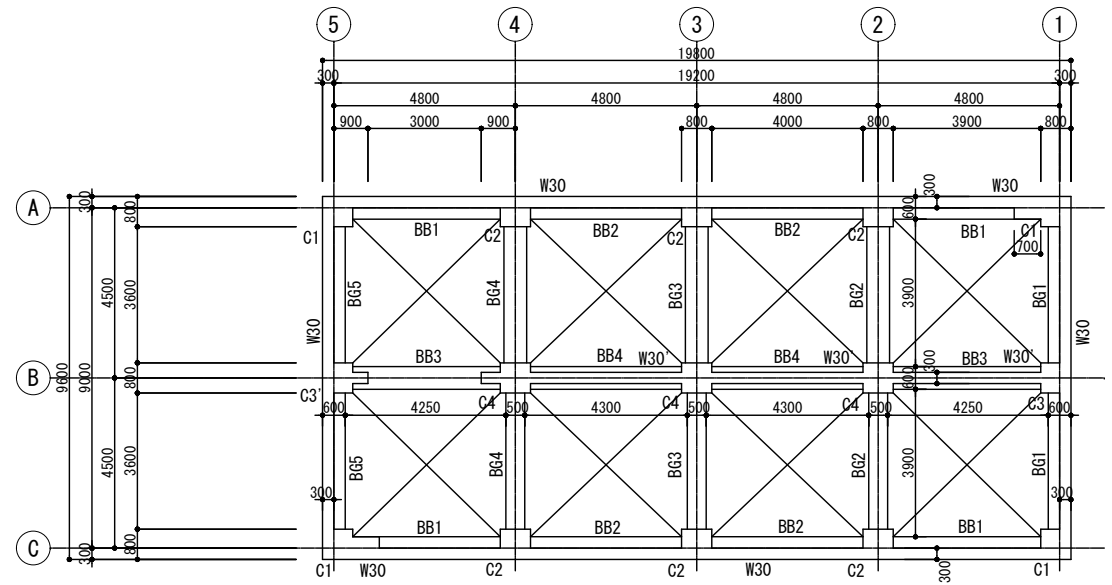
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟建具表		
縮尺	1/50 1/200	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1A-7



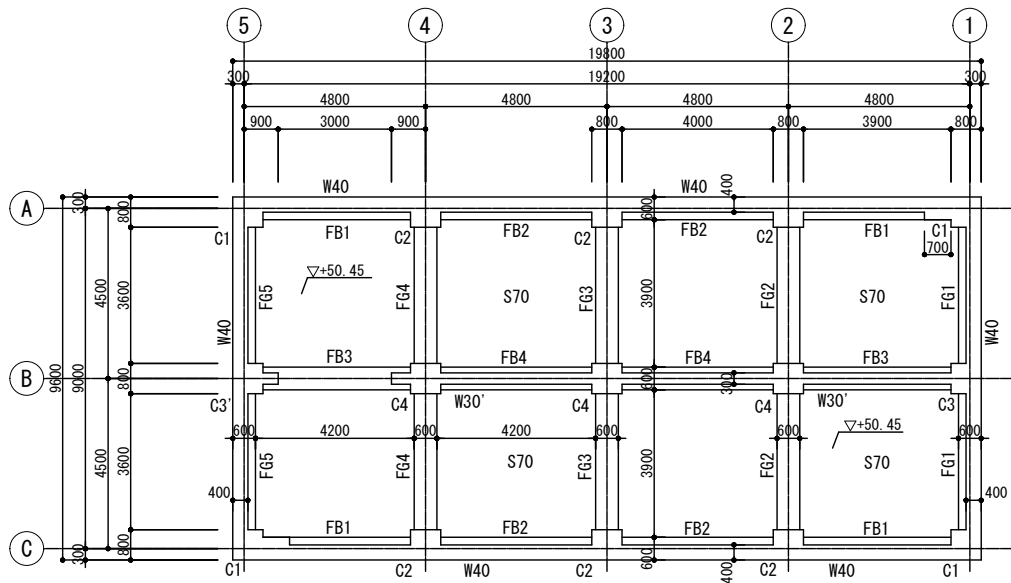
杭配置図 S=1/100 (残置)

凡例
○ RCコンクリートパイル
φ400 L=6,000 119本
設計支持力35t/本



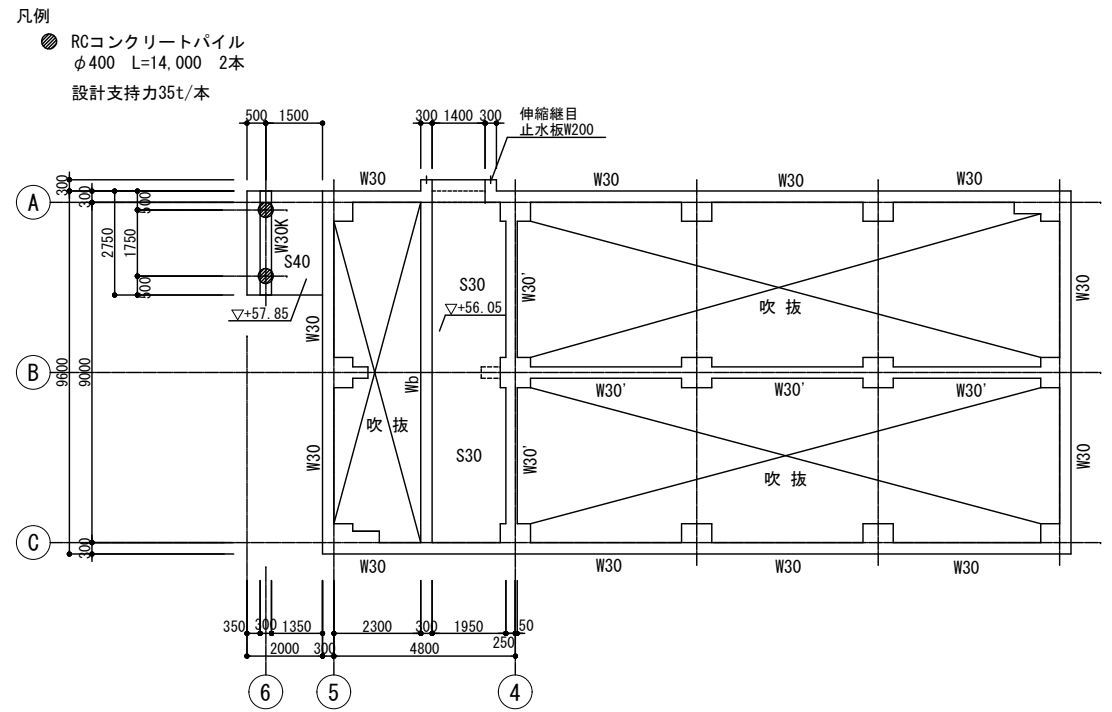
B1F梁伏図 S=1/100 (残置)

柱符号 : B1



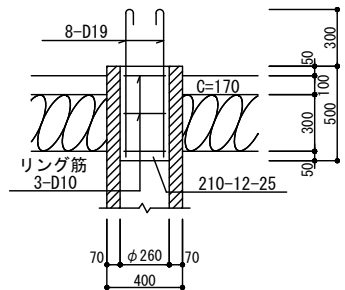
基礎伏図 S=1/100 (残置)

柱符号 : B2
床版符号 : F



MB1床伏図 S=1/100 (残置)

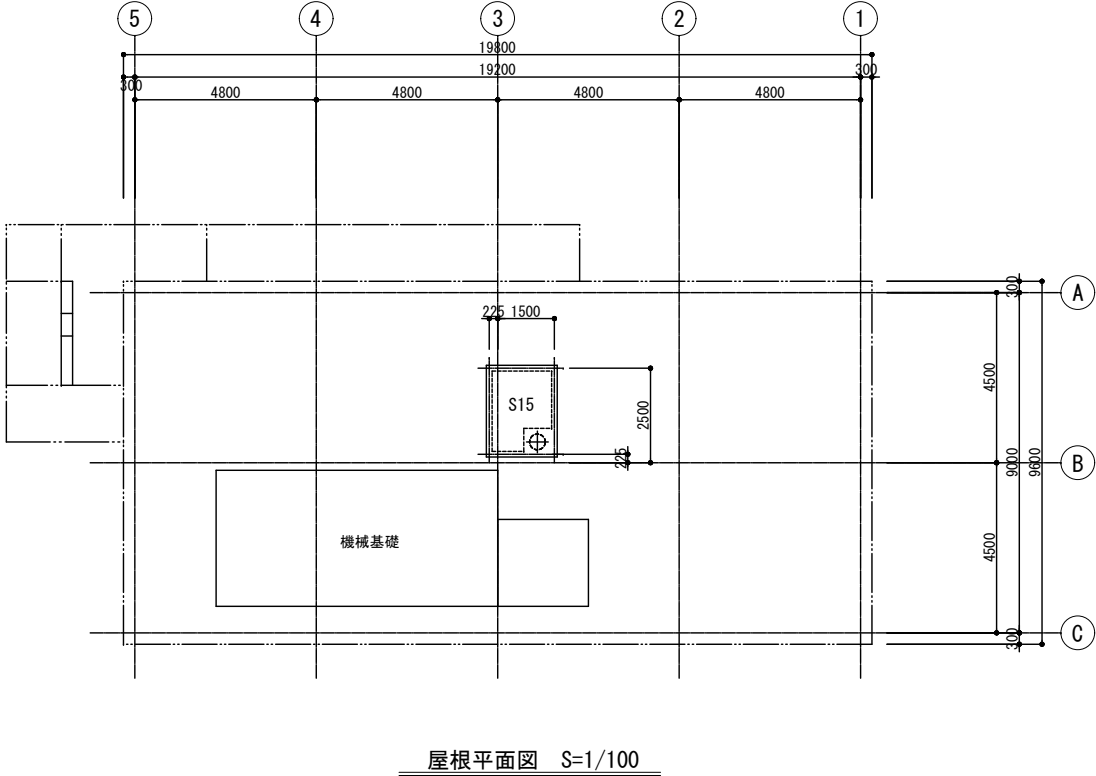
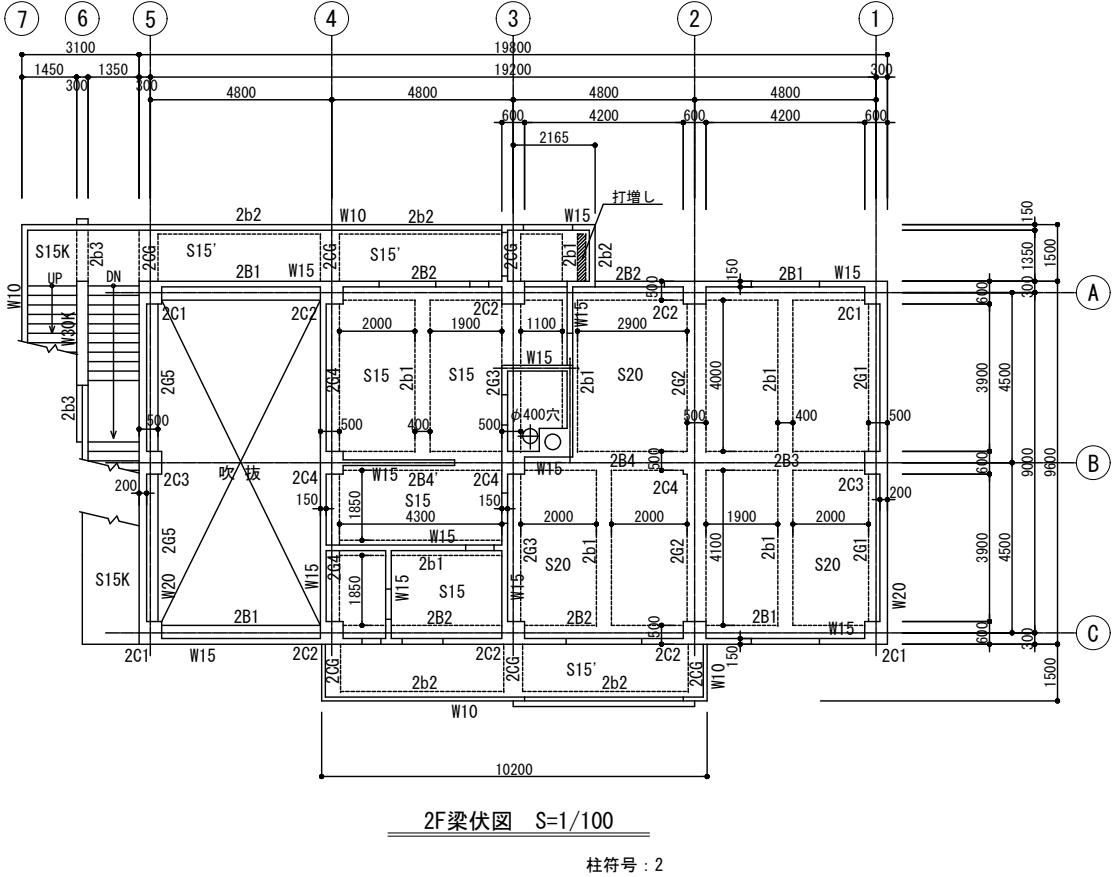
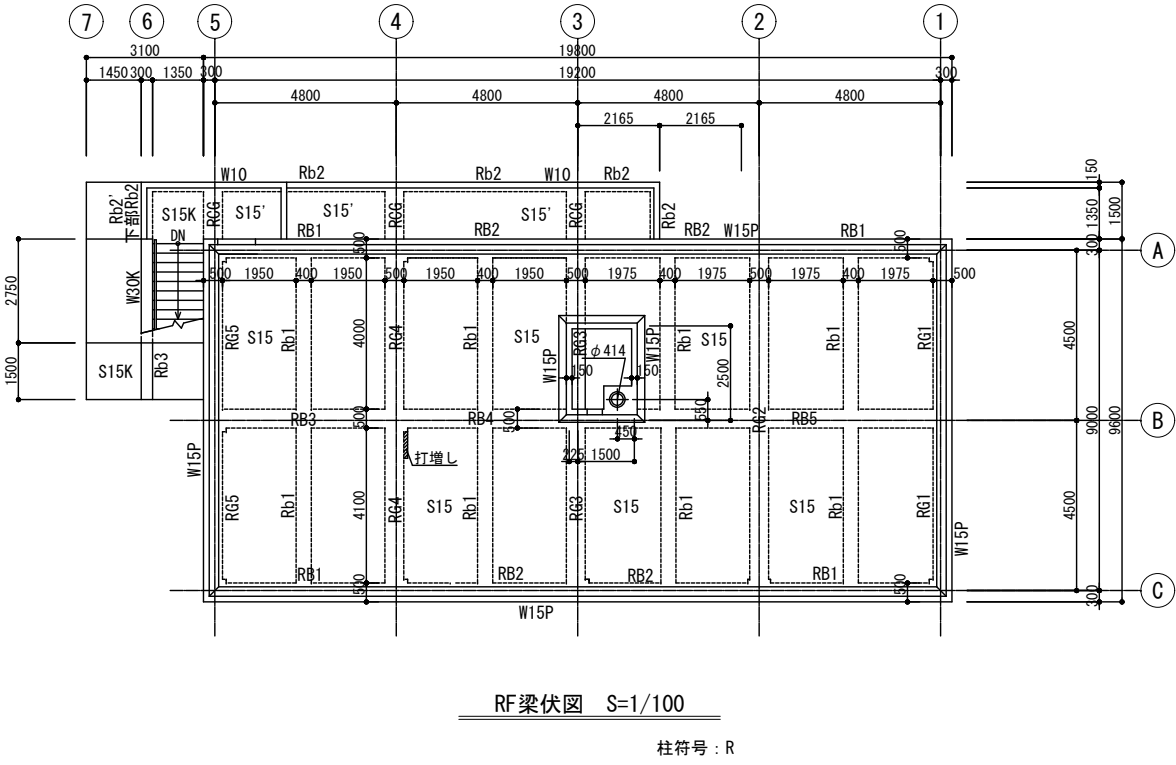
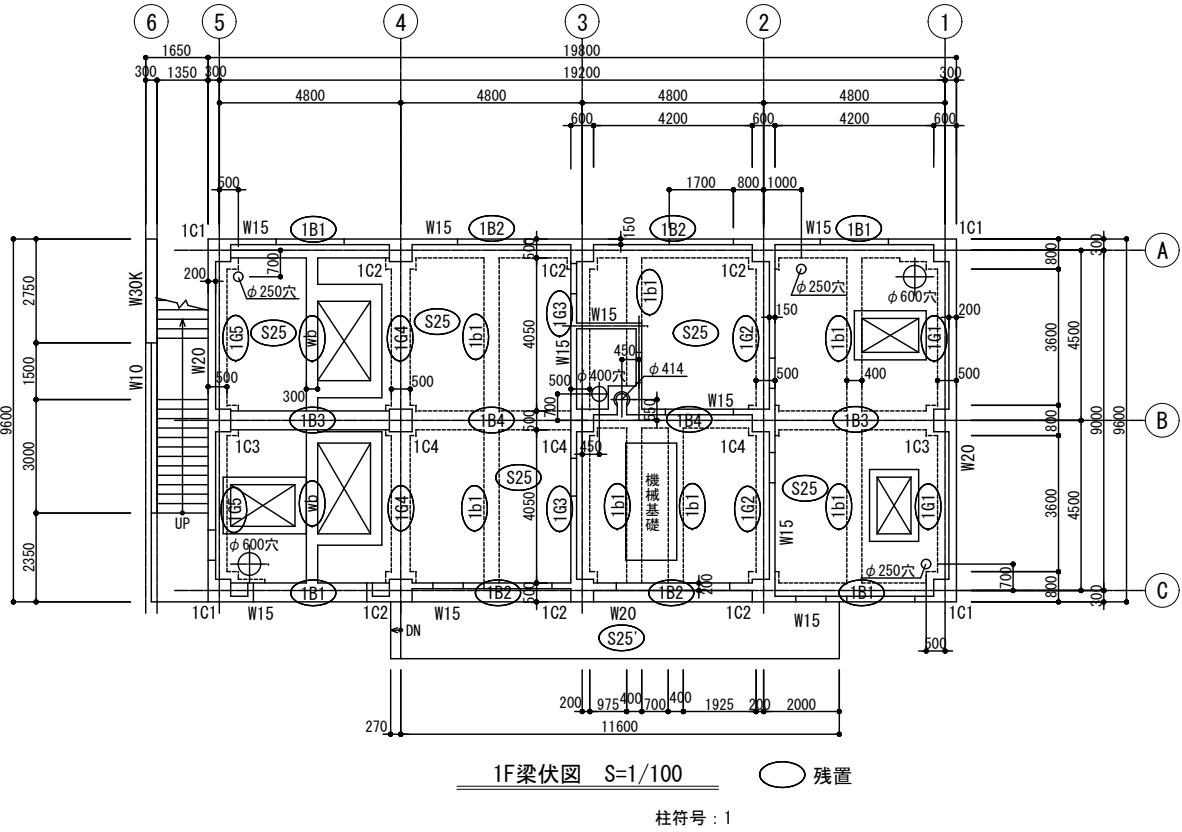
柱符号 : B1



杭頭処理詳細図 S=1/20 (残置)

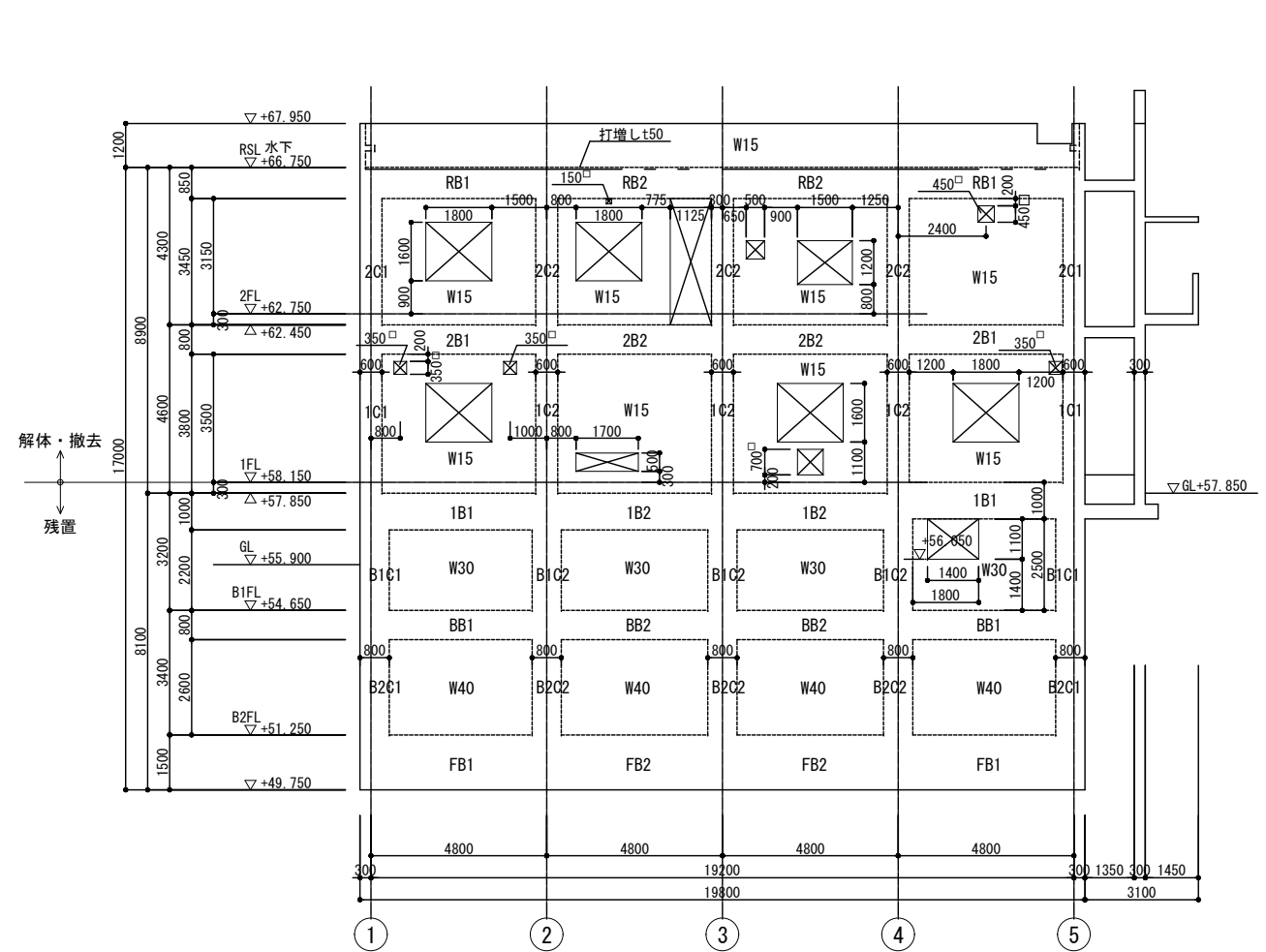
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟杭配置・梁伏図 (1)		
縮尺	1/100 1/20	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1S-1

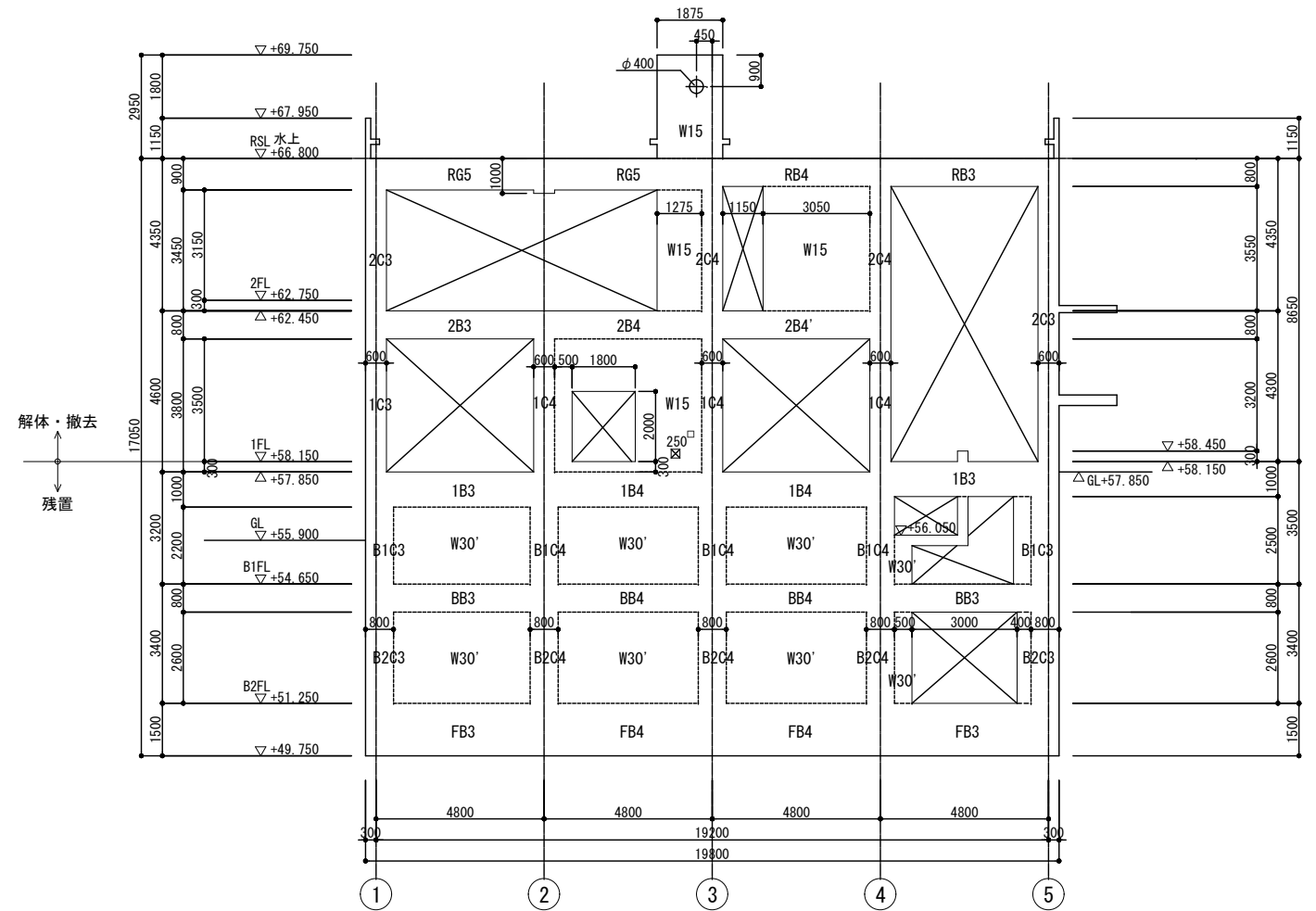


※ 特記なき限り解体・撤去とする

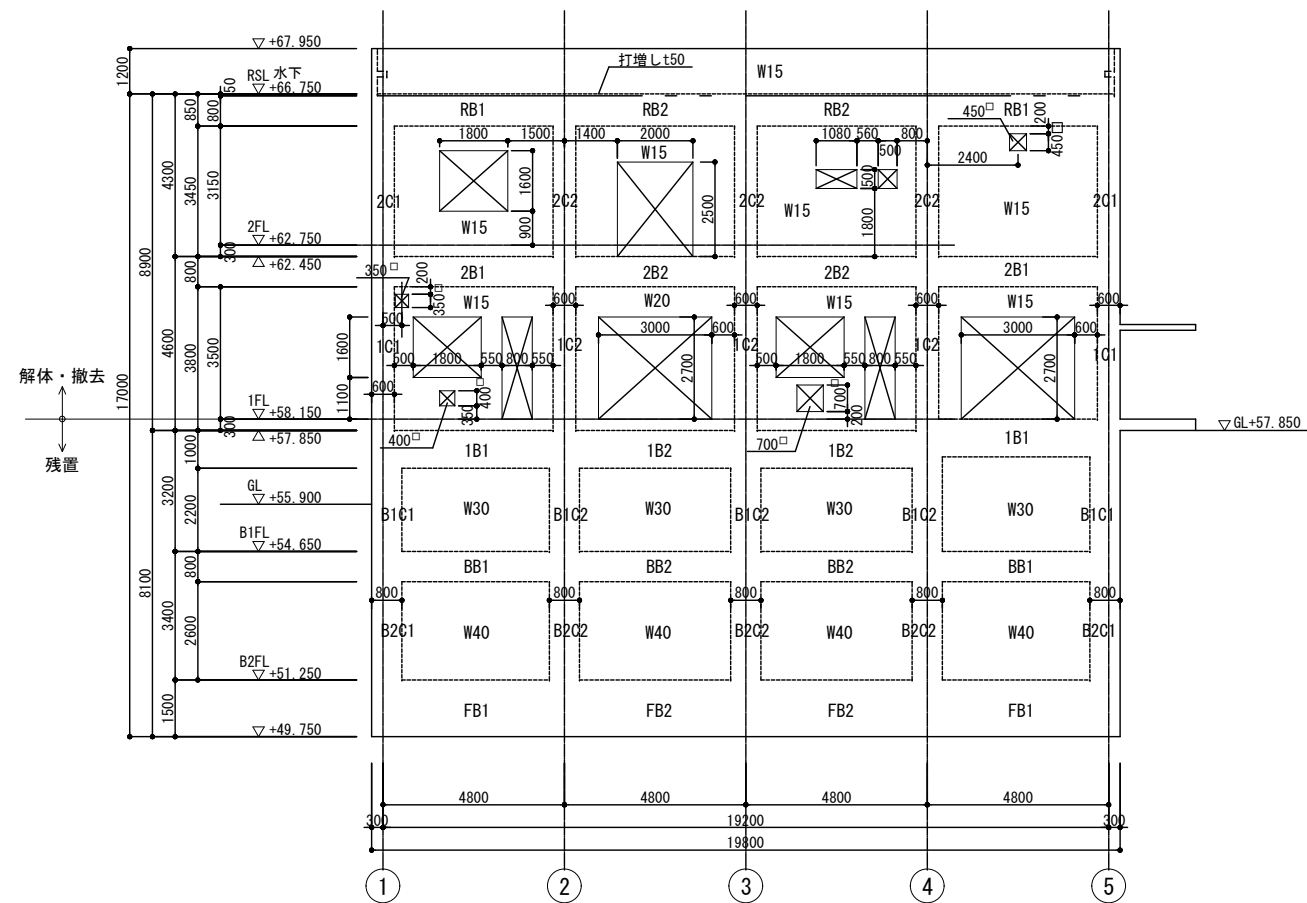
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟梁伏図(2)		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	1S-2



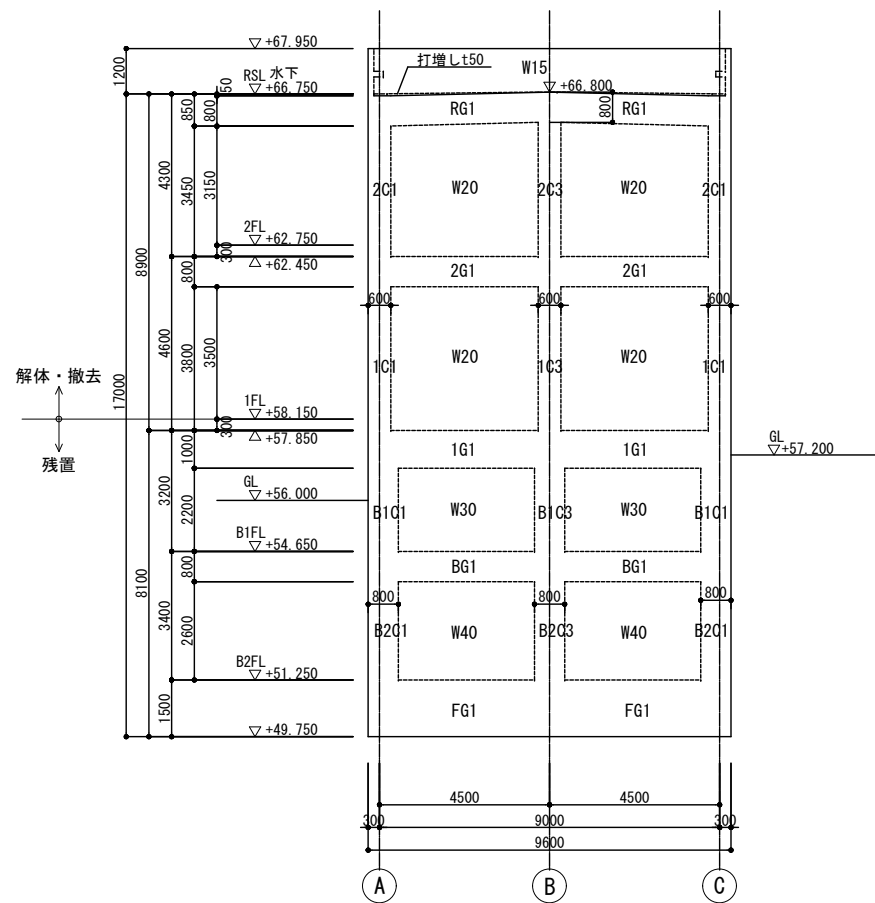
(A) 通 軸組図 S=1/100



(B) 通 軸組図 S=1/100

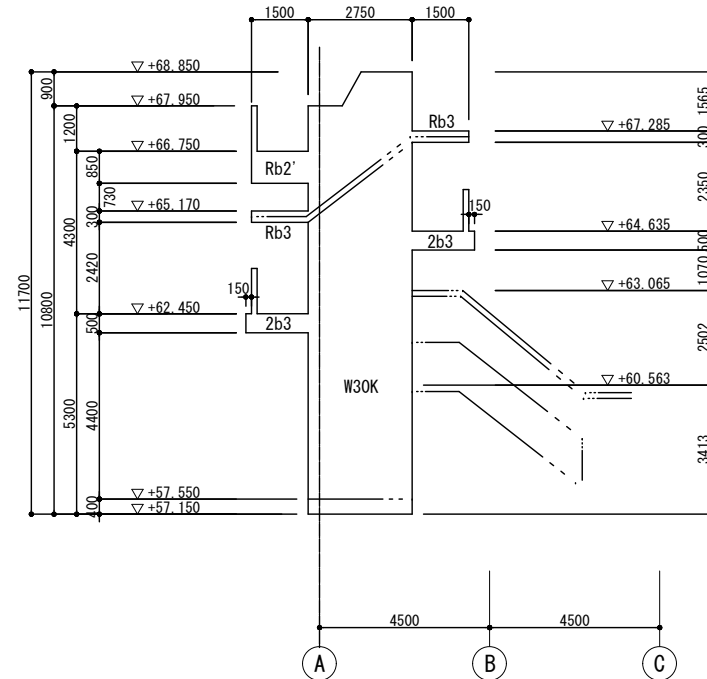
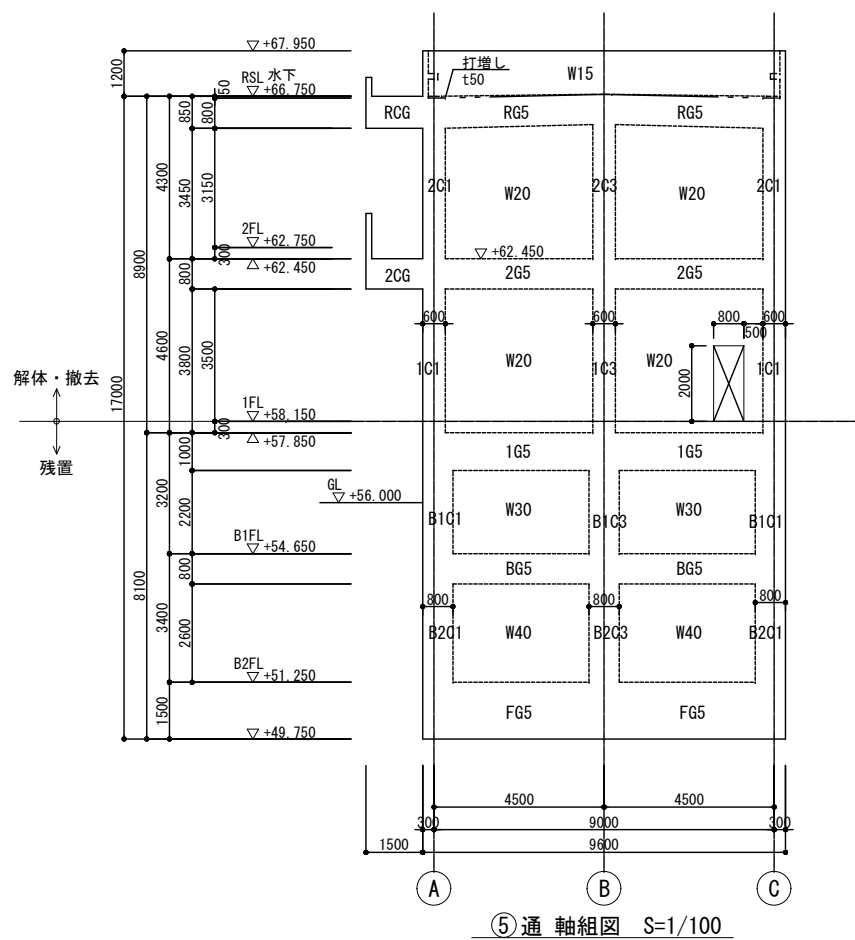
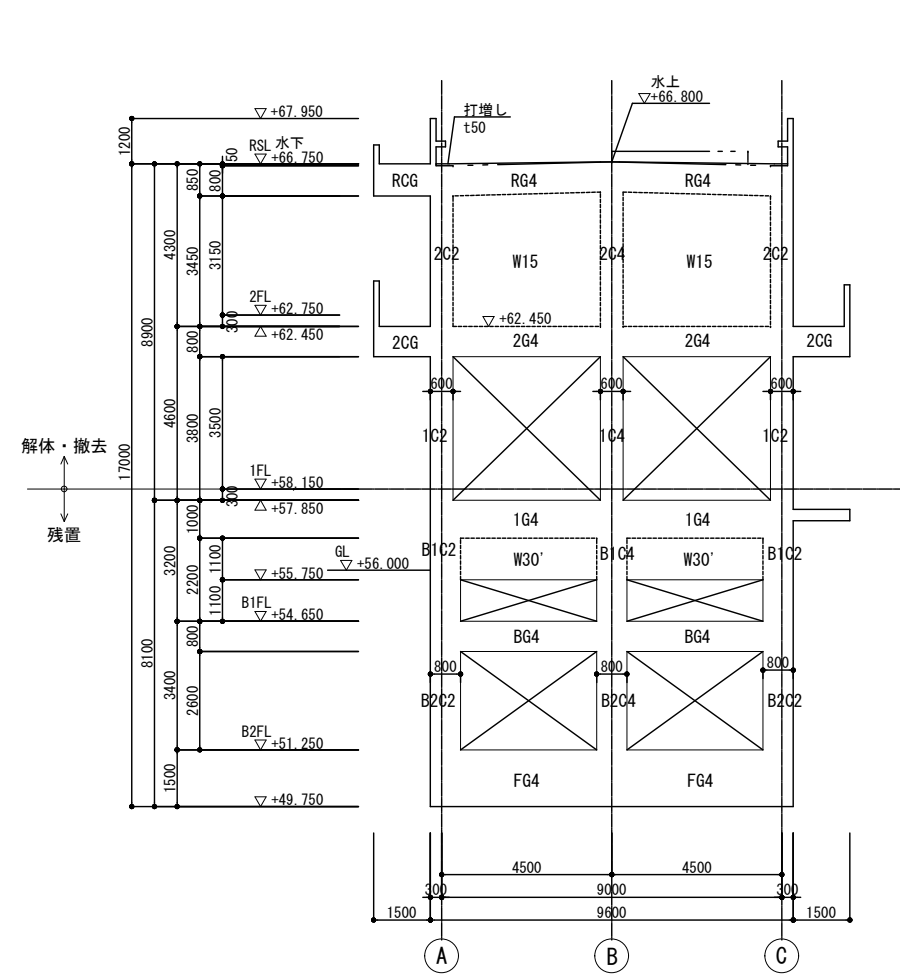
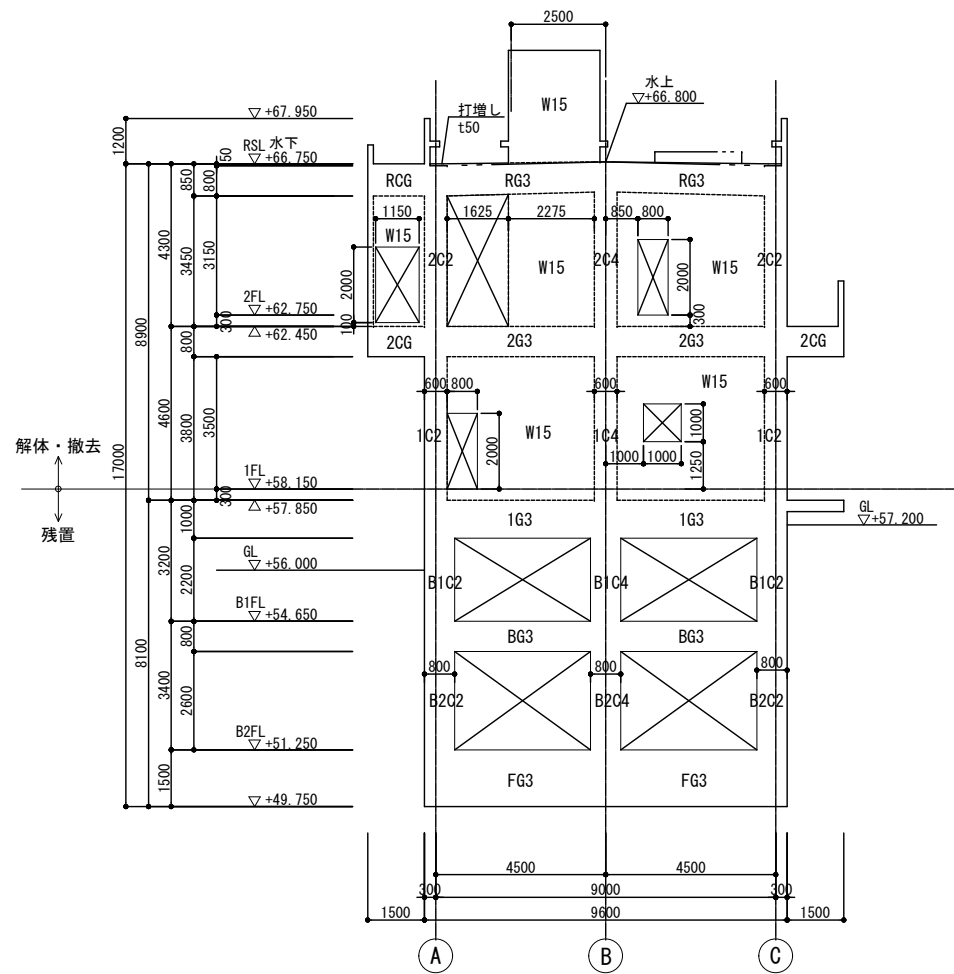
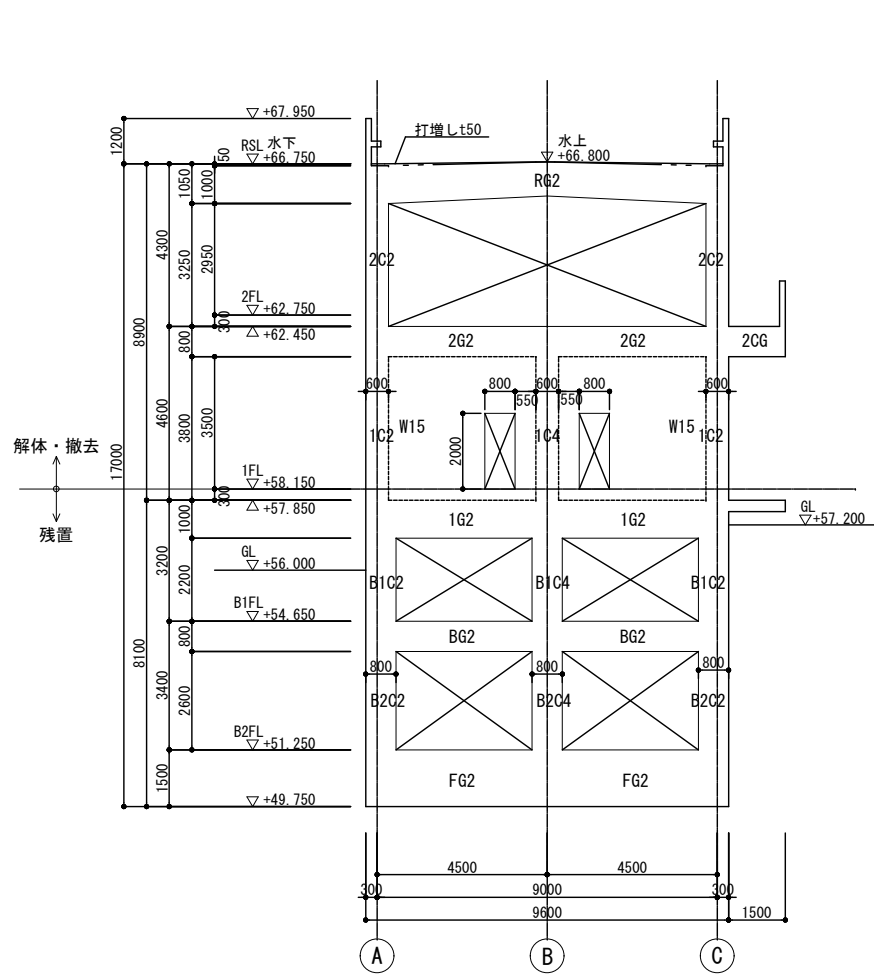


(C) 通 軸組図 S=1/100

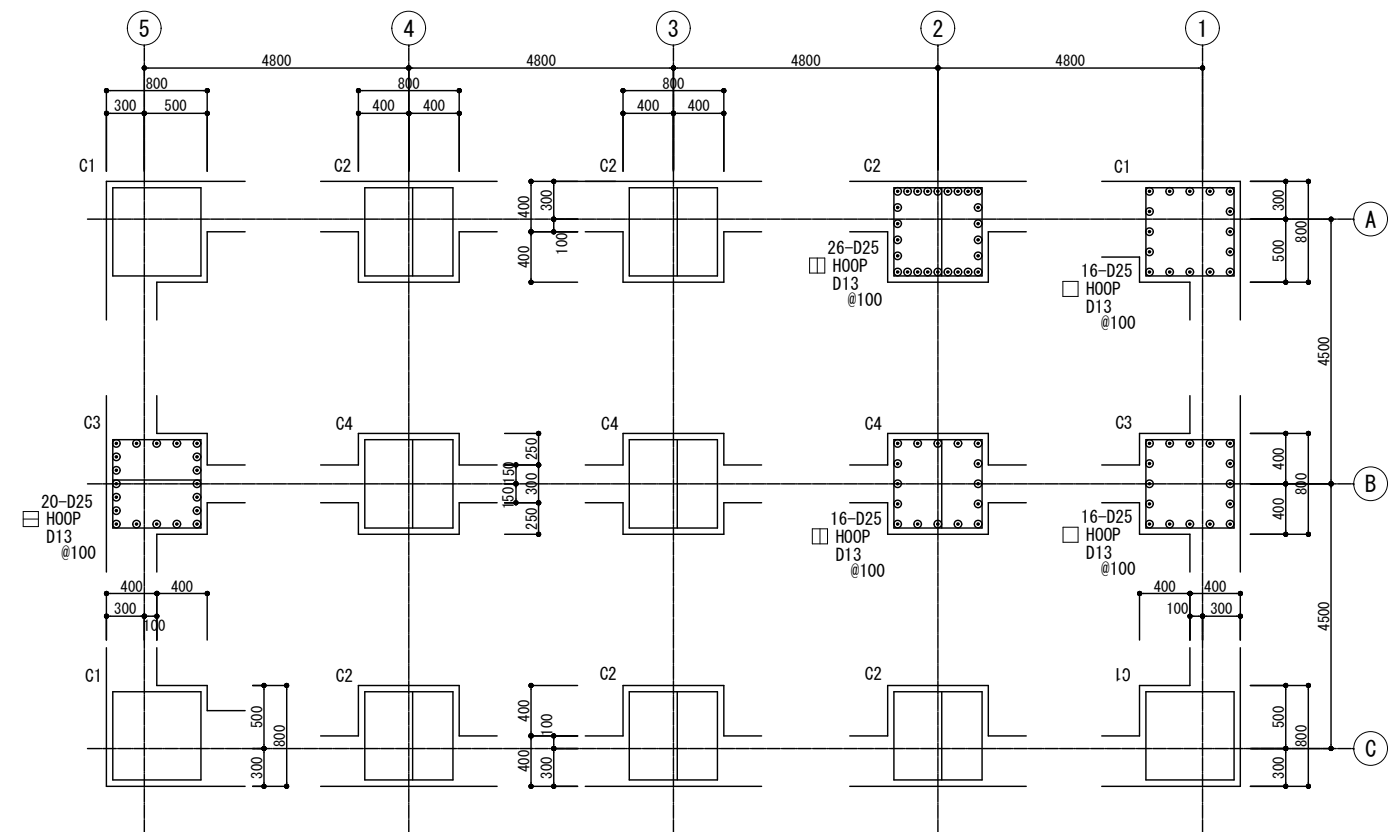


(1) 通 軸組図 S=1/100

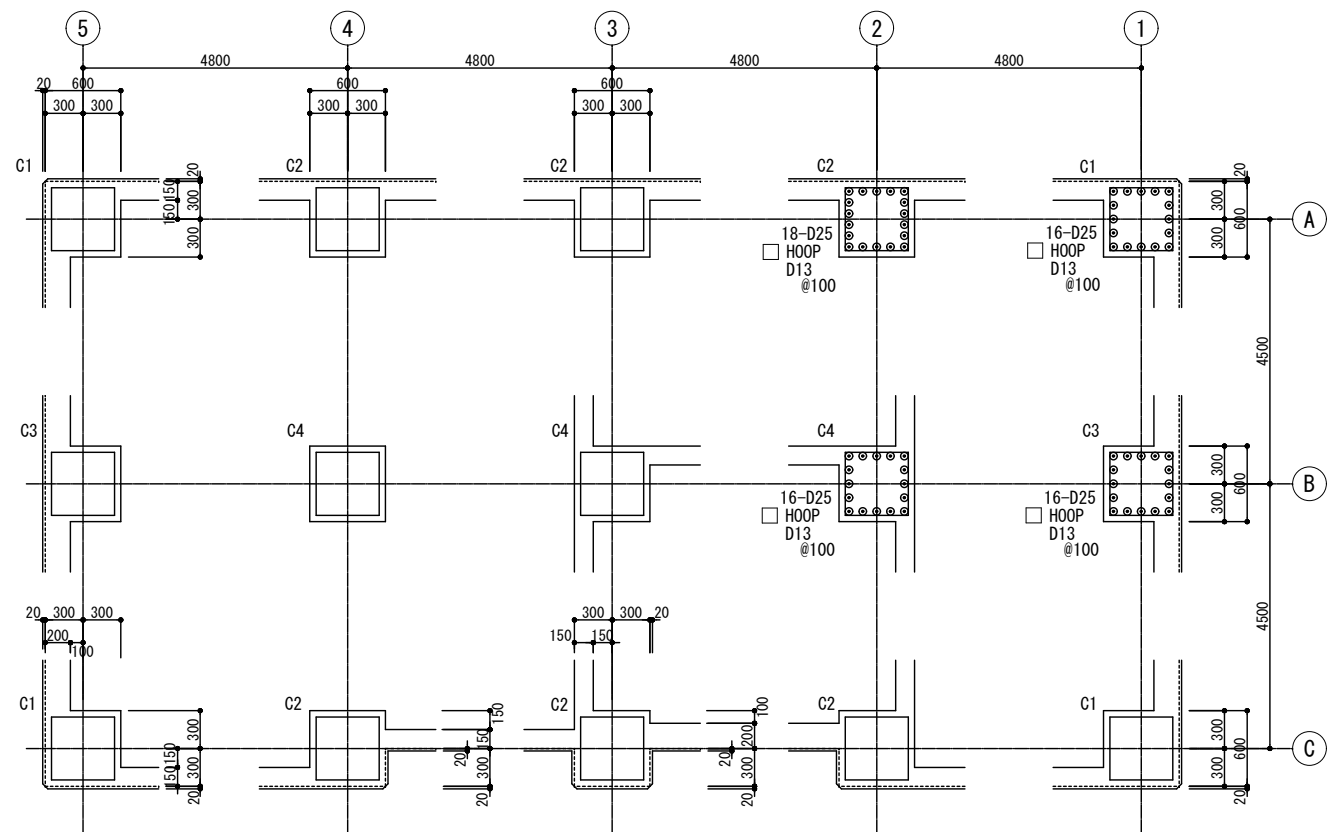
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟軸組図 (1)		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	1S-3



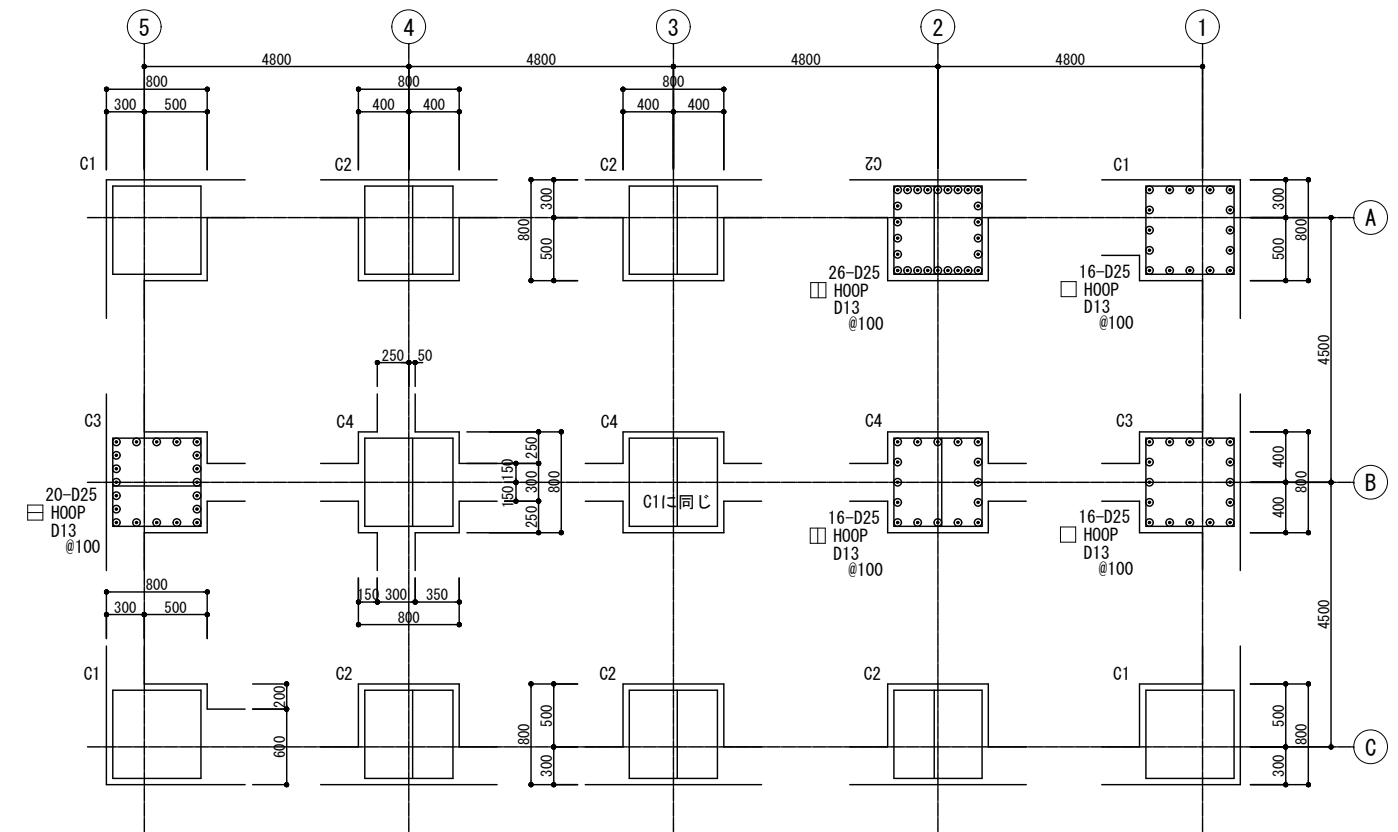
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟軸組図(2)		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	1S-4



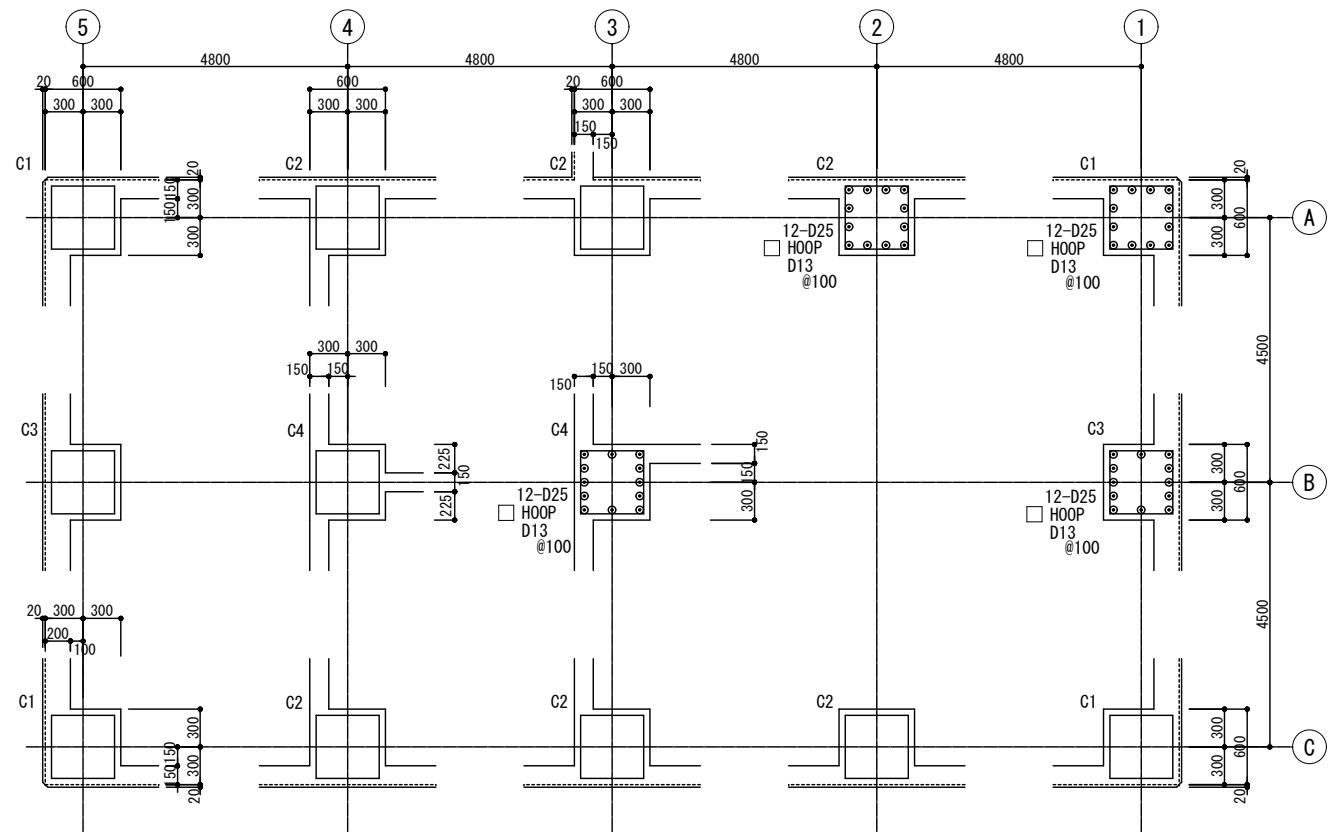
B2F 柱 S=1/30 (残置)
符号 : B2C



1F 柱 S=1/30
符号 : 1C



B1F 柱 S=1/30 (残置)
符号 : B1C



2F 柱 S=1/30
符号 : 2C

柱断面リスト
柱配置図 SD-30

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟柱断面リスト		
縮尺	1/30	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	1S-5

※ 特記なき限り解体・撤去とする

RF梁	符 号	RG1, 3, 4, 5		RG2		RB1, 2		RB3, 4			RB5		RCG	Rb1	Rb2	Rb3	2F梁	符 号	2G1, 5		
		端 部	中央部	端 部	中央部	端 部	中央部	外 端	中央部	内 端	端 部	中央部	全断面	全断面	全断面	全断面			外 端	中央部	内 端
	B × D	500 × 800		500 × 1000		500 × 800		500 × 800			500 × 900		500 × 800	400 × 600	250 × 800	300 × 300		B × D	500 × 800		
	上 筋	4 - D22	2 - D22	4 - D25	3 - D25	4 - D22	2 - D22	5 - D22	4 - D22	7 - D22	5 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D19	3 - D19	3 - D19		上 筋	5 - D22	3 - D22	4 - D22
	断 面							④通⑤通		③通				Rb2' 300×800				断 面			
下 筋	2 - D22	4 - D22	3 - D25	5 - D25	2 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	5 - D22	2 - D22	3 - D19	2 - D19	2 - D19	2 - D19	下 筋	4 - D22	4 - D22	3 - D22	
腹 筋	2 - D13		4 - D13		2 - D13		2 - D13			4 - D13		2 - D13	2 - D13	2 - D13	—	—	腹 筋	2 - D13			
S.T.P.	D13 @200		D13 @200		D13 @200		D13 @200			D13 @200		D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D10 @200	S.T.P.	D13 @200			
巾止筋	D13 @1000		D13 @1000		D13 @1000		D13 @1000			D13 @1000		D13 @1000	D13 @1000	D13 @1000	D13 @1000	—	巾止筋	D13 @1000			

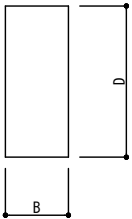
2F梁	符 号	2G2, 3, 4			①⑤	2B1, 2			①④	2B3, 4, 4'			2CG	2b1		2b2	3b3	1F梁	符 号	1G1, 5	2G1, 5		
		外 端	中央部	内 端		外 端	中央部	内 端		外 端	中央部	内 端	全断面	端 部	中央部	全断面	全断面			全断面	外 端	中央部	内 端
	B × D	500 × 800				500 × 800				500 × 800			500 × 800	500 × 900		250 × 800	300 × 500		B × D	500 × 1000	500 × 1000		
	上 筋	7 - D22	4 - D22	4 - D22	7 - D22	4 - D22	6 - D22	①通④通	7 - D22	4 - D22	6 - D22	4 - D22	6 - D19	4 - D19	3 - D19	4 - D19	上 筋		4 - D25	7 - D25	4 - D25	5 - D25	
	断 面							①通④通									断 面						
下 筋	4 - D22	4 - D22	3 - D22	6 - D22	4 - D22	4 - D22	6 - D22	4 - D22	4 - D22	2 - D22	4 - D19	4 - D19	2 - D19	2 - D19	—	—	下 筋	4 - D25	7 - D25	4 - D25	4 - D25		
腹 筋	2 - D13			2 - D13			2 - D13			2 - D13	2 - D13		2 - D13	—	—	—	腹 筋	4 - D16	4 - D16				
S.T.P.	D13 @200			D13 @200			D13 @200			D13 @200	D13 @200		D13 @200	D13 @200	D10 @200	—	S.T.P.	D13 @200	4 - D13 @200				
巾止筋	D13 @1000			D13 @1000			D13 @1000			D13 @1000	D13 @1000		D13 @1000	D13 @1000	—	—	巾止筋	D13 @1000	D13 @1000				

1F梁	符 号	1B1, 2, 3, 4		RG2		1Bb		BF梁	符 号	BB1, 5		BB1, 2		BG2, 3, 4		BB3, 4	
		全断面	外端	中央部	内 端	全断面			外 端	中央部	内 端	端 部	中央部	全断面	全断面	全断面	
	B × D	500 × 1000	400 × 700	400 × 700	300 × 2100	300 × 2100	B × D		400 × 700	800 × 800	800 × 800	500 × 800	500 × 800	500 × 800	500 × 800	500 × 800	
	上 筋	4 - D25	3 - D19	3 - D19	5 - D19	3 - D25	上 筋		4 - D25	4 - D25	4 - D25	7 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	
	断 面						断 面										
下 筋	4 - D25	3 - D19	3 - D19	5 - D19	5 - D25	下 筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25			
腹 筋	4 - D16	2 - D13		18 - D13 @200		腹 筋	4 - D25	4 - D25		4 - D25		2 - D16		2 - D16			
S.T.P.	D13 @200	D13 @200		D13 @200		S.T.P.	□ D13 @200		□ D13 @200		D13 @200		D13 @200	D13 @200			
巾止筋	D13 @1000	D13 @1000		D13 @1000		巾止筋	—		—		D13 @1000		D13 @1000	D13 @1000			

基礎梁	符 号	FG1, 5		FB1, 2		FG2, 3, 4			FB3			FB4		地下埋設部
		端 部	中央部	外 端	中央部	内 端	外 端	中央部	内 端	端 部	中央部			
	B × D	600 × 1500		600 × 1500		600 × 1500			600 × 1500		600 × 1500			
	上 筋	5 - D25	7 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	5 - D25	8 - D25	5 - D25	5 - D25	7 - D25			
	断 面													
下 筋	7 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	9 - D25	7 - D25	5 - D25	10 - D25	10 - D25	5 - D25				
腹 筋	6 - D16		6 - D16		6 - D16		6 - D16		8 - D16					
S.T.P.	D16 @200		D16 @100		D16 @200		D16 @100		D16 @100					
巾止筋	D13 @1000		D13 @1000		組立筋 D16 @200		D13 @1000		組立筋 D16 @200					

事 業 名	令和8年度 公共下水道事業
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内
名 称	汚泥処理棟梁リスト

残置を示す

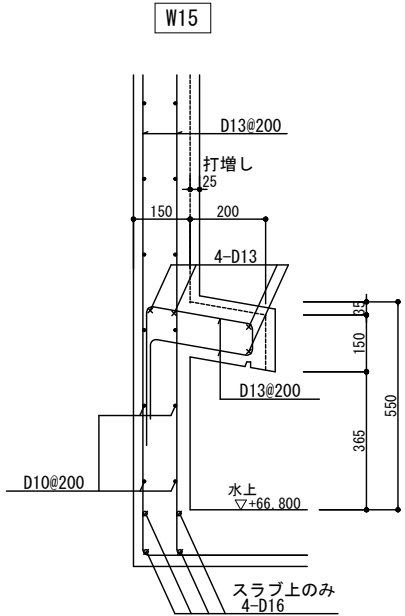
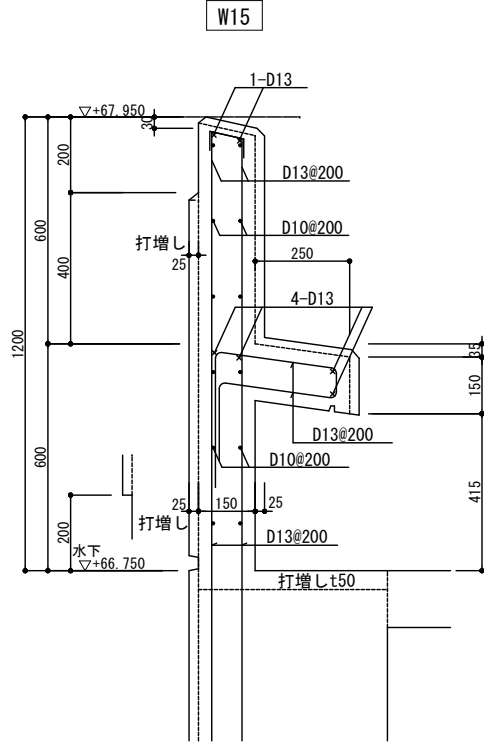
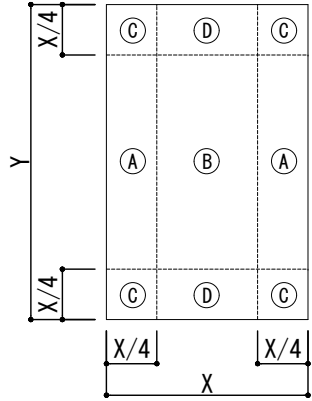


事 業 名	令和8年度 公共下水道事業		
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名 称	汚泥処理棟梁リスト		
縮 尺	1/30	設計年月	令和 年 月
工 種	設 計 者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1S-6



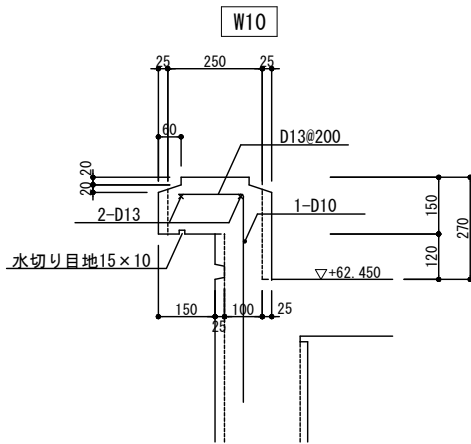
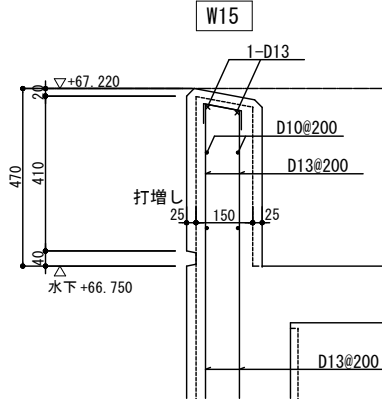
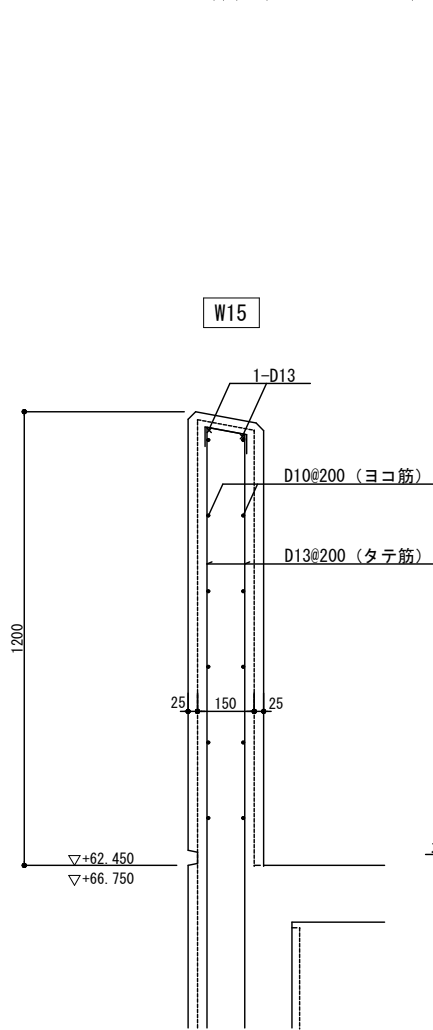
残置を示す

符号	厚さ	主筋				副筋			
		中央部		端部		中央部		端部	
		端部 (A)	中央部 (B)	(C)	(D)	端部 (D)	中央部 (B)	(A)	(C)
FS70	* 700	上筋	D19 @200	D19 @200	D19 @200	D19 @200	D19 @200	D19 @200	D19 @200
		下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
BIS30	* 300	上筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
		下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
IS25	* 250	上筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
		下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
IS25'	* 250	上筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
		下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
2S20	* 200	上筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
		下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
2S15	* 150	上筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
	RS15	下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
2S15'	* 150	上筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
	RS15'	下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
S15K	* 150	上筋	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
	階段部 全般	下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
BIS40	* 400	上筋	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D16 @200	D16 @200
		下筋	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑



残置を示す

符 号	W40	W30 30'	W30K	W20	W15
断 面					
平 面					
縦筋	D19 @200	(D13 @200) D16 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
横筋	D16 @200	(D13 @200) D13 @200	HOOP D10 @200	D10 @200	D10 @200
開口 補強筋	縦筋	2 - D22 (2 - D16)	2 - D16	2 - D16	2 - D16
	横筋	2 - D22 (2 - D16)	2 - D16	2 - D16	2 - D16
	ダイヤ筋	2 - D22 (2 - D16)	2 - D16	2 - D16	2 - D16
巾止筋	D13 @1000	(D13 @1000) D13 @1000	D10 @1000	D10 @1000	D10 @1000
備 考				パラペット除く 詳細図参照	



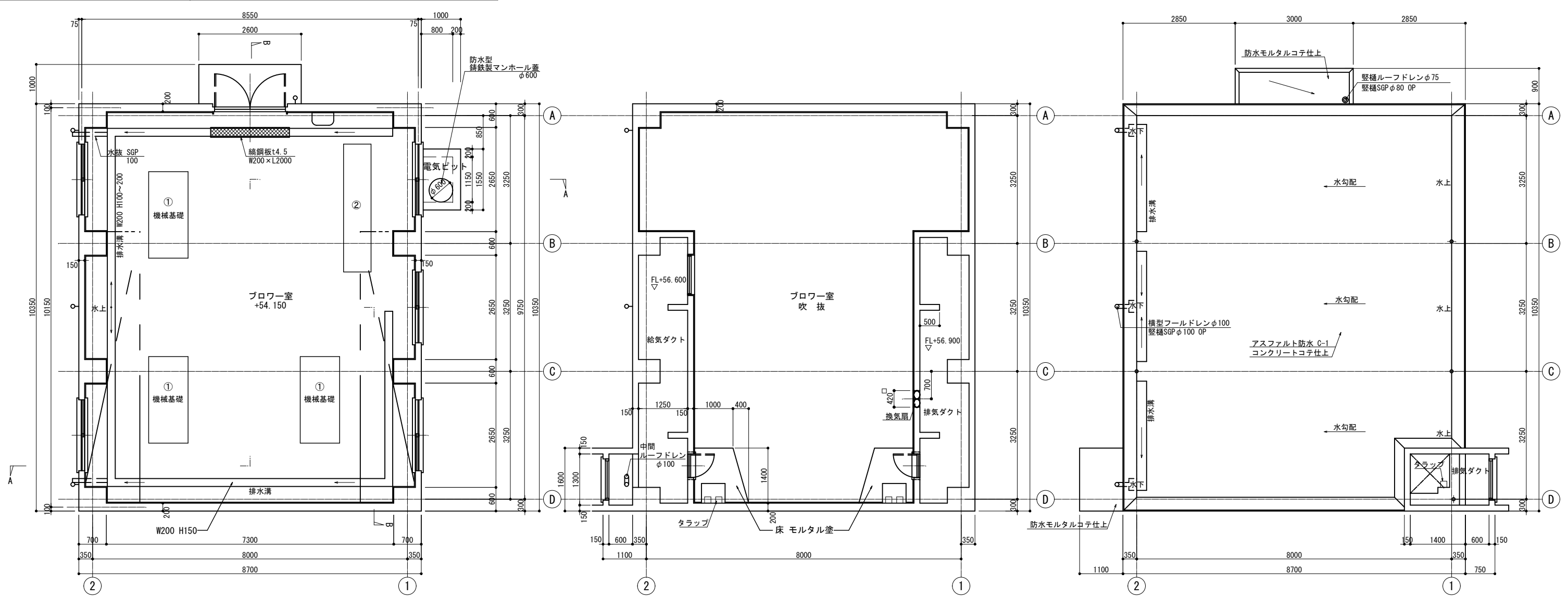
事業名	令和8年度 公共下水道事業
工事名	旧高花平浄化センター解体工事
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内
名称	汚泥処理棟スラブ・壁リスト、雑配筋図
縮尺	1/30 設計年月 令和 年 月
工種	設計者
事業主体	四日市市 上下水道局 図面番号 1S-7

※ 特記なき限り解体・撤去とする

外 部 仕 上 表										
床	腰	外 壁	屋 根	パラペット	バルコニー		ひ さ し			備 考
					床	手すり	上 端	は な	軒 天	
モルタルコテミガキ	腰壁 合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有)	壁柱梁 合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有)	コンクリートコテ仕上 アスファルト防水 C-1	コンクリート金コテ仕上			防水モルタルコテ仕上	合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有)	合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有)	縦樋SGP φ100, φ80 OP ルーフトレン φ100 φ75 OP

内 部 仕 上 表																								
階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁					天 井					備 考	
		下 地	仕 上	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下地	仕 上	高 さ	詳細番号	梁型仕上		詳細番号
1	ブロー室	無筋C t200	コンクリートコテ仕上		C	合板型枠打放し	200		C	モルタルコテミガキ VP	1350		C	モルタルコテミガキ		モルタルコテミガキ		C	木毛板 t25 パーライト吹付t10			モルタルコテミガキ		縞鋼板、タラップ
	給気ダクト 排気ダクト	C	コンクリートコテ仕上		C	合板型枠打放し			C	合板型枠打放し			C	合板型枠打放し		合板型枠打放し		C	木毛板 t25			合板型枠打放し		

凡例		注記																	
C	コンクリート	仕上表内 () は、アスベスト含有が確認されたため、 施工時は石綿予防規則に則った工法で除去を行うこと。																	
OP	調合ペイント塗																		
VP	塩化ビニールペイント塗																		



1F 平面図 S=1/50

平面図 S=1/50
+56.600 LEVEL

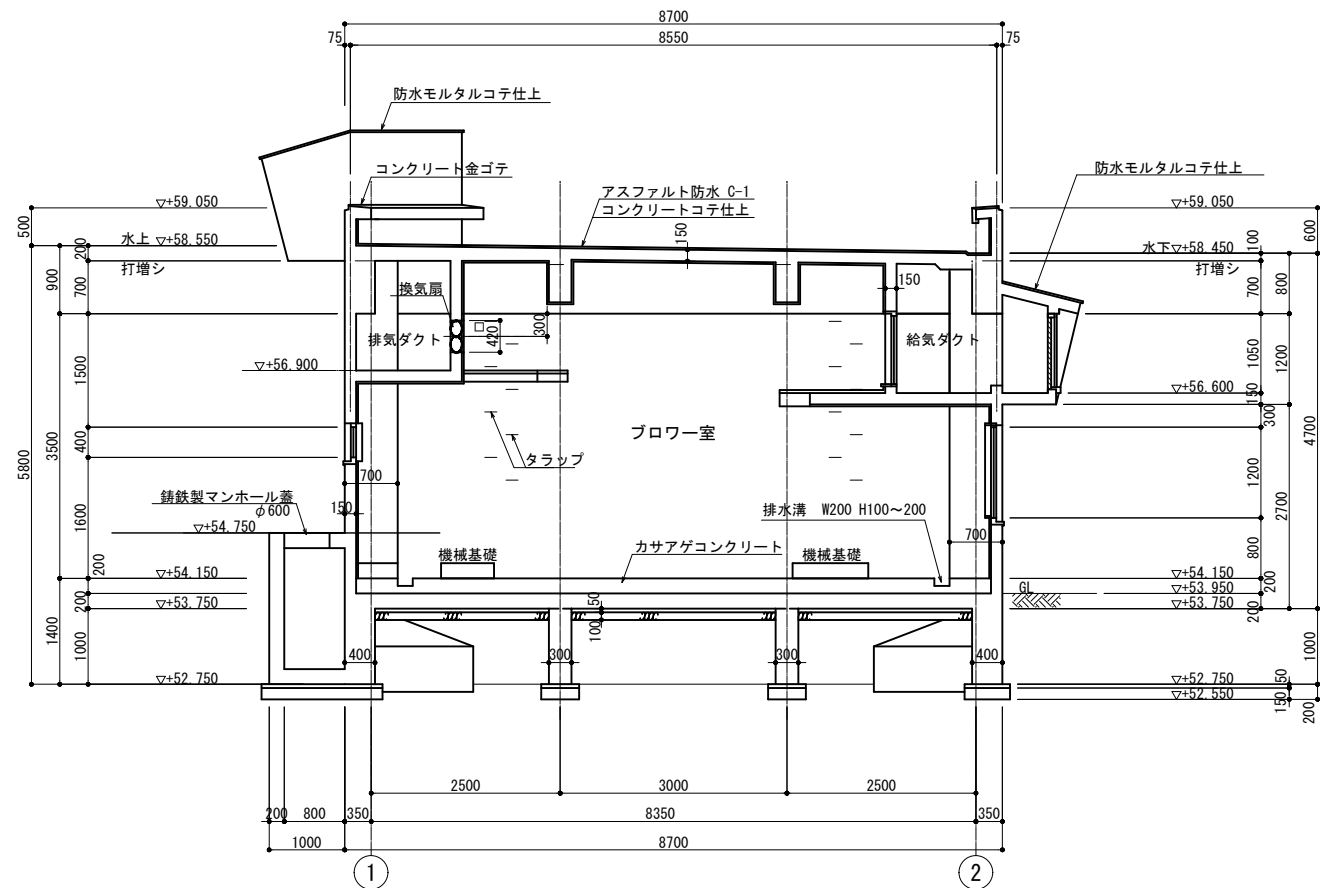
屋根平面図 S=1/50

基礎寸法

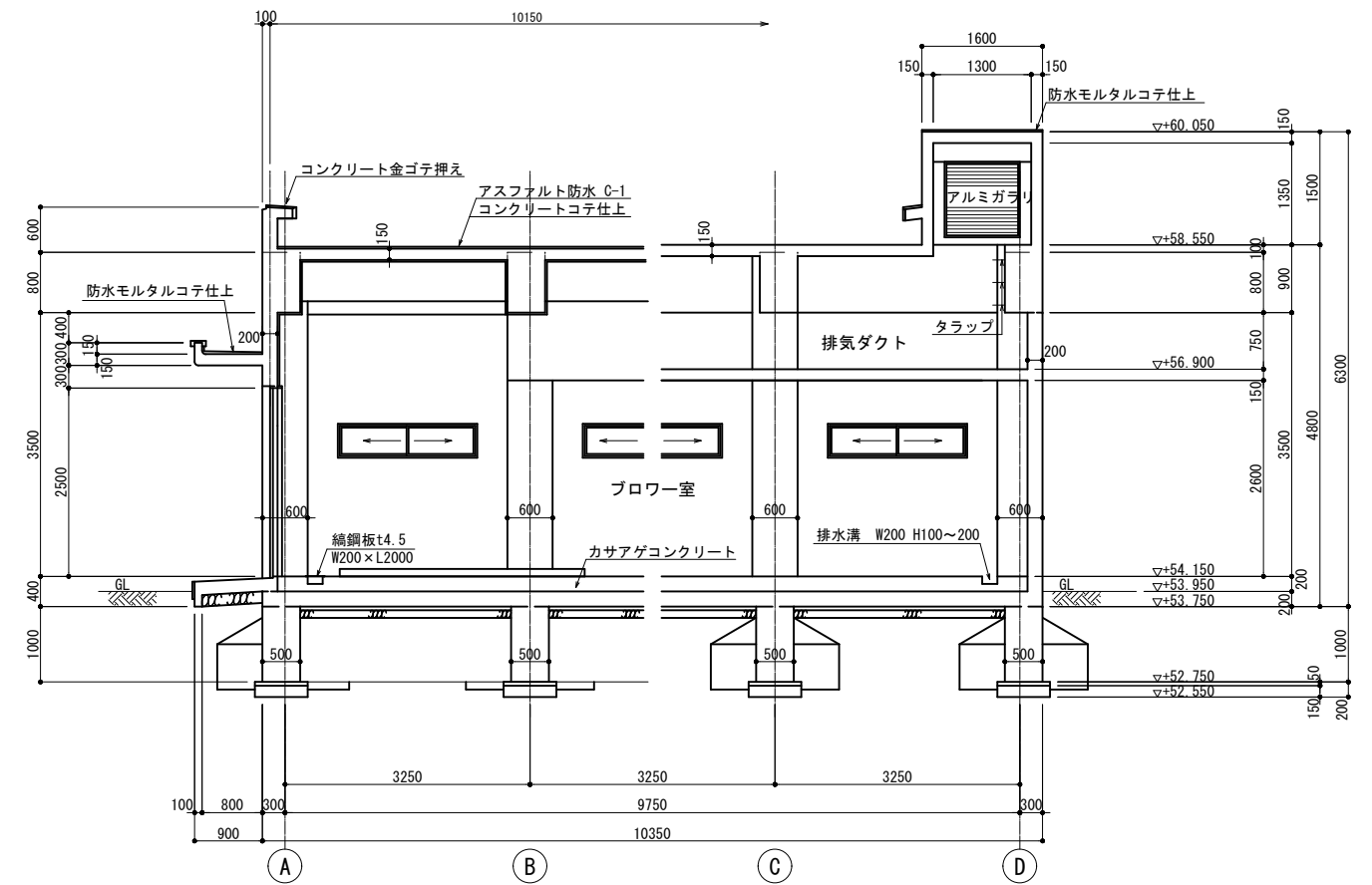
①	W2200×D1000×H200
②	W3250×D700×H150

※ 全体・撤去とする

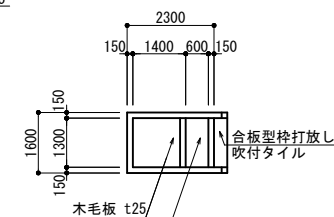
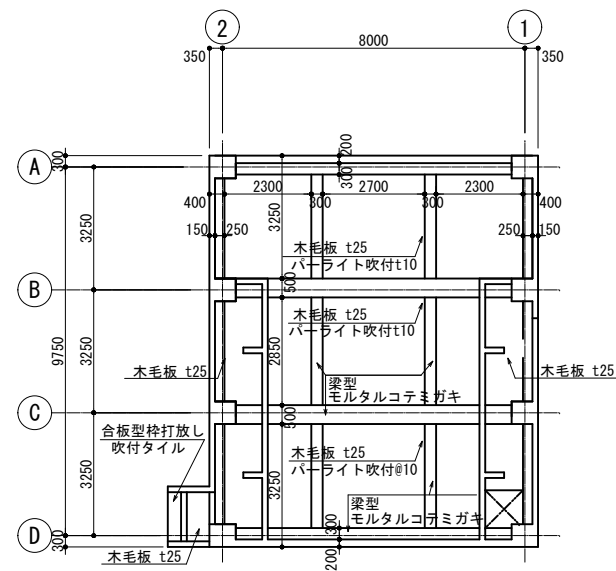
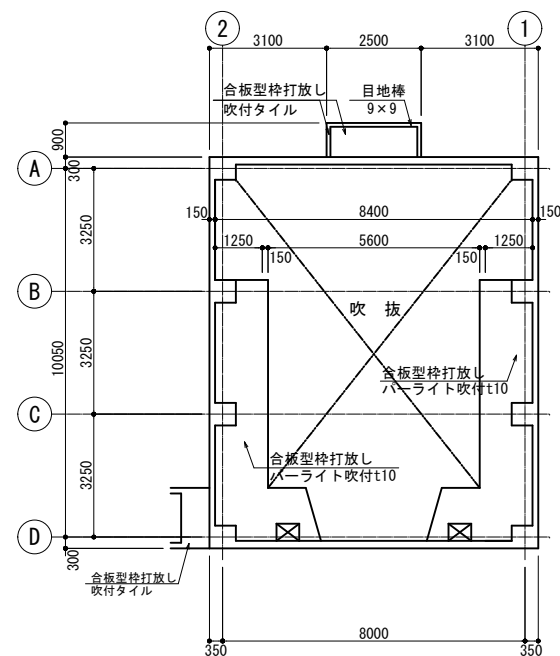
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	ブロー室仕上表、平面図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	2A-1



A - A 断面図 S=1/50



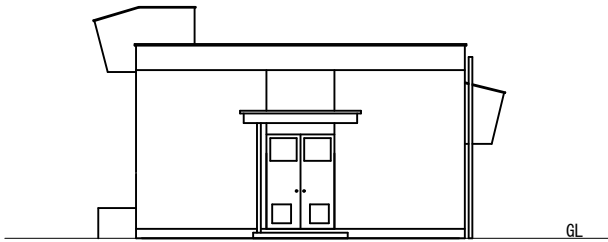
B - B 断面図 S=1/50



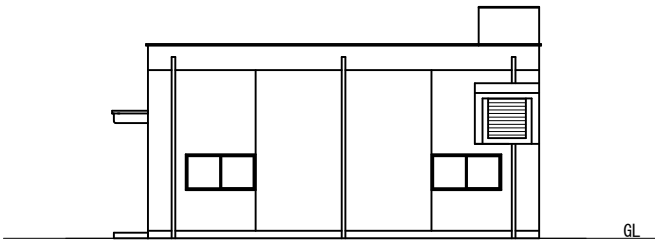
天井伏図 S=1/100

※ 全解体・撤去とする

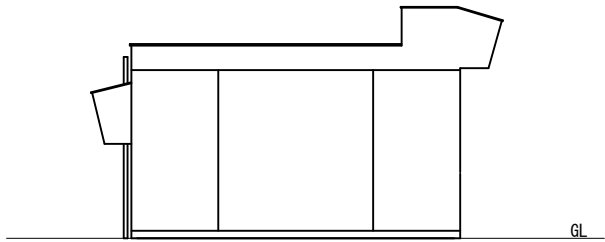
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	ブロー室断面図、天井伏図		
縮尺	1/50, 100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	2A-2



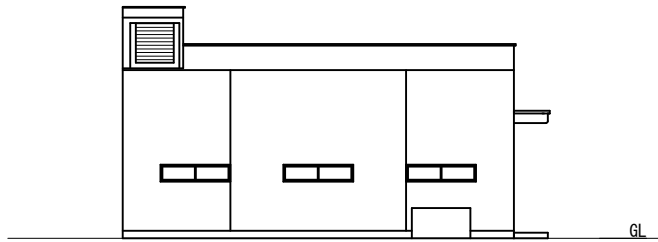
東 面



北 面



西 面



南 面

立 面 図 S=1/100

壁 打増シ t25 合板型枠打放し 吹付タイル
巾木 H 200 合板型枠打放し

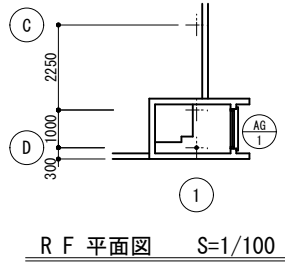
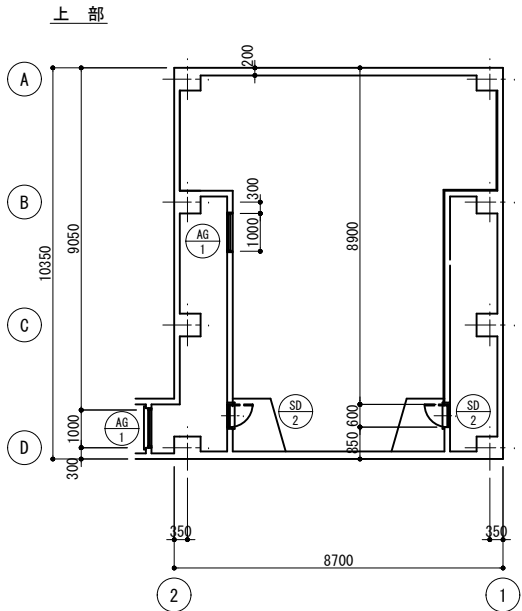
建 具 表 S=1/50

外部 コーキング シーリング材 10×7 4辺

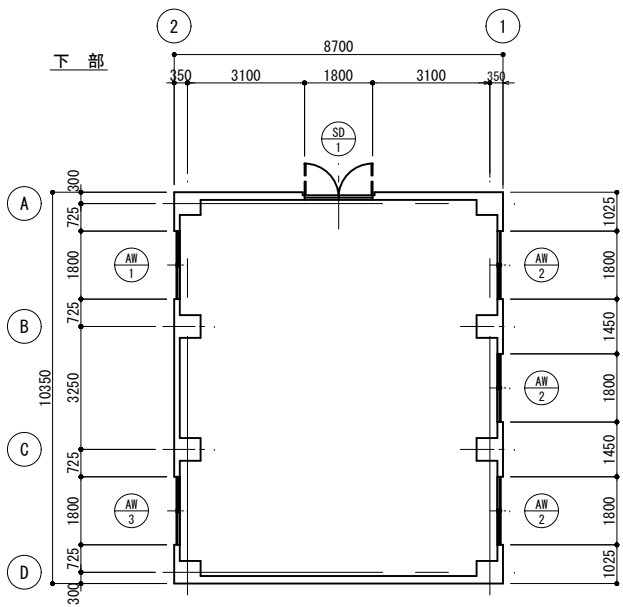
符号、名称、数量		(SD) ①	両開フラッシュドア ガラリ付 1	(SD) ②	片開フラッシュドア 2		
場 所		ブロー室		ブロー室			
形状、寸法							
区別、仕上(枠共)		OP		OP			
建具	見込	40	ガラリ付SG SUS-304 防虫金アミ張り #25 10メッシュ	40			
	硝子	網入硝子 6.8m/m		—			
	金物	ドアチェック、ステンレス製本締めモノロック、フランス落し、アームストッパー、蝶番3枚吊		アームストッパー、ステンレス製本締めモノロック、蝶番2枚吊			
建具枠見込 取合 沓擦		100	3辺片ガク縁 くつづり t2.0 SUS-304 <4-44-1>	70	くつづり t2.0 SUS-304 <4-44-1>		
その他							
符号、名称、数量		(AW) ①	引違いアルミサッシ 1	(AW) ②	引違いアルミサッシ 3	(AW) ③	アルミガラリ 3
場 所		ブロー室		ブロー室		給気、排気口	
形状、寸法							
区別、仕上(枠共)							
建具	見込						
	硝子	網入硝子 6.8m/m		網入硝子 6.8m/m		—	
	金物	クレセント、戸車 標準金物一式		クレセント、戸車 標準金物一式		標準金物一式 SUS-304 防虫金アミ張り #25 10メッシュ	
建具枠見込 取合 沓擦		アルミ水切 70 4辺片ガク縁 額縁膳板 アルミ押出型材 <4-51-2>		アルミ水切 70 4辺片ガク縁 額縁膳板 アルミ押出型材 <4-51-2>		70 アルミ水切	
その他							
符号、名称、数量		(AW) ④	引違いアルミサッシ 1	(AW) ⑤	引違いアルミサッシ 3	(AW) ⑥	アルミガラリ 3
場 所		ブロー室		ブロー室		給気、排気口	
形状、寸法							
区別、仕上(枠共)							
建具	見込						
	硝子	網入硝子 6.8m/m		網入硝子 6.8m/m		—	
	金物	クレセント、戸車 標準金物一式		クレセント、戸車 標準金物一式		標準金物一式 SUS-304 防虫金アミ張り #25 10メッシュ	
建具枠見込 取合 沓擦		アルミ水切 70 4辺片ガク縁 額縁膳板 アルミ押出型材 <4-51-2>		アルミ水切 70 4辺片ガク縁 額縁膳板 アルミ押出型材 <4-51-2>		70 アルミ水切	
その他							

※ 全解体・撤去とする

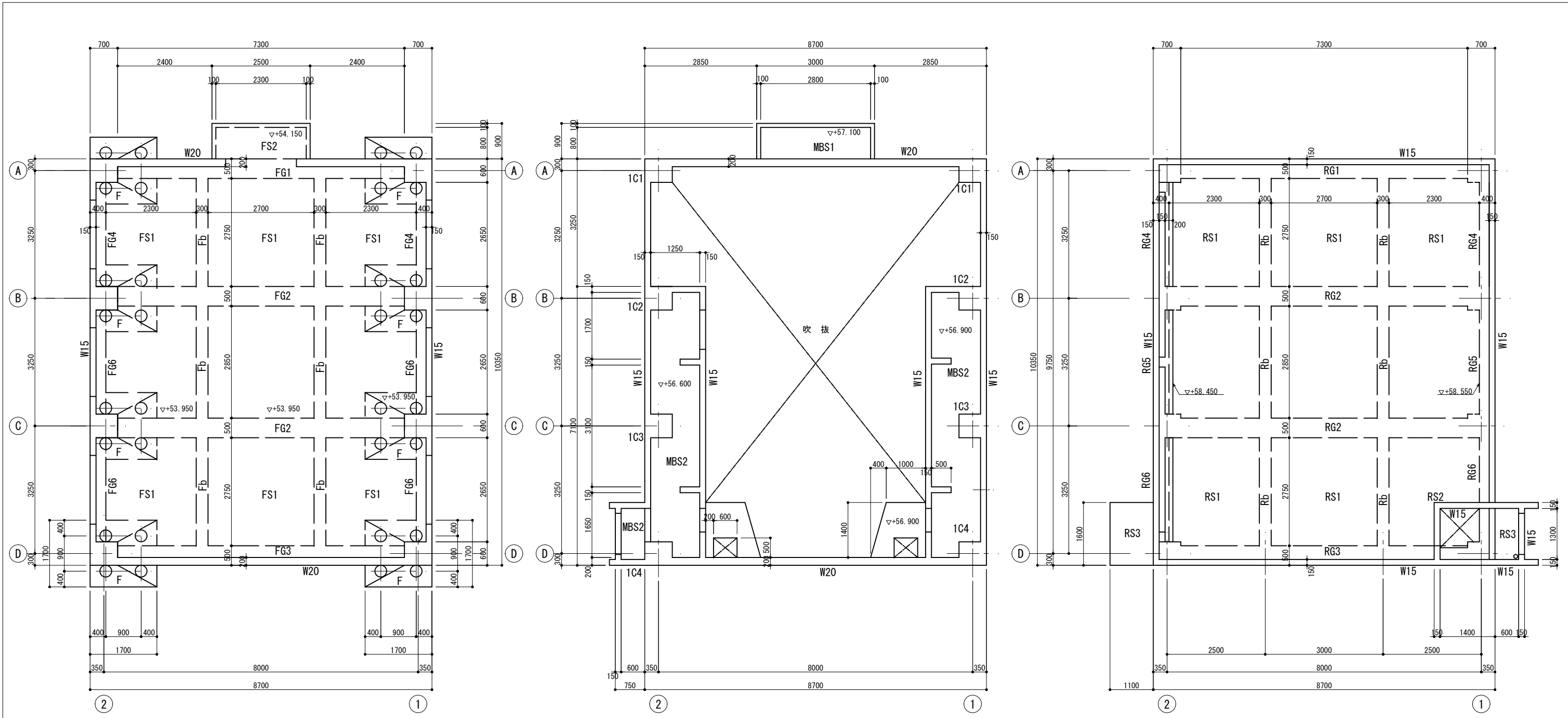
事 業 名	令和8年度 公共下水道事業		
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名 称	ブロー室 立面図、建具表		
縮 尺	1/100 1/50	設計年月	令和 年 月
工 種	設 計 者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	2A-3



R F 平面図 S=1/100



1 F 平面図 S=1/100

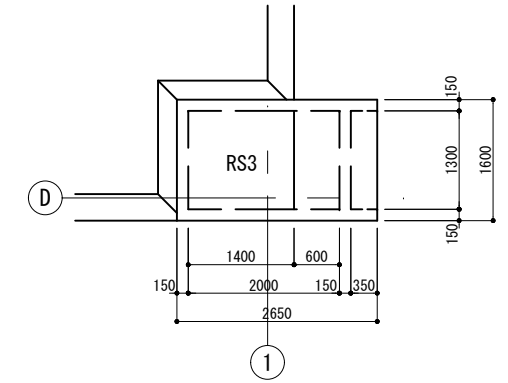


基礎伏図 S=1/50

中版スラブ平面図 S=1/50

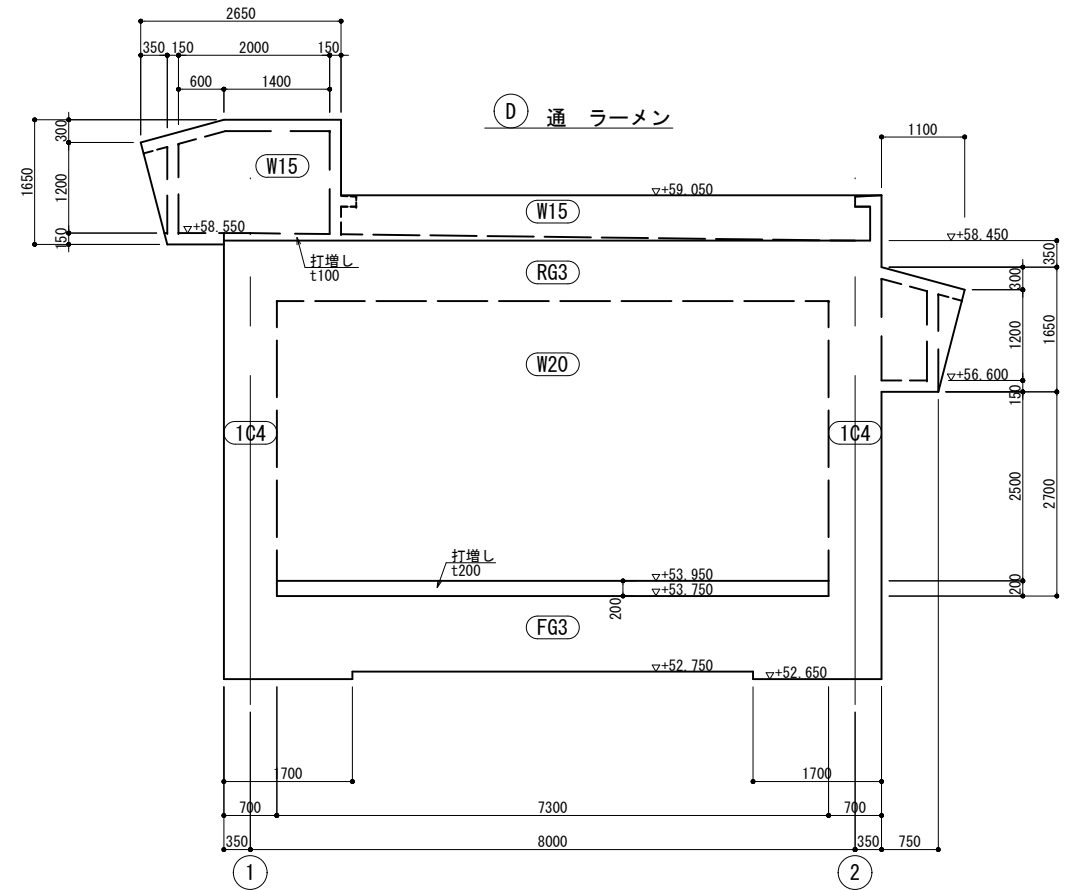
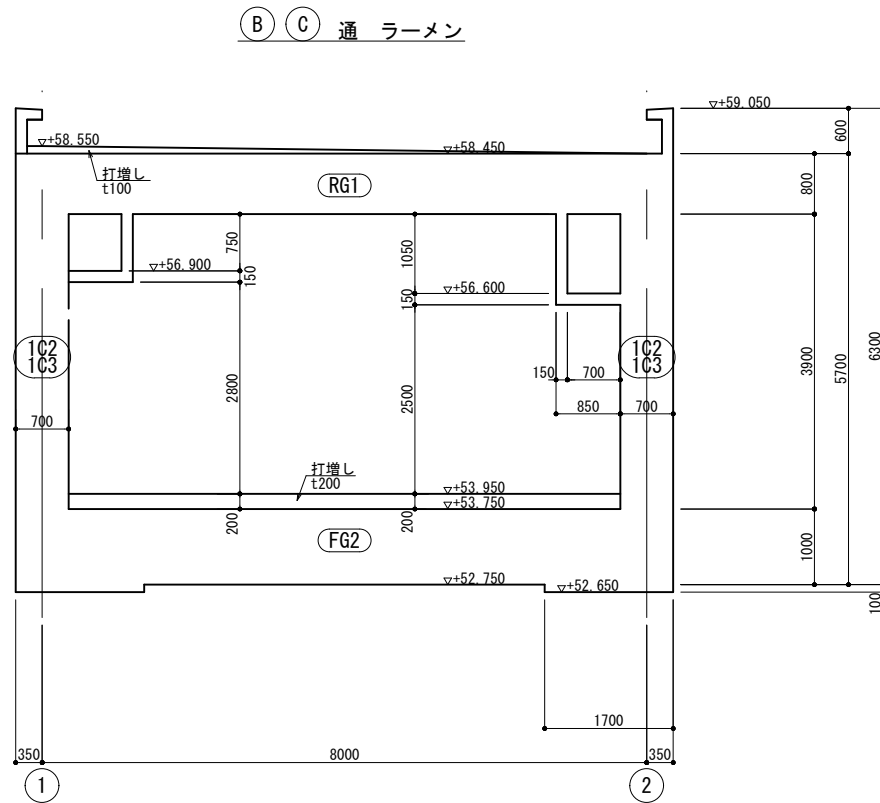
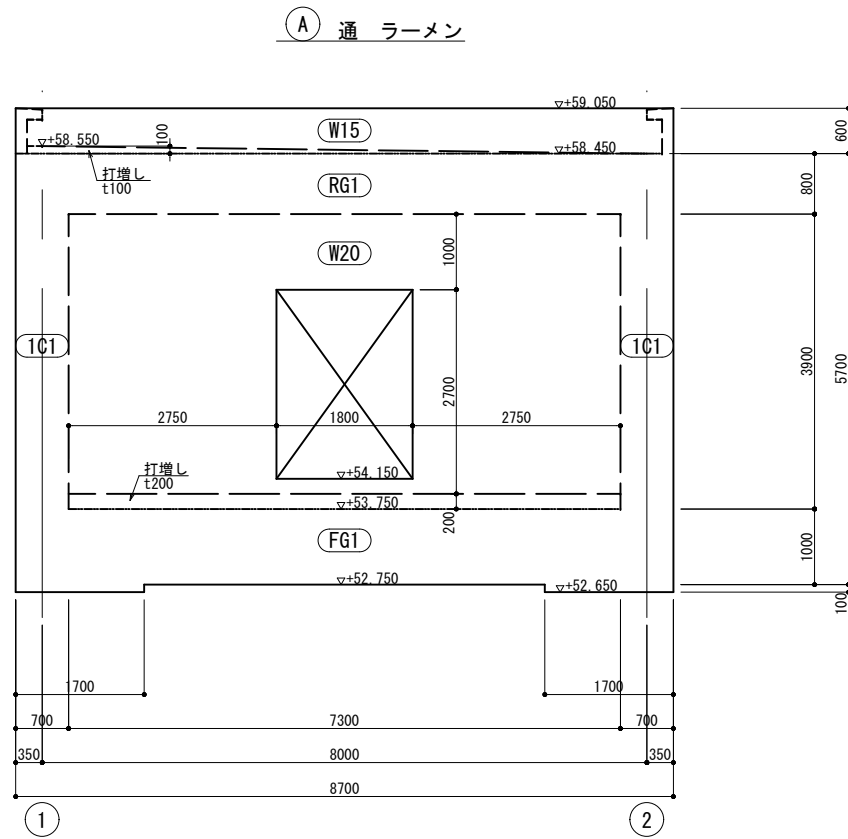
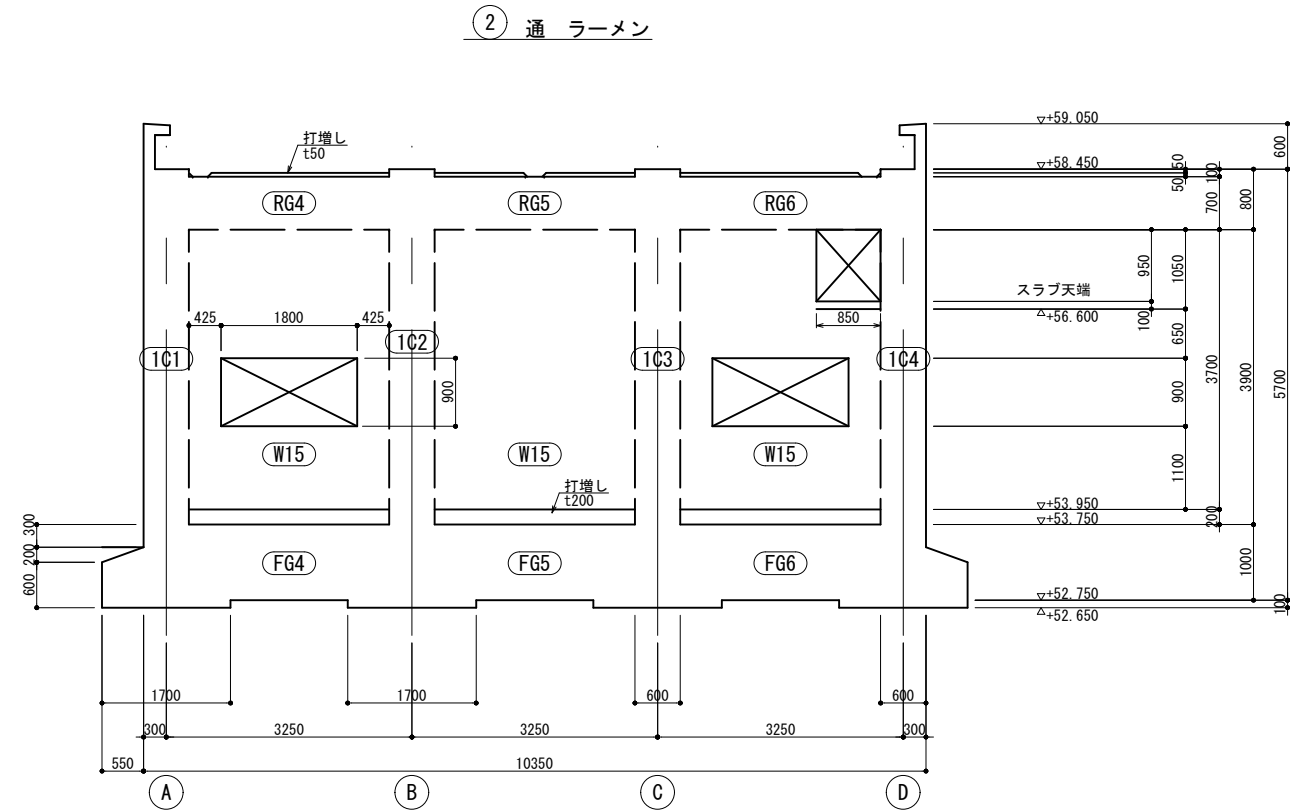
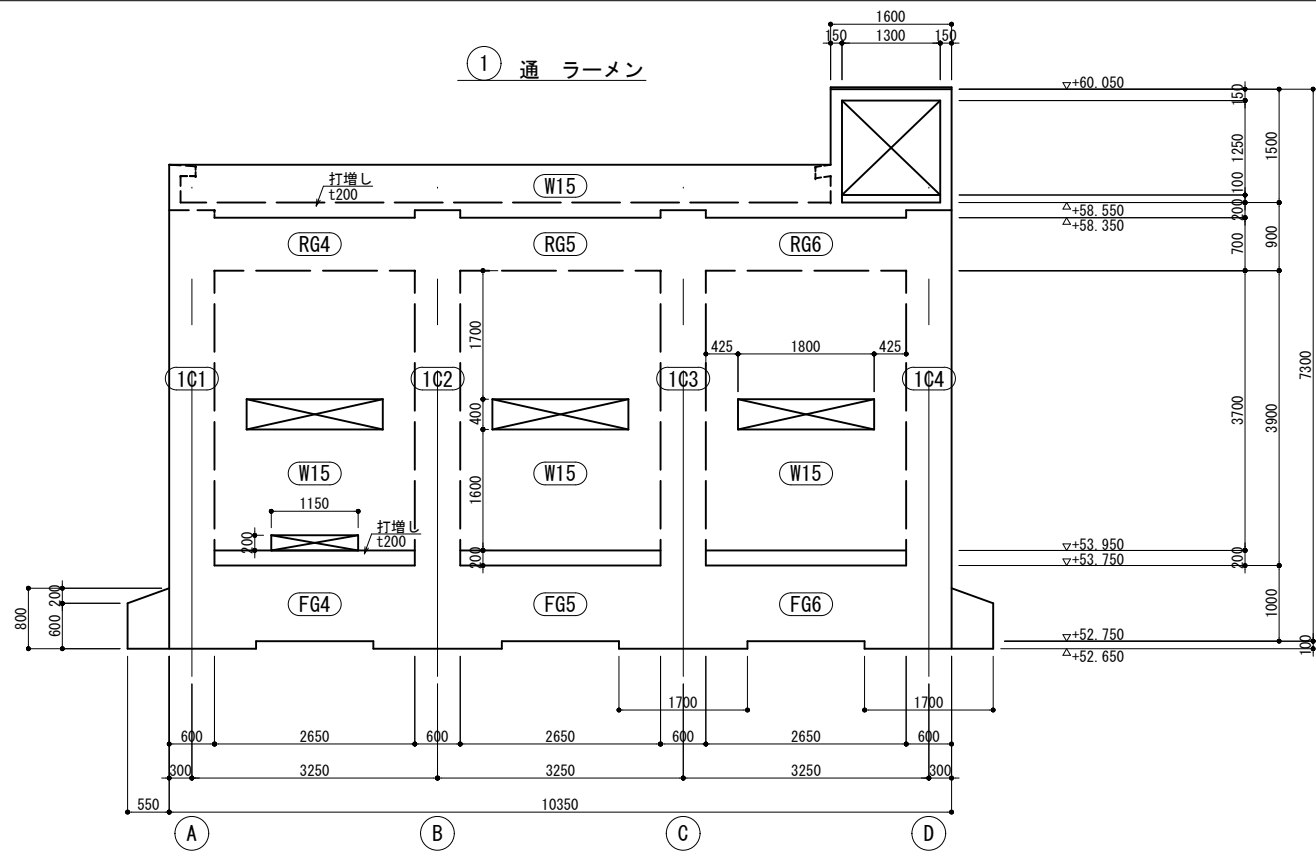
屋根梁伏図 S=1/50

RCコンクリートパイプ (残置)
φ300 l=8000
設計支持力 20t/本



※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	プロワー室各階梁伏図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	2S-1



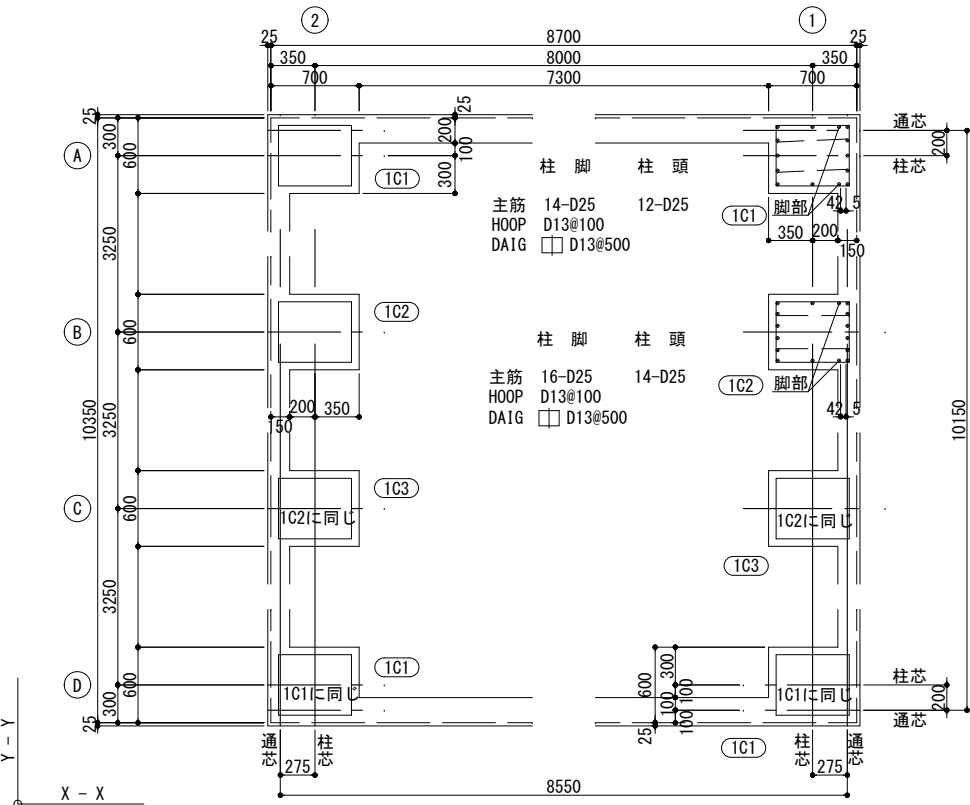
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	ブロー室軸組図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	2S-2

※ 全解体・撤去とする

梁 リ ス ト S=1/30 SD-30

R F 梁	符 号	RG1, 3		RG2		RG4, 6		RG5	Rb
		端 部	中央部	端 部	中央部	外 端	内 端中央部	全断面	全断面
	B x D	500 x 800		500 x 800		400 x 700		400x700	300x500
	上 筋	5-D22	3-D22	7-D22	5-D22	5-D19	3-D19	3-D19	2-D16
	断 面								
	下 筋	5-D22	5-D22	7-D22	9-D22	5-D19	3-D19	3-D19	3-D16
	腹 筋	2-D13		2-D13		2-D13		2-D13	
	S. T. P	D13@200		D13@200		D13@200		D13@200	D13@200
	巾止筋	D13@1000		D13@1000	組立鉄筋 D13@200	D13@1000		D13@1000	
地 中 梁	符 号	FG1, 3		FG2		FG4, 5, 6		Fb	
		全断面		全断面		全断面		全断面	
	B x D	500 x 1000		500 x 1000		400 x 1000		300 x 1000	
	上 筋	6-D25		8-D25		5-D19		3-D19	
	断 面								
	下 筋	3-D25		5-D25		5-D19		3-D19	
	腹 筋	4-D16		4-D16		4-D13		4-D13	
	S. T. P	D13@200		D13@200		D13@200		D13@200	
	巾止筋	D13@1000		D13@1000		D13@1000		D13@1000	

柱 リ ス ト S=1/30 SD-30



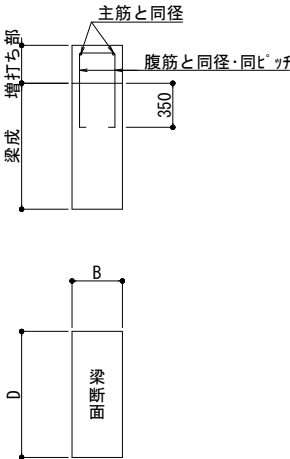
壁 リ ス ト S=1/30 SD-30

符 号	W20	W15	
断 面			
平 面			
縦 筋	D13@200	D13@200	
横 筋	D10@200	D10@200	
巾止筋	D10@1000	D10@1000	
開口補強筋	縦筋 2-D16 横筋 2-D16	縦筋 2-D16 横筋 2-D16	
備 考	筋違筋) 方状筋 3-D16	筋違筋) 方状筋 3-D16	

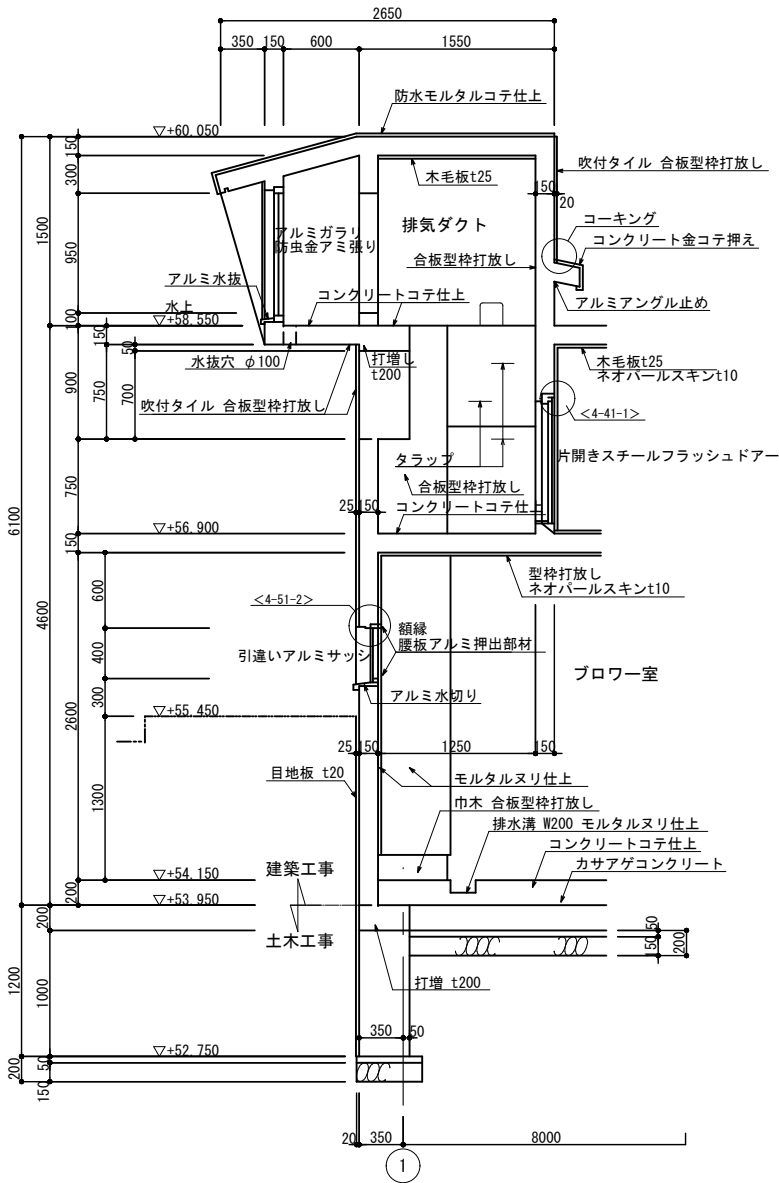
ス ラ ブ リ ス ト S=1/30 SD-30

符 号	主 筋		副 筋	
	端 部	中央部	端 部	中央部
*150 RS1, 2, 3, 3'	上 筋 D13@200 下 筋 ↑	D13@200 ↑	D13@200 ↑	D13@200 ↑
*150 MBS1	上 筋 D13@200 下 筋 ↑	D13@200 ↑	D10@200 ↑	D10@200 ↑
*150 MBS2	上 筋 D13@200 下 筋 ↑	D13@200 ↑	D13@200 ↑	D13@200 ↑
*150 FS1	上 筋 D13@200 下 筋 ↑	D16@200 ↑	D16@200 ↑	D16@200 ↑
*150 FS2	上 筋 D13@200 下 筋 ↑	D13@200 ↑	D10@200 ↑	D10@200 ↑

打増部詳細

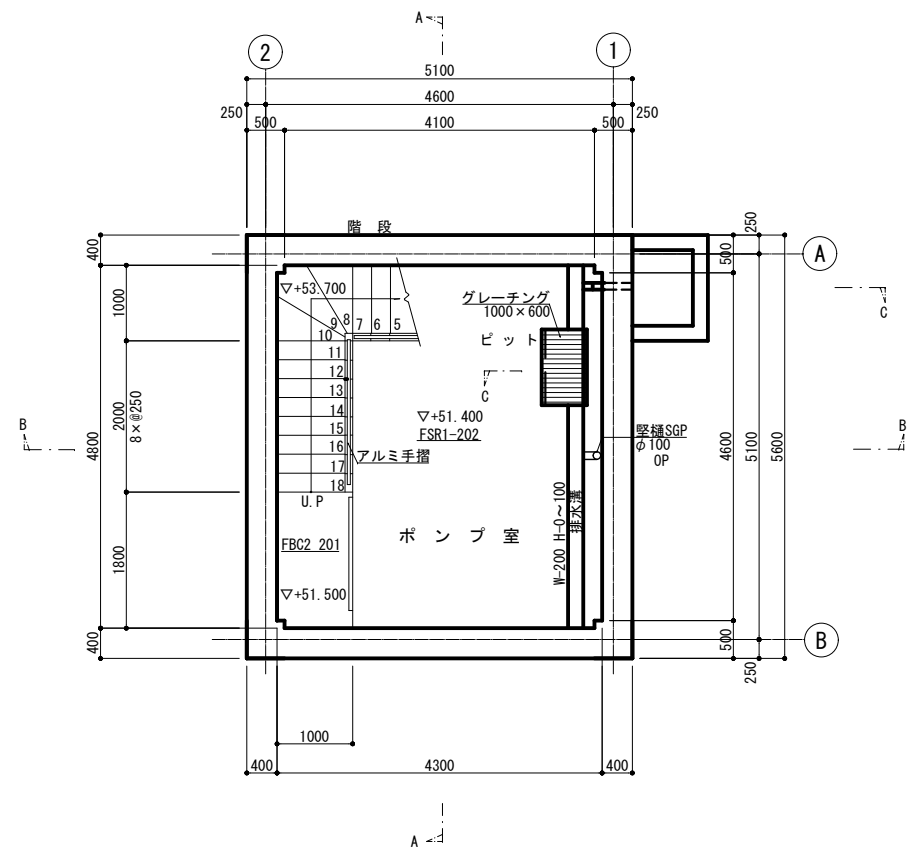


矩 計 図 S=1/30

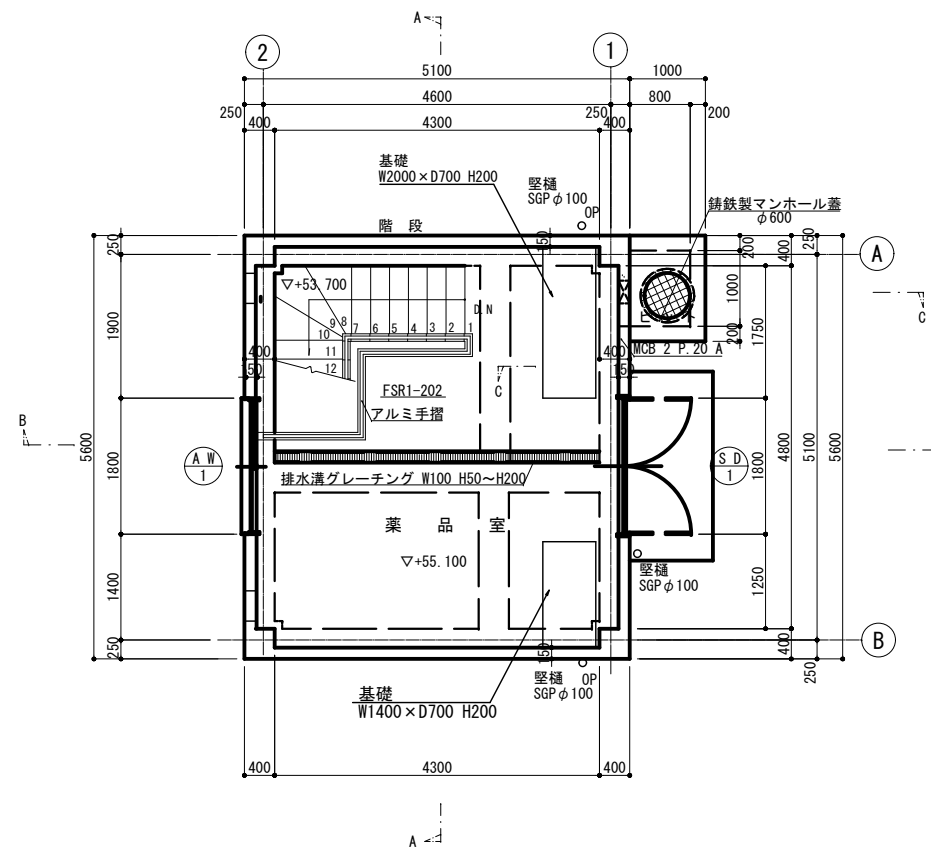


※ 全解体・撤去とする

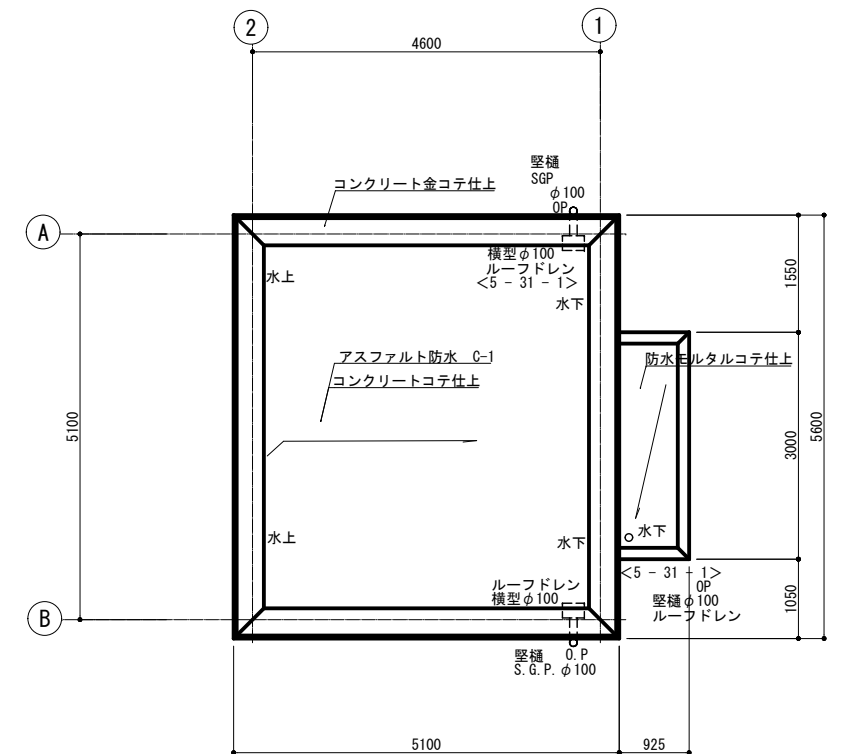
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	ブロー室リスト表、矩計図		
縮尺	1/30	設計年月	令和 年 月
工種	設 計 者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	2S-3



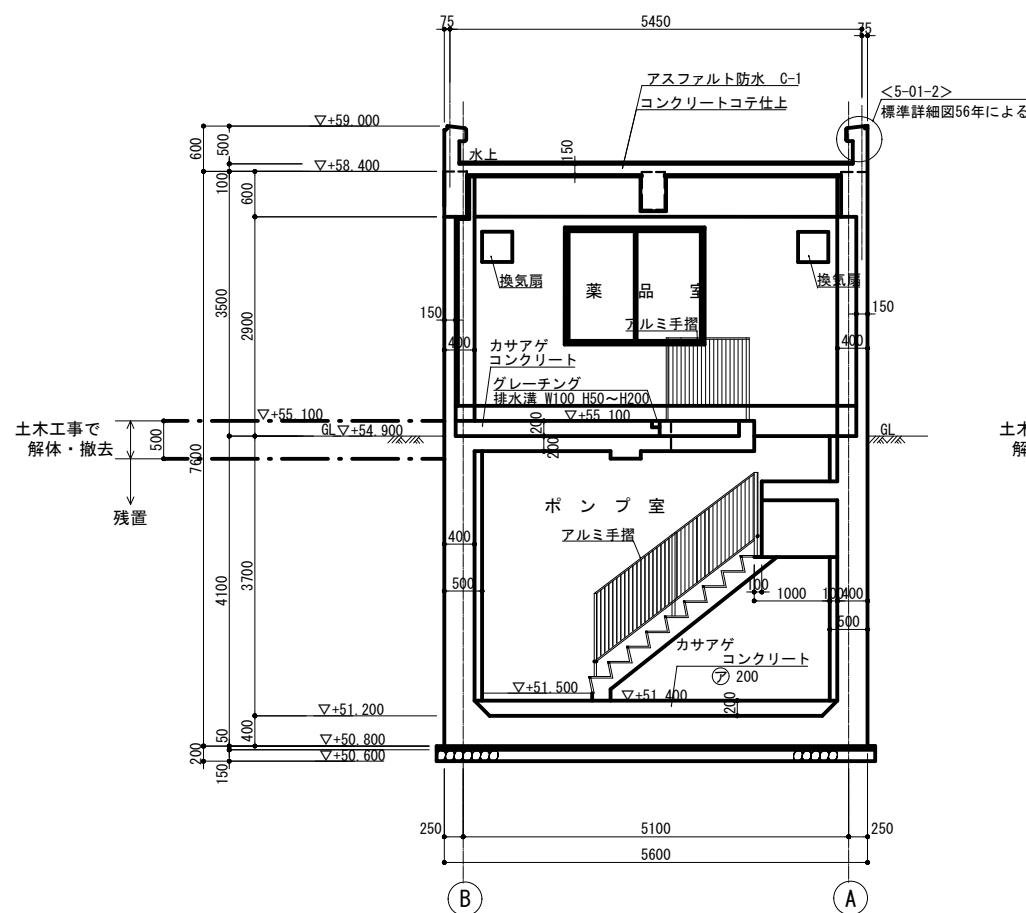
BF 平面図 S=1/50 (残置)



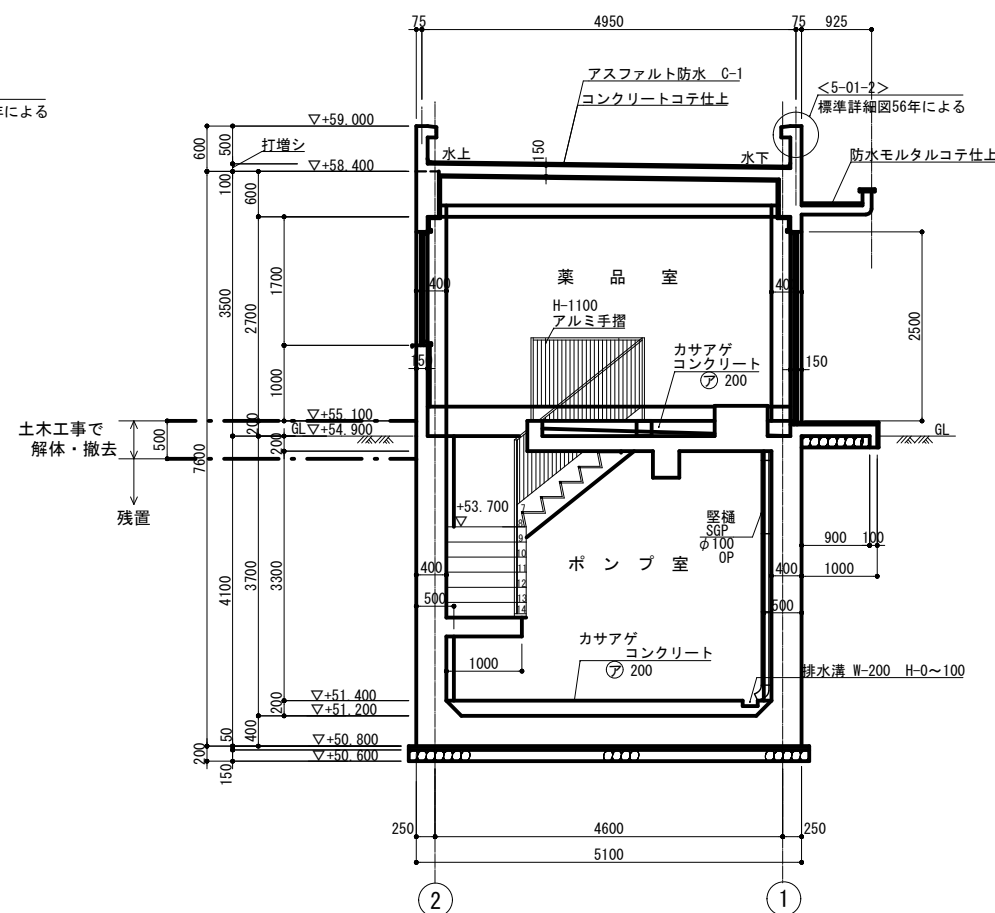
1F 平面図 S=1/50



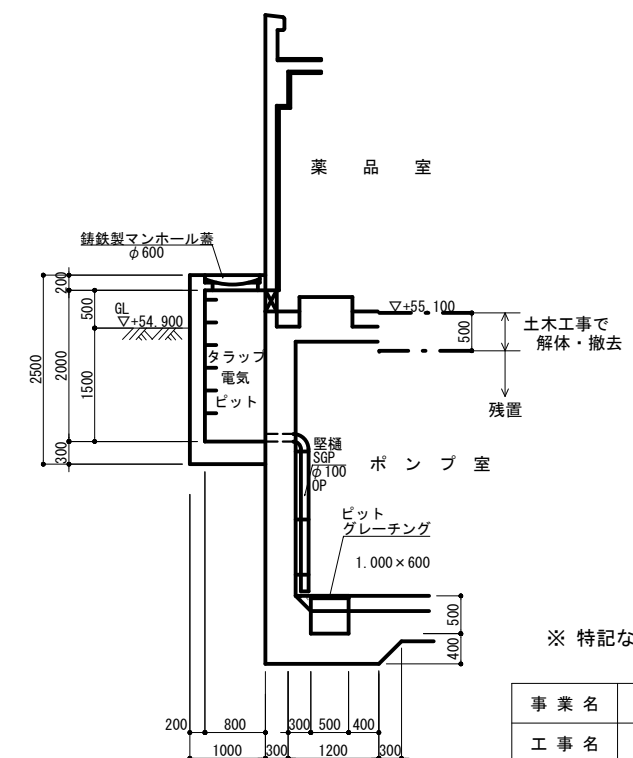
屋根 平面図 S=1/50



A - A 断面図 S=1/50



B - B 断面図 S=1/50



C - C 断面図 S=1/50

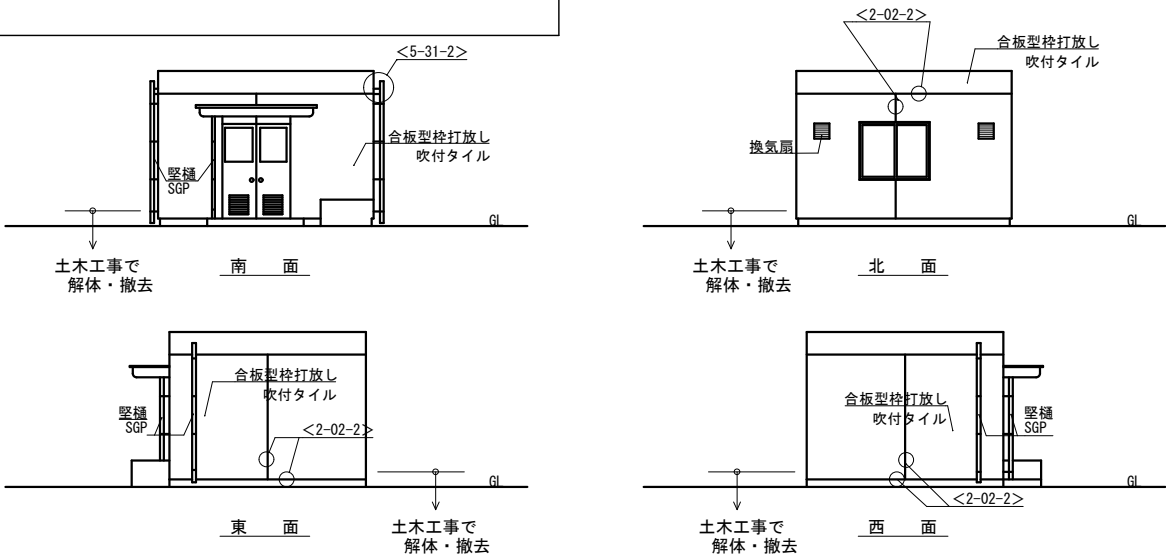
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	引抜汚泥ポンプ室平面図、断面図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	3A-1

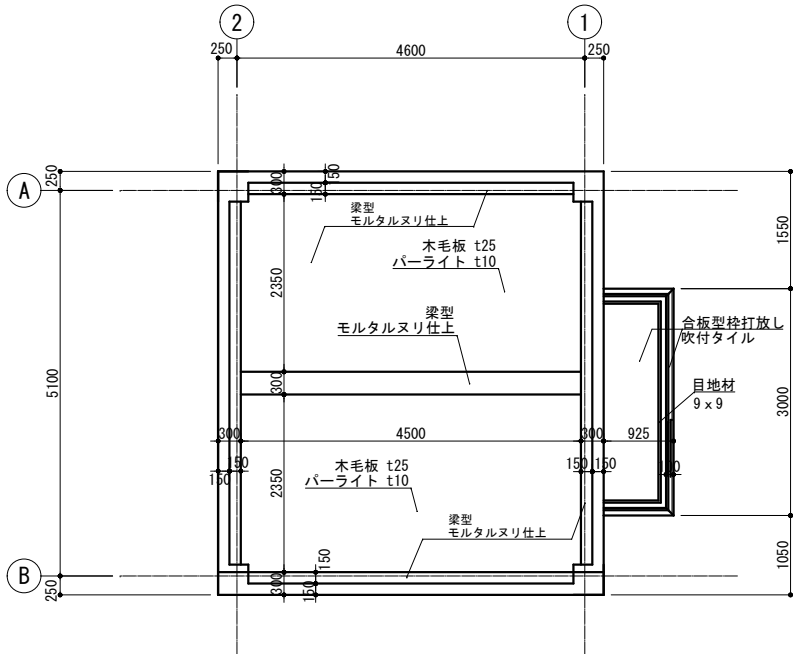
外 部 仕 上 表										
床	腰 壁	壁 柱 梁	屋 根	パラペット	バルコニー		ひ さ し			備 考
					床	手すり	上 端	は な	軒 天	
モルタル塗り仕上	合板型枠打放し 吹付タイル（RE）	合板型枠打放し 吹付タイル（RE）	コンクリートコテ仕上 アスファルト防水C-1	コンクリート金コテ仕上			防水モルタルコテ仕上	合板型枠打放し 吹付タイル（RE）	合板型枠打放し 吹付タイル（RE）	堅樋SGP φ100 OP

内 部 仕 上 表																								
階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁					天 井						備 考
		下 地	仕 上	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下地	仕 上	高 さ	詳細番号	梁型仕上	詳細番号	
B1	ポンプ室	C	カサアゲコンクリート 金コテ仕上 t200		C	合板型枠打放し				—————			C	合板型枠打放し		壁に同じ		C	合板型枠打放し	直天		天井に同じ		ビット グレーチング
1	薬品室	C	カサアゲコンクリート 金コテ仕上 t200		C	モルタル塗り仕上				—————			C	モルタル塗り仕上		壁に同じ		C	木毛板 t25 パーライト 吹付 t10	直天		モルタル塗り仕上		換気扇 2ヶ所 シャッター付（自動） φ250 ステンレスフード付 排水溝 グレーチング
	階段室	C	モルタル塗り仕上 ノンスリップ 磁器タイル		C	合板型枠打放し				—————			C	合板型枠打放し		壁に同じ		C	合板型枠打放し	直天		天井に同じ		

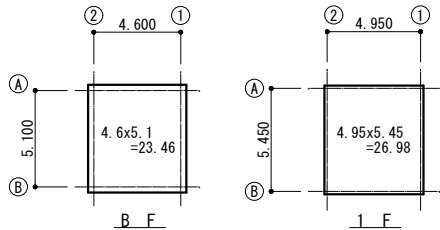
凡例		注記
C	コンクリート	仕上表内（ ）は、アスベスト含有が確認されたため、
OP	調合ペイント塗	施工時は石綿予防規則に則った工法で除去を行うこと。



立面図 S=1/100



天井伏図 S=1/50



面積表

	平方メートル		
	B F	1 F	合 計
床 面 積	23.46	26.98	50.44
建 築 面 積	—	26.98	26.98

建具表 S=1/50

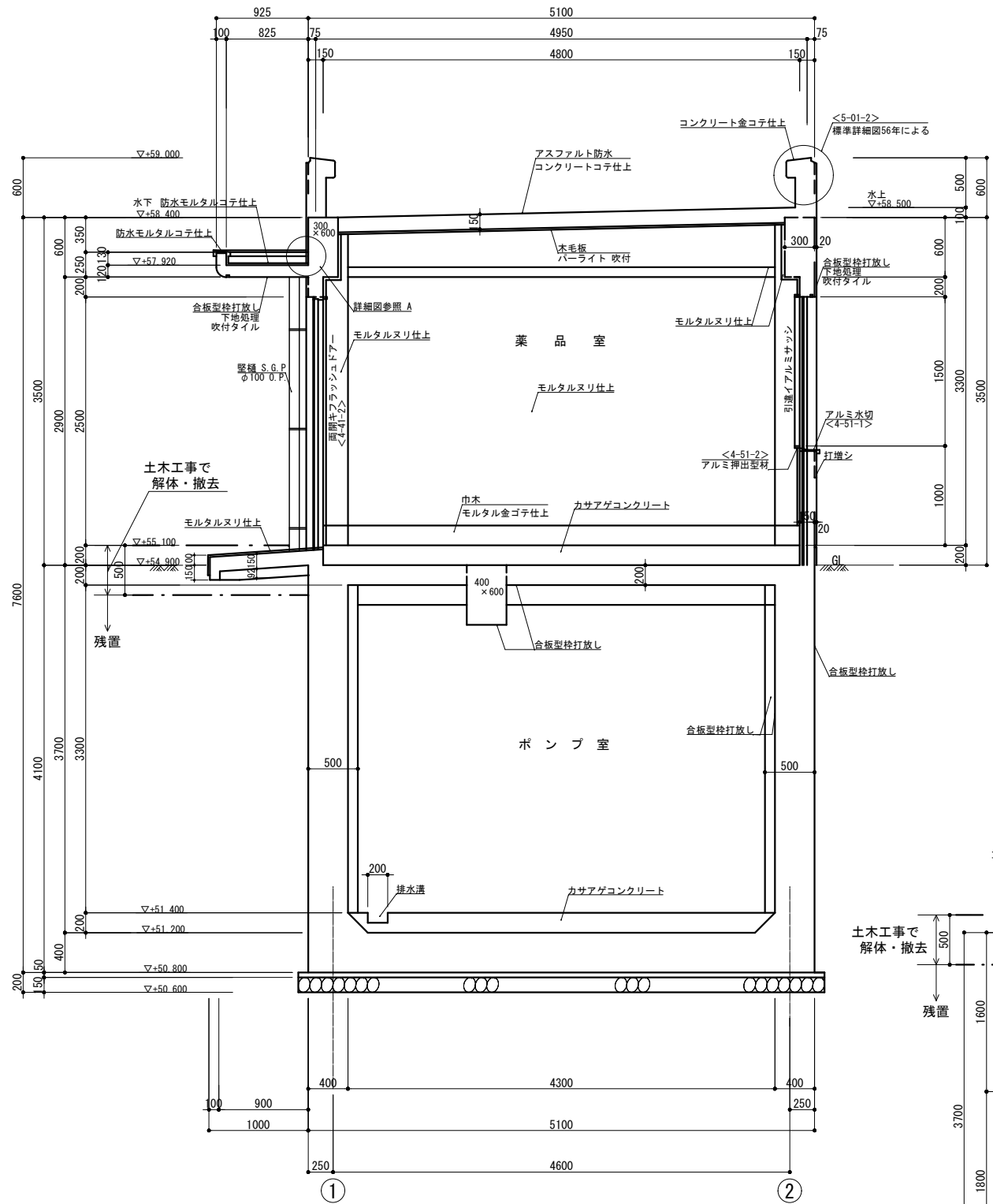
符号	名称	数量	SD	フラッシュドア ガラリ付	1本	AW	引違いアルミサッシ	1本
場 所	薬 品 室						薬 品 室	
形状・寸法								
区別 仕上（枠共）				OP				
見込	40			ガラリ付 SG				
硝子	網入硝子	6.8m/m		シリコンパテ			網入硝子	6.8m/m
金物	ドアチェック、ステンレス製堀玉シリンダー錠 フランス落し 蝶番 3枚吊、アオリ止め（アームストッパー）						クレセント、戸 車、水切付	
建 具 枠	見込取合番摺	100片額縁 3辺、くつづり<4-41-2>					70 片額縁 4辺、<4-51-2>	
その他		カラリ部分、ステンレス金網（16メッシュ）						

共 通 事 項 <>内数字は建設大臣官房庁営繕部監修
建設工事標準詳細図 昭和56年版による。

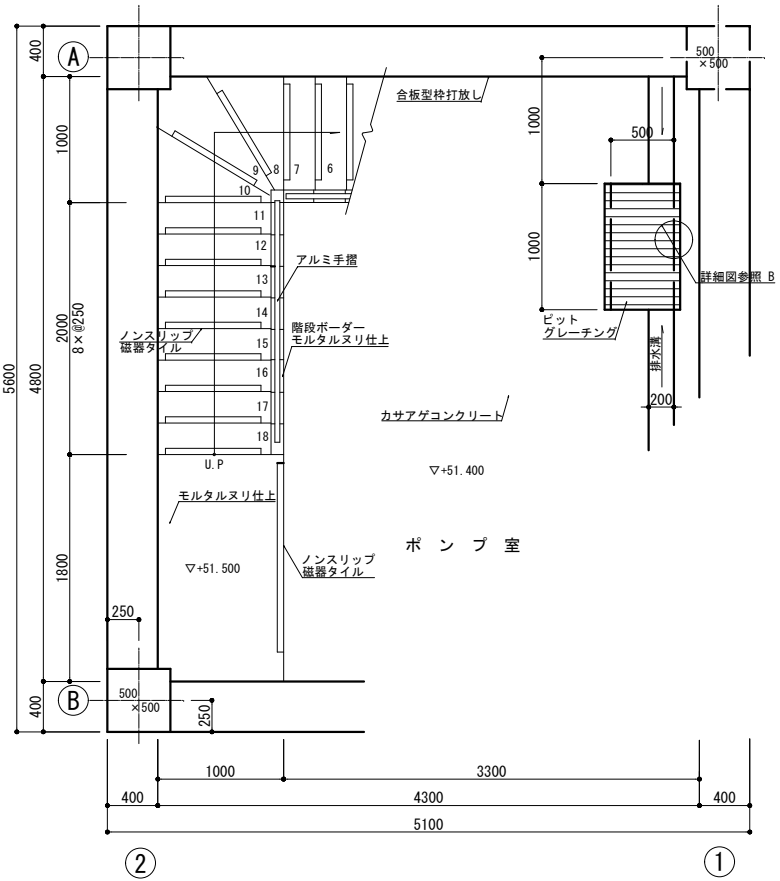
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事 業 名	令和8年度 公共下水道事業
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内
名 称	引抜汚泥ポンプ室 仕上表、立面図、建具表、天井伏図
縮 尺	1/50 1/100
設計年月	令和 年 月
工 種	設 計 者
事業主体	四日市市 上下水道局
図面番号	3A-2

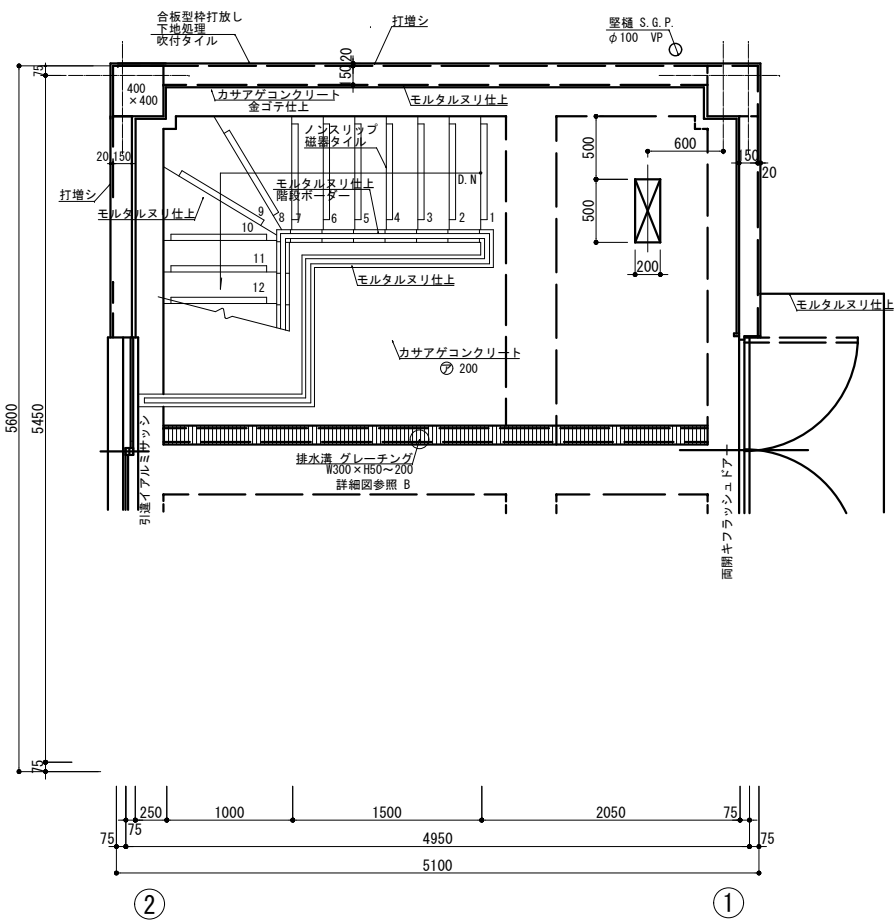
矩 計 図 S=1/30



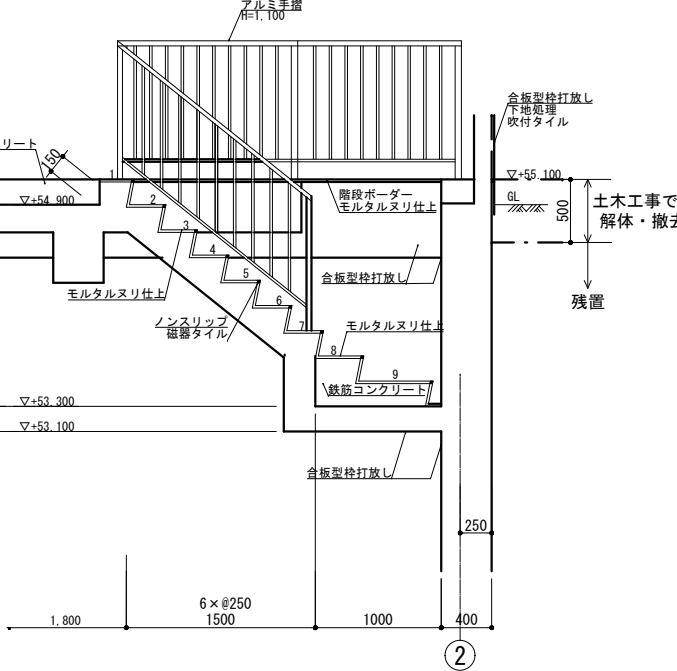
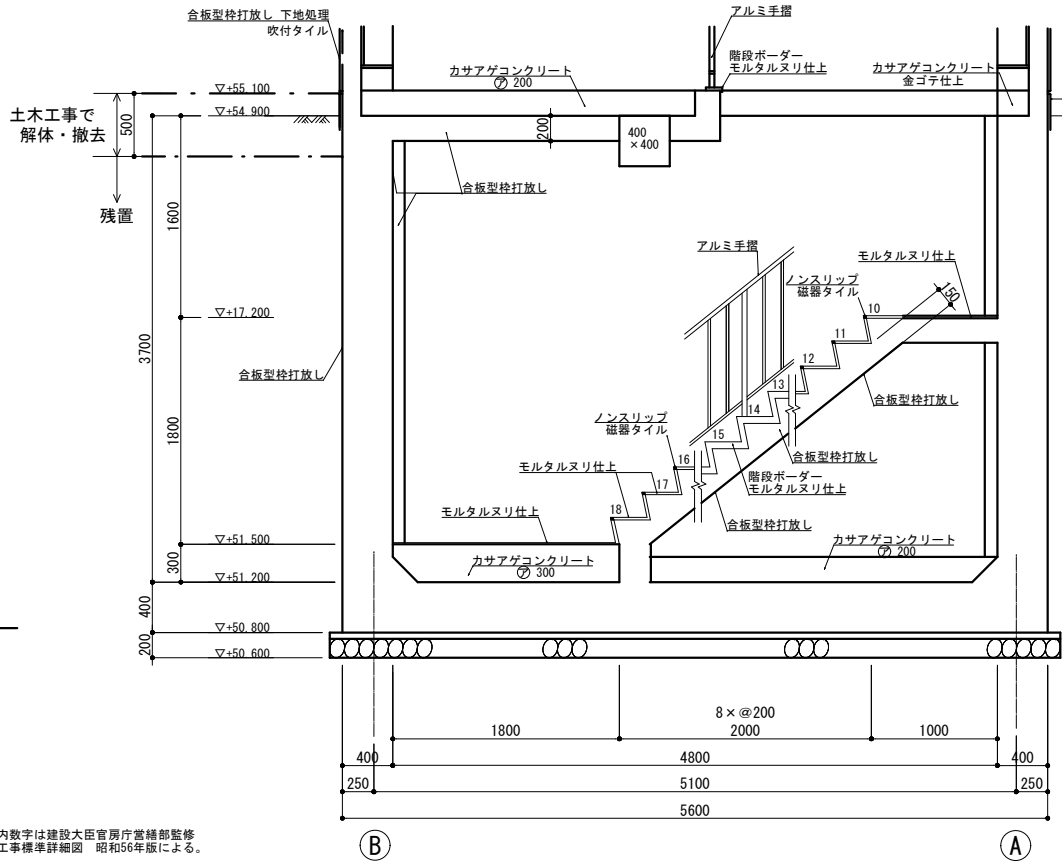
B F 矩 計 図 S=1/30
(残 置)



1 F 平 面 図 S=1/30



階段室 詳 細 図 S=1/30

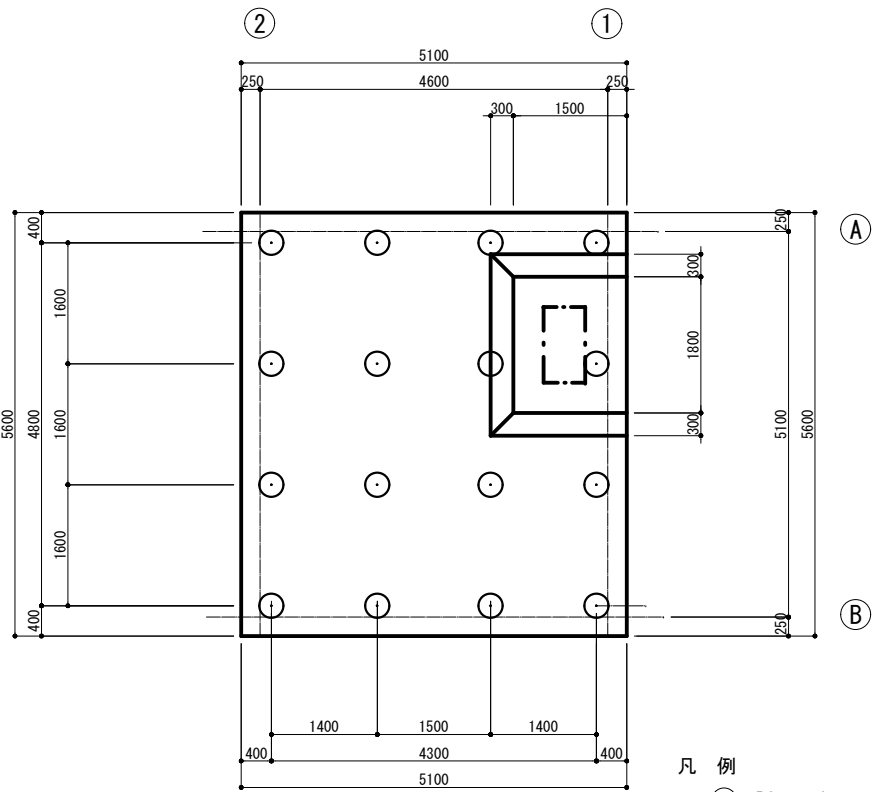


事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	引抜汚泥ポンプ室矩計詳細図		
縮尺	1/30 1/5	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	3A-3

※ 特記なき限り解体・撤去とする

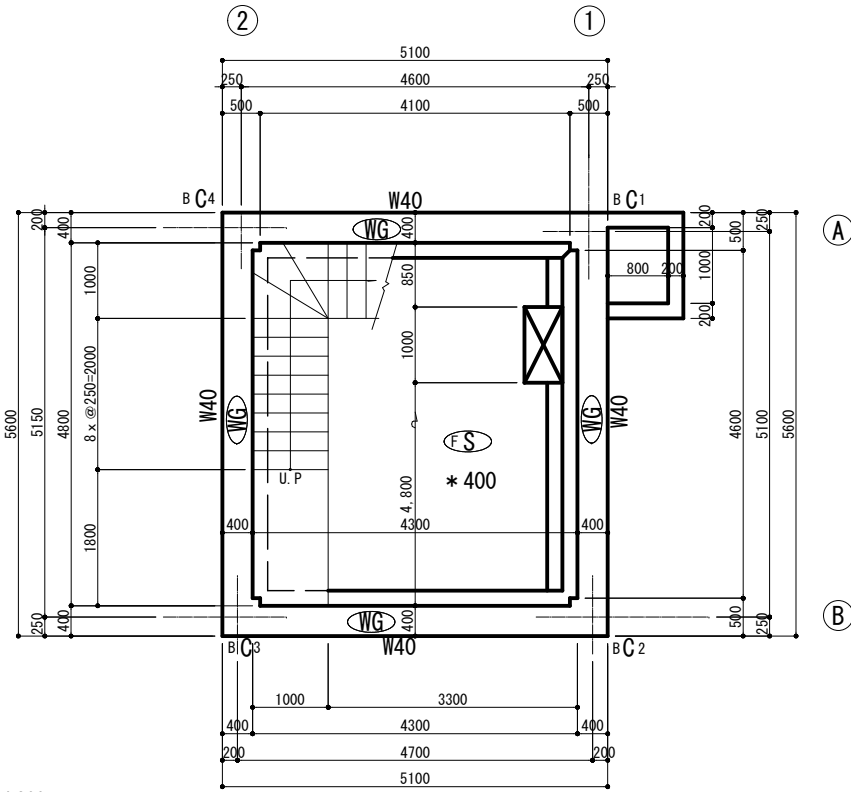
<>内数字は建設大臣官庁審判部監修
建設工事標準詳細図 昭和56年版による。

梁 伏 図・杭 配 置 図（最初沈澱池）

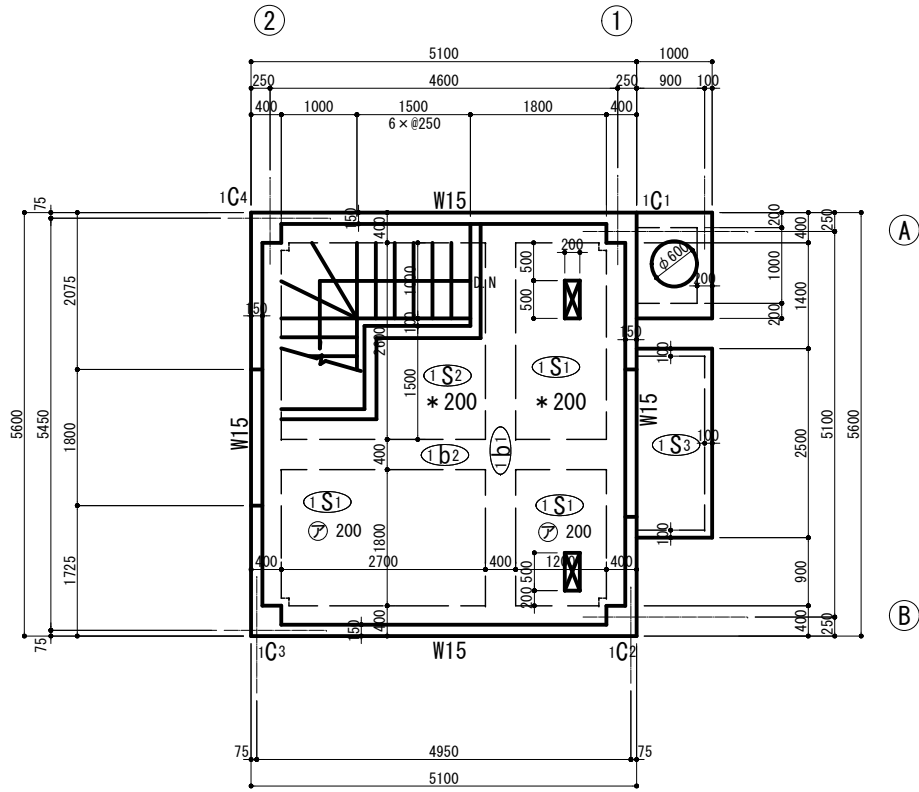


杭 配 置 図 S=1/50
(残 置)

凡 例
○ PCコンクリートパイル φ300
1=7,000x16 設計支持力 20t/本 (残置)

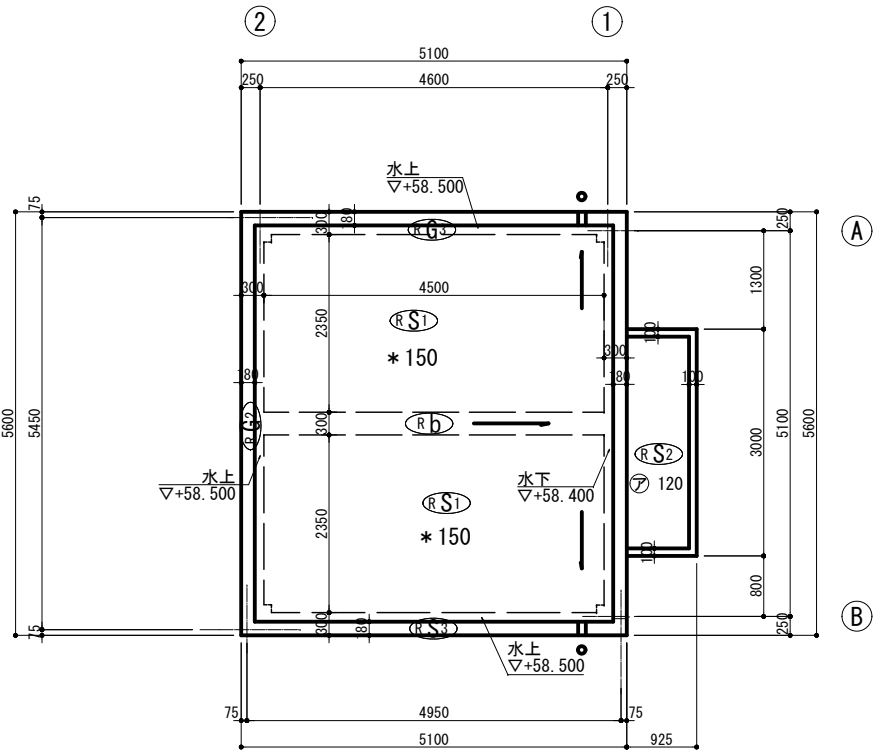


基 礎 伏 図 S=1/50
(残 置)

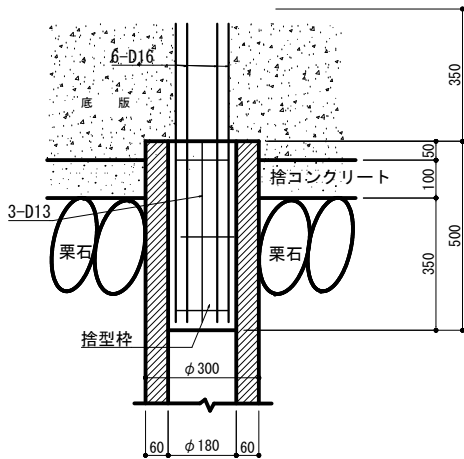


1 F
梁 伏 図 S=1/50

○ は土木工事で解体・撤去を示す



屋 根 伏 図 S=1/50



杭 頭 処 理
詳 細 図 S=1/10
(残 置)

特 記

躯体コンクリート FC = 210kg/ *
カサアゲコンクリート FC = 160kg/ *

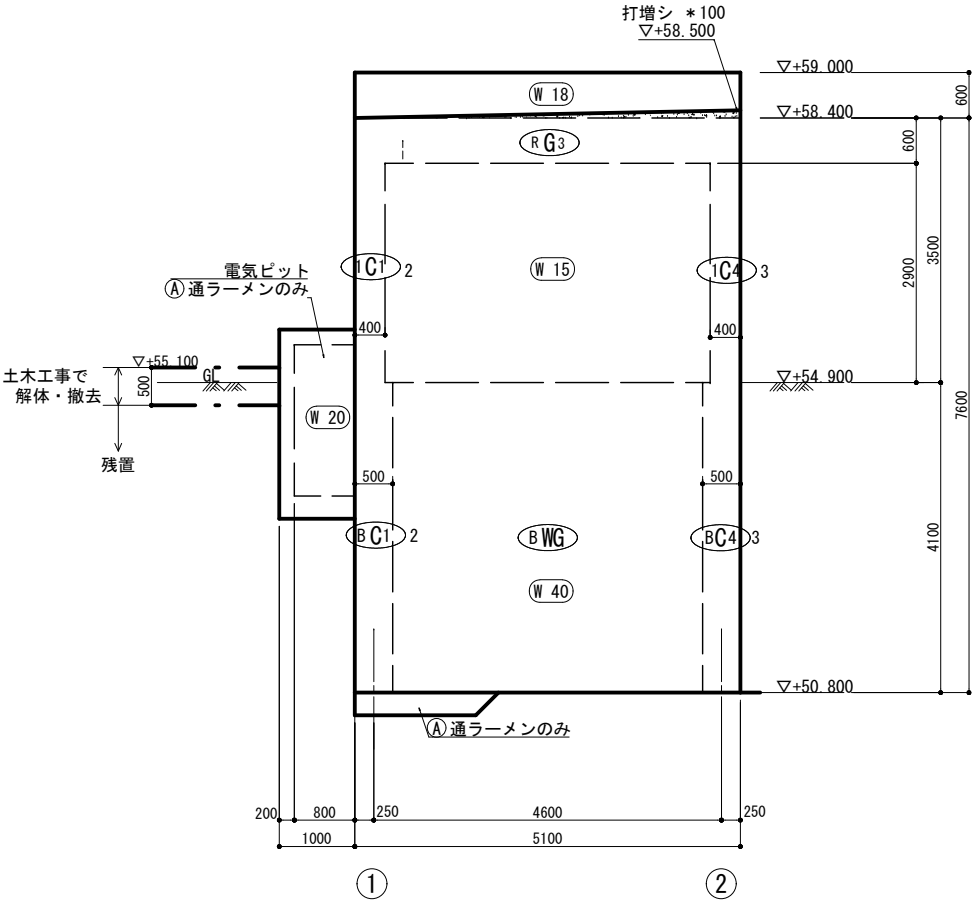
事 業 名	令和8年度 公共下水道事業		
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名 称	引抜汚泥ポンプ室梁伏図、杭配置図		
縮 尺	1/50 1/10	設計年月	令和 年 月
工 種	設 計 者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	3S-1

※ 特記なき限り解体・撤去とする

軸組図・リスト表

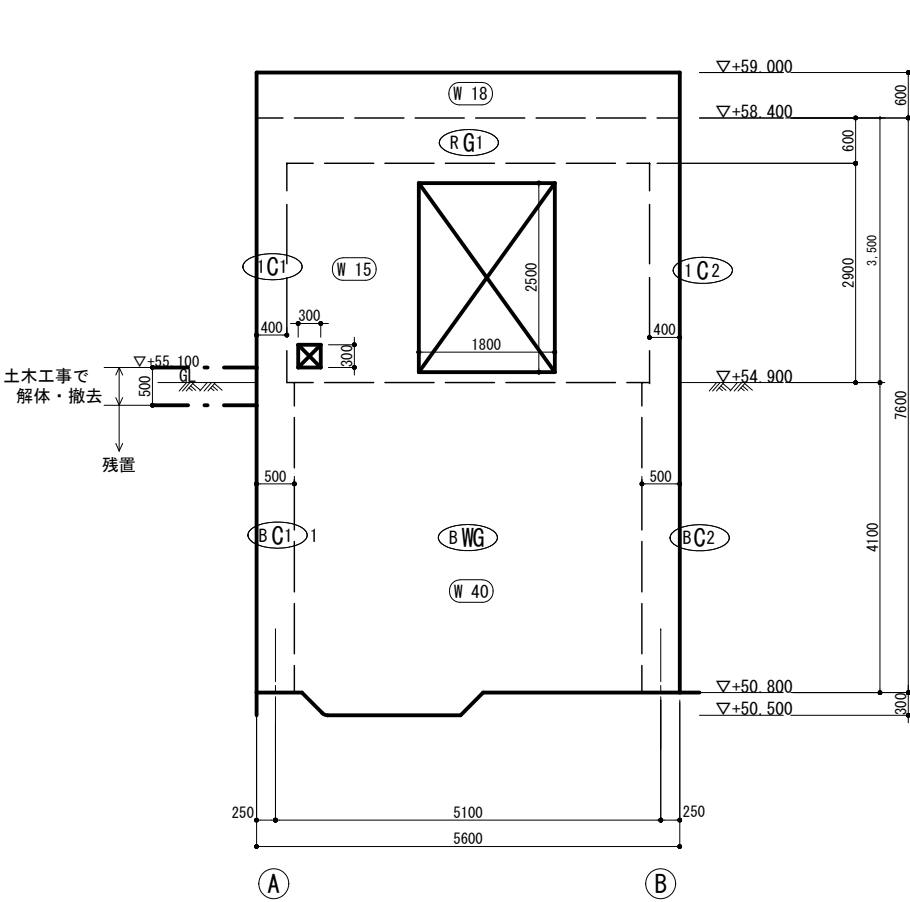
① ② 通ラーメン

軸組図 S=1/50



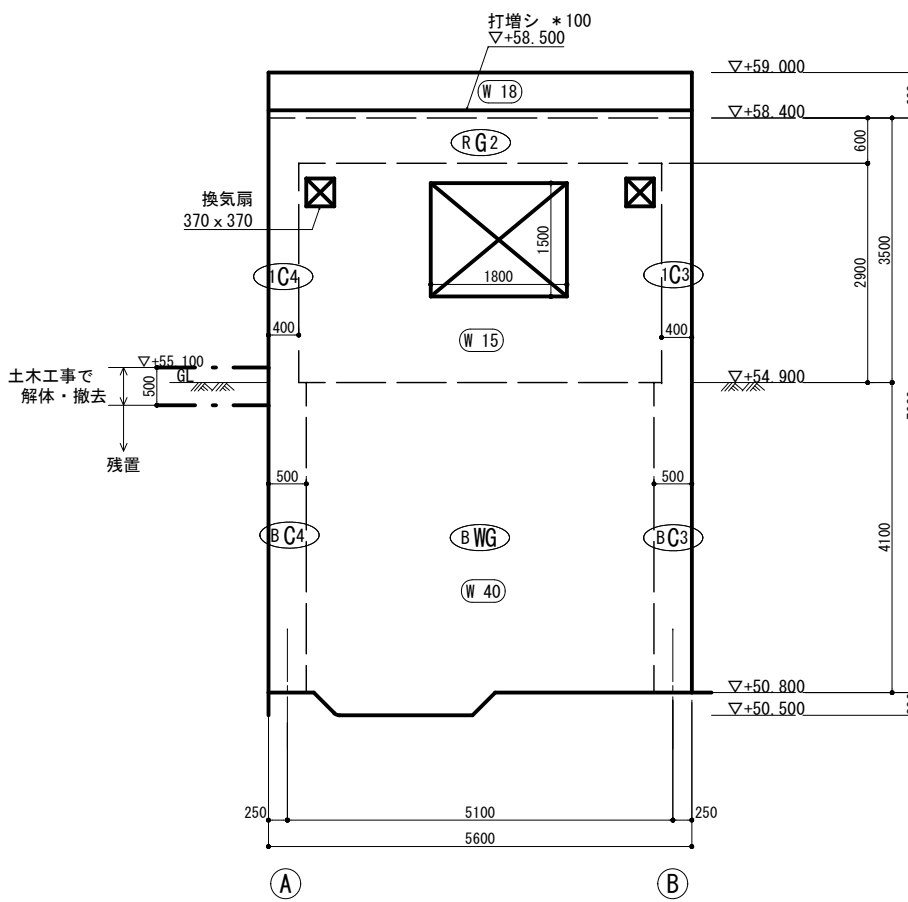
① 通ラーメン

軸組図 S=1/50



② 通ラーメン

軸組図 S=1/50



壁 リスト S=1/30

SD-30

残置を示す

符 号	W 15	W 40
断 面		
平 面		
縦 筋	D13@200	D16@200
横 筋	D10@200	D13@200
巾 止 筋	D10@1000	D13@1000
開口補強筋	2-D16	2-D19
ダイヤ筋	2-D16	2-D19
備 考		

ス ラ ブ リ ス ト SD-30

残置を示す

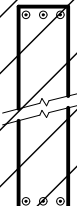
符 号		主 筋		副 筋	
		端 部	中 央 部	端 部	中 央 部
R S 1	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
	下 筋	↑	↑	↑	↑
R S 2	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
	下 筋	↑	↑	↑	↑
I S 1	上 筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
	下 筋	↑	↑	↑	↑
I S 2	上 筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
	下 筋	↑	↑	↑	↑
I S 3	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
	下 筋	↑	↑	↑	↑
F S	上 筋	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200
	下 筋	D19@100	D19@200	D19@100	D19@200

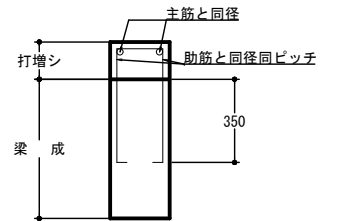
土木工事で
解体・撤去

※ 特記なき限り解体・撤去とする

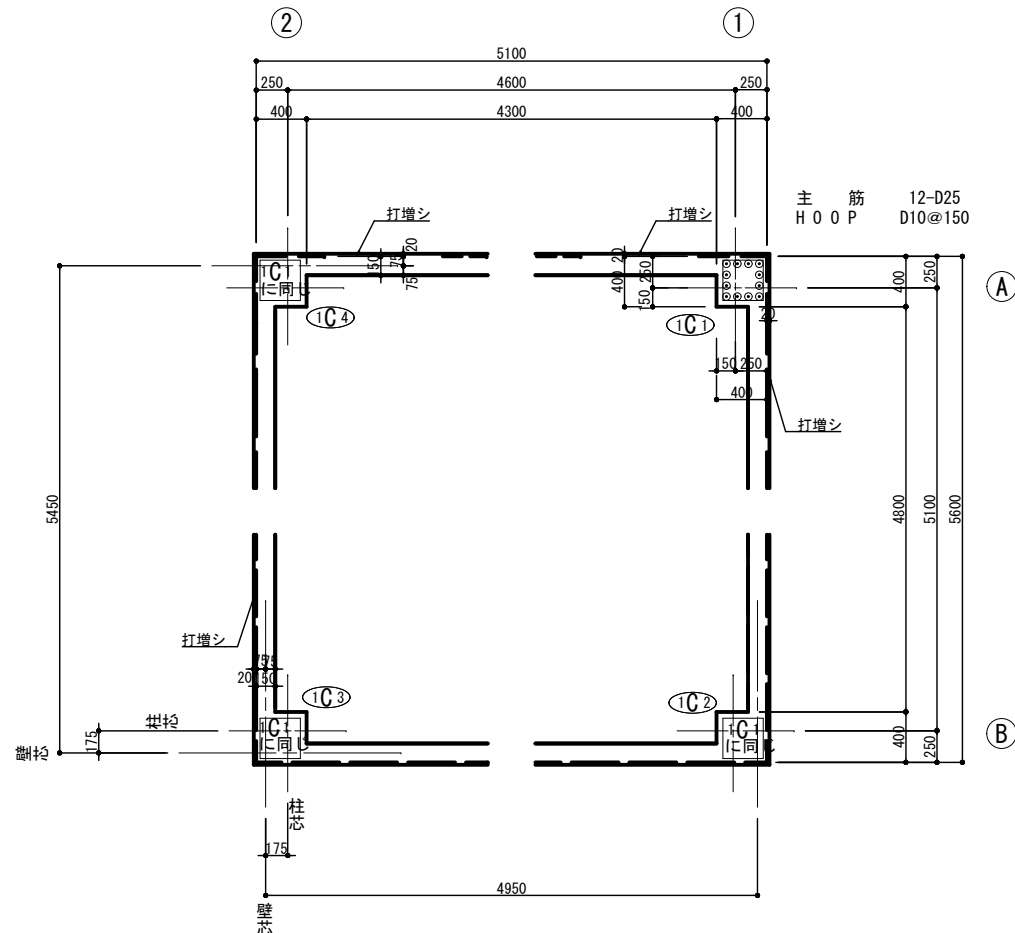
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	引抜汚泥ポンプ室軸組図、リスト表		
縮尺	1/50 1/30	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	3S-2

土木工事で解体・撤去

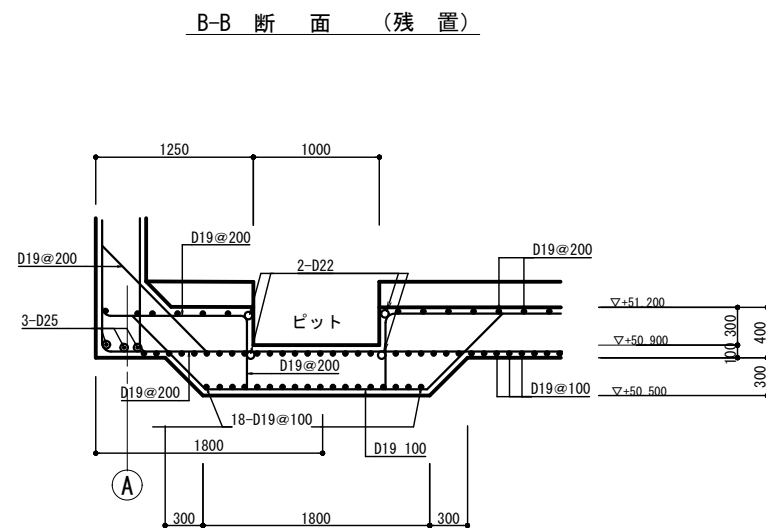
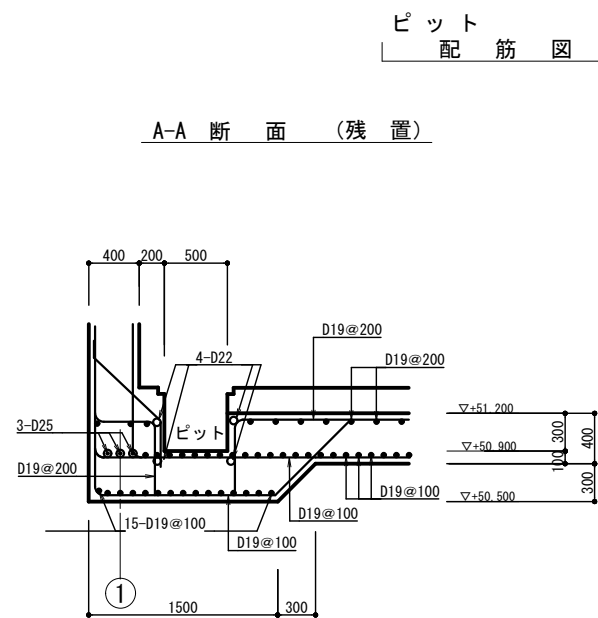
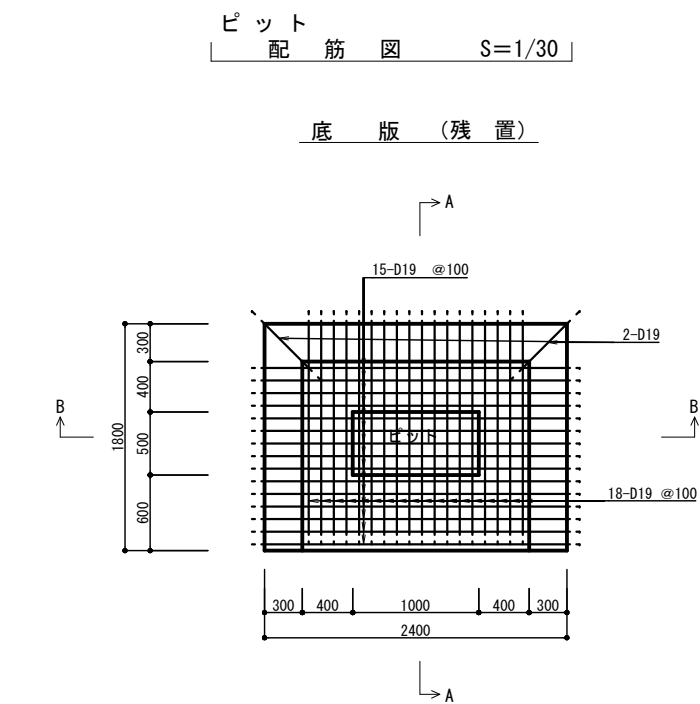
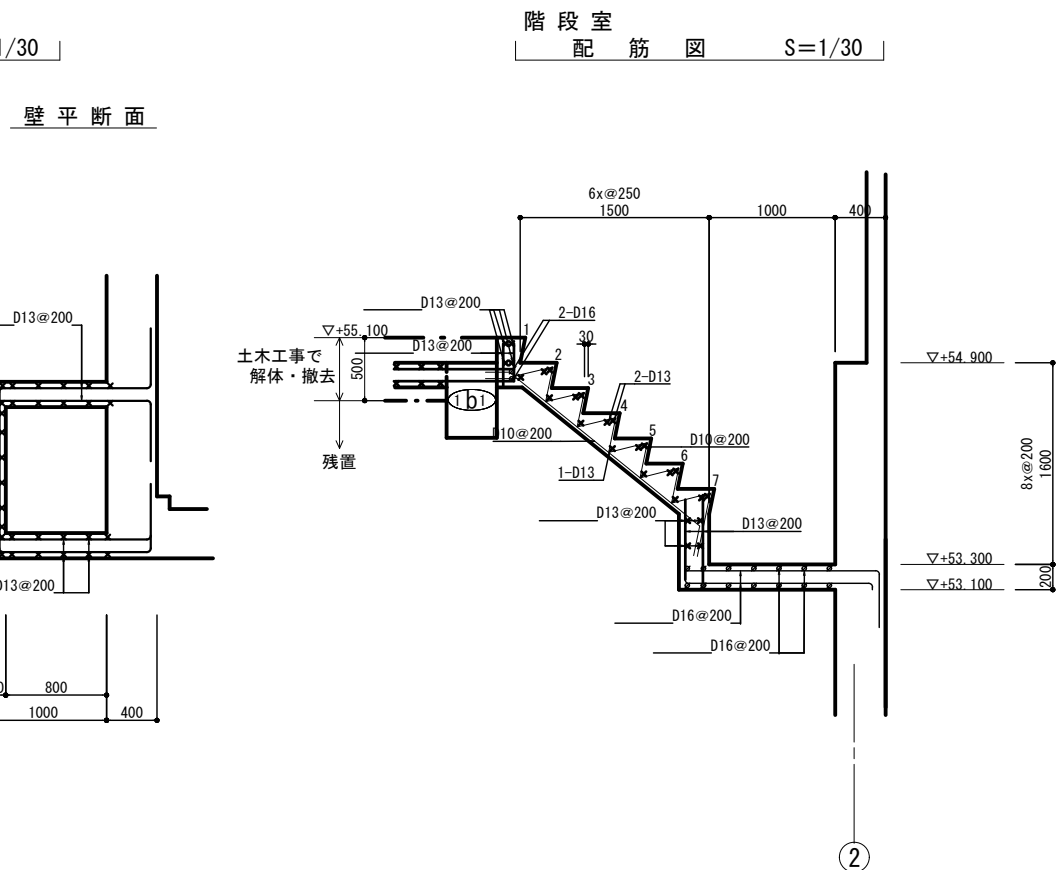
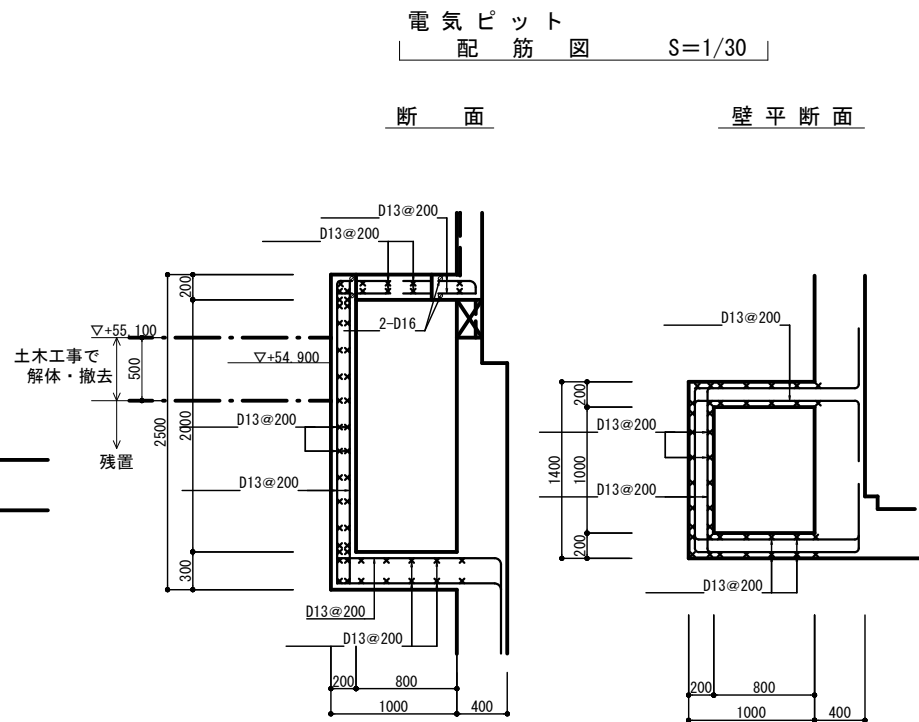
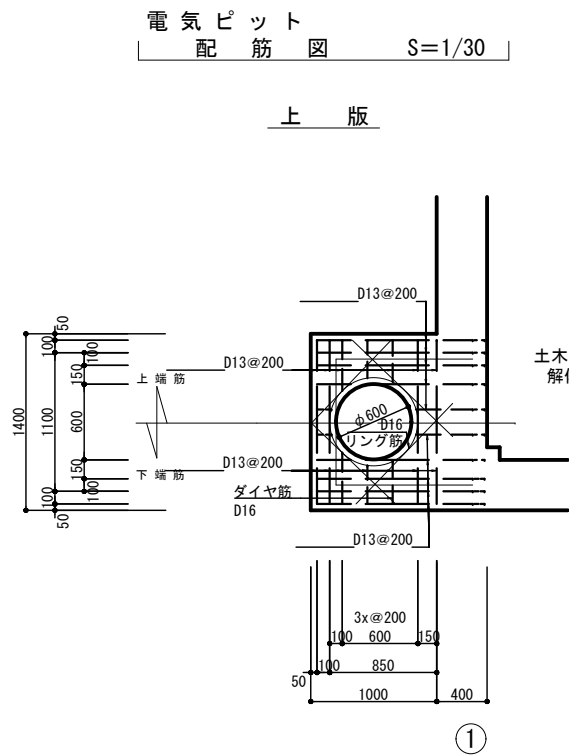
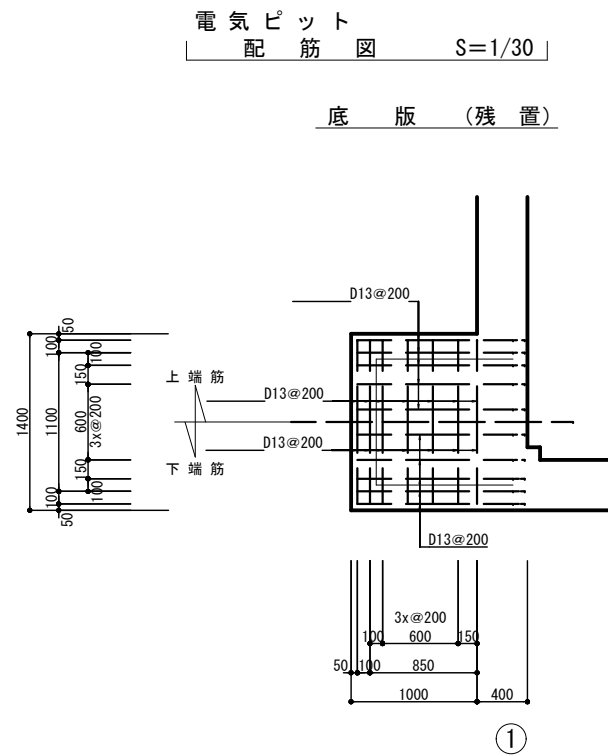
B	符 号	B W G
		全 断 面
	B × D	400 × 4,100
	上 筋	3-D25
F	断 面	
	下 筋	3-D25
	S. T. P.	—
	腹 中 筋	—



1	F
---	---



事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	引抜汚泥ポンプ室リスト表、配筋図 (1)		
縮尺	1/30 1/10	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	3S-3



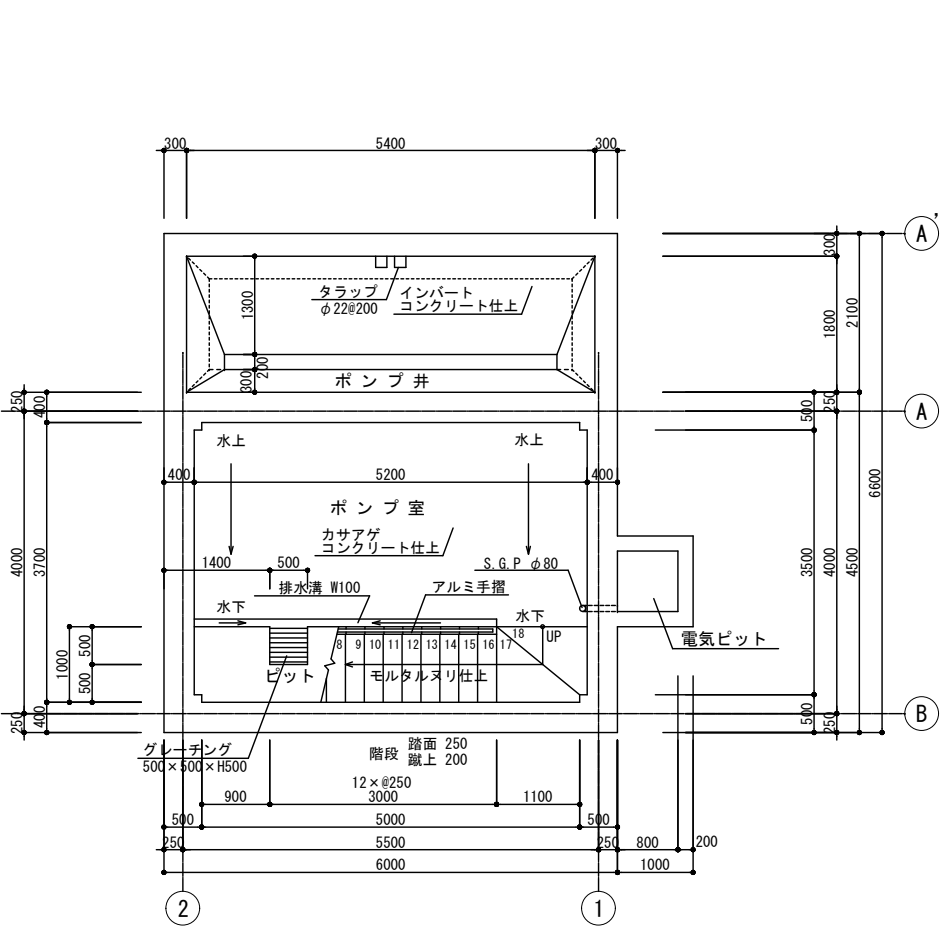
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	引抜汚泥ポンプ室配筋図 (2)		
縮尺	1/30	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	3S-4

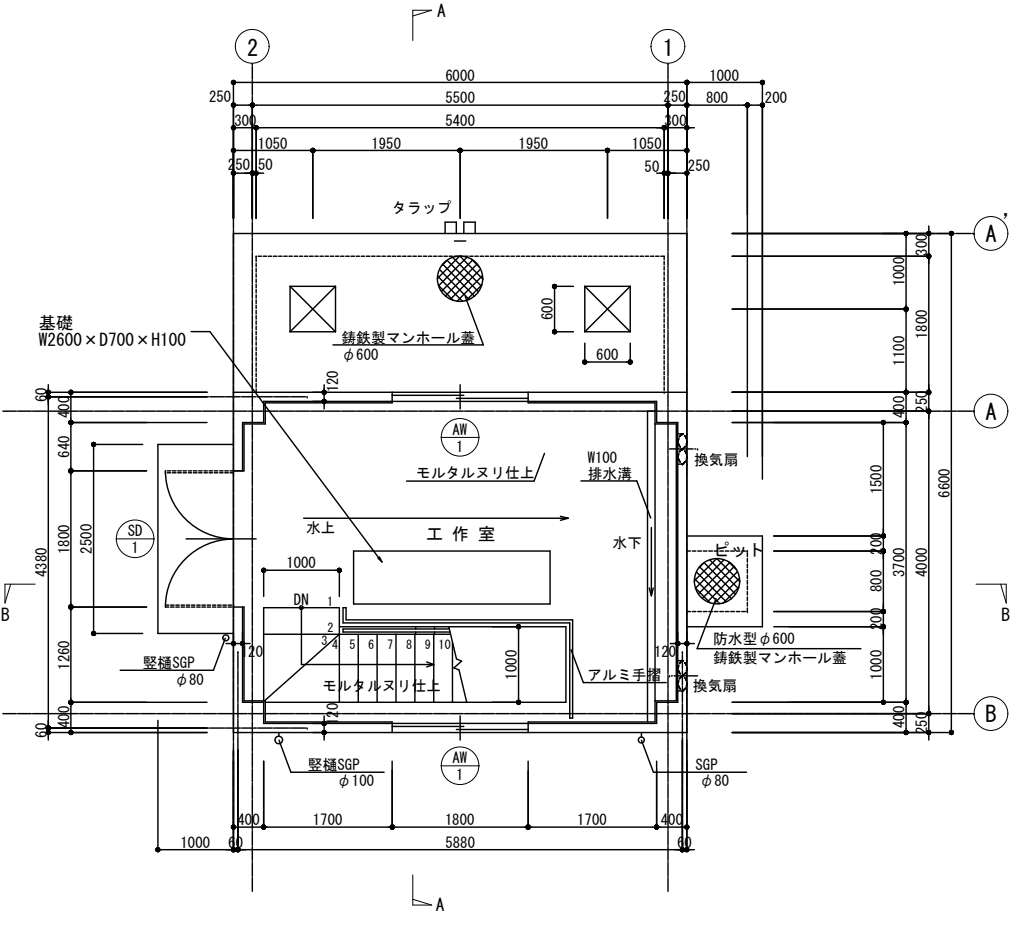
外 部 仕 上 表										
床	腰 壁	壁 柱 梁	屋 根	パラペット	バルコニー		ひ さ し			備 考
					床	手すり	上 端	は な	軒 天	
モルタルコテミガキ	合板型枠打放し 吹付タイル (マスチックC仕上)	合板型枠打放し 吹付タイル (マスチックC仕上)	コンクリートコテ仕上 アスファルト防水C-1	コンクリート金コテ仕上			防水モルタルコテ仕上	合板型枠打放し 吹付タイル (マスチックC仕上)	合板型枠打放し 吹付タイル (マスチックC仕上)	ルーフトレン φ100, φ75 縦樋SGP φ100, φ80 OP

内 部 仕 上 表																								
階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁					天 井						備 考
		下 地	仕 上	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下地	仕 上	高 さ	詳細番号	梁型仕上	詳細番号	
B1	ポンプ室	C	コンクリートコテ仕上		C	合板型枠打放し				—————			C	合板型枠打放し		壁に同じ		C	合板型枠打放し	直天		天井に同じ		ピット グレーチング
1	工作室	C	モルタルコテミガキ		C	モルタルコテミガキ				—————			C	モルタルコテミガキ		壁に同じ		C	木毛板 t25 ロックウール 吹付	直天		モルタルコテミガキ		換気扇 2ヶ所 シャッター付
	ポンプ井	C	コンクリートコテ仕上		C	合板型枠打放し							C	合板型枠打放し		壁に同じ		C	合板型枠打放し			天井に同じ		
	階段室	C	モルタルコテミガキ ノンスリップ 磁器タイル		C	合板型枠打放し							C	合成型枠打放し		壁に同じ		C	合板型枠打放し			天井に同じ		

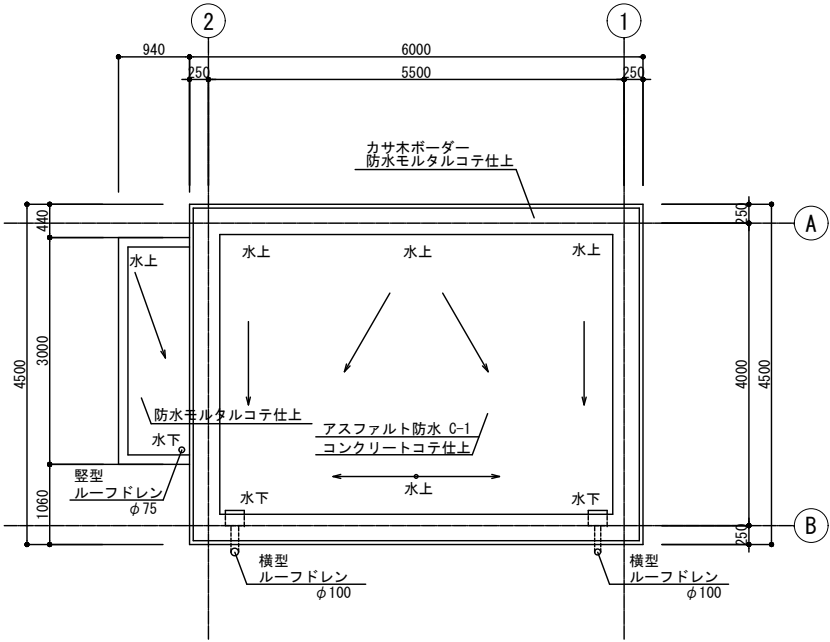
凡例	注記
C コンクリート	仕上表内 () は、アスベスト含有が確認されたため、
OP 調合ペイント塗	施工時は石綿予防規則に則った工法で除去を行うこと。



BF 平面図 S=1/50 (残置)



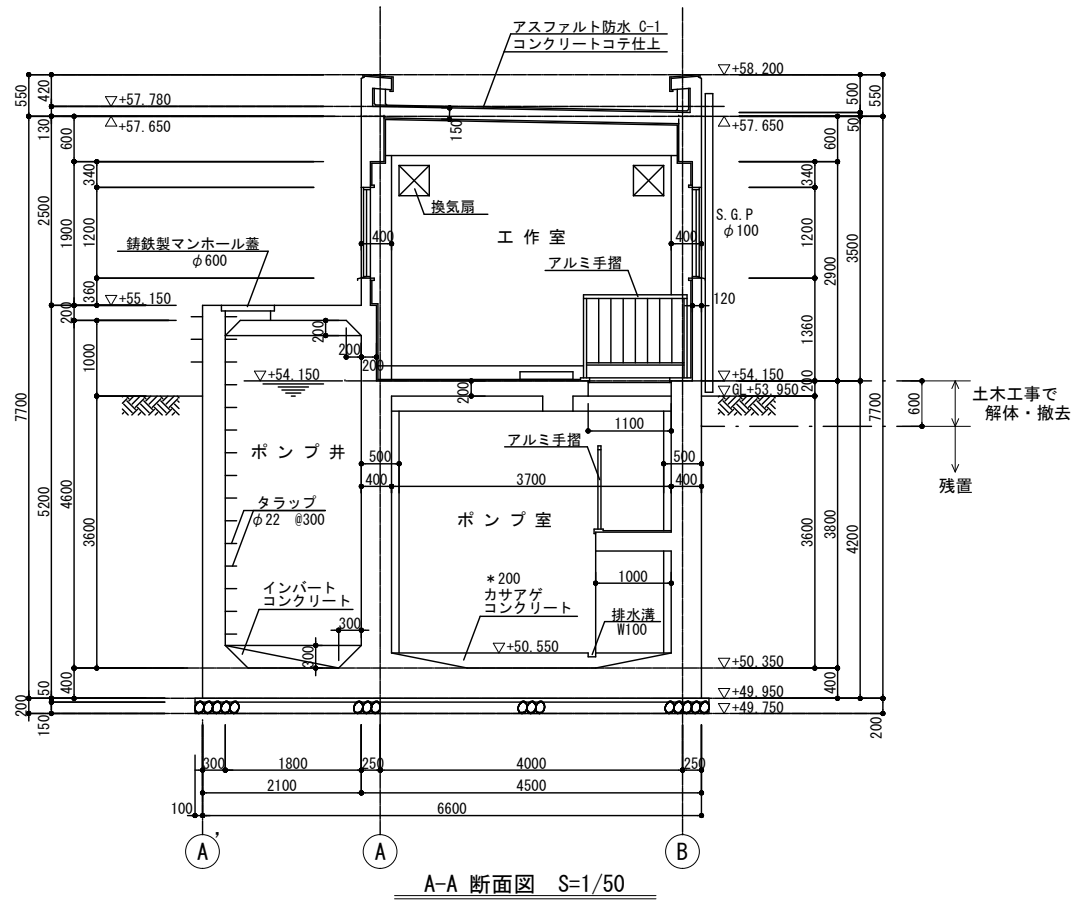
1F 平面図 S=1/50



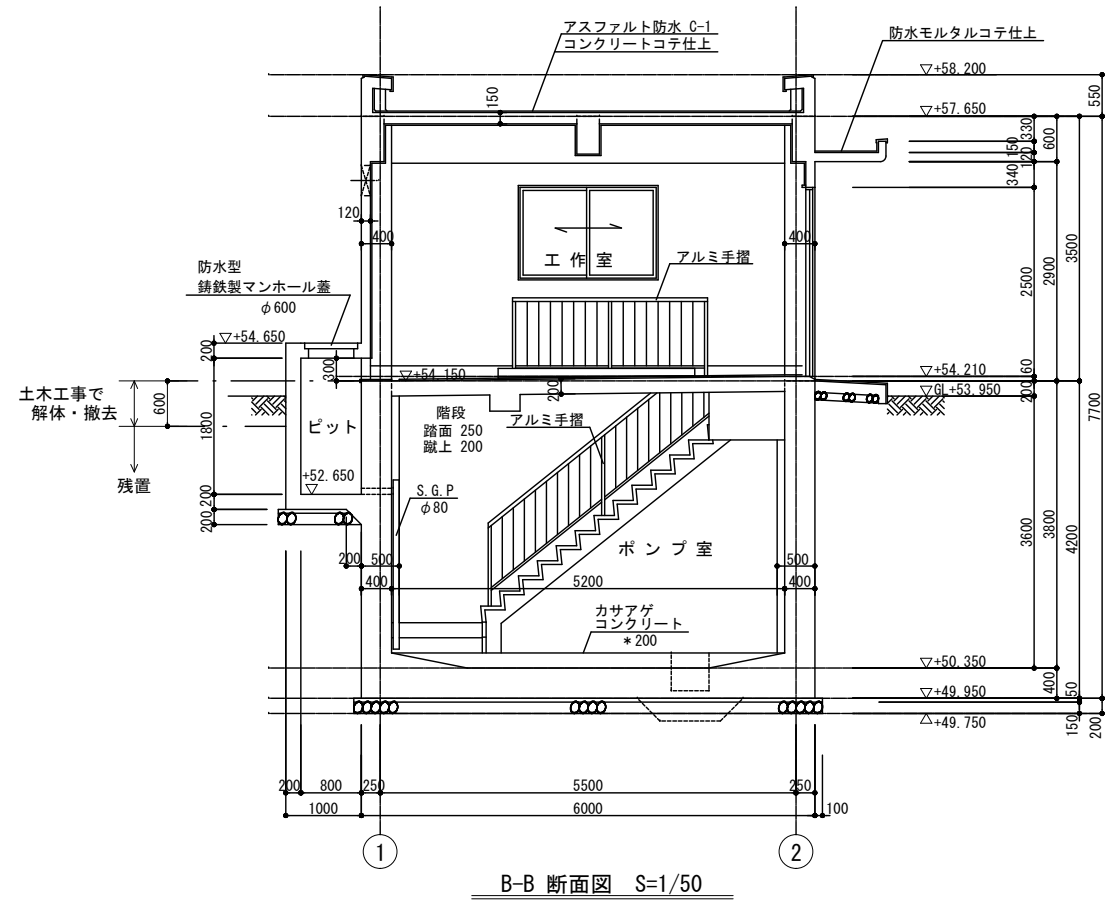
屋根 平面図 S=1/50

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	返送汚泥ポンプ室仕上表、平面図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	4A-1

※ 特記なき限り解体・撤去とする



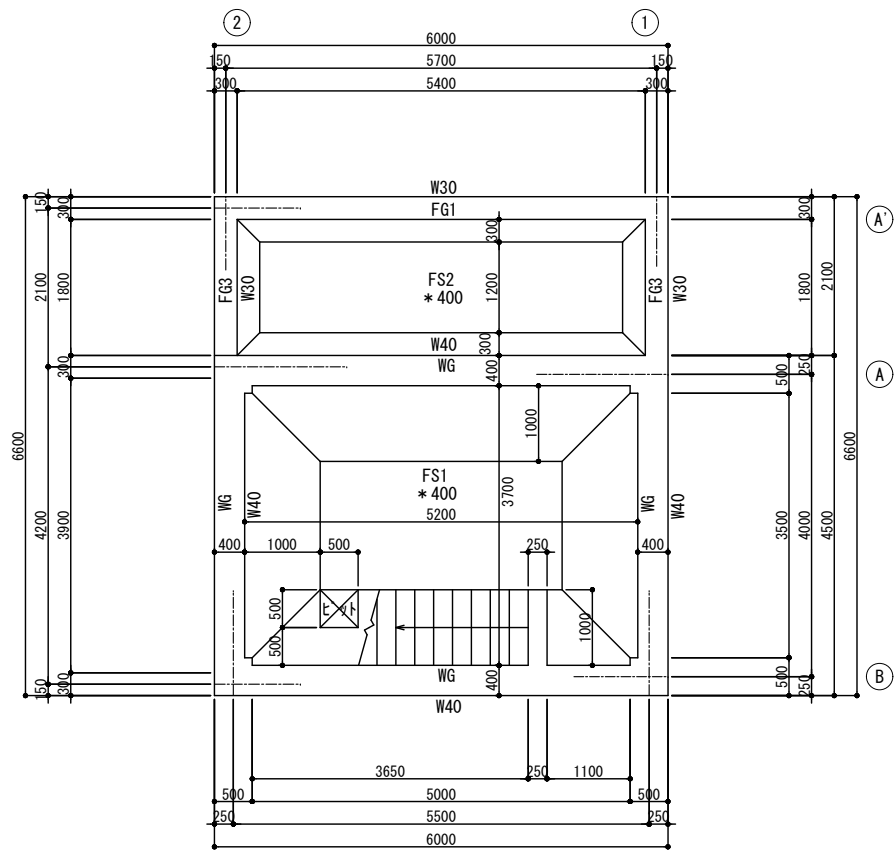
A-A 断面図 S=1/50



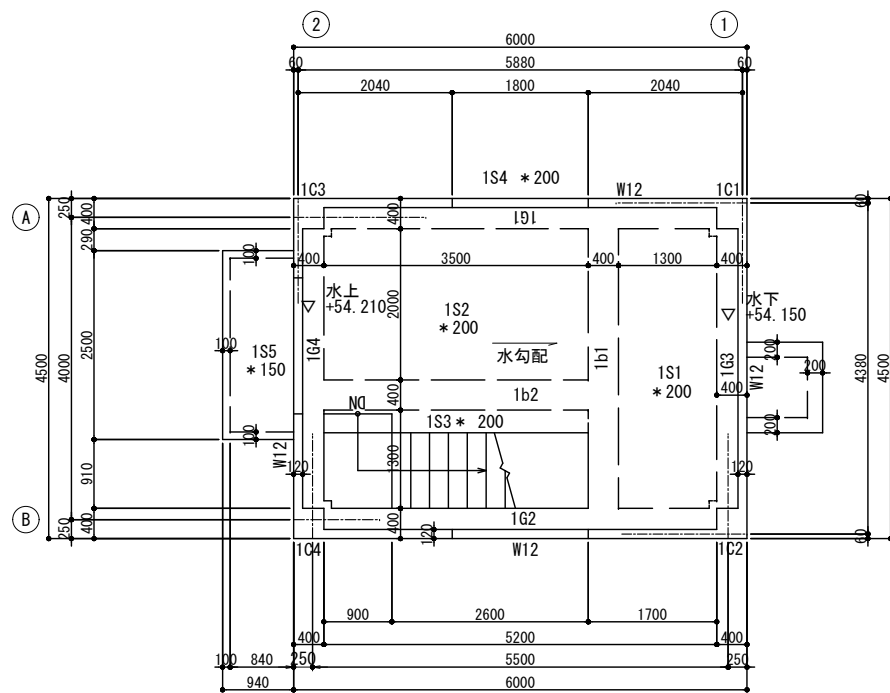
B-B 断面図 S=1/50

※ 特記なき限り解体・撤去とする

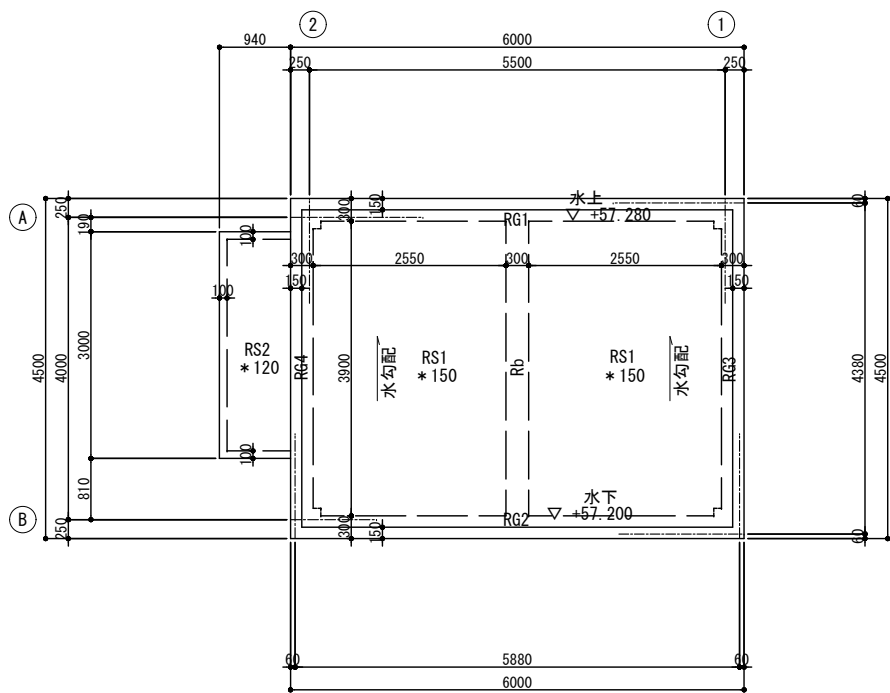
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	返送汚泥ポンプ室断面図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	4A-2



基礎伏図 S=1/50 (残置)



1F 梁伏図 S=1/50

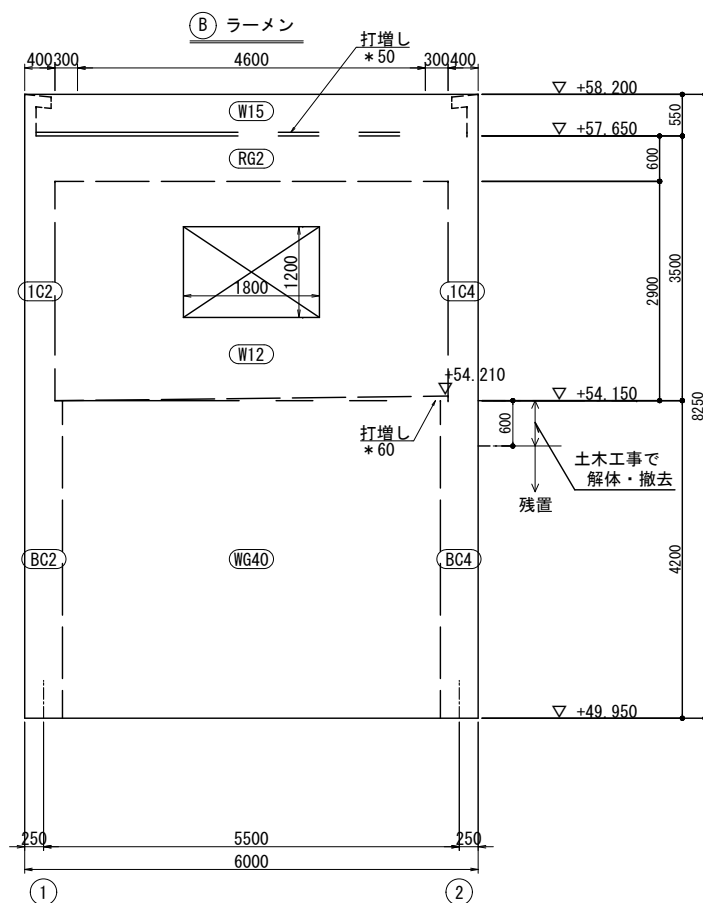
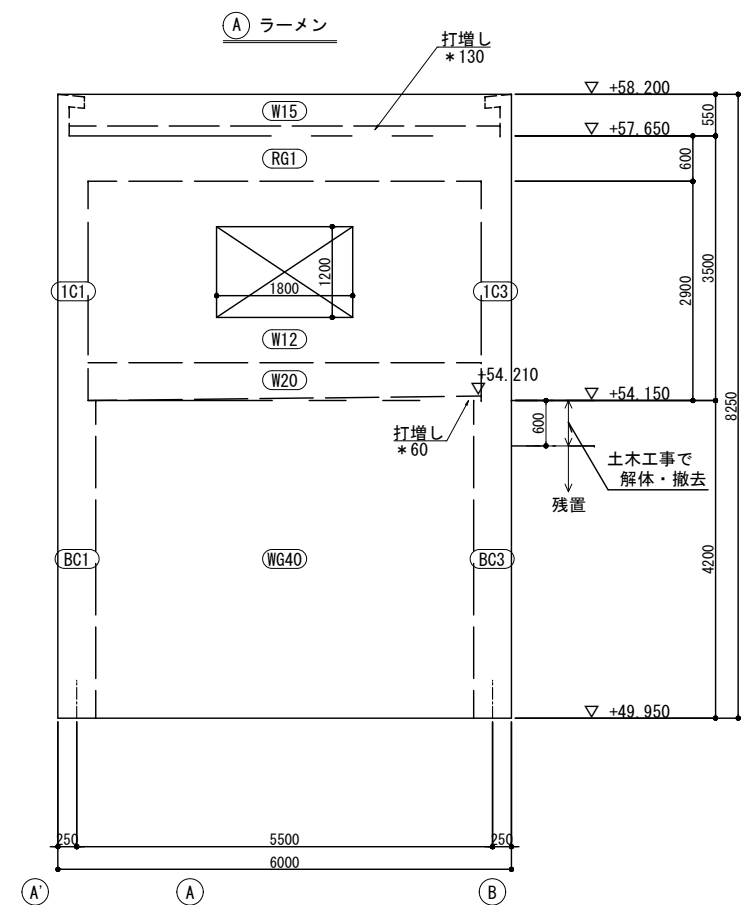
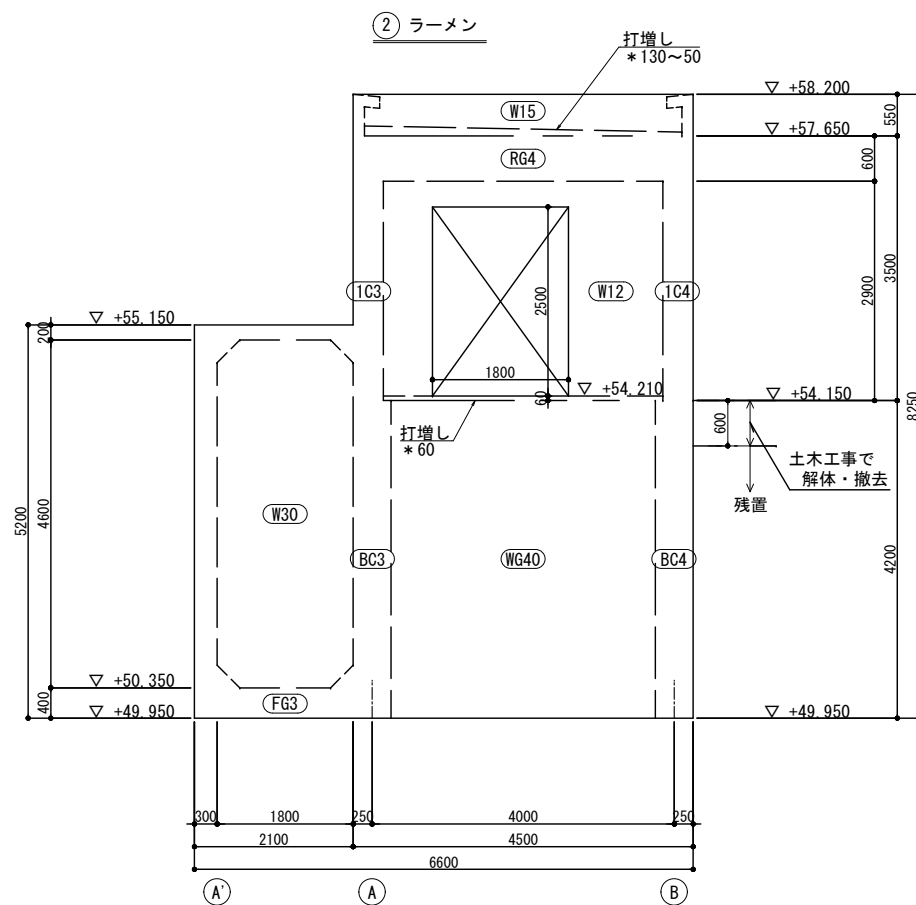
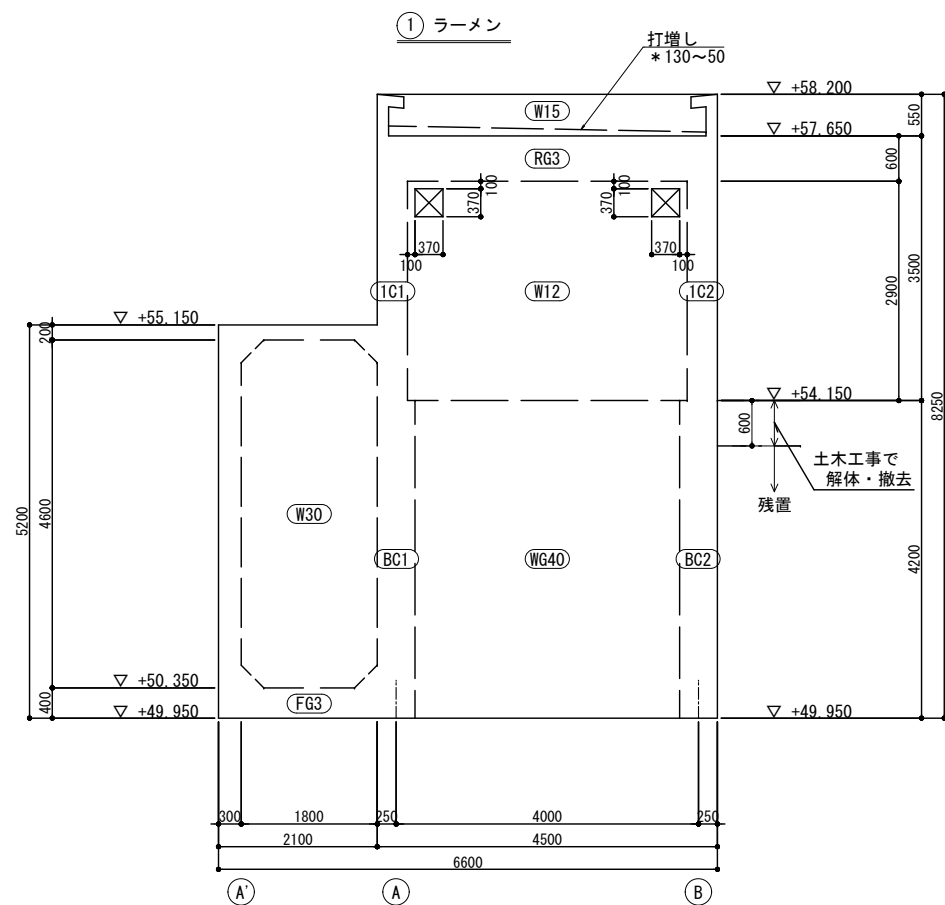


屋根伏図 S=1/50

※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	返送汚泥ポンプ室伏図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	4S-1

軸組図 S=1/50



※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	返送汚泥ポンプ室軸組図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	4S-2

梁 リ ス ト S=1/30 S D-30

R F 梁	符 号	RG1, 2		RG3, 4	Rb
		端 部	中央部	全断面	全断面
	B x D	300 x 600		300 x 600	300 x 500
	上 筋	3-D22	2-D22	2-D22	4-D16
	断 面				
	下 筋	3-D22	3-D22	2-D22	4-D16
	腹 筋	2-D13		2-D13	2-D13
	S. T. P	D13@200		D10@200	D10@200
	巾止筋	D10@1000		D10@1000	D10@1000

1 F 梁	符 号	1G1, 2		1G3, 4		1b1, 2
		端 部	中央部	端 部	中央部	全断面
	B x D	400 x 700		400 x 700		400 x 400
	上 筋	5-D22	3-D22	4-D22	2-D22	5-D19
	断 面					
	下 筋	5-D22	5-D22	4-D22	4-D22	7-D19
	腹 筋	2-D13		2-D13		—
	S. T. P	D13@200		D13@200		D13@200
	巾止筋	D13@1000		D13@1000		—

地 中 梁	符 号	FG1	FG2, 3	FG4, 3' (WG)
		全断面	全断面	全断面
	B x D	400 x 1200	400 x 1200	300 x 470
	上 筋	8-D25	8-D25	2-D13
	断 面			
	下 筋	6-D25	4-D25	2-D13
	腹 筋	6-D13	6-D13	—
	S. T. P	D13@200	D13@200	—
	巾止筋	D13@1000	D13@1000	—

壁 リ ス ト S=1/30 S D-30

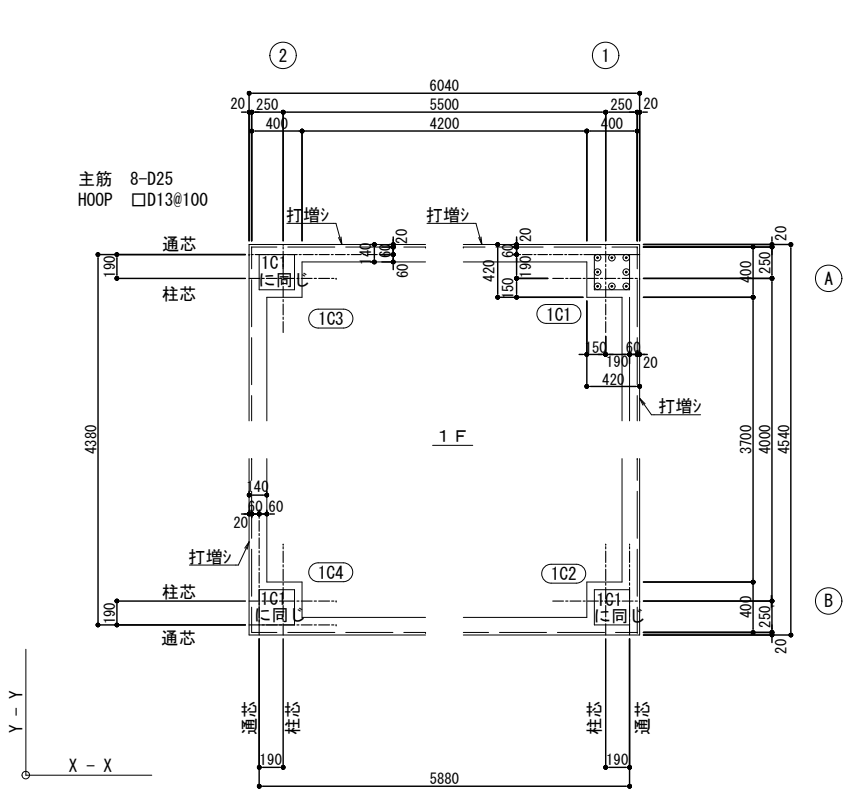
符 号	W40	W12	W30	W20
断 面				
平 面				
竖 筋	D13@200	D13@200	D16@200	D13@200
横 筋	D13@200	D10@200	D13@200	D13@200
巾止筋	D10@1000	—	D10@1000	D10@1000
開口補強筋	縦筋 2-D16 横筋 2-D16	1-D16	—	—
備 考				

ス ラ ブ リ ス ト S=1/30 S D-30

符 号		主 筋		副 筋	
		端 部	中央部	端 部	中央部
* 150	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
RS1	下 筋	↑	↑	↑	↑
* 120	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
RS2	下 筋	↑	↑	↑	↑
* 200	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
1S1	下 筋	↑	↑	↑	↑
* 200	上 筋	D13@200	D16@200	D10@200	D10@200
1S2	下 筋	↑	↑	↑	↑
* 200	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
1S3	下 筋	↑	↑	↑	↑
* 200	上 筋	D16@200	D16@200	D13@200	D13@200
1S4	下 筋	↑	↑	↑	↑
* 150	上 筋	D13@200	D13@200	D10@200	D10@200
1S5	下 筋	↑	↑	↑	↑
* 400	上 筋	D19@300	D19@150 D22@150	D16@300	D16@150 D19@150
FS1	下 筋	D19@150	D19@300	D16@150	D16@300
* 400	上 筋	D16@200	D16@200	D13@200	D13@200
FS2	下 筋	↑	↑	↑	↑

土木工事で
解体・撤去

柱 リ ス ト S=1/30 S D-30



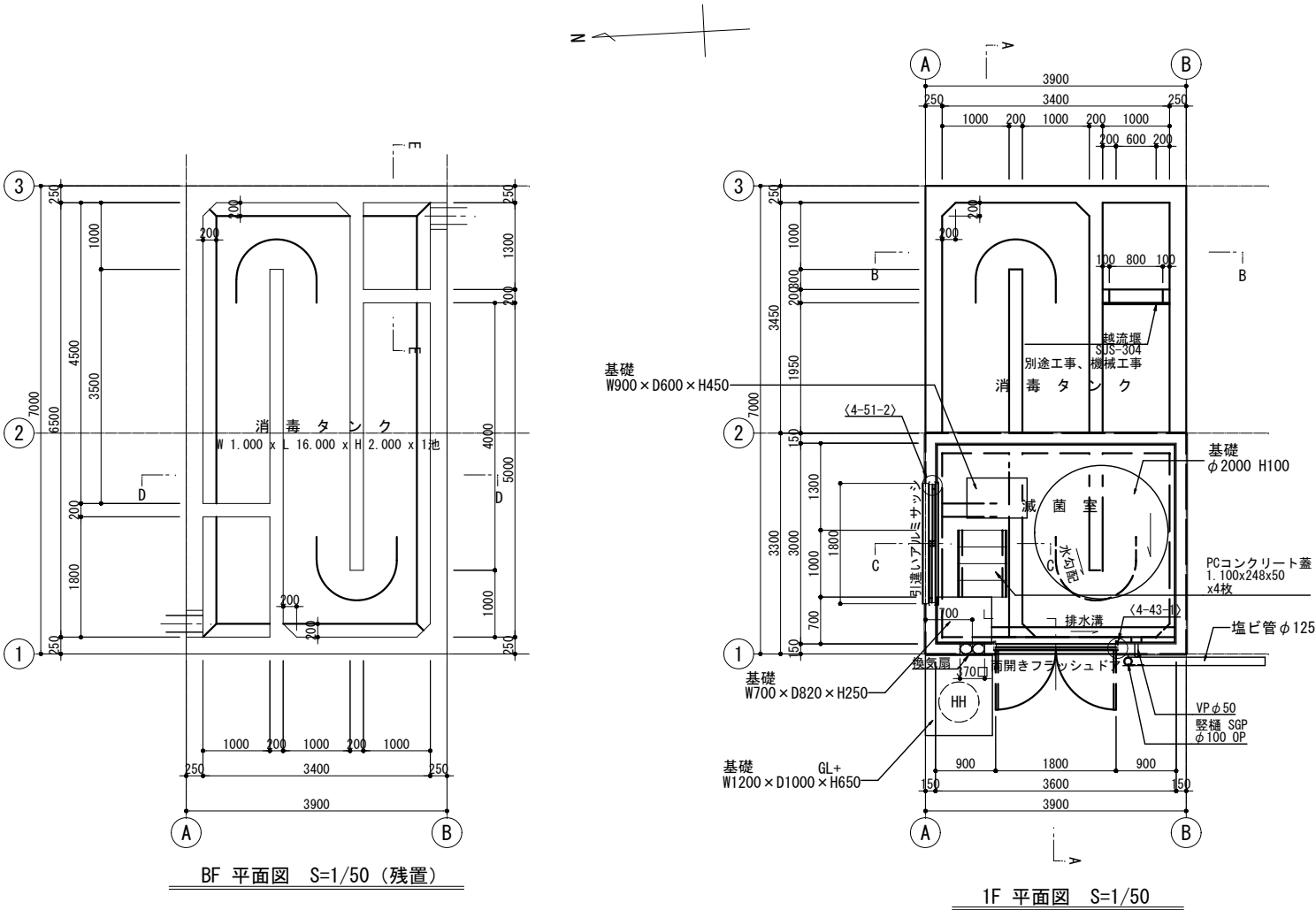
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事 業 名	令和8年度 公共下水道事業		
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名 称	返送汚泥ポンプ室リスト表		
縮 尺	1/30	設計年月	令和 年 月
工 種		設 計 者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	4S-3

外 部 仕 上 表										
床	腰 壁	壁 柱 梁	屋 根	パラペット	バルコニー		ひ さ し			備 考
					床	手すり	上 端	は な	軒 天	
	合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有) (マスチックC仕上)	合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有) (マスチックC仕上)	アスファルト防水C-1 コンクリートコテ仕上	コンクリート金コテ仕上			防水モルタル	合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有) (マスチックC仕上)	合板型枠打放し 吹付タイル (下地調整材に含有) (マスチックC仕上)	ルーフトレン 縦樋SGP φ100 OP 縦樋塩ビ管 φ125

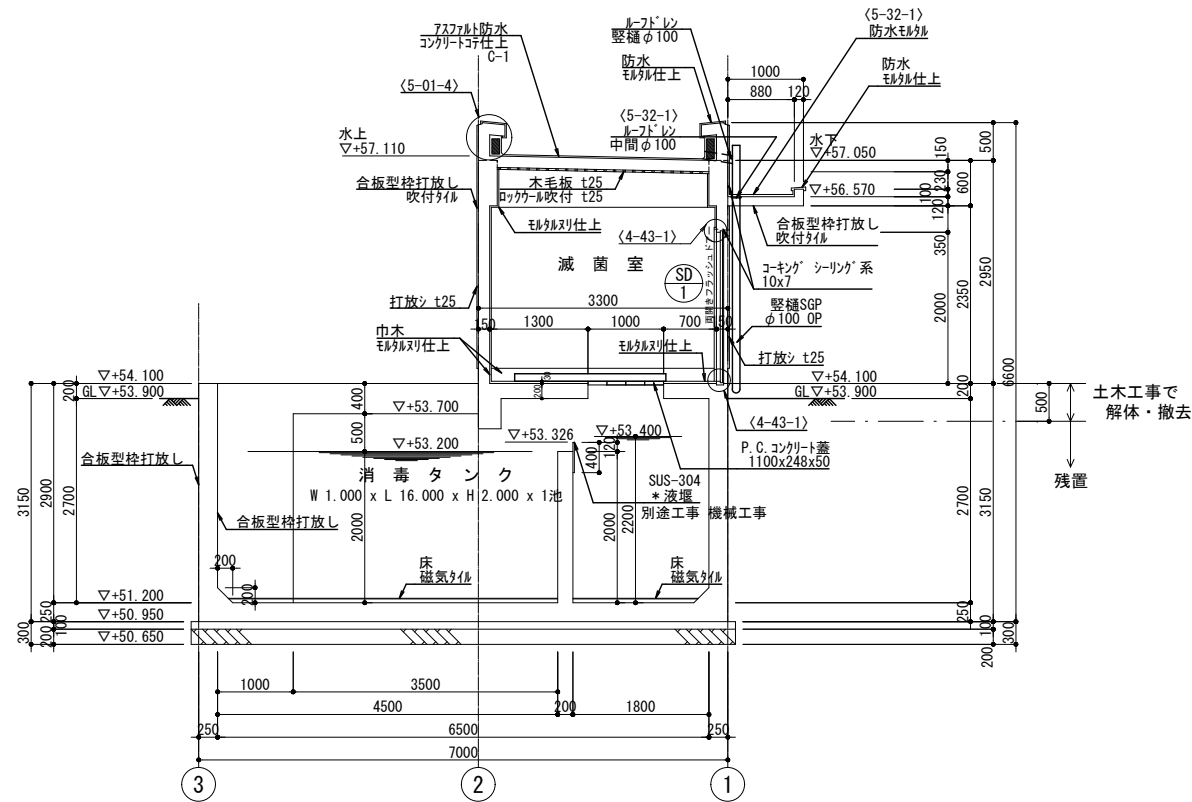
内 部 仕 上 表																							
階	室 名	床			幅 木				腰 壁				壁					天 井					備 考
		下 地	仕 上	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	高 さ	詳細番号	下 地	仕 上	詳細番号	柱型仕上	詳細番号	下地	仕 上	高 さ	詳細番号	梁型仕上	
B1	消毒タンク	C	磁器タイル		C	合板型枠打放し				————			C	合板型枠打放し		壁に同じ		C	合板型枠打放し	直天		天井に同じ	
1	滅菌室	C	モルタル塗り t30		C	モルタル塗り仕上 t25				————			C	モルタル塗り仕上 t25		壁に同じ		C	木毛板 t25 ロックウール 吹付 t25	直天		モルタル塗り仕上 t25	

凡例		注記																		
C	コンクリート	仕上表内 () は、アスベスト含有が確認されたため、																		
OP	調合ペイント塗	施工時は石綿予防規則に則った工法で除去を行うこと。																		

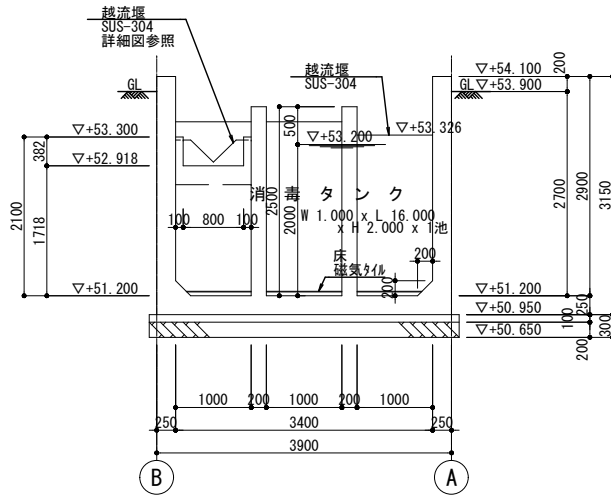


※ 特記なき限り解体・撤去とする

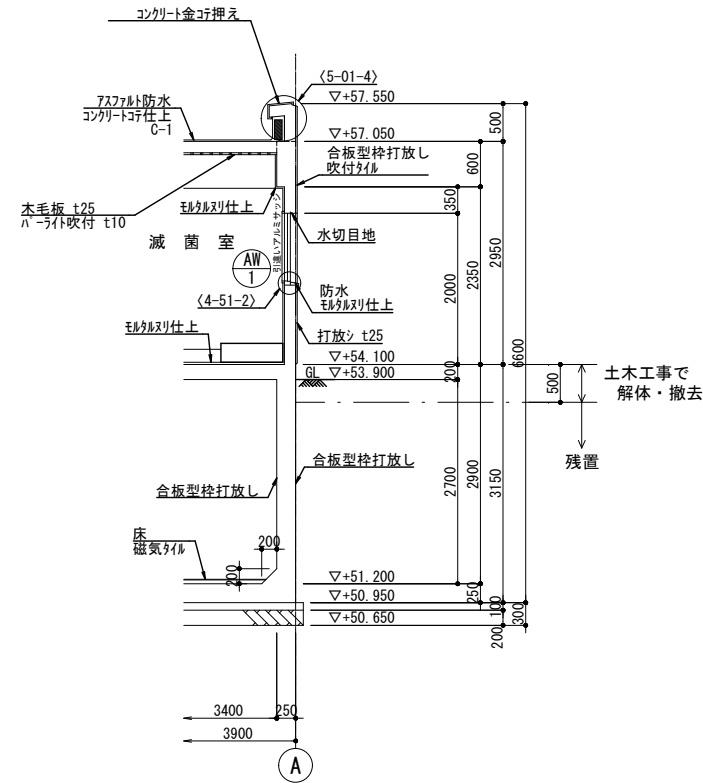
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	消毒タンク仕上表、平面図		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	5A-1



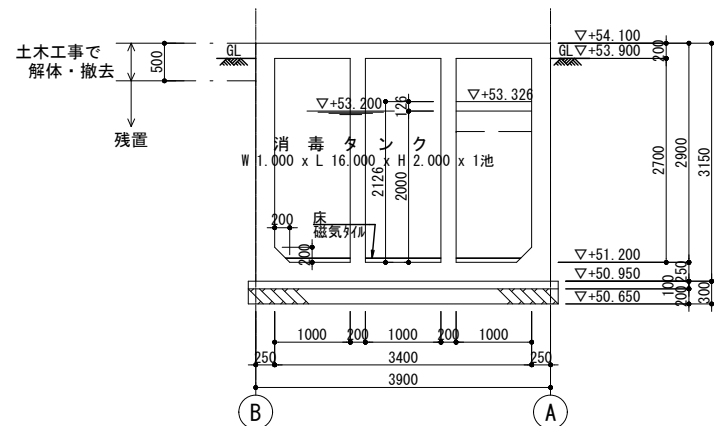
A - A 断面図 S=1/50



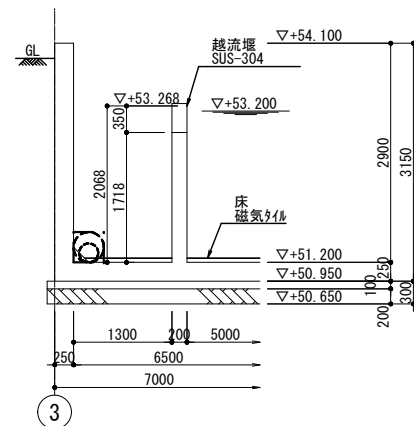
B - B 断面図 S=1/50



C - C 断面図 S=1/50

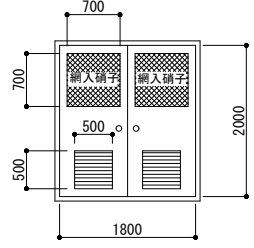
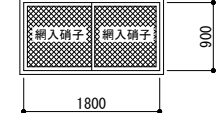


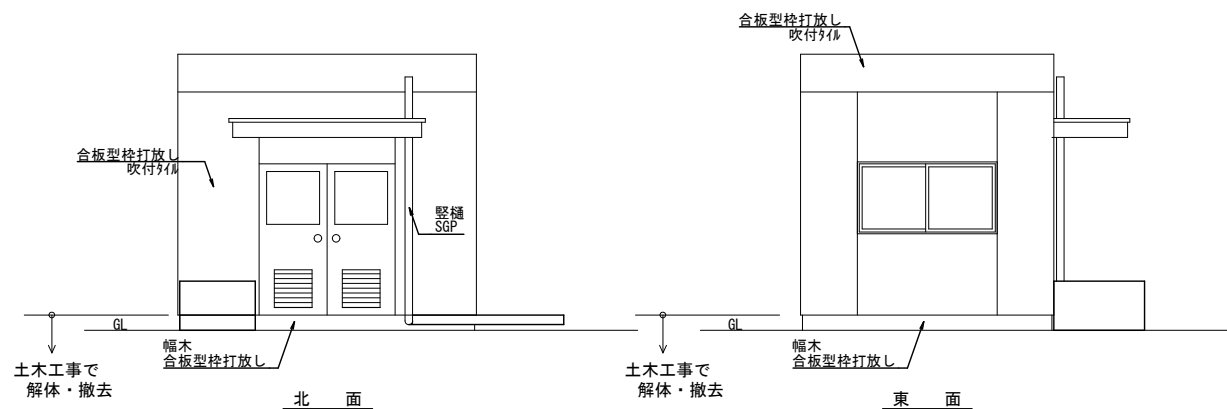
D - D 断面図 S=1/50



E - E 断面図 S=1/50

建具表 S=1/50

符号	名称	数量	SD	両開きフラッシュドア付	1	AW	引違イアルミサッシ	1
場 所	滅 菌 室					滅 菌 室		
形状・寸法								
	区別仕上 (枠共)				OP			
建具	見込	40	ガラリ付	SG				
	硝子	網入硝子	6.8m/m			網入硝子 6.8m/m シーリング止め		
	金物	ドアチェック、ステンレス本締りモノロック、蝶番 3枚吊アームストッパー				クレセント、戸車		
建 具 枠	見込取合沓摺	100	片額縁 3辺、くつづり	<4-44-1>		70	片額縁 4辺、<4-51-2>	
その他								

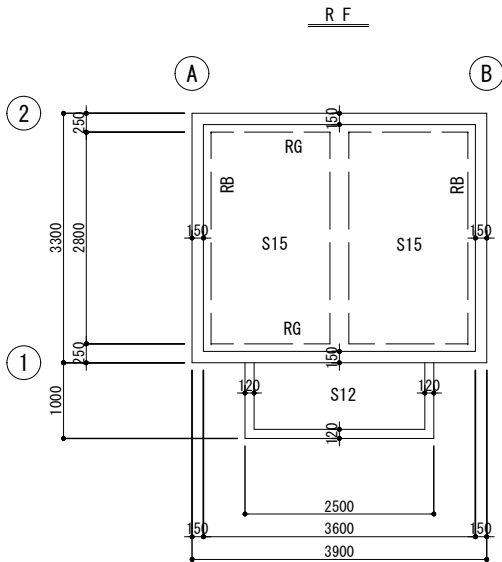
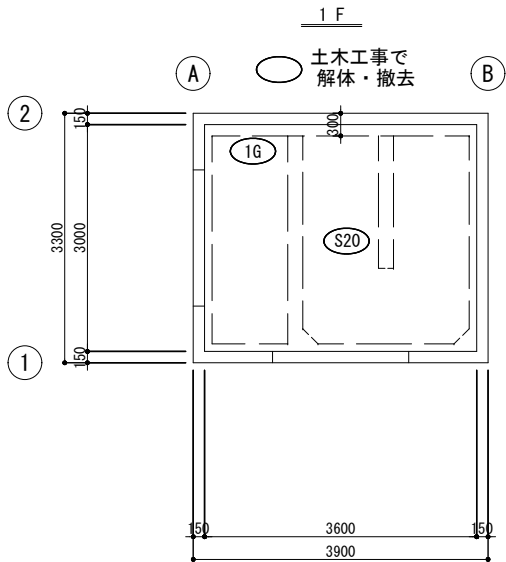
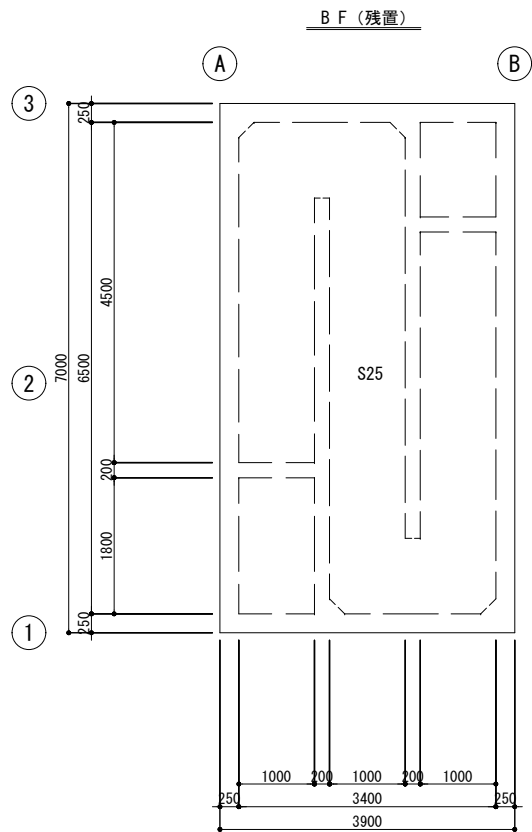


立面図 S=1/50

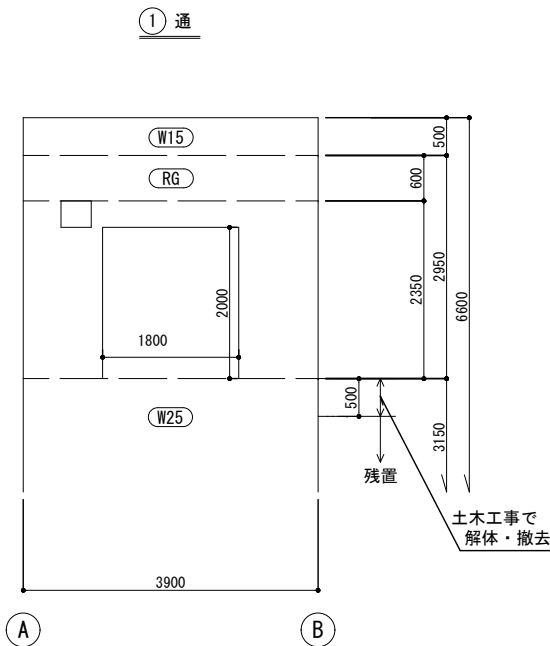
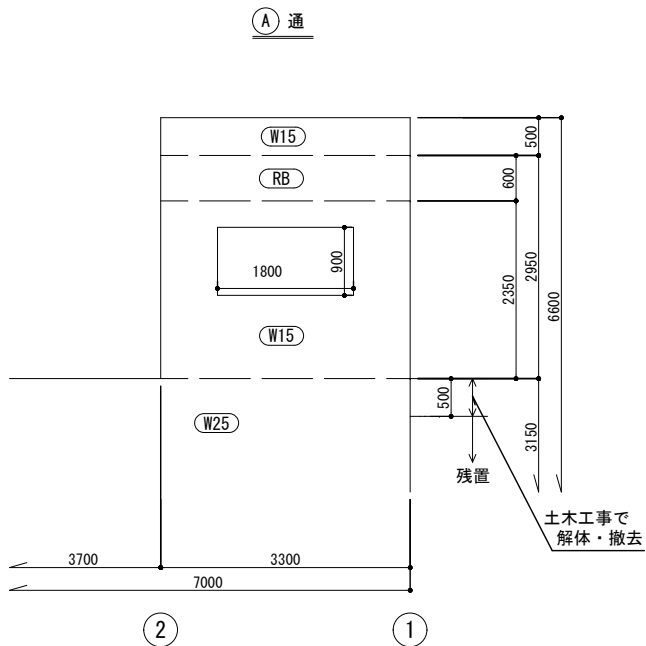
※ 特記なき限り解体・撤去とする

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	消毒タンク立面図、断面図、建具表		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	5A-2

床伏図 S=1/50



軸組図 S=1/50



梁リスト S=1/30

符 号	1G	RGB
	全断面	全断面
B x D	300 x 600	250 x 600
上 筋	2-D16	2-D16
断 面		
下 筋	3-D16	2-D16
腹 筋	—	—
S.T.P	D10@200	D10@200
巾止筋	—	—
	土木工事で解体・撤去	

壁リスト S=1/30 S D-30

符 号	W15
断 面	
平 面	
縦 筋	D13@200
横 筋	D10@200
巾止筋	D10@1000
開口補強筋	縦 筋 筋 2-D16 横 筋 筋 2-D16
備 考	筋違筋 方状筋 3-D16

スラブリスト S=1/30 S D-30

符 号	主 筋	副 筋
* 120 RS12	上 筋 D13@200 下 筋 ↑	D10@200 ↑
* 150 RS15	上 筋 D13@200 下 筋 ↑	D10@200 ↑

※ 特記なき限り解体・撤去とする

事 業 名	令和8年度 公共下水道事業		
工 事 名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名 称	消毒タンク伏図、軸組図、リスト表		
縮 尺	1/50 1/30	設計年月	令和 年 月
工 種	設 計 者		
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	5S-1

旧高花平浄化センター解体工事

設計図

仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 四日市市 八王子町および高花平五丁目 地内

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別 表 第 一	備 考
汚泥処理棟	RC造	地上 2 階	334.03	15項	
ブロー室	RC造	地上 1 階	114.21	15項	
引抜汚泥ポンプ室	RC造	地上 1 階地下 1 階	40.17	15項	
送還汚泥ポンプ室	RC造	地上 1 階地下 1 階	49.70	15項	
消毒タンク	RC造	地上 1 階	11.81	15項	
濃縮/貯留タンク	RC造				

3. 工事種目 (○印の付いたものを適用する)

建物別及び屋外		工 事 種 別				
工 事 種 目	汚泥処理棟	プロロー室	引抜汚泥ポンプ室	送汚泥ポンプ室	消毒タンク	濃縮/貯留タンク
・ 空 気 調 和 設 備						
・ 換 気 設 備						
・ 排 煙 設 備						
・ 自動制御設備						
・ 衛生器具設備						
・ 給 水 設 備						
・ 排 水 設 備						
・ 給 湯 設 備						
・ 消 火 設 備						
・ 厨 房 設 備						
・ ガ ス 設 備						
・ 雨水利用設備						
・ 排水処理設備						
・ し尿浄化槽設備						
○ 撤 去 工 事	撤去 一式	撤去 一式	撤去 一式	撤去 一式	撤去 一式	撤去 一式

4. 指定部分 ☒ 無 ・ 有 (部位:)
指定部分工期 令和 年 月 日

Ⅱ. 工事仕様

- ① 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管轄部制定の下記仕様書等のうち、
○印の付いたものによる。
- | | | | | |
|---|---------------|-----------|---------|-------------------|
| ● | 公共建築工事標準仕様書 | (機械設備工事情) | (令和7年版) | (以下「標準仕様書」という。) |
| ● | 公共建築改修工事標準仕様書 | (機械設備工事情) | (令和7年版) | (以下「改修標準仕様書」という。) |
| ○ | 公共建築設備工事標準準則 | (機械設備工事情) | (令和7年版) | (以下「標準準則」という。) |

2. 特記仕様
章、項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。なお、上位事項に○印がない下位事項は適用しない。

特 記 事 項	
1 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速（$V0=34\text{m/s}$） 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・ 積雪荷重 垂直積雪量（0.3m）
2 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
③ 週休2日制工事	「四日市市週休2日制工事実施要領（常備工事）」（令和6年7月19日改正適用）に基づく適用は下記による。 ○ 週休2日制工事対象 ○ 週休2日制工事（受注者希望型）対象 ・ 週休2日制対象外工事（工事の実働日数が30日未満の工事・現場開所困難な工事） 完全週休2日制工事（受注者希望型含む）の現場開所日については下記による。 ・ 土日閉所（ただし、/ ～ / については土日作業とすること。） ・ 土日以外閉所 土日以外閉所における現場開所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場開所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。
④ 施工条件	施工可能日 土、日、曜日、祝日施工有り ○ 指定無し ・ その他（ ）による 施工可能時間帯 ○ 指定無し・指定有り（ ）による 現場開所日、祝日、夜間作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾書」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 高さ5mを超える箇所での作業を有する場合の落着制止用器具は7mH-9型を使用する。 完成確認及び完成検査時等の給排水・ガス確保 機器の動作確認、運転確認できるように給排水・ガスを確保すること。 完成時の操作用説明 空調設備、自動制御設備、ポンプ、ろ過機、浄化槽設備等、操作に必要な機器は、施設管理者へ使用開始前に操作説明を行うものとする。 操作説明にあたって、操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えること。 在来設備の一時停止に係る調整 機械設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要がある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電、断水計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来さないよう特に注意する。
5 監督職員事務所	監督職員事務所を設けること。
⑥ 工事用電力・水・その他	○ 工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。 ・ 市支給。ただし現場において既設設備より供給可能な範囲に限る。
⑦ 工事用仮設物	工事用仮設物を構内につくることができる。
8 足場その他	・ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場等（ ） ・ 外部足場等（くさきき緊結式（手すり先行工法） ）
9 交通安全管理	交通誘導員 名以上（大型車の出入は必ず） ・ 配置しない ・ 交通誘導警備員A ・ 交通誘導警備員B
10 施工調査	・ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。 ・ 既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。

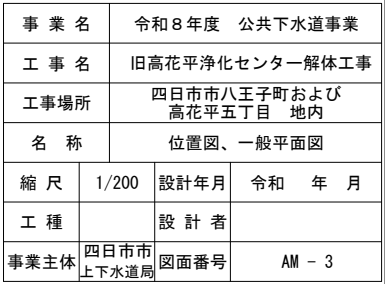
項 目	特 記 事 項																																																										
11 非破壊検査等	構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。																																																										
12 既存躯体への穿孔	穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。																																																										
13 耐震安全性の分類と耐震施工	設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。 ・すべて ・（ ）以外 の100g以上の機器を対象とする。 (１) 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 設計用標準水平地震度 <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">・ 特定の施設</th><th colspan="2">・ 一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階・ 屋上及び 塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地階・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものの重要機器は次による。 ・ 消火ポンプ ・ 充水槽 ・ 受水槽 ・ 高架水槽 ・ 揚水ポンプ ・ その他（ ） 水槽類にはオイルタンクを含む。 (２) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とする。	設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階・ 屋上及び 塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			・ 特定の施設		・ 一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階・ 屋上及び 塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
14 建設発生土の処理	・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 構外搬出適切処理とする。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地の処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。																																																										
15 埋戻し土・盛土	地中埋設管まわりは山砂の類とし、図面に記載のない部分は掘削土の良質土で埋戻す。																																																										
16 材料・機材の品質等	(１) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (２) 別表－１に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定めで許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (３) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。																																																										
17 環境への配慮	(１) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。 (２) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料																																																										
18 資源有効利用促進	※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ・ 建設副産物を搬出する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 ・ 再生資材を利用する際の計画 1. 土砂500m3以上 2. 砕石500t以上 3. 加熱アスファルト200t以上																																																										
19 工事の保険	・ 建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・ 請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。）																																																										
20 建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・ 法定外労災補償制度（加入証明書の写しを提出） ・ 建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出） 共済証紙購入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要があるない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 増額の契約変更があった場合は、不足分を追加購入すること。																																																										
21 工事実績情報登録	工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス(コリス)に登録すること。																																																										
22 施工体制台帳提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、遅やかに提出すること。変更時も同様とする。																																																										
23 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にに施する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。																																																										

項 目		特 記 事 項	
24	工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ●工事写真 - 工程写真（建設部、随べい部、施工、材料等）及び完成写真 - A 4 用紙に印刷し、提出すること。 - 撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官庁庁舎部制定「営繕工事写真撮影要領（令和5年版）」を参考にすること。 ○工事日報、納品伝票、出荷証明 - 工事日報、納品伝票、出荷証明の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。	
25	完成時の提出図書	下記ものを提出すること。 ○工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。 ○完成図（JW-CADデータ及びPDFデータ）（DVD）（2）枚 ○完成図（A1またはA2サイズで電気設備図と併せて二つ折り製本したもの）（3）部 ○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として、完成図データと同一媒体とする。 ○保全に関する資料等（2）部 ●監督職員の指示により提出するもの ○ 完成図（A4版に製本したもの） ・ （ ）	
26	施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	
27	地中埋設設備	（1）地中埋設設備 ・ 要（図示による。） ・ 不要 （2）埋設表示用テープ（2倍折込み） ・ 要（排水管を除く。） ・ 不要	
28	既設との取合い	本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。	
29	電源周波数	60 Hzとする。	
30	電気工作物の種類と電気保安技術者	・ 事業用電気工作物 ・ 一般用電気工作物 電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。 電気保安技術者 事業用電気工作物；電気主任技術者 一般用電気工作物：電気工事士電気計装に使用する電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編 1.5.1 表4.1.11による。	
31	電線類	標準仕様書第2編 2.5.15.12 の溶接部の非破壊検査を行う。	
32	管溶接部の検査	標準仕様書第2編 2.5.15.12 の溶接部の非破壊検査を行う。	
33	管の防食	プラスチックテープ巻き 1/2 重ね1回巻きとする。（外面被覆ライニング鋼管及び排水管は除く）	
34	吊り及び支持	（ ・ 構内 ・ 土間）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）とする。 屋内埋設配管についても、通常の配管方法に準じて行うこと。	
35	防振吊り金物及防振支持金物	次の配管には、防振吊り金物（ ・ シングル ・ ダブル）または、防振支持金物を設ける。ただし、屋外及び地下ビットを除く。 ・ 口径 50A以上の配管（ ・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 揚水 ・ 消火 ・ ） ・ 次に示す配管 露出機材の塗装仕上げは下記による。 ・ 屋外： ・ ドレン管（ ・ 指定色塗装 ・ ） ・ 金属電線管（ ・ 内外面熔融亜鉛メッキ仕上げ ・ 指定色塗装） ・ 屋内： ・ EPS、ビット層を除く露出配管、電線管類（ ・ 指定色塗装 ・ ） 下記の保温を施さない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ・ 機械室 ・ 倉庫 ・ 電気室 機械室、PS内、水槽廻り、その他必要な箇所にて配管種別（「給水」等）、流向（矢印）を表示すること。弁には常開、常閉、調整 等の中表示を行うこと。 ・系統図、機器等の取り付け方及び重要な箇所点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは、約 m2とする。	
37	絶縁継手	特記なき取付け箇所及び仕様は標準仕様書第2編 2.2.12による。	
38	防振継手	・ 合成ゴム製 ・ ベロウズ形	
39	可換継手	・ 合成ゴム製 ・ ベロウズ形	
40	鉄錠装弁類	ライニング弁類の使用範囲 ・ 標準仕様書による ・ 使用しない	
41	スリーブ	・ 亜鉛鉄板 ・ 紙チューブ ・ つば付鋼管 ・ 塩化ビニル管	
42	容量等の表示	（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。	
43	試験	（1）各種配管の試験は、新設配管に適用する。 （2）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。 給水管の水道用環状塩化ビニル管H1VP10.75MPaでの耐圧試験とする。 給水、給湯用架橋ポリエチレン管はメーカ推奨圧力で行う。 上記（2）により難く、既設配管との接続の場合は、監督職員の承諾を得られ、漏れ、詰まりがない事を目視での確認で良いこととする。 既設配管は保温、埋設直前に、給水給湯系は24時間常圧耐圧確認、排水系は通水確認を行う。	
44	総合調整	・ 本工事 ・ 別途 - 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 飲料水の水質の測定（水道法第4条の水質基準の規定に基づくこと） ・ 検査項目は下記による - 一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度、遊離残留塩素 ・ その他（ ・ 項目 ・ 遊離残留塩素 ・ 図示 ）	
45	機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式（令和7年版）によるほか、監督職員の指示による。	
①	撤去内容	○ 図示による	
②	支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物・吊りボルト等は本工事に伴って撤去する。	
③	冷媒の回収（フロン類）	冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は改修標準仕様書による。 冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。 （ア）第一種フロン回収業者登録通知書の写し （イ）フロン回収証明書	
④	発生材の処理	・ 引渡しを要するもの ・ 金属類（ ・ 機器 ・ ダクト ・ 配管 ・ その他の金物 ） ・ ルームエアコン ・ （ ） ○ 引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にA票及びD票もしくはE票の確認を受けるものとする。 ・ 特別管理産業廃棄物（PCB使用機器： ） - PCB使用機器は、関係法令に従い適切に処理する。 ・ 再使用又は再資源化を図るもの	

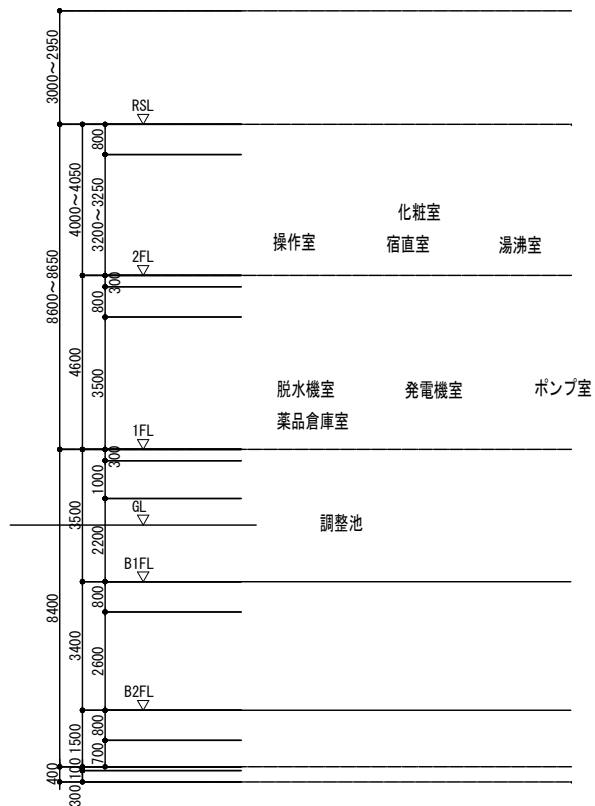
項	目		特 記 事 項																																																																																											
1	設計用温湿度	<table><tr><th rowspan="3"></th><th colspan="2">外 気</th><th colspan="6">屋 内</th></tr><tr><th colspan="2">(地区名：津)</th><th colspan="3">一 般 系 統</th><th colspan="3">OA系統</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏期</td><td>35.3℃</td><td>63.1%</td><td>28℃</td><td>50%</td><td>24℃</td><td>45%</td><td>28℃ (参考)</td><td>50% (参考)</td></tr><tr><td>冬期</td><td>1.9℃</td><td>53.6%</td><td>19℃</td><td>40%</td><td>24℃</td><td>45%</td><td>19℃ (参考)</td><td>40% (参考)</td></tr></table>		外 気		屋 内						(地区名：津)		一 般 系 統			OA系統			温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏期	35.3℃	63.1%	28℃	50%	24℃	45%	28℃ (参考)	50% (参考)	冬期	1.9℃	53.6%	19℃	40%	24℃	45%	19℃ (参考)	40% (参考)																																																	
	外 気			屋 内																																																																																										
	(地区名：津)			一 般 系 統			OA系統																																																																																							
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																						
夏期	35.3℃	63.1%	28℃	50%	24℃	45%	28℃ (参考)	50% (参考)																																																																																						
冬期	1.9℃	53.6%	19℃	40%	24℃	45%	19℃ (参考)	40% (参考)																																																																																						
2	銅板製煙道	伸縮継手、排除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。																																																																																												
3	ダクト	・ 低圧ダクトの工法は下記とする。 （ ・ コーナールート工法（長辺の長さが1500mm以下の部分） ・ アングルフランジ工法 ） ・ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。																																																																																												
4	風量測定口	取付け箇所は図示による。																																																																																												
5	チャンパー等	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音 内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) 外壁ガラリに直接取り付けるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。 (4) 空気調和機の吸込み側及び吐出側に接続するチャンパーの板厚は、1.2mm 以上とする。 図示されたチャンパーには点検口を設ける。 寸法は図示されていない場合は（ ・ 400×500H ・ 500×600H ）とする。 (5) 内貼りを施すチャンパー等の表示寸法は、外形寸法とする。 (6) アネモ形吹出口接続用ボックスは、吹出口のネック径200mm以下は、 400×400×250H、200mmを超えるものは、500×500×300Hとする。																																																																																												
6	ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ） (2) ピストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）																																																																																												
7	配管材料	配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。 (1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 塩化ビニリング鋼管（HVA） (2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 塩化ビニリング鋼管（VA） (3) 油管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） (4) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（ ・ Sch40） 還 管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（ ・ Sch80） (5) 高温水管 ・ ステンレス鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） (6) 膨張管 空気抜き管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 膨張タンクよりボイラー等への補給水管 (7) 冷媒管 ・ 断熱材被覆鋼管 (8) ドレン管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ビニル管（VP） (屋外露出：VP カチ-VP 屋内：保温付VP)																																																																																												
8	弁 類	J I S又はJ V（ ・ 5 K ・ 10 K（図示部分）） 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ・ 鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ・ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。																																																																																												
9	油面制御装置	油面制御盤には（ ・ 遠隔警報 ・ 電磁制御 ・ ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。																																																																																												
10	配管施工	○ 冷媒管は、製造者の標準仕様による。ただし、断熱材被覆鋼管の断熱材厚さは、液管を10mm以上、 ガス管を20mm以上とする。 冷媒管の耐圧試験は24時間メーカー推奨圧力で行う。 冷媒管の立て管は、垂直方向に5m以上ある場合、ガス管、液管共に鋼管から直接1箇所以上固定する こと。この場合支持金物にも保温を行うこととし、保温は保温工事の項の冷媒管(成形用)に準ずる。 ○ 冷水、ブライン及び冷温水配管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用すること。 ○ 冷媒管の支持受付材として保護プレートを断熱被覆鋼管と吊り金物、支持金物、固定金物の間に設ける こと。																																																																																												
11	ばい煙濃度計	・ 設ける ・ 設けない																																																																																												
12	ばいじん量測定口	・ 設ける（口径80φ以上） ・ 設けない ・ 本体は（ ・ アスファルト ・ モルタル ・ エポキシ樹脂）により保護を行う。																																																																																												
13	吹出口・吸込口	・ 銅製 ・ アルミニウム製 ・ 木製																																																																																												
14	開閉流量計	・ 設ける（検出部と指示部一体系） ・ 設けない 取付箇所は、（ ・ ユニット形空気調和機 ・ 冷温水ポンプ ・ ヘッダーの各送り管 ・ ヘッダーの各戻り管 ）とする。 ・ 開閉流量計を設けない場合は、ビートル管式流量計用タッピングのみを設ける。 取付箇所は前記による。																																																																																												
15	圧力計・温度計	<table><tr><th rowspan="3">機器名</th><th rowspan="3"></th><th colspan="4">計器取付箇所（○印の箇所）</th></tr><tr><th colspan="2">機器入口側</th><th colspan="2">機器出口側</th></tr><tr><th>圧力計</th><th>温度計</th><th>圧力計</th><th>温度計</th></tr><tr><td rowspan="2">冷凍機</td><td>冷却水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>ガード付</td></tr><tr><td>冷水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>L形又は円形</td></tr><tr><td rowspan="2">直たき吸収式 冷温水機</td><td>冷却水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>ガード付</td></tr><tr><td>冷温水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>L形又は円形</td></tr><tr><td rowspan="2">パッケージ形 空気調和機</td><td>冷却水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>ガード付</td></tr><tr><td>温水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>L形又は円形</td></tr><tr><td rowspan="2">空気調和機</td><td>チャンパ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>ブルドン管式</td></tr><tr><td>冷温水</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>L形又は円形</td></tr><tr><td rowspan="2">温風暖房機</td><td>チャンパ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>ブルドン管式</td></tr><tr><td>温水ボイラ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>L形又は円形</td></tr><tr><td colspan="2">管寄せ</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>L形又は円形</td></tr></table>							機器名		計器取付箇所（○印の箇所）				機器入口側		機器出口側		圧力計	温度計	圧力計	温度計	冷凍機	冷却水	○	○	○	○	ガード付	冷水	○	○	○	○	L形又は円形	直たき吸収式 冷温水機	冷却水	○	○	○	○	ガード付	冷温水	○	○	○	○	L形又は円形	パッケージ形 空気調和機	冷却水	○	○	○	○	ガード付	温水	○	○	○	○	L形又は円形	空気調和機	チャンパ	○	○	○	○	ブルドン管式	冷温水	○	○	○	○	L形又は円形	温風暖房機	チャンパ	○	○	○	○	ブルドン管式	温水ボイラ	○	○	○	○	L形又は円形	管寄せ			○			L形又は円形
機器名		計器取付箇所（○印の箇所）																																																																																												
		機器入口側		機器出口側																																																																																										
		圧力計	温度計	圧力計	温度計																																																																																									
冷凍機	冷却水	○	○	○	○	ガード付																																																																																								
	冷水	○	○	○	○	L形又は円形																																																																																								
直たき吸収式 冷温水機	冷却水	○	○	○	○	ガード付																																																																																								
	冷温水	○	○	○	○	L形又は円形																																																																																								
パッケージ形 空気調和機	冷却水	○	○	○	○	ガード付																																																																																								
	温水	○	○	○	○	L形又は円形																																																																																								
空気調和機	チャンパ	○	○	○	○	ブルドン管式																																																																																								
	冷温水	○	○	○	○	L形又は円形																																																																																								
温風暖房機	チャンパ	○	○	○	○	ブルドン管式																																																																																								
	温水ボイラ	○	○	○	○	L形又は円形																																																																																								
管寄せ			○			L形又は円形																																																																																								
16	機器基礎	ボ ン ブ 基礎施工要領（四） ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 遠心冷凍機 基礎施工要領（二） ・ 標準基礎 往復動冷凍機 基礎施工要領（三） ・ 標準基礎 パッケージ形空気調和機 基礎施工要領（二） ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 既製品基礎 ルームエアコン 基礎施工要領（三） ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 既製品基礎 ユニット形空気調和機 基礎施工要領（三） ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 遠心送風機 基礎施工要領（四） ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 防振基礎は市販の防振装置を使用して下さい。																																																																																												
17	形鋼振れ止め	ダクトに形鋼振れ止め支持を行う。図面に特記なき場合、支持部材選定による。																																																																																												
18	吊機種の振れ止め	室内機器等の吊り用ボルトには、ダブルナットで固定し、ボルト長さが1000mm以上 の場合には、振れ止めを施す。																																																																																												

	図面番号
センター解体工事	AM - 1
1級建築士 登録第 四日市市諏訪町1番5号	号 / 令和7年11月版

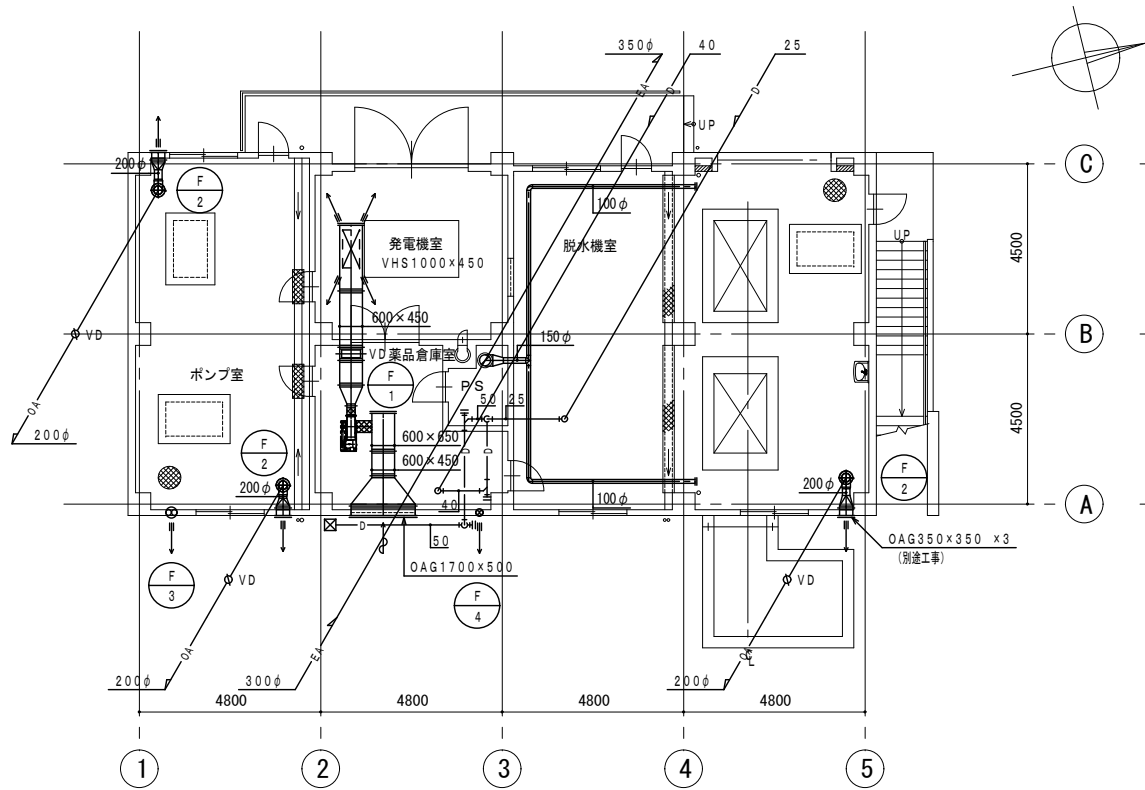
[illegible]



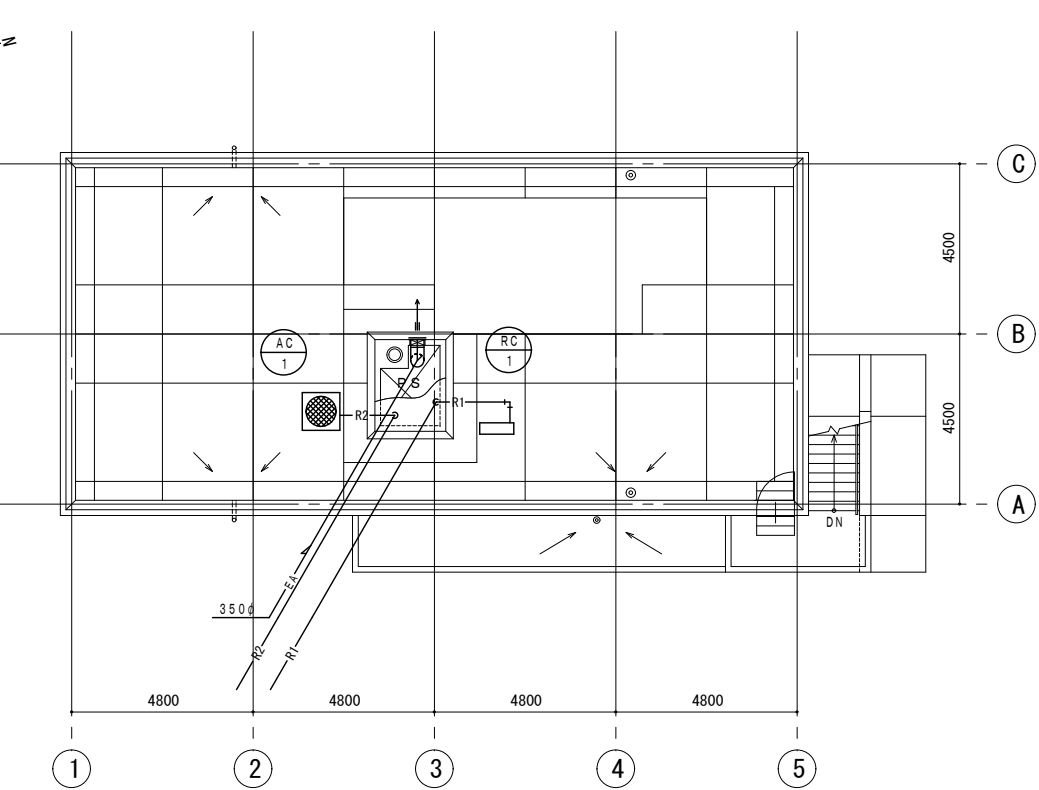
機器表

[illegible]

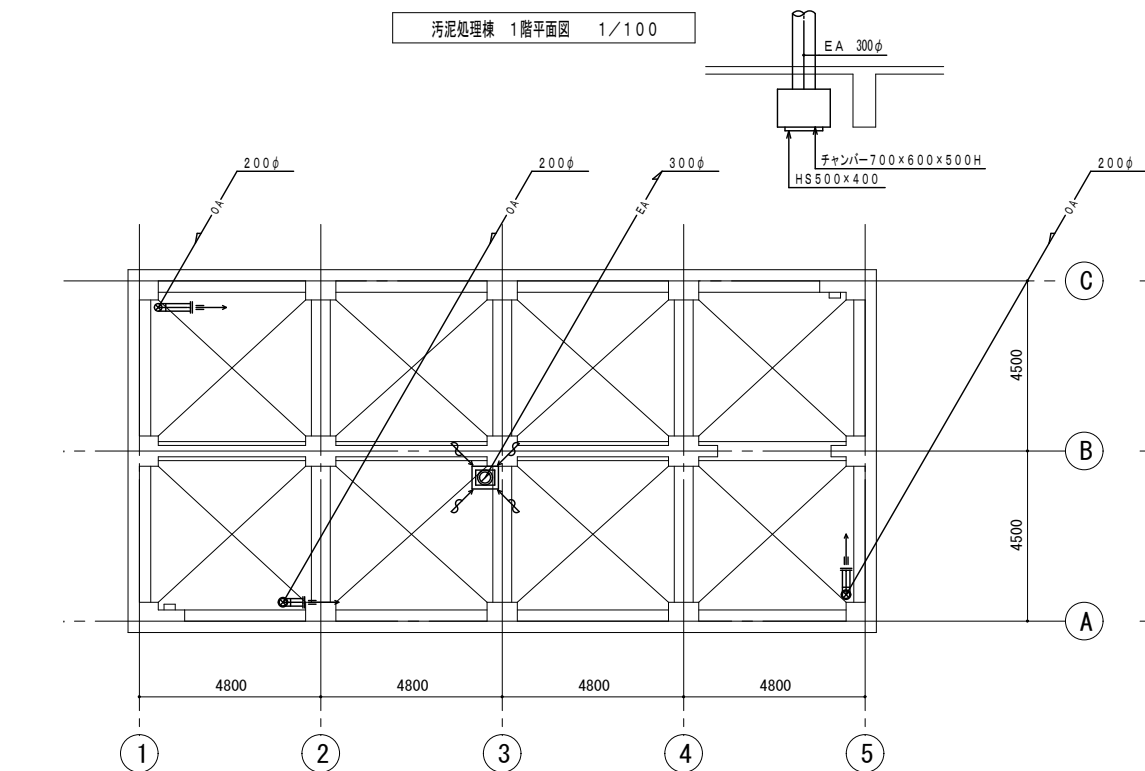
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理機 空調・換気設備 機器表（撤去）		
縮尺	—	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1AM-1



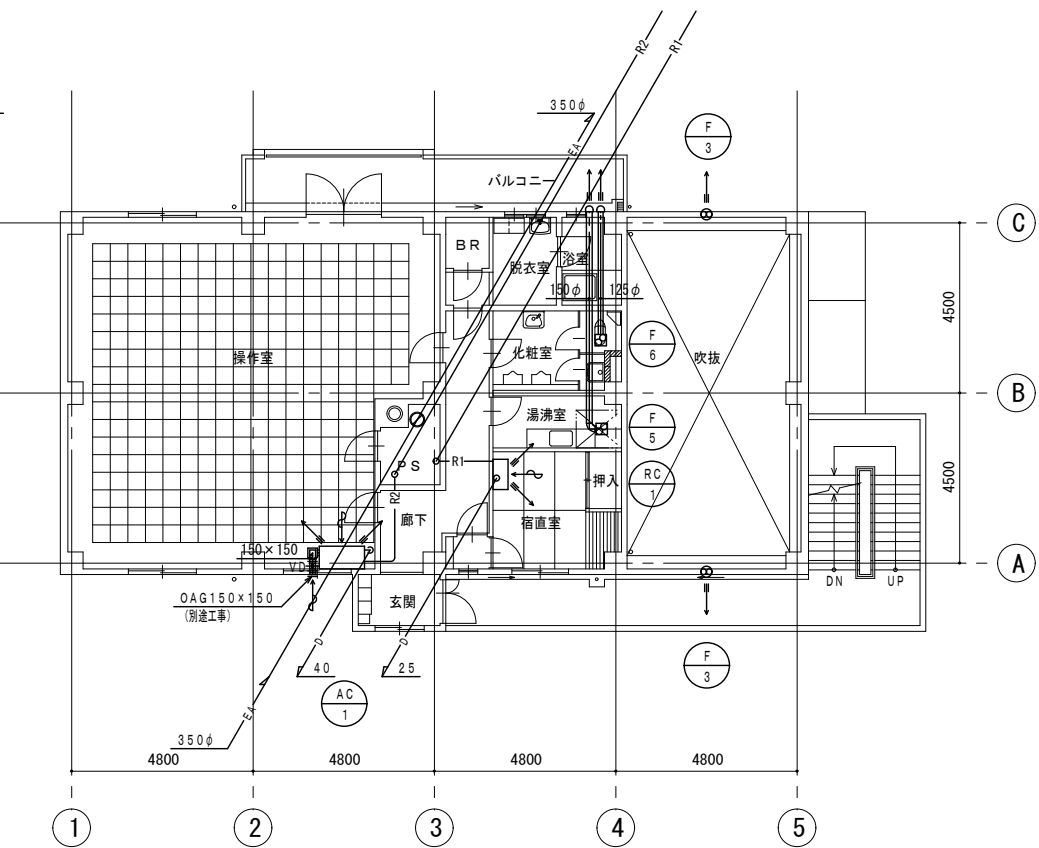
汚泥処理棟 1階平面図 1/100



汚泥処理棟 屋根伏図 1/100



汚泥処理棟 B1階平面図 1/100



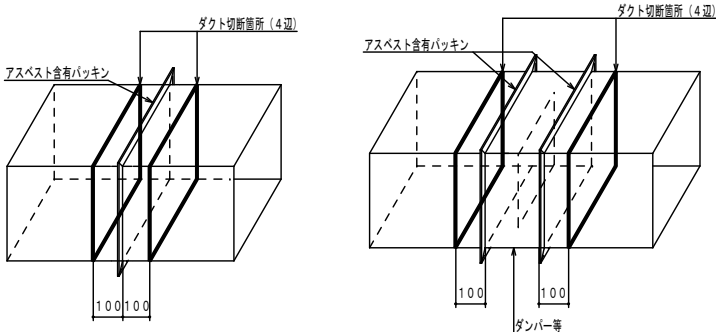
汚泥処理棟 2階平面図 1/100

冷媒管サイズ表 (参考)

記号	液 管	ガス管	室内外連絡配線
—R1—	6.4 φ	9.5 φ	EM-CE2.0sq-4C(1Cアース)
—R2—	19.1 φ	25.4 φ	EM-CE2.0sq-4C(1Cアース)
			リモコン線 : EM-CEES1.25sq-2C

系 統	寸 法	箇所数
F-1	1750×500	1
	650×450	1
	600×650	2
	480φ	2
	485×330	2
	600×450	5
F-2	1000×450	1
	200φ	6
	300φ	3

アスベスト含有物フランジ撤去リスト (参考数量)



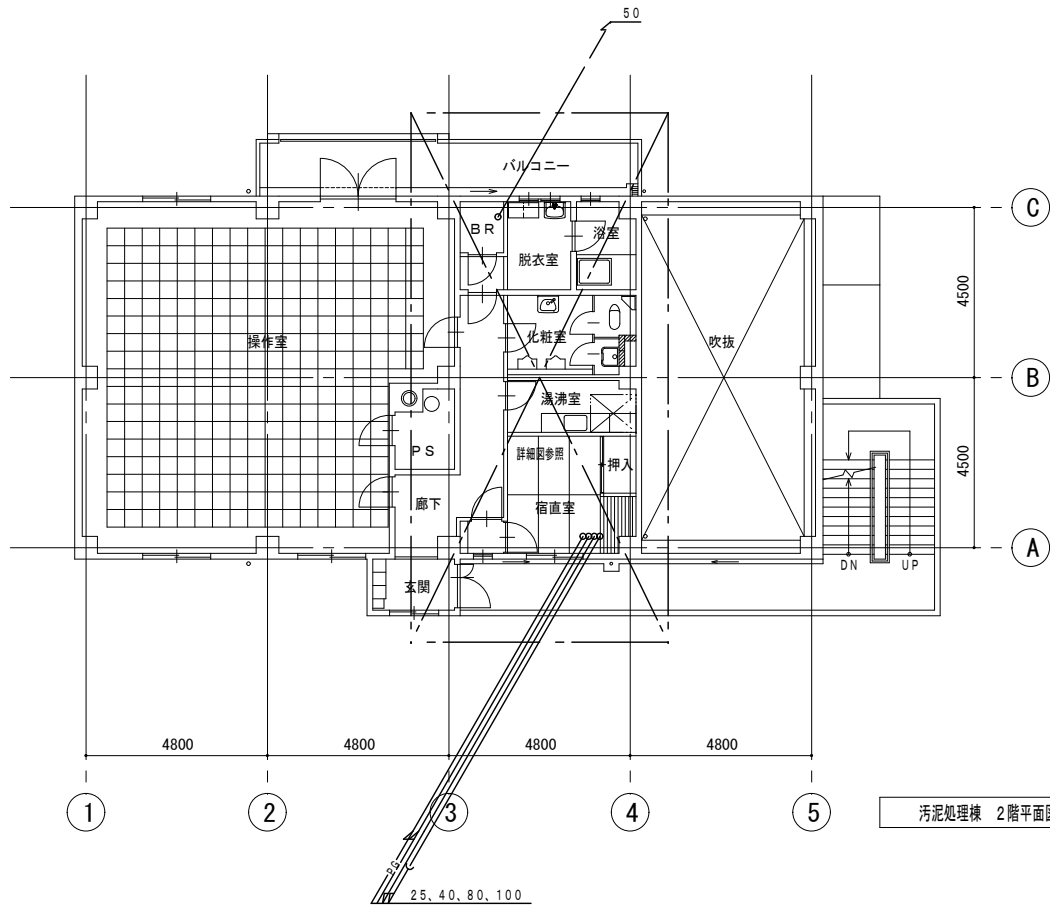
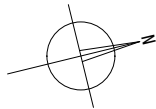
- 撤去するダクトのフランジパッキンはアスベスト含有されているものとみなし適切に処理すること。
- 【アスベストを含有する設備の処理方法】
- ダクトの撤去
- 1) 撤去方法
- ①ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に飛散抑制剤の塗布、ビニルテープ貼り等を施す。
- ②ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。
- ③ダクトの片側切断後、フランジ内周部分にも飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。
- 2) 処理方法
- 撤去したフランジ付ダクトは、石棉含有産業廃棄物であることを表示し、構外搬出処置とする。
- たわみ継手 (他ダンパ類) の撤去
- ①ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に飛散抑制剤の塗布、ビニルテープ貼り等を施す。
- ②ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。
- ③ダクトの片側切断後、フランジ内周部分にも飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。
- 2) 処理方法
- 撤去したフランジ付たわみ継手 (他ダンパ類) は、石棉含有産業廃棄物であることを表示し、構外搬出処置とする。

アスベスト含有物処理要領図

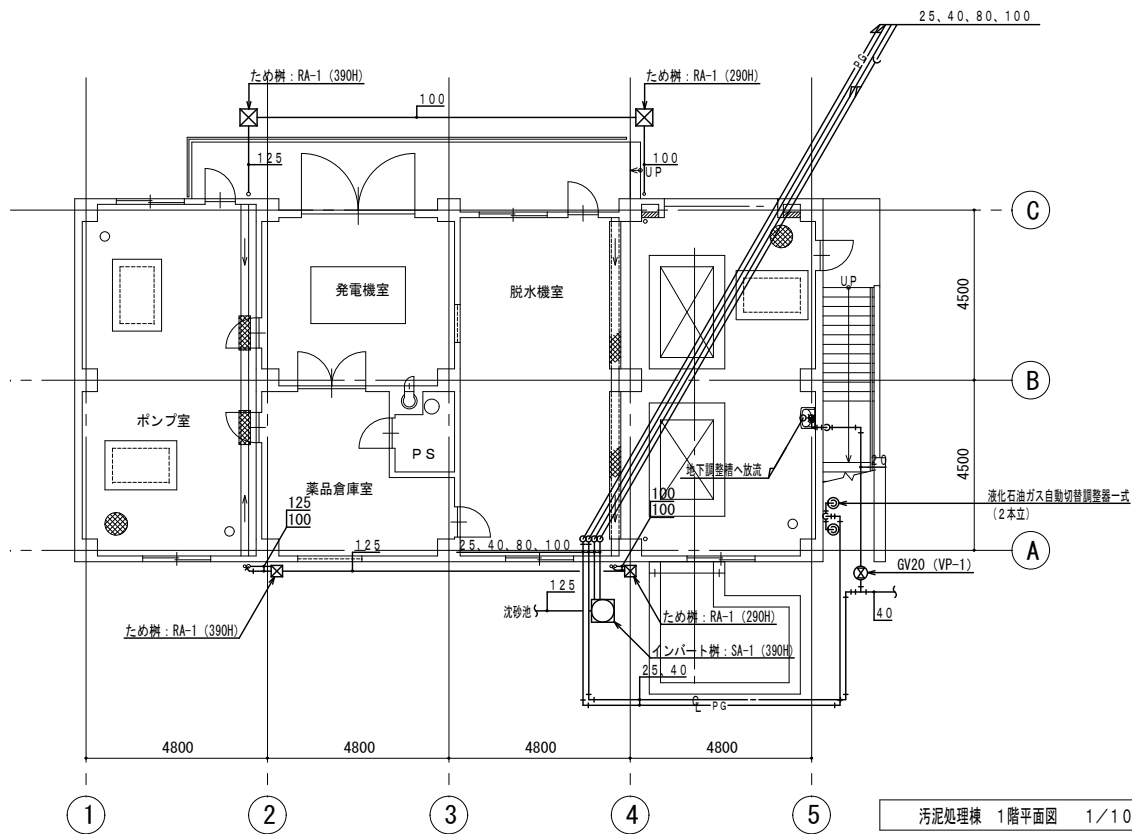
凡例

-----	既設
—————	撤去
★	既設管の切断箇所を示す

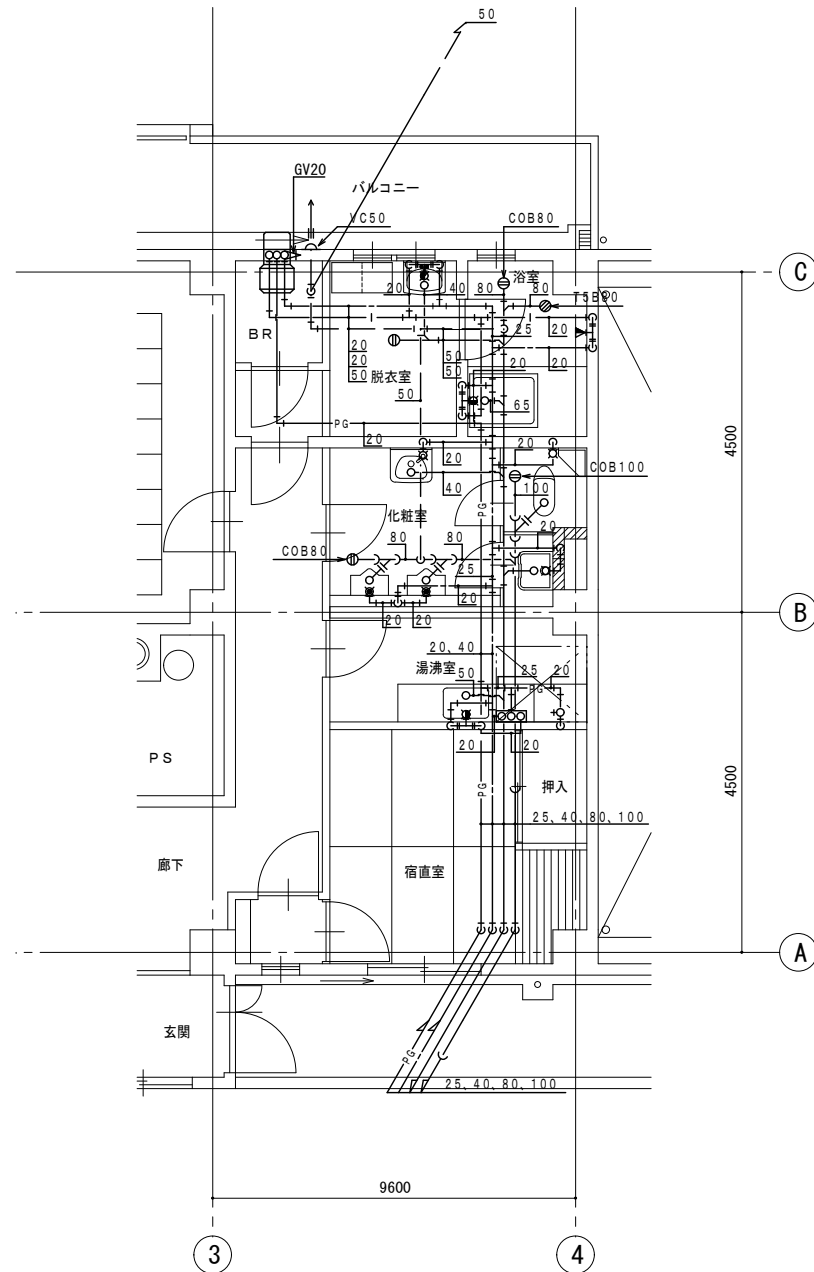
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟 空調・換気設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1AM-2



汚泥処理棟 2階平面図 1/100



汚泥処理棟 1階平面図 1/100



汚泥処理棟 2階平面詳細図 1/50

注記
撤去範囲は図示表示すべてとする。但し床・壁埋設部分は放棄とする。

脱衣室		
洗面器 (湯水混合水栓付)	L410	1
化粧鏡	鏡面鏡	1
床土留開口	5000A	1

浴室		
湯水混合水栓 (壁付)	13-F2A	1
湯水混合水栓 (ハンドルシャワー付)	13-F2A	1
床土留開口	80 TSB	1
床土留開口	80 COB	1

BR		
ガス給湯器	ガス瞬間湯沸 1/10マ PH-16号型A LPガス 55kg/h	1
ガスコック	20	1

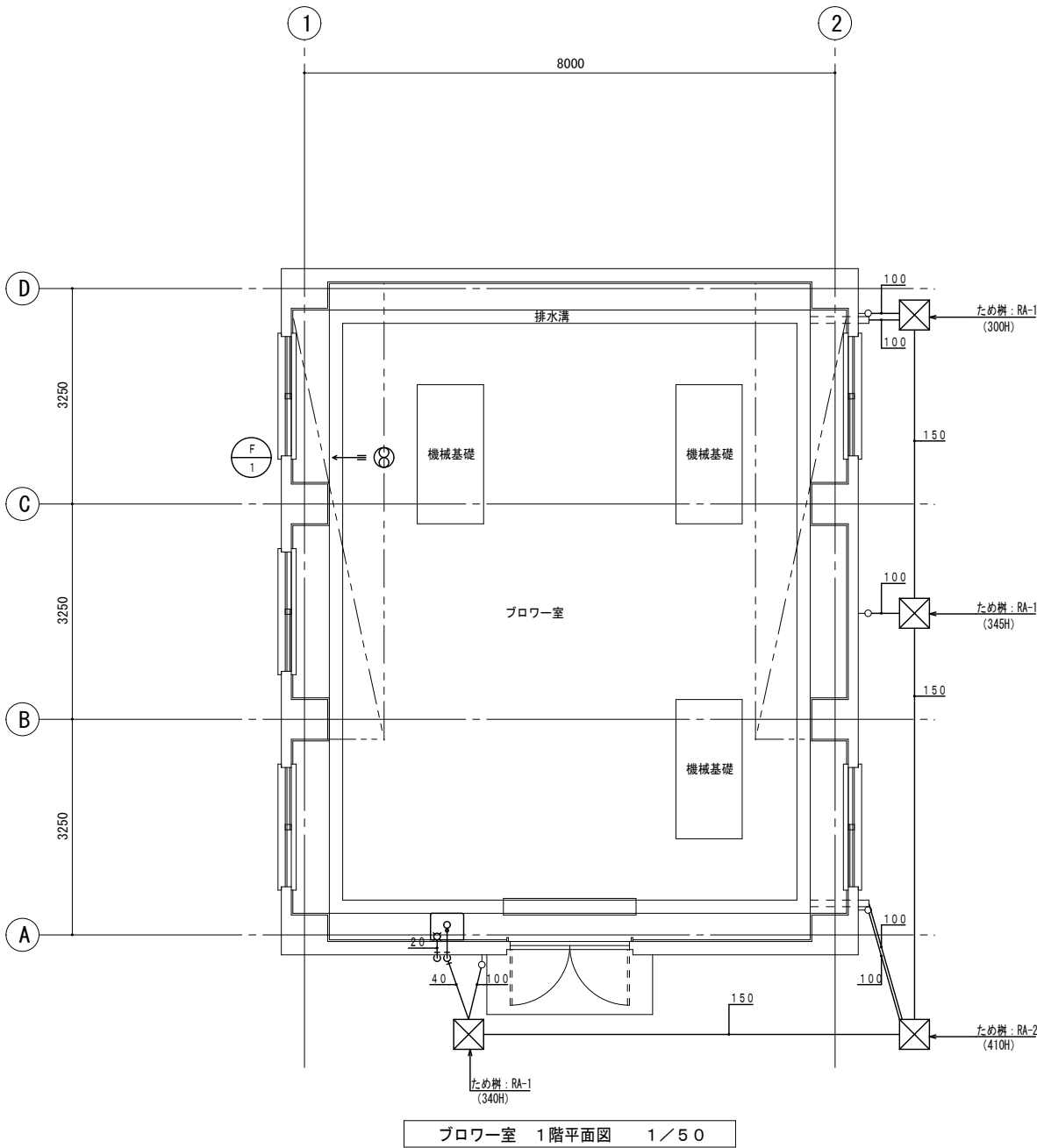
化粧室		
和風大鏡 (L1式)	C75F	1
ストール小鏡	US20	2
洗面器	L410	1
化粧鏡 (鏡面鏡)	360×450	1
水石けん入れ	金取付 3500	1
鏡除けし	S210	1
床土留開口	800CB	1
床土留開口	1000CB	1

洗濯室		
ガス給湯器	ガス瞬間湯沸 1/10マ PH-1 11.2KW	1
台付湯水混合水栓	13-F2B	1
ストリート形止水栓	13-S4	1
ガス栓	9φ	2

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	汚泥処理棟 衛生設備 平面図 (撤去)		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	1AM-3

機 器 表

記号	機 器 名 称	系 統	機 器 仕 様	電 動 機			運転方式	台	設置場所	備 考
				φ	V	Kw				
F-1	有圧換気扇（排気）	1階 ブロー室	形 式 銅板製	1	100	0.05	SW	1	1階 滅菌室	
(撤去)			300φ × 1, 560m3/h × 40Pa							
			付属品 風圧シャッター							
			SUS製深形ウェザーカバー							



手洗いコーナー		
洗面器	L420	1
化粧鏡（耐食製）	360 × 450	1
水石けん入れ	台取付 350CC	1
化粧棚	陶器製	1

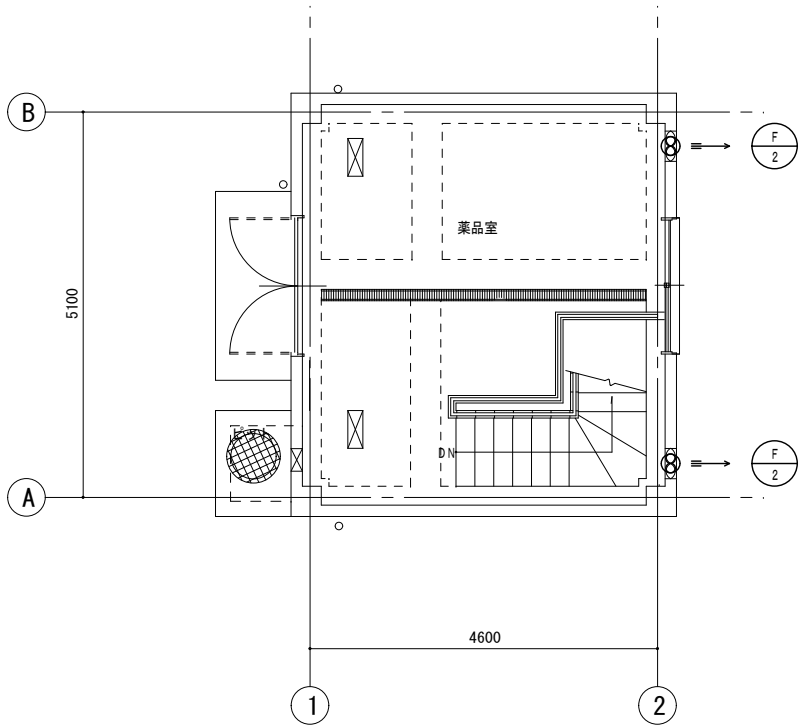
凡例

-----	既設
—————	撤去
★	既設管の切断箇所を示す

事業名	令和8年度 公共下水道事業
工事名	旧高花平浄化センター解体工事
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内
名称	ブロー室 換気・衛生設備 平面図（撤去）
縮尺	1/50 設計年月 令和 年 月
工種	設計者
事業主体	四日市市 上下水道局
図面番号	2AM-1

機 器 表

記号	機 器 名 称	系 統	機 器 仕 様	電 動 機			運転方式	台	設置場所	備 考
				φ	V	Kw				
F-2	有圧換気扇（排気）	1階 薬品室	形 式 銅板製	1	100	0.05	SW	2	1階 薬品室	
(撤去)			250φ × 780m3/h × 50Pa							
			付属品 風圧シャッター							
			SUS製深形ウェザーカバー							



引抜汚泥ポンプ室 平面図 1／50

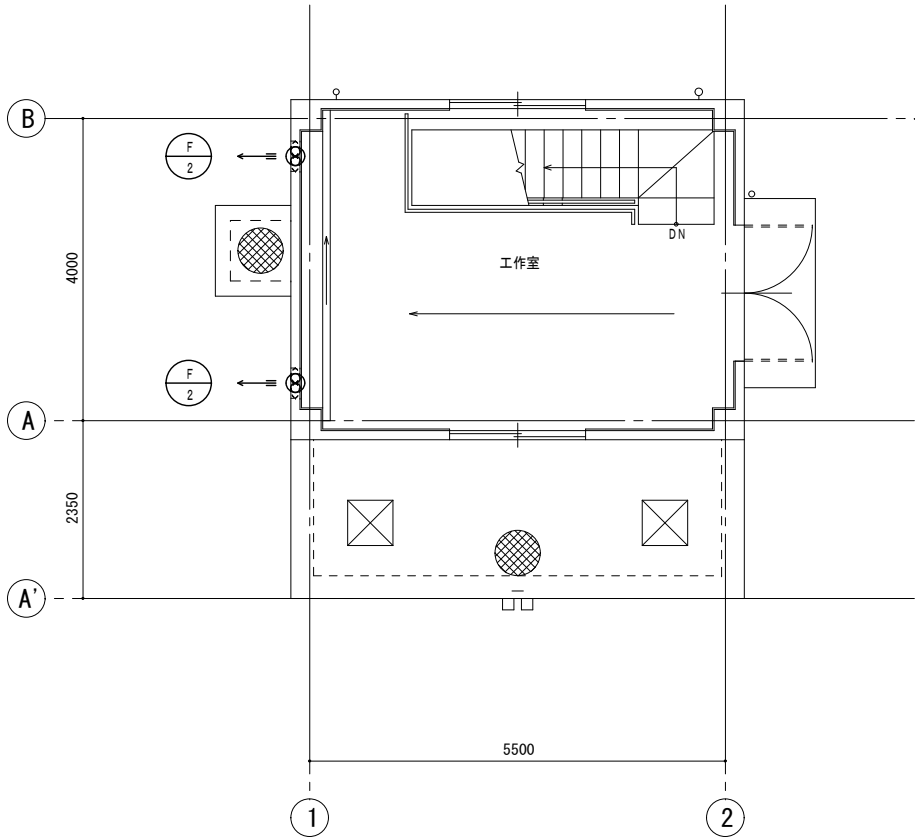
凡例

-----	既設
_____	撤去
★	既設管の切断箇所を示す

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	引抜汚泥ポンプ室換気設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	3AM-1

機 器 表

記号	機 器 名 称	系 統	機 器 仕 様	電 動 機			運転方式	台	設置場所	備 考
				φ	V	Kw				
F-3	有圧換気扇（排気）	1階 工作室	形 式 銅板製	1	100	0.05	SW	2	1階 工作室	
(撤去)			250φ × 720m3/h × 50Pa							
			付属品 風圧シャッター							
			SUS製深形ウェザーカバー							



返送汚泥ポンプ室 1階平面図 1 / 5 0

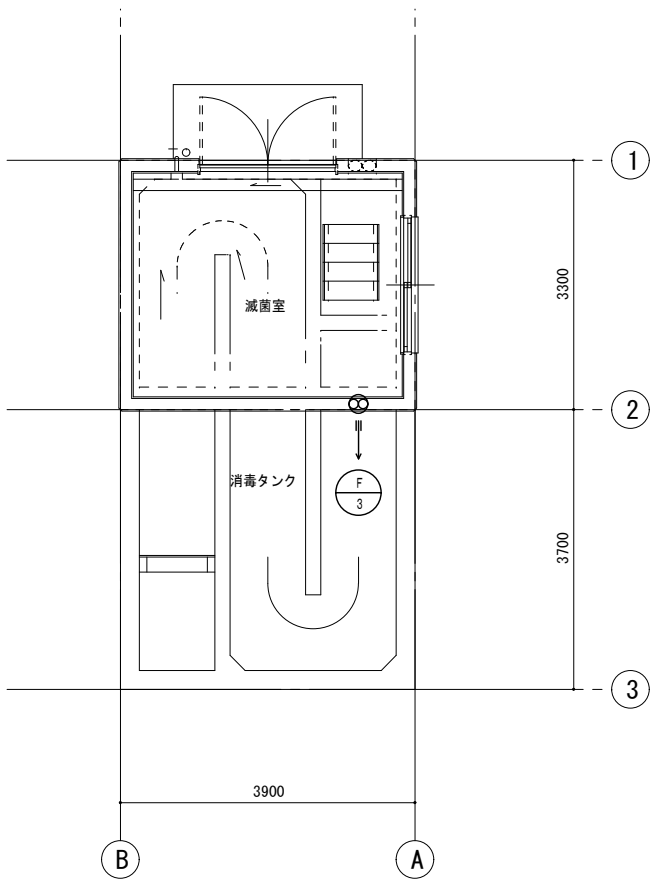
凡例

-----	既設
_____	撤去
★	既設管の切断箇所を示す

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	返送汚泥ポンプ室 換気設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	4AM-1

機 器 表

記号	機 器 名 称	系 統	機 器 仕 様	電 動 機			運転方式	台	設置場所	備 考
				φ	V	Kw				
F-3	有圧換気扇（排気）	1階 滅菌室	形 式 銅板製	1	100	0.05	SW	1	1階 滅菌室	三菱電機：EF-25ASB
(撤去)			250φ × 720m3/h × 50Pa							
			付属品 風圧シャッター							
			SUS製深形ウェザーカバー							



消毒タンク 1階平面図 1／50

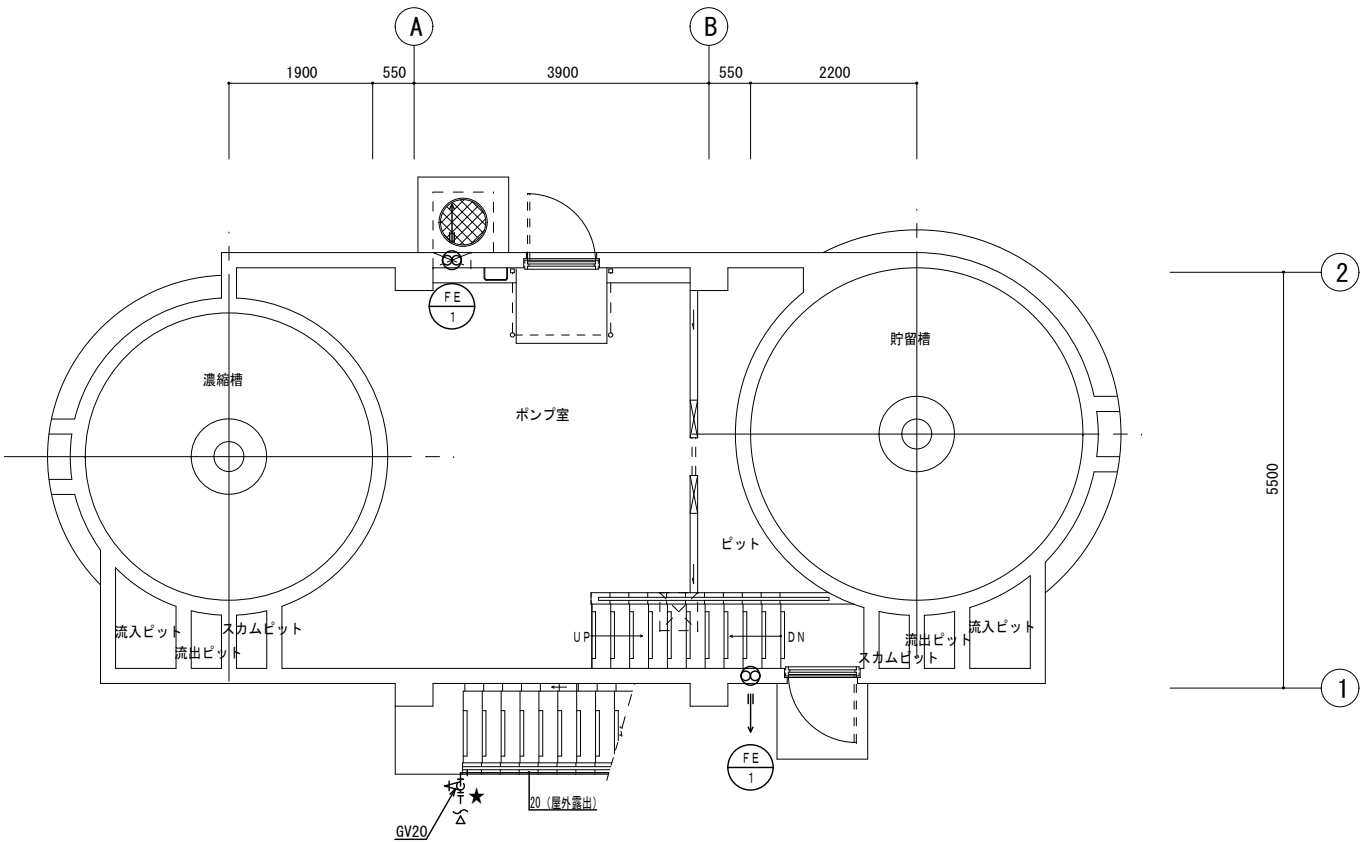
凡例

-----	既設
————	撤去
★	既設管の切断箇所を示す

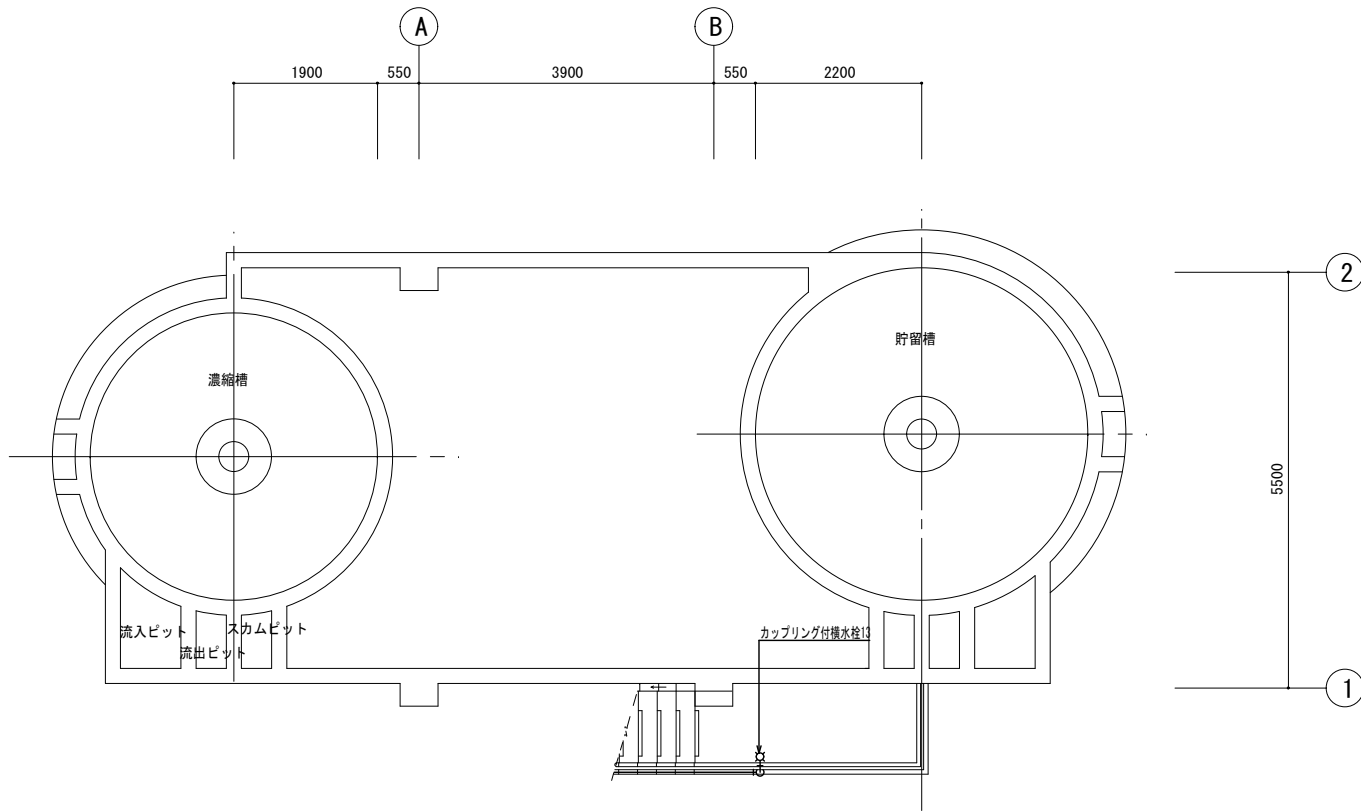
事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	消毒タンク 換気設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	5AM-1

機 器 表

記号	機 器 名 称	系 統	機 器 仕 様	電 動 機			運転方式	台	設置場所	備 考
				φ	V	Kw				
FE-1	有圧換気扇（排気）	1階 ポンプ室	形 式 銅板製	1	100	0.052	SW	2	1階 ポンプ室	松下電器：FV-25GSF-A
(撤去)			250φ × 660m3/h × 40Pa							
			付属品 風圧シャッター							
			SUS製深形ウェザーカバー							



濃縮/貯留タンク 平面図 1／50

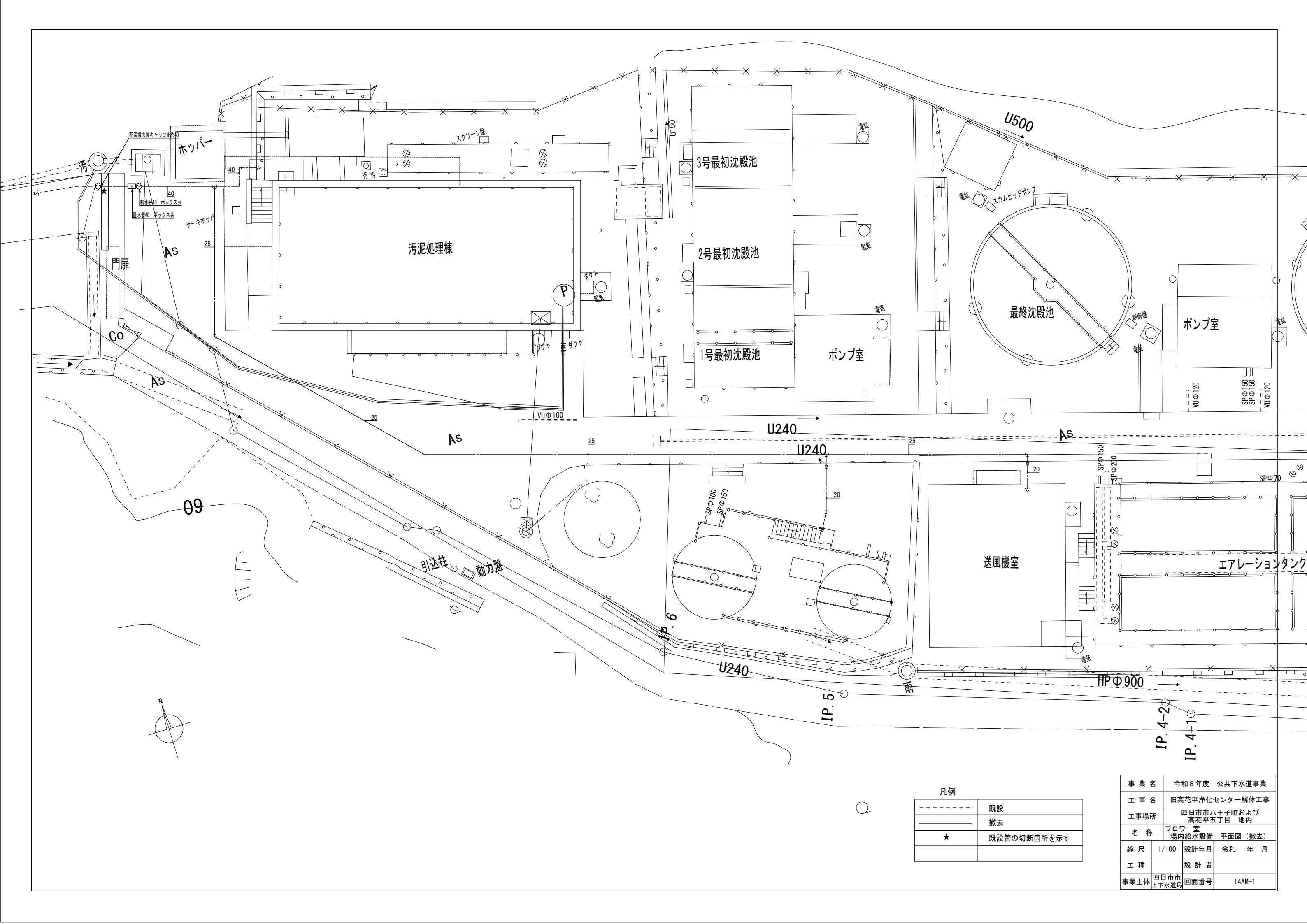


濃縮/貯留タンク 平面図 1／50

凡例

-----	既設
————	撤去
★	既設管の切断箇所を示す

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	濃縮/貯留タンク 換気・衛生設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	11AM-1



事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	ブローラー室 場内給水設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/100	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	14AM-1

凡例	
-----	既設
————	撤去
★	既設管の切断箇所を示す

項目

特記事項

51 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高さ [mm]
ブラケット（一般）	床土 ～ 中心	2,100
”（語槽）	”	2,500
”（鏡上）	鏡上端 ～ 中心	150
スイッチ（一般）	床土 ～ 中心	1,200
”（多機能便所用）	”	1,200
自動スイッチ（操作スイッチ） 照明、換気専用等	”	1,800
コンセント、電話用ケーブル、テレビ 端子（一般）	”	300
”（和室）	”	150
”（台土）	台土 ～ 中心	150
コンセント（土間）	床土 ～ 中心	800 ～ 1,300
コンセント（電動車いす充電用）	”	900
引込開閉器箱（低圧）	床土 ～ 上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床土 ～ 中心	1,500（上端1,900以下）
開閉器箱	”	1,500
電磁開閉器用押しボタン	”	1,200
接地用端子箱	地上、床土 ～ 中心	500
試験用接続端子箱	床土 ～ 下端	800
接地極埋設槽	地上 ～ 中心	600
給油ボックス	地上 ～ 給油口	1,000
室内端子室（廊下・室内）	床土 ～ 下端	300
中間端子室（E P S ・電気室）	床土 ～ 中心	1,500
壁付電話機	”	1,300
観時計	”	1,500（上端1,900以下）
子時計、スピーカ	”	（天井高）× 0.9
アッテネータ	”	1,200
表示器	”	（天井高）× 0.9
発信器（出退表示用）	”	1,200
外部受付用インターホン（子機）	”	標準図による
壁付インターホン（上記以外）	”	1,100
呼出ボタン（多機能便所用）	”	900
復呼ボタン（ ” ）	”	1,300
廊下表示灯（ ” ）	”	2,000
テレビ機器収容箱	天井下 ～ 上端	200
火報受信機（複合盤）	床土 ～ 操作部	800 ～ 1,500
副受信機	床土 ～ 中心	1,500
機器収容箱（火災報知設備）	”	800 ～ 1,500
発火機	”	800 ～ 1,500
警報ベル	”	（天井高）× 0.9
表示灯（火災報知設備）	”	（天井高）× 0.8
通断制御箱（自動閉鎖）	”	1,500
ガス漏れ検知器（重ガス）	”	300
ガス漏れ検知器（軽ガス）	天井面 ～ 中心	（天井高）－200
扇風機	天井下 ～ 上端	（天井高）－200

（参考）天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。
天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

52 接 地 極

接地極の材料は下記による。なお接地棒 E B（14φ）の長さは 1,500mm 以上とし、10φは
W＝30 L＝900mm 以上、14φは、W＝40 L＝1,200mm 以上としても差し支えない。

接 地 の 種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極（参 考）
・ 共同接地	E _{A,B,C}	Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 組
・ 共同接地	E _{A,B,C}	10Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 3 組
・ A 種	E _A	10Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 2 組
・ B 種	E _B	Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 2 組
・ D 種	E _D	100Ω 以下	E B（10φ）× 1（L＝1,000mm）
・ C 種	E _C	10Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 2 組
・ 高圧避雷器用	E _{1B}	10Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 3 組
・ 低圧避雷器用	E _{1L}	10Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 2 組
・ 構造体接地			
・ 交換機用	E ₁	10Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 3 組
・ 通信用	E _{1L}	10Ω 以下	E B（14φ）× 3 連－ 3 組
・ 通信用	E _{1L}	100Ω 以下	E B（10φ）× 1（L＝1,000mm）
・ 電話引込口の保安用	E _{1L}	100Ω 以下	E B（10φ）× 1（L＝1,000mm）
・ 測定用	E _D		E B（10φ）× 1（L＝1,000mm）

項目

特記事項

53 高効率誘導電動機の
配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。
200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電 動 機	器具容量、コンデンサ回路の配線									
定格 出力 [kW]	定格電流 （参考値） [A]	配線用遮断器等 [A]	直入始動 Y-Δ 始動	（V 形） 入力側 [A]	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線（E-B）の最小太さ [mm ²]		コンデンサ [μF]		
		MCCB	MCCB			長さ 8m 以下	長さ 3m 以下	50Hz	60Hz	
0.2	1.8	15	—	15	3	2	2	15	10	
0.4	3.2	15	—	15	5	2	2	20	15	
0.75	4.6	15	—	15	5	2	2	40	30	
1.5	8	30	—	15	10	2	2	75	40	
2.2	11.1	40	—	20	15	2	2	100	50	
3.7	16.8	60	—	30	20	2	2	150	75	
5.5	24.6	75	60	50	30	2	2	200	100	
7.5	34	125	75	60	40	5.5	2	250	150	
11	48	125	125	75	60	5.5	3.5/2	300	200	
15	64	125	150	125	100	5.5	3.5	400	250	
18.5	79	150	175	125	100	8	5.5/3.5	500	300	
22	92	175	200	150	100	14	8/5.5	800	400	
30	124	225	300	200	150	22	14/8	900	500	
37	152	300	350	225	200	22	22/14	1,200	700	

400V三相誘導電動機回路の器具容量等

電 動 機	器具容量、コンデンサ回路の配線									
定格 出力 （参考値） [kW]	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	直入始動 Y-Δ 始動	（V 形） 入力側 [A]	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線（E-B）の最小太さ [mm ²]		コンデンサ [μF]		
		MCCB	MCCB			長さ 8m 以下	長さ 3m 以下	50Hz	60Hz	
0.2	0.9	15	—	—	3	2	2	5	5	
0.4	1.6	15	—	15	3	2	2	5	5	
0.75	2.3	15	—	15	5	2	2	10	7.5	
1.5	4	15	—	15	5	2	2	20	10	
2.2	5.5	20	—	15	10	2	2	25	15	
3.7	8.4	30	—	15	10	2	2	30	20	
5.5	12.3	40	30	30	15	2	2	50	30	
7.5	17	60	40	30	20	2	2	50	40	
11	24	75	60	50	30	2	2	75	50	
15	32	100	75	60	40	3.5	2	100	50	
18.5	39.5	125	100	75	60	5.5	2	125	75	
22	46	125	100	100	60	5.5	3.5/2	200	100	
30	62	125	150	125	100	5.5	3.5	200	125	
37	76	150	175	125	100	8	3.5	200	150	
45	95	175	225	150	100	14	8/5.5	300	200	
55	114	225	250	175	150	14	8/5.5	300	200	
75	155	300	350	225	200	22	14/8	500	300	
90	180	350	400	300	200	38	38/14	700	400	
110	220	400	500	350	250	38	38/22	800	500	

項目

特記事項

54 高効率誘導電動機の
配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。
200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電 動 機	器具容量、コンデンサ回路の配線									
定格 出力 （参考値） [kW]	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	直入始動 Y-Δ 始動	（V 形） 入力側 [A]	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線（E-B）の最小太さ [mm ²]		コンデンサ [μF]		
		MCCB	MCCB			長さ 8m 以下	長さ 3m 以下	50Hz	60Hz	
0.2	0.9	15	—	—	3	2	2	5	5	
0.4	1.6	15	—	15	3	2	2	5	5	
0.75	2.3	15	—	15	5	2	2	10	7.5	
1.5	4	15	—	15	5	2	2	20	10	
2.2	5.5	20	—	15	10	2	2	25	15	
3.7	8.4	30	—	15	10	2	2	30	20	
5.5	12.3	40	30	30	15	2	2	50	30	
7.5	17	60	40	30	20	2	2	50	40	
11	24	75	60	50	30	2	2	75	50	
15	32	100	75	60	40	3.5	2	100	50	
18.5	39.5	125	100	75	60	5.5	2	125	75	
22	46	125	100	100	60	5.5	3.5/2	200	100	
30	62	125	150	125	100	5.5	3.5	200	125	
37	76	150	175	125	100	8	3.5	200	150	
45	95	175	225	150	100	14	8/5.5	300	200	
55	114	225	250	175	150	14	8/5.5	300	200	
75	155	300	350	225	200	22	14/8	500	300	
90	180	350	400	300	200	38	38/14	700	400	
110	220	400	500	350	250	38	38/22	800	500	

項目

特記事項

55 高効率誘導電動機の
配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。
200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電 動 機	器具容量、コンデンサ回路の配線									
定格 出力 （参考値） [kW]	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	直入始動 Y-Δ 始動	（V 形） 入力側 [A]	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線（E-B）の最小太さ [mm ²]		コンデンサ [μF]		
		MCCB	MCCB			長さ 8m 以下	長さ 3m 以下	50Hz	60Hz	
0.2	0.9	15	—	—	3	2	2	5	5	
0.4	1.6	15	—	15	3	2	2	5	5	
0.75	2.3	15	—	15	5	2	2	10	7.5	
1.5	4	15	—	15	5	2	2	20	10	
2.2	5.5	20	—	15	10	2	2	25	15	
3.7	8.4	30	—	15	10	2	2	30	20	
5.5	12.3	40	30	30	15	2	2	50	30	
7.5	17	60	40	30	20	2	2	50	40	
11	24	75	60	50	30	2	2	75	50	
15	32	100	75	60	40	3.5	2	100	50	
18.5	39.5	125	100	75	60	5.5	2	125	75	
22	46	125	100	100	60	5.5	3.5/2	200	100	
30	62	125	150	125	100	5.5	3.5	200	125	
37	76	150	175	125	100	8	3.5	200	150	
45	95	175	225	150	100	14	8/5.5	300	200	
55	114	225	250	175	150	14	8/5.5	300	200	
75	155	300	350	225	200	22	14/8	500	300	
90	180	350	400	300	200	38	38/14	700	400	
110	220	400	500	350	250	38	38/22	800	500	

項目

特記事項

56 高効率誘導電動機の
配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。
200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電 動 機	器具容量、コンデンサ回路の配線									
定格 出力 （参考値） [kW]	定格電流 [A]	配線用遮断器等 [A]	直入始動 Y-Δ 始動	（V 形） 入力側 [A]	電流計 [A]	コンデンサ回路 接続する電線（E-B）の最小太さ [mm ²]		コンデンサ [μF]		
		MCCB	MCCB			長さ 8m 以下	長さ 3m 以下	50Hz	60Hz	
0.2	0.9	15	—	—	3	2	2	5	5	
0.4	1.6	15	—	15	3	2	2	5	5	
0.75	2.3	15	—	15	5	2	2	10	7.5	
1.5	4	15	—	15	5	2	2	20	10	
2.2	5.5	20	—	15	10	2	2	25	15	
3.7	8.4	30	—	15	10	2	2	30	20	
5.5	12.3	40	30	30	15	2	2	50	30	
7.5	17	60	40	30	20	2	2	50	40	
11	24	75	60	50	30	2	2	75	50	
15	32	100	75	60	40	3.5	2	100	50	
18.5	39.5	125	100	75	60	5.5	2	125	75	
22	46	125	100	100	60	5.5	3.5/2	200	100	
30	62	125	150	125	100	5.5	3.5	200	125	
37	76	150	175	125	100	8	3.5	200	150	
45	95	175	225	150	100	14	8/5.5	300	200	
55	114	225	250	175	150	14	8/5.5	300	200	
75	155	300	350	225	200	22	14/8	500	300	
90	180	350	400	300	200	38	38/14	700	400	
110	220	400	500	350	250	38	38/22	800	500	

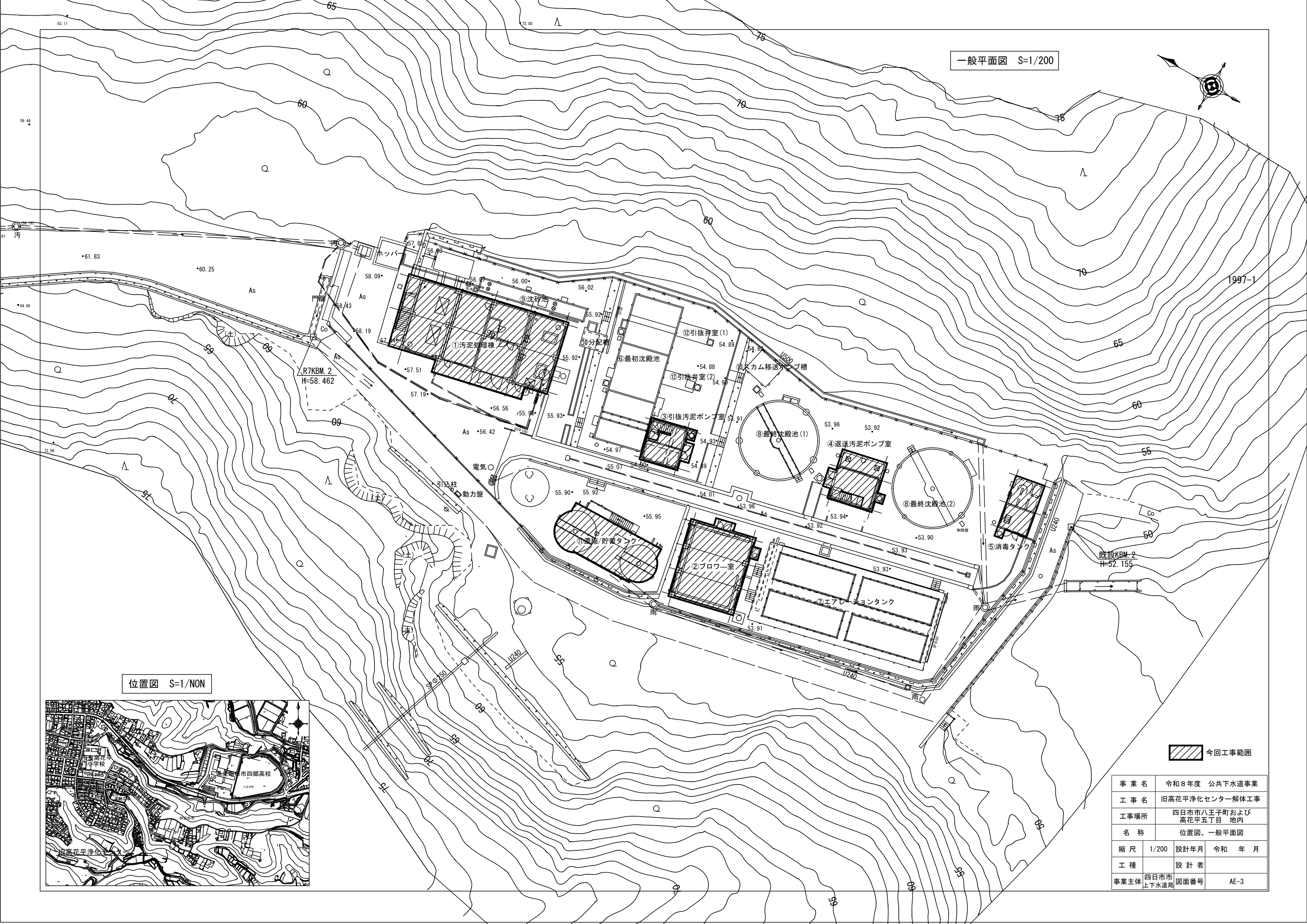
項目

特記事項

57 高効率誘導電動機の
配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。
200V三相誘導電動機回路の器具容量等

電 動 機



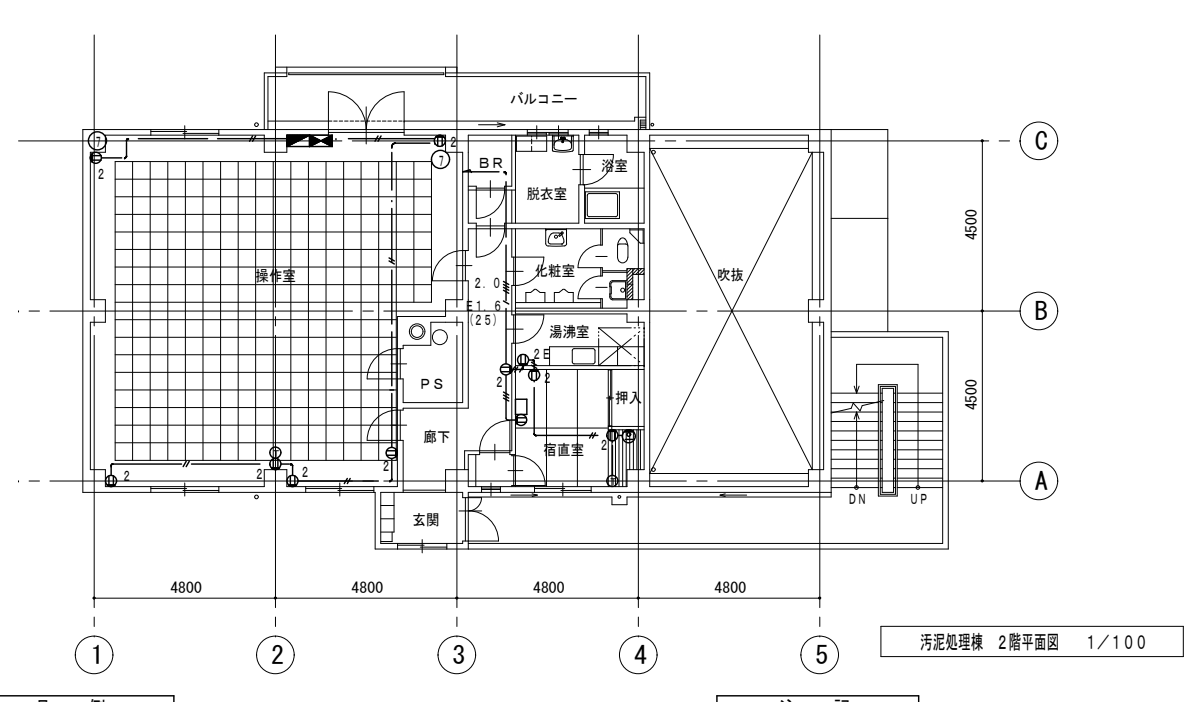
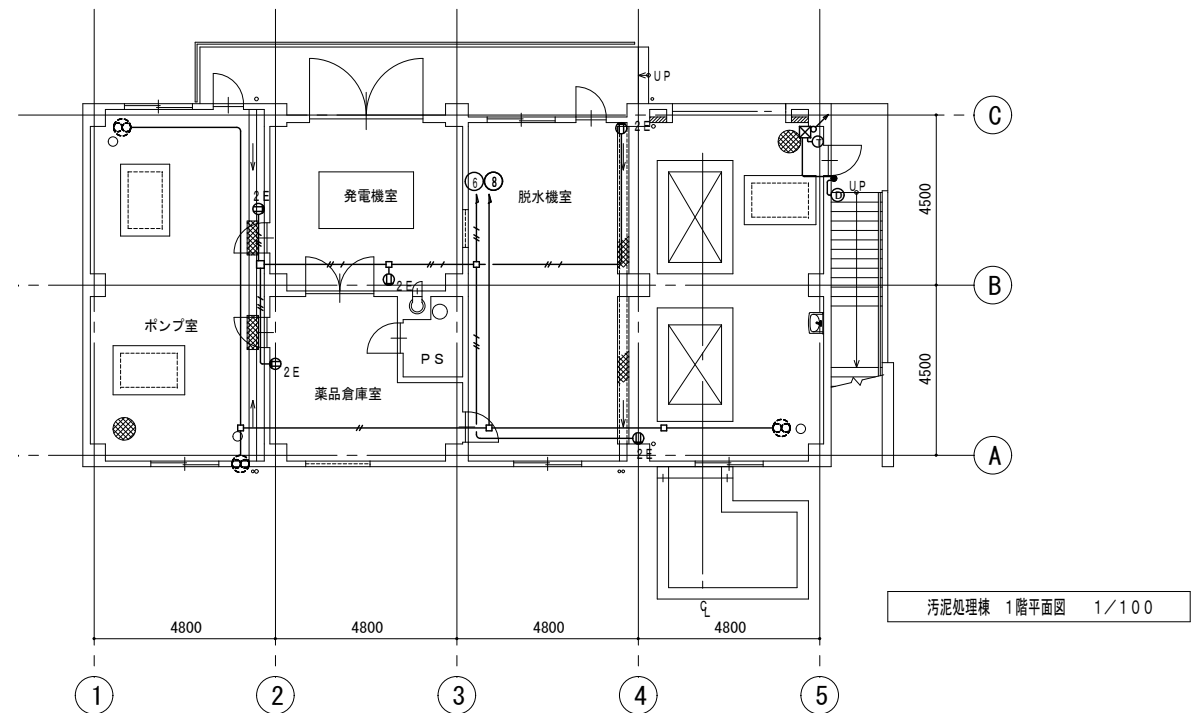
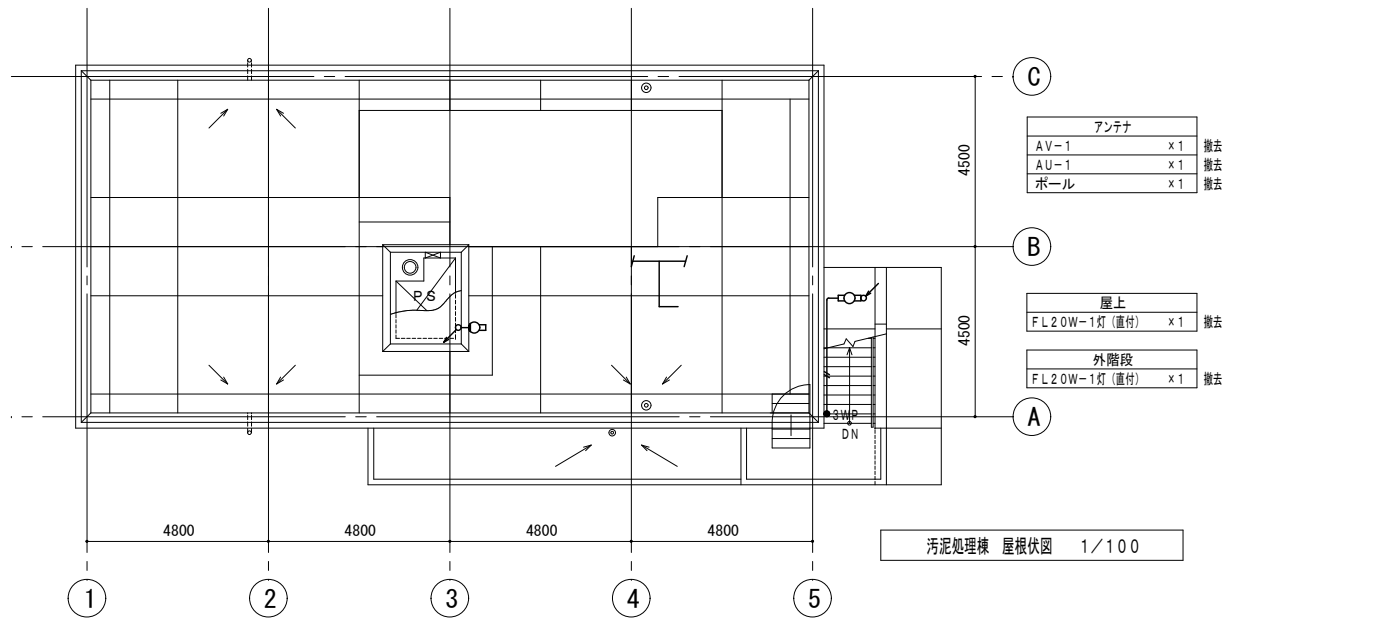
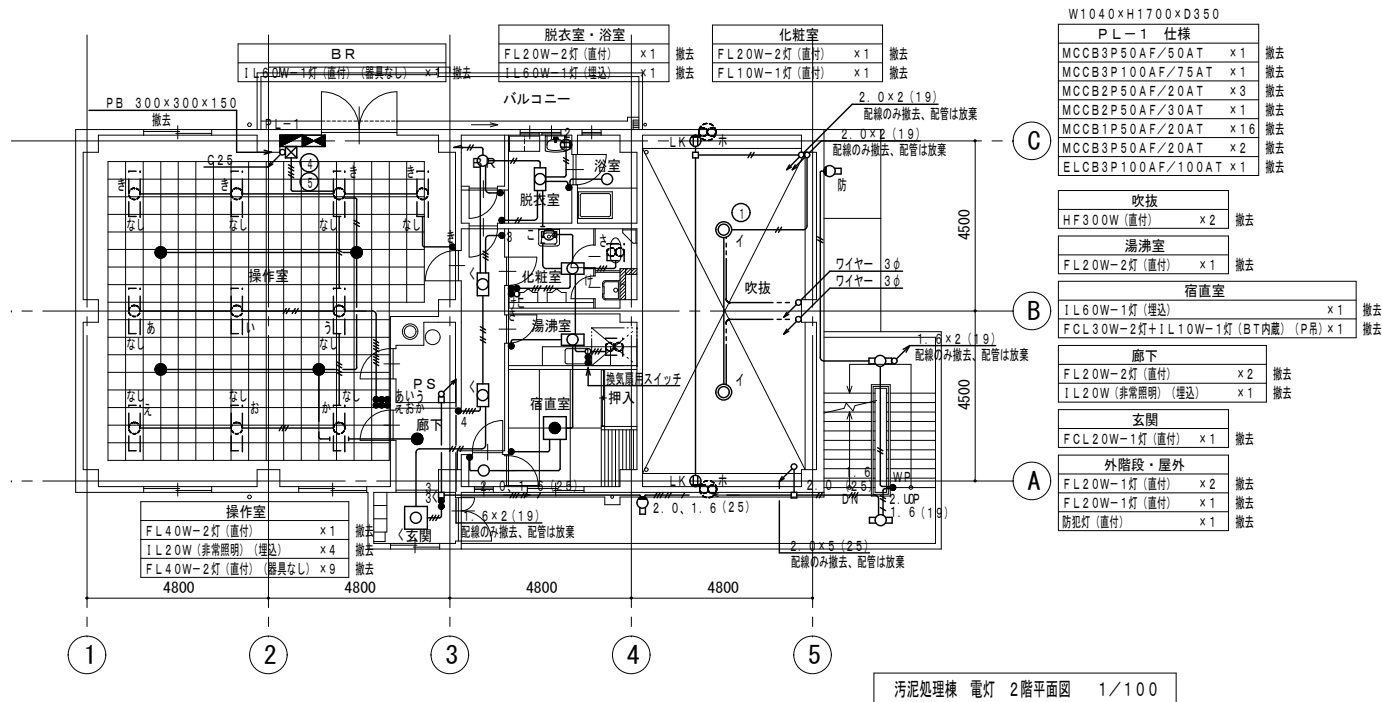
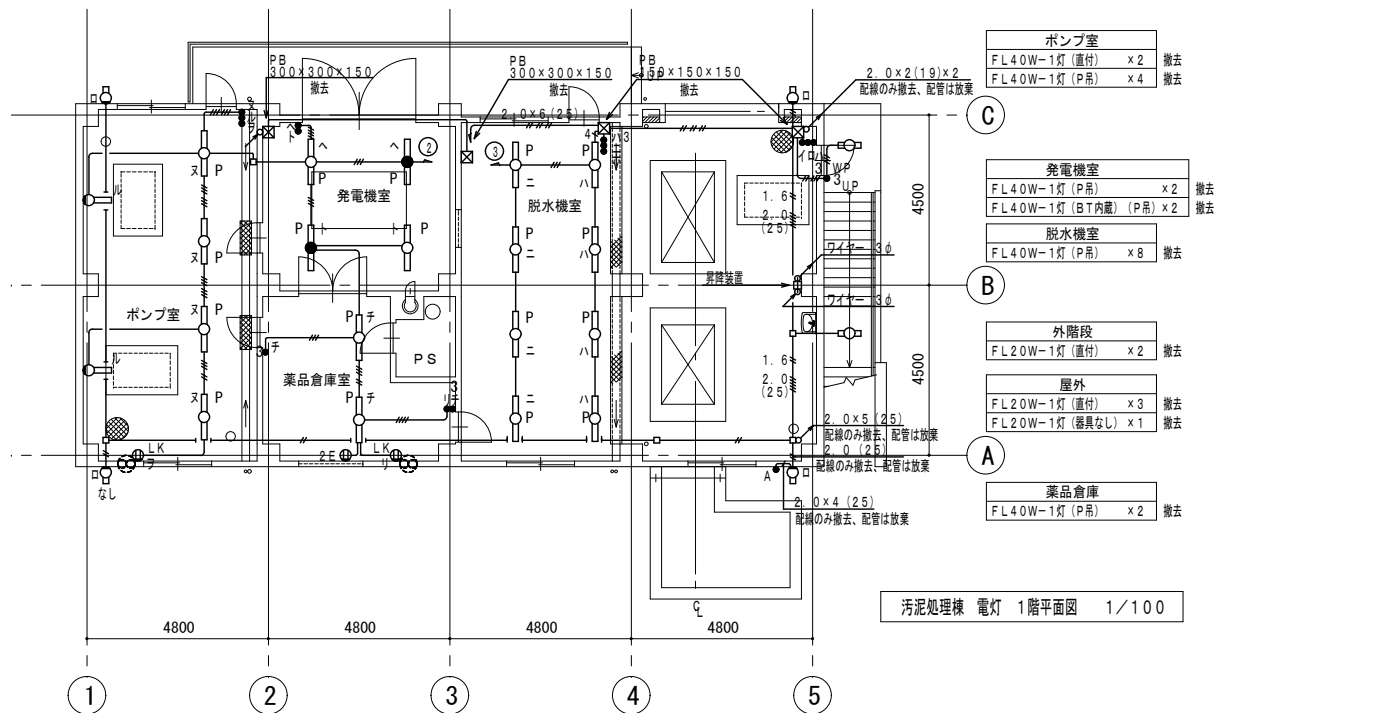
一般平面図 S=1/200

位置図 S=1/NON



今回工事範囲

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	位置図、一般平面図		
縮尺	1/200	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	AE-3



凡 例

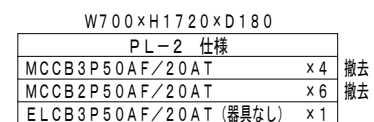
記 号	名 称
電灯分電盤	
動力分電盤	
蛍光灯 10W-1灯 壁付	
蛍光灯 20W-1灯 天井付	
蛍光灯 20W-2灯 天井付	
蛍光灯 40W-1灯 天井付	
蛍光灯 40W-2灯 天井付	
蛍光灯 20W-1灯 天井付	
蛍光灯 20W-1灯 壁付	
蛍光灯 40W-1灯 壁付	
蛍光灯 40W-1灯 天井付 BT内蔵	
蛍光灯 30W-2灯+1L10W-1灯 (BT内蔵) 天井付	
蛍光灯 60W-1灯 埋込	
非常照明	
防犯灯 壁付	
高天井照明	
埋込スイッチ 1P15A	
埋込スイッチ 1P15A 防水型	
埋込スイッチ 1P15A+PL	
埋込スイッチ 3W15A	

●4	埋込スイッチ 4W15A
●A	自動点滅器
①	埋込コンセント 2P15A
① ₂	埋込コンセント 2P15A×2
① _{2E}	埋込コンセント 2P15A×2 E×2
① _{LK}	埋込コンセント 2P15A 抜止型
換気扇	
内線電話機	
ドアホン	
テレビ端子	
アウトレットボックス	
プルボックス	
昇降装置	
P	パイプ吊
なし	器具なし

注 記

1. 配管の種類については下記による。
—— 打ち込みまたは隠蔽
—— 床打ち込み
2. 特記なき配管配線は下記による。
—— 1. 6×2 (19)
—— 1. 6×3 (19)
—— 1. 6×4 (25)
—— 1. 6×5 (25)
—— 1. 6×6 (25)
—— 2. 0×2 (19)
—— 2. 0×2、E1. 6 (19)
—— 2. 0×2 (19)
図中、太線の機器及び配管配線は撤去とする。
ただし、打ち込み配管は放棄とする。

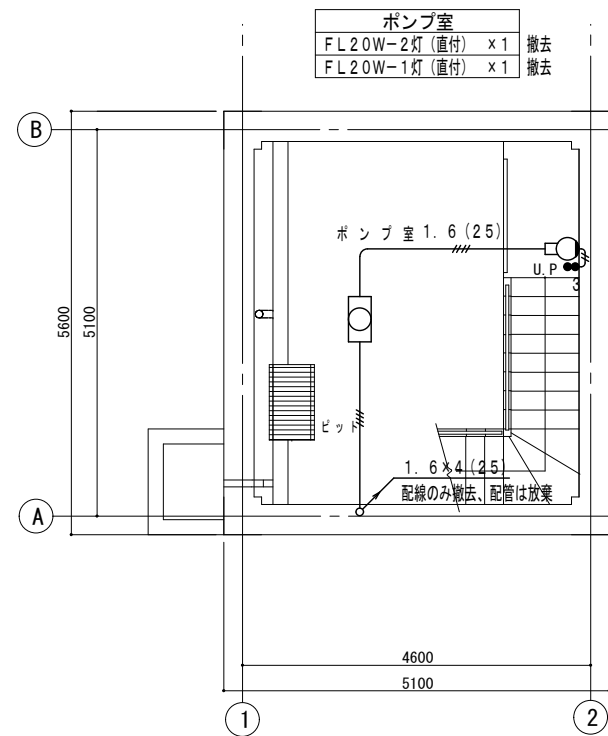
事業名	令和8年度 公共下水道事業
工事名	旧高花平浄化センター解体工事
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内
名称	汚泥処理棟 建築電気設備 平面図 (撤去)
縮尺	1/100 設計年月 令和 年 月
工種	設計者
事業主体	四日市市上下水道局 図面番号 1AE-1



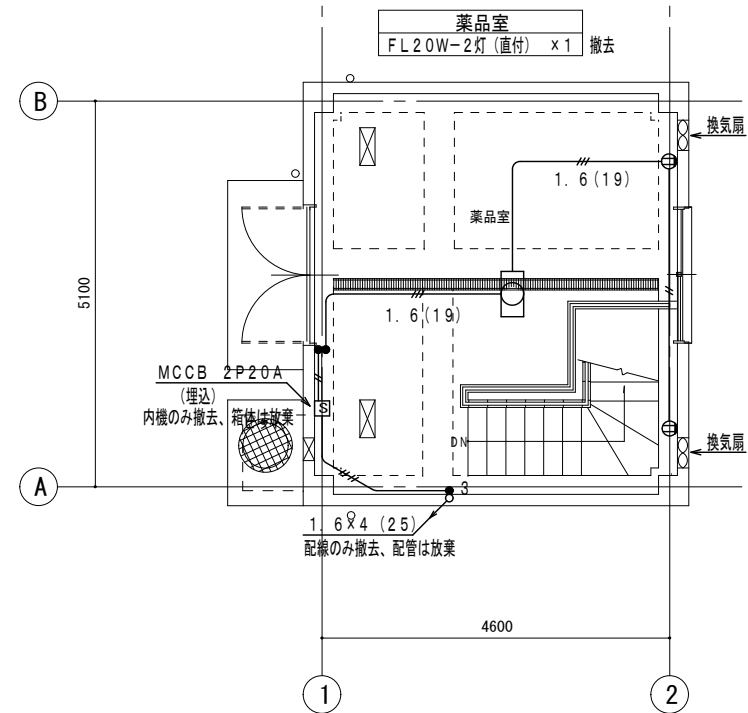
記 号	名 称
	電灯分電盤
	蛍光灯 20W-1灯 壁綴付
	蛍光灯 40W-1灯 壁綴付
	高天井照明 HF300W 直付
	埋込コンセント 2P15A×2 E×2
	埋込コンセント 4P15A キャップ付
	埋込スイッチ 1P15A×3
	自動点滅器
	換気扇
	ブルボックス
	昇降装置
なし	器具なし

1. 配管の種類については下記とする。		
	打ち込みまたは隠蔽	
2. 特記なき配管配線は下記とする。		
	1. 6 x 2	(19)
	1. 6 x 3	(19)
	1. 6 x 4	(25)
	2. 0 x 2	(19)
図中、太線の機器及び配管配線は撤去とする。		
ただし、打ち込み配管は放棄とする。		

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	プロフ一室 建築電気設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	2AE-1



引抜汚泥ポンプ室 B F階平面図 1 / 5 0

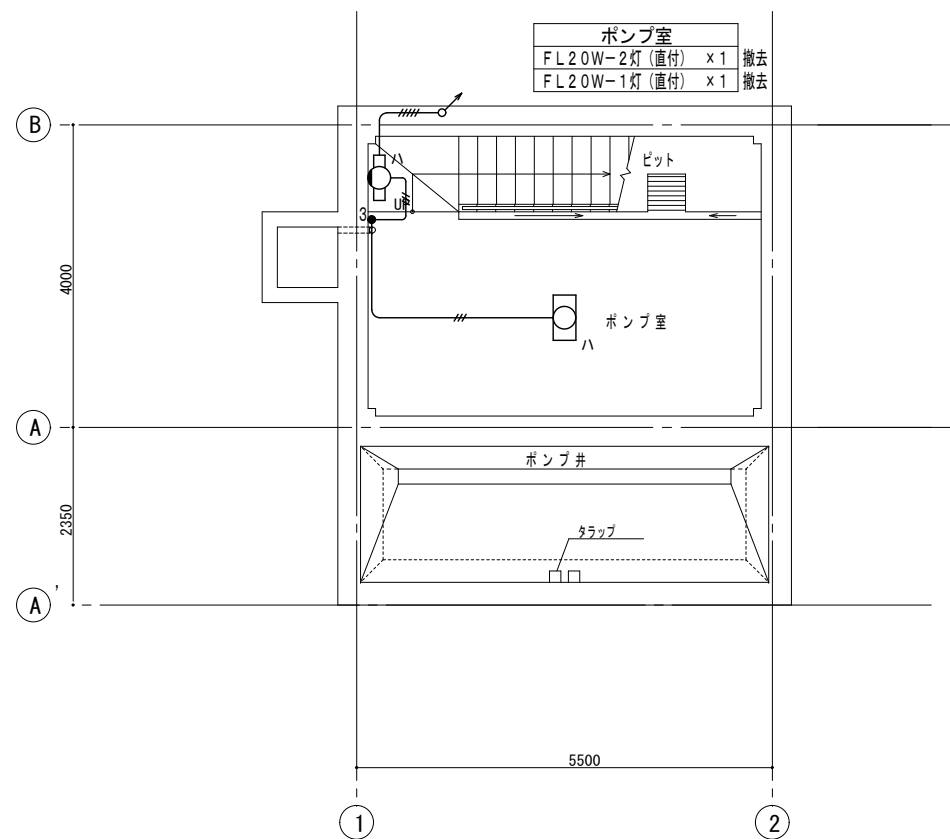


引抜汚泥ポンプ室 1階平面図 1 / 5 0

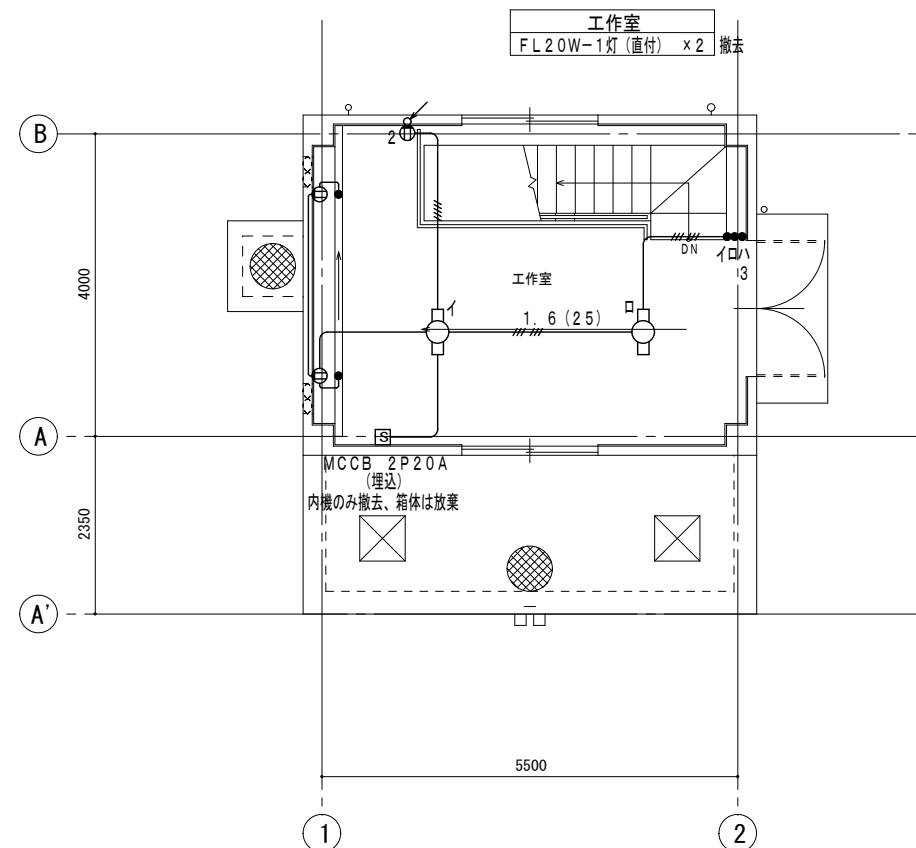
凡 例		
記 号	名 称	
	蛍光灯 20W-1灯	壁掛付
	蛍光灯 20W-2灯	天井付
	埋込コンセント	2P15A
	埋込スイッチ	1P15A
	埋込スイッチ	1P15A x 2
	手元開閉器 (埋込)	

注 記
1. 配管の種類については下記とする。
—— 打ち込みまたは隠蔽
2. 特記なき配管配線は下記とする。
—— 1. 6 x 3 (19)
—— 1. 6 x 4 (25)
—— 2. 0 x 2 (19)
図中、太線の機器及び配管配線は撤去とする。
ただし、打ち込み配管は放棄とする。

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	引抜汚泥ポンプ室 建築電気設備 平面図 (撤去)		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	3AE-1



返送汚泥ポンプ室 B/F階平面図 1/50

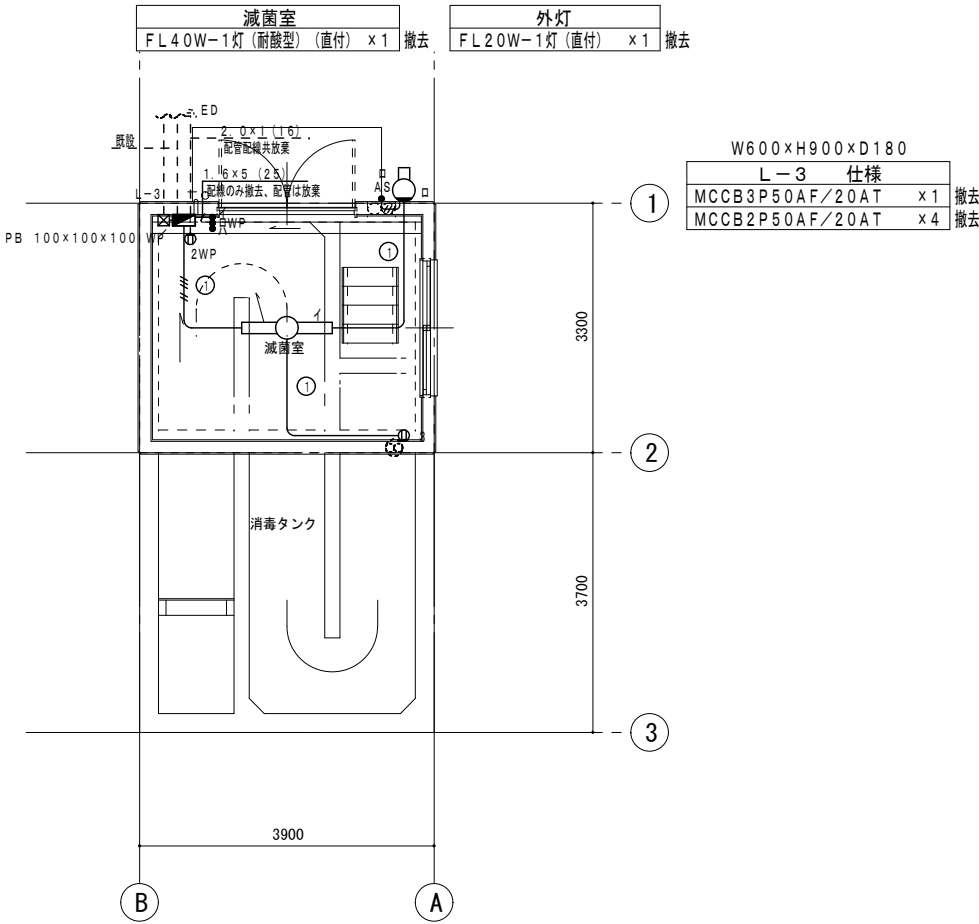


返送汚泥ポンプ室 1階平面図 1/50

凡 例		
記 号	名 称	
	蛍光灯 20W-1灯	壁付
	蛍光灯 20W-1灯	天井付
	蛍光灯 20W-2灯	天井付
●	埋込スイッチ 1P15A	
● 3	埋込スイッチ 3W15A	
Ⓜ	埋込コンセント 2P15A	
Ⓢ	手元開閉器 (埋込)	

注 記
1. 配管の種類については下記による。
—— 打ち込み配管
2. 特記なき配管配線は下記による。
—— 1.6×2 (19)
—— 1.6×3 (19)
—— 1.6×5 (25)
—— 1.6×6 (25)
図中、太線の機器及び配管配線は撤去とする。
ただし、打ち込み配管は放棄とする。

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および高花平五丁目 地内		
名称	返送汚泥ポンプ室 建築電気設備 平面図 (撤去)		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市上下水道局	図面番号	4AE-1



消毒タンク 1階平面図 1/50

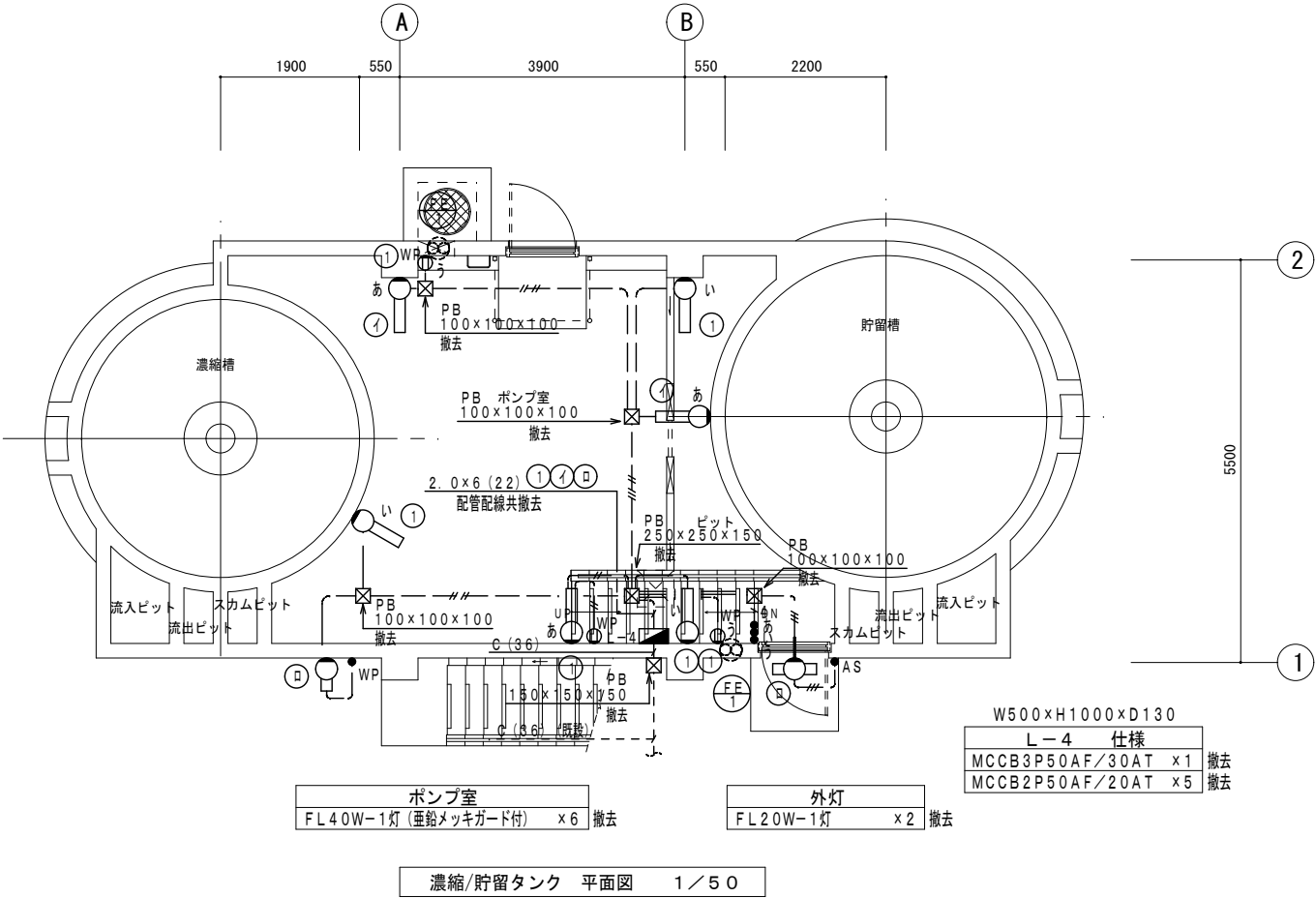
凡 例

記 号	名 称
	電灯分電盤
	蛍光灯 20W-1灯 壁付
	蛍光灯 40W-1灯 天井付
	埋込コンセント 2P15A
	埋込コンセント 2P15A×3 防水型
	埋込スイッチ 1P15A
	自動点滅器
	換気扇
	ブルボックス

注 記

1. 配管の種類については下記による。
—— 打ち込み配管
2. 特記なき配管配線は下記による。
—— 1.6×2 (19)
—— 1.6×3 (19)
—— 1.6×5 (25)
図中、太線の機器及び配管配線は撤去とする。
ただし、打ち込み配管は放棄とする。

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	消毒タンク 建築電気設備	平面図（撤去）	
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	5AE-1



凡 例

記 号	名 称
	電灯分電盤
	蛍光灯 20W-1灯 壁付
	蛍光灯 20W-1灯 壁付
	蛍光灯 40W-1灯 壁付
	埋込スイッチ 1P15A
	自動点滅器
	埋込コンセント 2P15A 防水型
	換気扇
	ブルボックス

注 記

1. 配管の種類については下記による。
—— ・ 露出配管
2. 厚鋼電線管による露出配管工事とし明記なき配管配線は下記による。
—— ・ 1. 6×2 (16)
—— ・ 1. 6×3 (16)
—— ・ 1. 6×4 (22)
—— ・ 1. 6×5 (22)
—— ・ 2. 0 (16)
図中、太線の機器及び配管配線は撤去とする。
ただし、打ち込み配管は放棄とする。

事業名	令和8年度 公共下水道事業		
工事名	旧高花平浄化センター解体工事		
工事場所	四日市市八王子町および 高花平五丁目 地内		
名称	濃縮/貯留タンク 建築電気設備 平面図（撤去）		
縮尺	1/50	設計年月	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	11AE-1